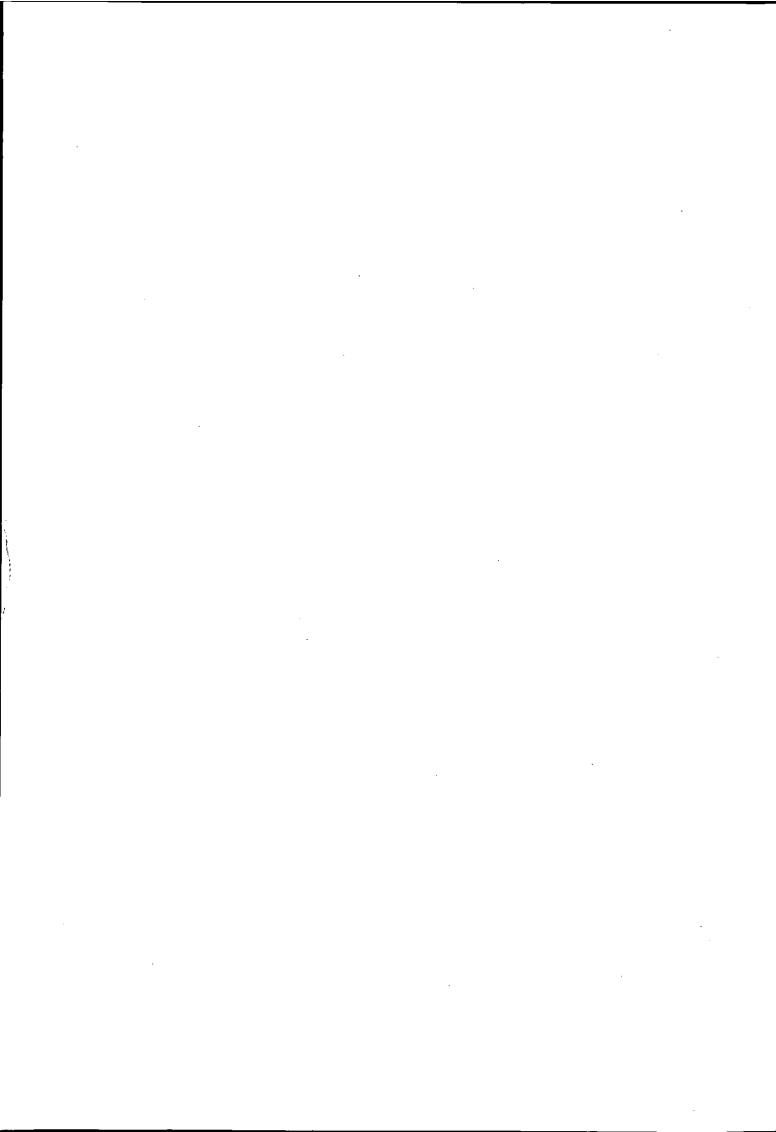
EDI利用実態調査報告書

平成4年3月

財団法人 日本情報処理開発協会 産業情報化推進センター

この報告書は、日本自転車振興会から競輪収益の一部である機械工業振興資金の補助を受けて、平成3年度に実施した「産業界のシステム構築のあり方に関する調査研究」の一環としてとりまとめたものです。



		 	
		·	
	•		
	•	•	
*			
·			
·			
			•
•			
		·	

はじめに

我が国の情報化は、近年、急速に進展し、生活・家庭分野まで広範囲に及んできています。 特に、産業界の情報化の進展には極めて著しいものがあり、ネットワーク化の進展はこれまで 各企業レベルにおける企業内オンラインから企業間ネットワークへと拡大し、広域的な広がり を示しています。

このような中で、企業間ネットワークを構築しオンラインデータ交換を行う企業が急速に増加しており、業務処理等の効率化や円滑化を図る上で、EDI(Blectronic Data Interchange:電子データ交換)は、重要な役割を果たすものとして期待されております。

それだけに、企業にとってEDIを効率的に活用することは、企業の経営戦略上における差別化の有効な手段でもあり、企業活動のより一層の合理化・高度化に大きく貢献するものと思われます。

このような状況から、産業界におけるEDI化を促進する上で、あるいは、ユーザーの EDI利用の積極的な展開を図る上でもEDIの十分な実態把握が必要となっています。

そこで、当センターでは、EDIの利用状況等を中心にその実態を調査することとなり、本年度の調査については以下のとおりとりまとめました。

本調査の結果は、産業界の情報化意識の啓発を図るとともに、今後の産業界のネットワーク 化を推進する上で貴重な資料として活用したいと考えております。

ここに、本調査を進めるに当たってご協力を賜った関係各位に対して厚くお礼申し上げます。

平成4年3月

財団法人 日本情報処理開発協会 産業情報化推進センター

目次

はじめに

1. 競	查概要	1
1. 1	調査結果の特徴	1
1. 2	回答企業の概要	3
1. 3	EDIの利用状況	6
1. 4	E D I 利用のコンピュータ設備等	11
1. 5	EDI利用に係わる費用	18
1. 6	E D I 利用の主業務	22
1. 7	EDI利用の対象データ	23
1. 8	EDI利用の標準規格	33
1. 9	欧米のEDI業界標準の認識	34
2. 各	種意見	35
2. 1	EDI標準化の必要性	35
2. 2	国内におけるEDI標準化活動	49
2. 3	各業界におけるEDIの現状と今後の方向	63
3. 集	計結果表	77
3. 1	凡例	77
3. 2	業種区分別集計結果表	81
3. 3	売上高区分別集計結果表	94
3. 4		98
4. E	DIの国際標準化動向 ····································	103
4. 1		103
4. 2	UN/EDIFACTの開発保守体制	107
4. 3	UN/EDIFACTの安定と統一	111
5. E	D I 利用実態調査票	115

1. 調查概要

- 1.1 調査結果の特徴
- 1.2 回答企業の概要
- 1.3 EDIの利用状況
- 1.4 EDI利用のコンピュータ設備等
- 1.5 EDI利用に係わる費用
- 1.6 EDI利用の主業務
- 1.7 EDI利用の対象データ
- 1.8 EDI利用の標準規格
- 1.9 欧米のEDI業界標準の認識

1. 調査概要

1.1 調査結果の特徴

今回の調査においては、各業界の先進的なコンピュータ利用ユーザーを選別し、1200社を対象にアンケート調査を行い263社から有効回答を回収した。回収した263社の業種別内訳は、表1-1に示す通りである。

調査結果を概観して、いくつかの特徴的な点について次に指摘したい。

- ① EDIの利用状況は、「現在利用」「今後利用予定」を含めて197社(75.2%)となっており、業種別にみると「製造業」が94社、「流通業」が30社、「情報処理サービス業」が28社、「運輸・倉庫業」が14社等となっている。これは業界内の標準を策定したことをきっかけに、電子機器、石油化学などの各業界がEDIによる取引を積極的に導入し始めたことによるものと思われる。
- ② EDIを利用する理由としては、「事務処理の効率化・省力化」が100社(61.0%)、「情報の迅速化と正確性の向上」が86社(52.4%)と回答企業の半数以上を占めているが、今後、企業間や業界間の壁を越えることにより、産業界全体に対して事務処理の効率化やリードタイムの短縮といった効果がもたらされそうである。
- ③ オンライン業務処理開始年の「1984年以前」の合計が133社(77.8%)に対して、EDI利用開始年は「1985年以降」の合計が130社(77.8%)となっており、昭和60年の通信回線の自由化以降これまでの自社内のオンラインが別の役割を担い、企業活動のインフラとして変革しはじめていることがうかがわれる。
- ④ EDIの利用状況を売上高規模、従業員数規模でみると、売上高が50億円未満、従業員数が100人未満まではEDIを利用していない企業が多くなっており、EDIが大手企業を中心に積極的に導入されているのに対し、システム力や資金力に乏しい中小企業ではEDIの導入がかなり遅れているものとみられる。大手企業では社内システムがある程度整備された段階でEDIを導入しているが、中小企業の場合は社内システムの整備が遅れているため、EDIの導入のメリットを享受することが難しいものと思われる。
- ⑤ EDI利用のネットワーク形態は、「ホスト集中型」が71社(40.1%)、「ホスト中心ネットワーク型」が68社(38.4%)で約8割を占めており、ネットワークの相手先としては、「販売先」が80社(46.2%)、「仕入先」が69社(39.9%)、「系列会社/関連会社」が56社(32.4%)となっている。また、EDIを利用している主要業務は、「受発注

処理」が130社(77.8%)と回答企業の約8割近くを占めていることと、フォーマットの規格は、「プライベート標準」が86社(57.0%)と回答企業の半数以上を占めている。このようなことから、EDIの多くは大手企業の個別の受発注ネットワークを中心に進展し、さらに他業界などの業際領域へとEDIが展開していくものと思われる。

⑥ 現状のEDIは、業界内を中心とした企業間に導入されているが、今後EDIの本格的普及を図っていくためには、ビジネスの業際化、国際化に対応した「国内標準規格」の早期制定が必要と思われる。

表1-1 回答企業の業種別内訳表

回答項目	回答件数!	+	10	•	20	•	30	•	40	•	50	. 回答率(%)
01. 農林·水産業	0 1				1	I	1 -	T	1 "			0.0
0 2. 鉱業 03. 建設業	0 1											0.0
03. 建設業	8 1											3.0
04. 食品工業	4 ■	- -										1.5
05. 繊維工業	3 [■		•									1.1
06. 紙 パルプ加工業	1 ∎											0.4
07. 木材·木製品製造業 08. 印刷·出版業	0 1											0.0
08. 印刷·出版業	1											1 0.4
09、化学工業	16	بسحط										6.1
10. 石油·石炭製品業	. 1											0.4
11. ゴム製品製造業	0											0.0
12. ガラス・窯業 13. 鉄 鋼業	1 1											0.4
13. 鉄鋼業	3 🗐											l 1.1
14. 非鉄金属・金属加工業	10 ■											1 3.8
15. 電気機器製造業	31 📳											11.8
14、非鉄金属・金属加工業 15、電気機器製造業 16、輸送用機器製造業 17、一般機械器具製造業 18、精密機械器具製造業 19、その他製造業	13 ■											1 4.9
17.一般機械器具製造業	3 ■											1.1
18. 精密機械器具製造業	8	-								-		1 3.0
19. その他製造業	7											2.7
20. 政党業	21											8.0
21. 代理商·仲立業	2											0.8
22. 小売業	11											1 4.2
23. 金融業 24. 証券 本月取引業	5	•										1.9
24. 証券·商品取引業 25. 保険業	1 1 2 3											0.4
26. 不動産業												0.8
20. <u>作動度果</u> 27. 運輸業	0											0.0
27. 連制果 28. 倉庫業	14. 5 											5.3
	10	_										1.9
29. 電力・ガス 30. 新聞・放送・広告・通信業・	10											1 3.8
30. 新聞・放送・広告・通信業 31. 情報処理サービス・情報提供業	59 1											3.8
32. 旅行業	3 1					•						1 22.4
33. 娯楽・その他サービス業 34. その他	5											1.1
- マーズマイ (マイビッ C / 余	5							_				1.9

1.2 回答企業の概要

回答企業の特徴を資本金区分別、売上高区分別、従業員数区分別にみると次の通りである。 資本金が「1億円以上10億円未満」の企業が64社(25.3%)、「200億円以上」が82社(32.4%)、「1億円未満」が34社(13.4%)等となっている。

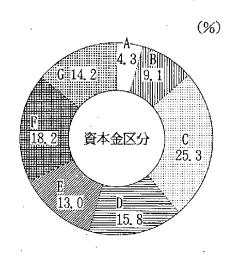
売上高が「200億円以上1000億円未満」の企業が53社(22.2%)、「1000億円以上」が106社(44.3%)、「10億円未満」が12社(5.0%)等となっている。

従業員数が「1000人以上3000人未満」の企業が47社(18.4%)、「3000人以上」が90社(35.4%)、「100人未満」が26社(10.2%)等となっている。

業種区分では、「製造業」が102社(38.8%)「情報処理サービス業」が59社(22.4%)、「流通業(卸売業、代理商、仲立業、小売業)」が34社(12.9%)等となっている。なお、旅行業と娯楽・その他サービス業は、「サービス業」として分類し、農林・水産業と鉱業と不動産業及びその他業種は、「その他業種」として分類した。

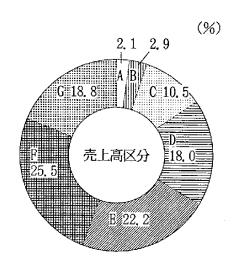
① 資本金区分

	回答項目		件 数	率 (%)
A	3千万円未満		1 1	4. 3
В	3千万円以上1億円未満		2 3	9. 1
С	1億円以上10億円未満		6 4	25. 3.
D	10億円以上50億円未満		4 0	15.8
E	50億円以上200億円未満	<i>¥///.</i>	3 3	1 3. 0
F	200億円以上1千億円未満		4 6	18.2
G	1千億円以上	#X 2 # 1 # 2 # 2 # # 2 # 2 # # 2 # 2 # # 2 # 2 #	. 36	1 4. · 2
	有 効 回 答 数		253	96. 2



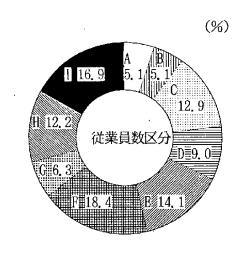
② 売上高区分

	回答項目		件数	率 (%)
A	5 億円未満		5	2. 1
В	5億円以上10億円未満	<u> </u>	7	2. 9
C	10億円以上50億円未満		2 5	10.5
D	50億円以上200億円未満		4 3	1 8. 0
Е	200億円以上1千億円未満	<i>3///</i> //	5 3	22. 2
F	1千億円以上5千億円未満	▦	6 1	25.5
G	5千億円以上	11175	4 5	18.8
	有 効 回 答 数		2 3 9	90.9



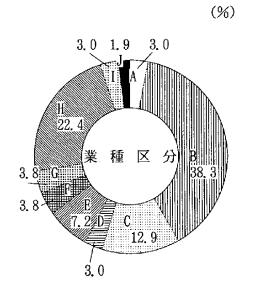
③ 従業員数区分

,	回答項目		件 数	率 (%)
A	50人未満 [1 3	5. 1
В	50人以上100人未満		1 3	5. 1
С	100人以上300人未満	::::	3 3	12.9
D	300人以上500人未満		2 3	9. 0
E	500人以上1千人未満 🦠	////	3 6	14. 1
F	1千人以上3千人未満	#	4 7	18.4
G	3千人以上5千人未満		1 6	6. 3
Н	5千人以上1万人未満		3 1	12. 2
I	1万人以上		4 3	16.9
	有 効 回 答 数		255	97.0



④ 業種区分

	回答項目	件 数	率 (%)
A	建設業	8	3. 0
В	製造業	1 0 2	38.8
С	流通業	3 4	12.9
D	金融・証券・保険業	8	3. 0
Е	運輸・倉庫業 ////	1 9	7. 2
F	電力・ガス	1 0	3. 8
G	通信業	1 0	3. 8
Н	情報処理サービス業∭	5 9	22.4
I	サービス業	. 8	3. 0
J	その他業種	5	1. 9
	有 効 回 答 数	263	100.0



1.3 EDIの利用状況

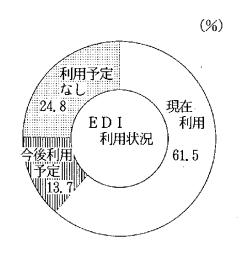
EDIの利用状況は、「現在利用」「今後利用予定」を含めて197社(75.2%)で、「今後も利用の予定がない」は65社(24.8%)であった。

EDIを利用する理由としては、「事務処理の効率化・省力化」が100社(回答企業の61.0%)、「情報の迅速化と正確性の向上」が86社(同52.4%)と回答企業の半数以上を占め、次いで「取引先からの要請」が65社(同39.6%)等となっている。「その他」の内容として、「国際EDIネットワークメールボックスサービス」、「与信管理の精度向上」という企業があった。

また、オンライン業務処理開始年の「1984年以前」が合計133社(同77.8%)に対して、EDI利用開始年は「1985年以降」が合計130社(同77.8%)であった。一方、利用していない理由として、「必要性がない」が29社(同50.9%)、「利用環境が整備されていない」が22社(同38.6%)等となっている。「その他」の内容として、「時期でない」「取引先からの要求がない」、「社内のOA化の遅れと社内環境が熟していない」等があった。

① EDI利用状况

	回答項目	件 数	率 (%)
1	現在利用している	161	61.5
2	今後利用する予定がある	3 6	13. 7
3	今後も利用の予定はない	6 5	2 4. 8
	有 効 回 答 数	262	9 9. 6



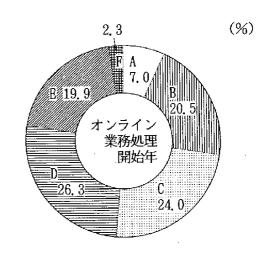
② EDIを利用する理由

[有効回答数:164(83.2%)] 回答項目 回答件数 50 10 20 30 回答率(%) 40 60 70 90 100 回答項目

01. 情報優待が容易
02. 応答及び情報へのアクセスの迅速化
03. 事務コストの削減
04. 取引先への中一ビスの向上
05. 取引先へのサービスの向上
06. 事務処理の効率化・省力化
07. 物流業務の改善
08. 商品在庫域との差別化
10. 国際EDIへの対応
11. 情報の迅速化と正確性の向上
12. 製造コストの節減(生産性の向上
13. 納入の短縮化と対便性の向上
14. ネットワーク系列化の強化
15. オーダーエントリーの省力化
16. その他 11 31 18.9 33 20.1 65 39.6 38 23.2 61.0 100 18 19 8 86 3 18 3.0 29 3

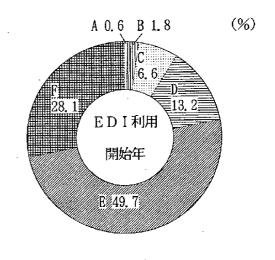
③ オンライン業務処理開始年

回答項目	件 数	率 (%)
A 1969年以前	□ 1 2	7. 0
B 1970年~1974年	3 5	20.5
C.1975年~1979年	4 1	2 4. 0
D 1980年~1984年	■ 4 5	2 6. 3
E 1985年~1989年	3 4	19.9
F 1990年以降	4	2. 3
有 効 回 答 数	1 7 1	86.8



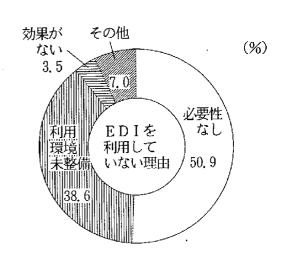
④ EDI利用開始年

	回答項目		件 数	率 (%)
A	1969年以前		1	0. 6
В	1970年~1974年		3	1. 8
С	1975年~1979年		1 1	6. 6
D	1980年~1984年	=	2 2	13. 2
Е	1985年~1989年	W/h	8 3	49.7
F	1990年以降	#	47	28. 1
	有 効 回 答 数		1 6 7	8 4. 8



⑤ EDIを利用していない理由

回答項目	件数	率 (%)
1 EDIを利用する必要性がない[2 9	5 0. 9
2 利用環境が整備されていない	2 2	3 8. 6
3 他社ネットワークとの接続が困難	0	0.0
4 投資コストに見合う効果がない	≣ 2	3. 5
5 その他	4	7. 0
有 効 回 答 数	5 7	87.7



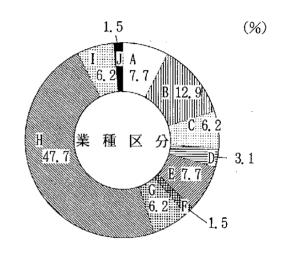
EDIの利用状況を業種区分別でみると、利用していない企業は「情報処理サービス業」が 6 5 社中の 3 1 社と多い。

売上高別でみると、売上高が50億円未満まではEDIを利用していない企業が多く、5億円未満では、利用している企業と利用していない企業が同数となっている。

従業員数別でみると、従業員数が100人未満までは利用していない企業が多く、100人 ~ 300 人未満では、利用している企業と利用していない企業がほぼ同数で、300人以上になると利用している企業の方が多かった。

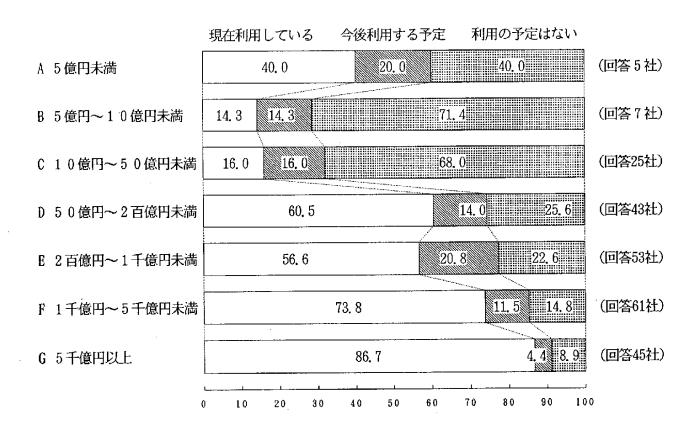
⑥ 業種区分別EDI利用予定なし回答状況

	回答項目		件 数	率 (%)
A	建設業		5	7. 7
В	製造業		8	12.3
С	流通業		4	6. 2
D	金融・証券・保険業		2	3. 1
Е	運輸・倉庫業		5	7. 7
F	電力・ガス	#	. 1	1. 5
G	通信業		4	6. 2
Н	情報処理サービス業派		3 1	47.7
Ī	サービス業	::	4	6. 2
J	その他		1	1. 5
	有 効 回 答 数		6 5	100.0



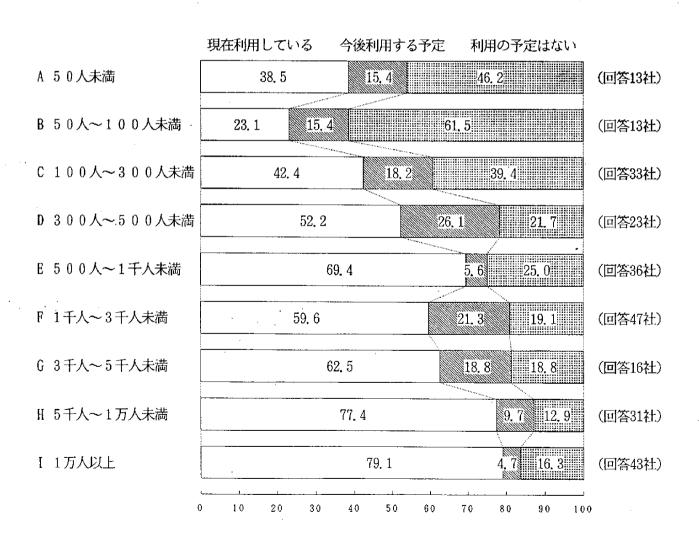
⑦ 売上高別EDI利用状況

	一回答項目 売上高	現在利用 している □	今後利用する 予定がある ※※	今後も利用の 予定はない !!!!
A	5 億円未満	2	1	2
В	5億円~10億円未満	1	1	5
С	10億円~50億円未満	4	4	1 7
D	50億円~200億円未満	2 6	6	1 1
Е	200億円~1千億円未満	3 0	1 1	1 2
F	1千億円~5千億円未満	4 5	7	. 9
G	5 千億円以上	3 9	2	4



⑧ 従業員数別EDI利用状況

	回答項目 従業員数	現在利用している □	今後利用する 予定がある <i>訓</i>	今後も利用の 予定はない !!!!
A	50人未満	5	2	6
В	50人~100人未満	3	2	8
С	100人~300人未満	1 4	6	1 3
D	300人~500人未満	1 2	6	5
E	500人~1千人未満	2 5	2	9
F	1千人~3千人未満	2 8	1 0	9
G	3千人~5千人未満	1 0	3	3
Н	5千人~1万人未満	2 4	3	4
I	1万人以上	3 4	2	7



1.4 EDI利用のコンピュータ設備等

(1) コンピュータの規模と接続端末台数

EDIに利用しているコンピュータの規模は、大型汎用機が118社(197社中の59.9%)、中型汎用機が68社(同34.5%)、小型汎用機が29社(同14.7%)、オフィスコンピュータが52社(同26.4%)、ミニコンピュータが13社(同 6.6%)、パーソナルコンピュータが60社(同30.5%)で、大型汎用機を利用している企業は約6割を占めた。

利用台数は汎用機、オフィスコンピュータ、ミニコンピュータでは、「1台」というのが 最も多く、パーソナルコンピュータでは「10台未満」が最も多かった。

また、ホスト接続端末の台数で最も多いのは、「200台以上」の53社(回答企業の36.3%)で、次いで「10台未満」の34社(同23.3%)等であった。

① EDI利用の大型汎用機の台数

[有効回答数:118(59.9%)]

回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
A. 1台 B. 2台 C. 3台以上6台未満 D. 6台以上10台未満 E. 10台以上20台未満 F. 20台以上	3			1	. 1			· •	ŧ	,	- ' 	58.5 22.9 11.9 2.5 2.5

② EDI利用の中型汎用機の台数

[有効回答数:68(34.5%)]

回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
A. 1台 B. 2台 C. 3台以上6台未満 D. 6台以上10台未満 B. 10台以上20台未満 F. 20台以上	1 46 1 9 1 4 1 4 1 1				1					1	1	67.6 13.2 5.9 5.9 1.5 5.9

③ ED I 利用の小型汎用機の台数

[有効回答数:29(14.7%)]

回答項目	回答件数	- -	+	10	+	20	+	30	+	40	•	50	回答率(%)
A. 1台	111	 							1		-)	ı	37.9
B. 2台	1 6												20.7 13.8
D. 6台以上10台未満	3												10.3 6.9
E. 10台以上20台未满 E. 20台以上	2	المستقد ا المبتوني ا	_										10.3

④ EDI利用のオフィスコンピュータの台数

[有効回答数:52(26.4%)]

回答項目	回答件数	•	10	•	20	•	30	+	40	•	50	回答率(%)
A. 1台 B. 2台 C. 3台以上6台未満 D. 6台以上10台未満 E. 10台以上20台未満 F. 20台以上	15 6 11 3 8							1	- 4	_1		28.8 11.5 21.2 5.8 15.4 17.3

⑤ EDI利用のミニコンピュータの台数

[有効回答数:13(6.6%)]

回答項目	回答件数	ļ ∙	10	+	20	+	30	+	40	+	50°	回答率(%)
A. 1台 B. 2台 C. 3台以上6台未满 D. 6台以上10台未满 E. 10台以上20台未满 F. 20台以上	5 1 3 1 2 1 1 1 1				ı				_ ,			38.5 23.1 15.4 7.7 7.7 7.7

⑥ EDI利用のパーソナルコンピュータの台数

[有効回答数:60(30.5%)]

回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	 回答率(%)
A. 10台未満	32	1			<u> </u>	1		٠-۲		1	- 1	1 53.3
3. 10台以上20台未満	1 4											6.7
2. 20台以上50台未满。	8											13.3
)、50台以上100台未満 1、100台以上200台未満	5											1 8.3
7. 200台以上	1 10		_									1.7
	1					,						16.7

⑦ EDI利用のホスト接続端末の台数

[有効回答数:146(74.1%)]

	T	1				-						,
回答項目	回答件数	•	10	+	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 10台未満	34				1		1		 ,	1		23,3
B. 10台以上20台未満	9	! 💻										6.2
C. 20台以上50台未満 D. 50台以上100台未満	22											15.1
E. 100台以上200台未満	1 12 1 16											8.2
F. 200台以上	53											l 11.0 l 36.3
	<u> </u>	٠										

(2) ネットワーク形態

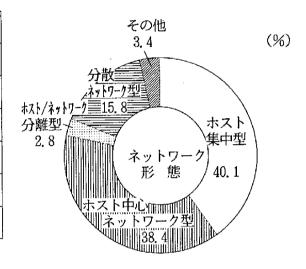
ネットワーク形態は、「ホスト集中型」が71社(回答企業の40.1%)、「ホスト中心ネッ トワーク型」が68社(同38.4%)で約8割を占めた。

また、VANを利用している企業は109社(同61.2%)、利用していない企業は68社 (同38,4%) であった。

一方、ネットワークの相手先として、「販売先」が80社(同46.2%)、「仕入先」が69 社(同39.9%)、「系列会社/関連会社」が56社(同32.4%)等であった。

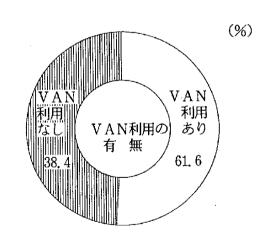
⑧ ネットワーク形態

回答項目		件 数	率 (%)
1 ホスト集中型		7 1	40.1
2 ホスト中心ネットワーク型		6 8	3 8. 4
3 ホスト/ネットワーク分離型		5	2. 8
4 分散ネットワーク型		2 7	15, 3
5 その他	/////	6	3. 4
有 効 回 答 数		177	8 9. 8



⑨ VAN利用の有無

	回答項目	件 数	率 (%)
1	VANを利用している	109	61.6
2	VANを利用していない	6 8	3 8. 4
	有 効 回 答 数	177	8 9. 8



答項目	回答件数	•	10	+	20	•	30	+	40	•	50	回答率(%)
	! !		- 1			Ţ	1		1	,		46.2
販売先	1 80 1											39.9
2. 仕入先	[69]							1				32.4
3. 系列会社/関連会社	1 56											1 19.7
. 海外現地法人	1 34											18.5
,最終需要家(顧客)	32											19.7
5. 銀行	1 34											12.1
7. 倉庫・運送会社	l 21			<u> </u>								1 13.3
3. 商社(代理店)] 23 i											1.2
1. 保険	1 2											1 2.9
). クレジット会社	1 5	-										
1. 情報センター	1 8											1 4.6
2. その他	1 21											12.1

VANの利用状況を売上高別にみると、売上高が5億円未満ではすべての企業がVANを利用していなかった。売上高が5億円~200億円未満では、利用している企業と利用していない企業はほぼ同数で、200億円以上になると利用している企業の方が多かった。

従業員数別にみると、従業員数が500人未満の企業では利用していない企業の方が多かった。

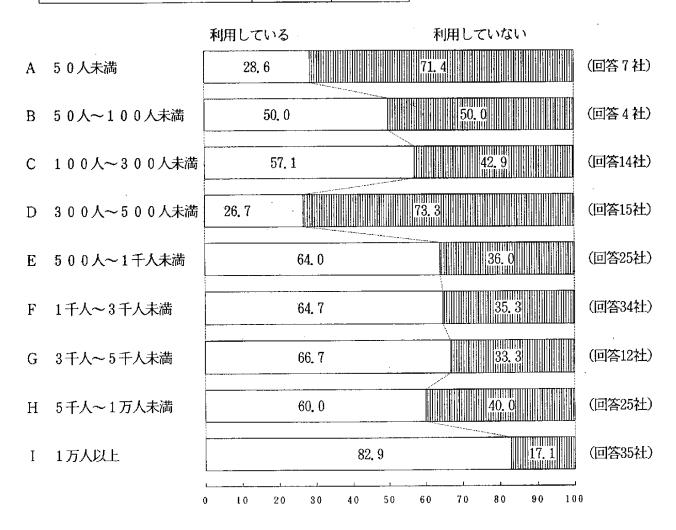
① 売上高別VAN利用の有無

	回答項目 売上高	1 利用している □	2 利用し ていない
A	5億円未満	0	3
В	5億円~10億円未満	1	1
С	10億円~50億円未満	2	2
D	50億円~200億円未満	1 2	1 5
Е	200億円~1千億円未満	2 0	1 6
F	1千億円~5千億円未満	3 7	1 2
G	5千億円以上	3 0	1 0

利用していない A 5億円未満 (回答3社) B 5億円以上10億円未満 利用している 50.0 (回答2社) C 10億円以上50億円未満 50.0 (回答4社) D 50億円以上200億円未満 44.4 (回答27社) B 200億円以上1千億円未満 55, 6 (回答36社) F 1千億円以上5千億円未満 75. 5 (回答49社) G 5 千億円以上 75.0 (回答40社) 40 70

① 従業員数別VAN利用の有無

	回答項目 従業 員 数	1 利用し ている □	2 利用していない
Α	50人未満	2	5
В	50人~100人未満	2	2
С	100人~300人未満	8	6
D	300人~500人未満	4	1 1
Е	500人~1千人未満	1 6	9
F	1千人~3千人未満	2 2	1 2
G	3千人~5千人未満	8	4
Н	5千人~1万人未満	1.5	1 0
I	1万人以上	2 9	6



(3) 利用通信回線

現在利用している通信回線は、「電話回線」が117社(回答企業の72.2%)、「専用回線 (一般)」が97社(同59.9%)と回答企業の半数以上を占め、次いで「公衆ディジタル(回 線交換)」が55社(同34.0%)、「専用回線(高速ディジタル)」が49社(同30.2%)等 となっている。

これに対して、今後利用予定のある通信回線は、「INSネット64」が38社(同67.9%) と圧倒的に多い。

双方を通して、「電信回線」、「衛星通信」、「移動通信」、「ビデオテックス」を利用、 又は予定している企業は少なかった。

③ 現在利用している通信回線の種類

[有効回答数:162(82.2%)]

回答項	質 目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	 回答率(%)
01.	専用回線(一般)	97					ı	. 1		1	1	1	59.9
	寺用自林(三双)												
	専用回線(高速ディジタル)	49		.:									1 30.2
	電話回線	117											72.2
04.	電信回線	1 3	l =										1.9
05.	公衆ディジタル(回線交換)	l 55				1							1 34.0
06.	公衆ディジタル(パケット)	1 33											1 20.4
07.	INSネット64	29											l 17.9
08.	I N Sネット1 5 0 0	1 2	1										1 1.2
09.	衛星通信	4	l =										1 2.5
10.	移動通信	1 0	1										0.0
11.	ファクシミリ通信	1 9											5.6
12.	ビデオテックス	1 1	11										0.6
13.	私設回線	4	I										2.5

4 今後利用予定のある通信回線の種類

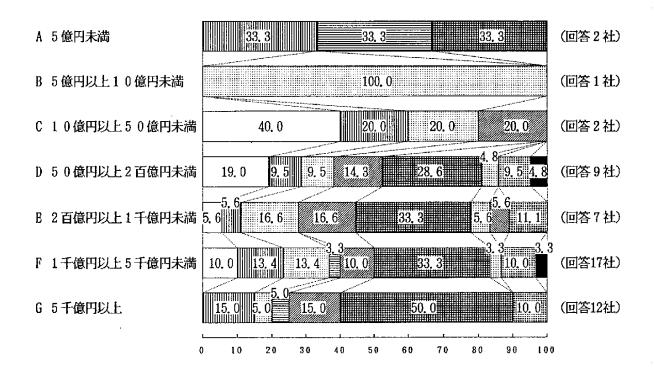
[有効回答数:56(28.4%)]

回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
01 専用回線 (一般)	1 11	,		'				1	ı	1	1	19.6
02. 専用回線(高速ディジタル)	1 12											21.4
03. 電話回線	1 12				•							21.4
04. 電信回線	0	l										0.0
05. 公衆ディジタル(回線交換)	1 3											1 5.4
06. 公衆ディジタル (パケット)	16											1 28.6
07. INSネット64	1 38		· -									1 67.9
08. INSネット1500	1 4											1 7.1
09. 衛星通信	1 0	l										0.0
10. 移動通信	1 1	I										1.8
11. ファクシミリ通信	! 9											16.1
12. ビデオテックス	1 0	i										0.0
13. 私設回線	1 2	l 										1 3.6

今後利用予定のある通信回線を売上高別にみると、売上高が50億円未満の企業では「専用回線」、「電話回線」の割合が、「INSネット64」の割合よりも高かった。

⑤ 売上高別今後利用予定のある通信回線の種類

通信回線の種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	専用回(一	専高 用速ディ	電話回線	電信回線	公衆ディブ	公衆ディッ	I N S ネ	I N S1 ネ5	衛星通信	移動通信	ファクシ	ビデオテ	私設回線
売上高	般)□	ジタル)			ジ換 タ ル 室	ジト タ ル////	ッ ト 64 <u> </u>	ッ0 ト0 		 	ミ通 リ信 Ⅲ	ックス	
A 5億円未満	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
B 5億円~10億円未満	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C 10億円~50億円未満	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
D 50億円~200億円未満	4	2	2	0	0	3	6	1	0	0	2	0	1
E 200億円~1千億円未満	1	1	3	0	0	3	6	1	0	1	2	0	0
F 1千億円~5千億円未満	3	4	4	0	1	3	10	1	0	0	3	0	1
G 5千億円以上	0	3	1	0	1	3	10	0	0	0	2	0	0



1.5 EDI利用に係わる費用

(1) 初期費用

機械設備費は、「500万円未満」が合計39社(回答企業の52.0%)で回答企業の半数以上を占めるのに対して、ソフト開発費用は「1千万円~5千万円未満」が28社(同31.8%)、「100万円~500万円未満」が23社(同26.1%)等で、ばらつきがみられた。

① 初期の機械設備費用

[有効回答数:75(38.1%)]

回答項目	回答件数	•	10	+	20	•	30	+	40	•	50	回答率(%)
A. 100万円未満	17					,	1		1		'	22.7
B. 100万円以上500万円未満	22											29.3
C. 500万円以上1千万円未満	1 9			l								12.0
D. 1千万円以上5千万円未満	12			تنجين								16.0
E. 5千万円以上1億円未満	1 6											8.0
F. 1億円以上10億円未満	8											10.7
G. 10億円以上	1	! - .										1.3

② 初期のソフト開発費用

[有効回答数:88(44.7%)]

回答項目	回答件数	•	10	+	20	+	30	•	40	+	50	回答率(%)
A. 100万円未満 B. 100万円以上500万円未満	8 23				• Т			,	7	1		9.1 26.1
C. 500万円以上1千万円未満 D. 1千万円以上5千万円未満	5 1 28											5.7 31.8
E. 5千万円以上1億円未満 F. 1億円以上10億円未満	1 14											15.9 9.1
G. 10億円以上	1 2											2.3

(2) 月額平均運用経費

各費用についてそれぞれ多かった項目を上げてみると以下の通りである。

①人件費用------「100万円~500万円未満」-29社(回答企業の40.3%)

②機械設備費用--「10万円~50万円未満」 -19社("25.7%)

「100万円~500万円未満」—19社("25.7%)

③処理費用------「100万円~500万円未満」-16社(" 35.6%)

④通信費用………「10万円~50万円未満」 — 28社("29.5%)

「10万円未満」 — 25社(" 26.3%)

⑤外注費用------「100万円~500万円未満」—12社("37.5%)

⑥その他費用-----「10万円未満」 - 8社("30.8%)

「10万円~50万円未満」 - 6社("23.1%)

(⑦合計費用·······「100万円~500万円未満」—26社("28.9%)

「1千万円~1億円未満」 — 24社(" 26.7%)

③ 月額平均運用人件費用

[有効回答数:72(36.5%)]

回答項目	回答件数	į	•	10	•	20	•	30	•	40		50	回答率(%)
A. 10万円未満 B. 10万円以上50万円未満 C. 50万円以上1百万円未満 D. 1百万円以上5百万円未満 E. 5百万円以上1千万円未満 F. 1千万円以上1億円未満 G. 1億円以上	7 12 13 1 29 1 7 1 3						-				_ '		9.7 16.7 18.1 40.3 9.7 4.2 1.4

④ 月額平均運用機械設備費用

[有効回答数:74(37.6%)]

回答項目	回答件数	į	•	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 10万円未満 B. 10万円以上50万円未満 C. 50万円以上1百万円未満 D. 1百万円以上5百万円未満 E. 5百万円以上1千万円未満 F. 1千万円以上1億円未満 G. 1億円以上	1 8 19 1 7 19 1 12 1 2												1 10.8 25.7 9.5 25.7 9.5 16.2 2.7

⑤ 月額平均運用処理費用

[有効回答数:45(22.8%)]

回答項目	回答件数	i	•	10	+	20	•	30	•	. 40	•	50	回答率(%
A. 10万円未満	1 4		1		1	1	1	- 1		,	,	,	8.9
3. 10万円以上50万円未満	10						l						22.2
c. 50万円以上1百万円未満	1 10												1 22.2 1 35.6
2. 1百万円以上5百万円未満 2. 5百万円以上1千万円未満	16												2.2
2. 5百万円以上1十万円未満 7. 1千万円以上1億円未満	1 4		تبي					•					8.9
G. I 億円以上	1 0	Į.							,				0.0

⑥ 月額平均運用通信費用

[有効回答数:95(48.2%)]

(b)	月锁半均建用理信宜/	HJ									C 142	77	
	Ş項目	回答件数	<u>:</u>	10	•	20	+	30	•	40	•	50	回答率(%)
Α.	10万円未満	25				<u> </u>		- ~			-		26.3
В.	10万円以上50万円未満	28											1 29.5 1 15.8
c. D.	50万円以上1百万円未満 1百万円以上5百万円未満	1 15 1 15			=								15.8
E. F.	5百万円以上1千万円未満 1千万以上1億円未満	1 4											5.3
G.	1億円以上	i š	i										3.2

⑦ 月額平均運用外注費用

[有効回答数:32(16.2%)]

9 71100 1 1 1 2 2		,					30		40	_	50	回答率(%)
回答項目	一回答件数	χļ	♦ 1.	.O <u></u>	20		30			<u> </u>		+
		1		1		- 1	,	'	•	,		18.8
A. 10万円未満	1 0				==							18.8
B. 10万円以上50万円未満	; 6											6.3
c. 50万円以上1百万円未満	1 2								_			37.5
D. 1百万円以上5百万円未満	1 12	l de la company										9.4
E. 5百万円以上1千万円未満	1 3			•								
F. 1千万円以上1億円未満	1 2											6.3
	i ī											3.1
G. 1 億円以上	1 1	1										<u>i</u>

⑧ 月額平均運用その他費用

[有効回答数:26(13.2%)]

	「回答件数	i +	10	•	20	+	30	+	40	+	50	回答率(%)
	+	 								,	,	30.8
A. 10万円未満	1 8						_					23.1
B. 10万円以上50万円未満	1 6	!				-						11.5
c. 50万円以上1百万円未遭	1 3				_							1 19.2
D. 1百万円以上5百万円未潢	1 3			_								7.7
E. 5百万円以上1千万円未满 F. 1千万円以上1億円未満	1 2											3.8
	1 1											1 3.8
G. 1 億円以上		:								A		

⑨ 月額平均運用合計費用

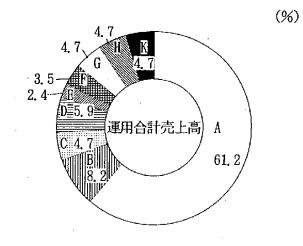
[有効回答数:90(45.7%)]

State of the second property of the second pr													
	 回答件数		•	10	+	20	+	30	٠	40	+	50	回答率(%)
A. 10万円未満 B. 10万円決方0万円未満 C. 50万円以上1百万円未満 D. 1百万円以上1百万円未満 E. 5百万円以上1千万円未満 F. 1千万円以上1億円未満 G. 1億円以上	5 9 9 26 12												5.6 10.0 10.0 28.9 13.3 26.7

また、運用合計対売上高比率は、「0.1%未満」が52社(有効企業数の61.2%)と圧倒的に多かった。

⑩ 運用合計対売上高比率

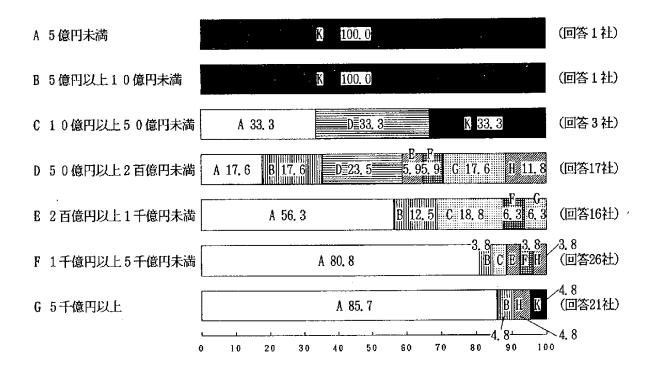
	解答項目		件数	率 (%)
A	0.1%未満		5 2	61. 2
В	0.1%以上~ 0.2%未満	1111	7	8. 2
С	0.2%以上~ 0.3%未満		4	4. 7.
D	0.3%以上~ 0.4%未満		5	5. 9
E	0.4%以上~ 0.5%未満	<i>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</i>	2	2. 4
F	0.5%以上~ 1.0%未満	#	3	3. 5
G	1.0%以上~ 2.0%未満		4	4. 7
Н	2.0%以上~ 3.0%未満	1111	4	4. 7
I	3.0%以上~ 4.0%未満		0	0. 0
J	4.0%以上~ 5.0%未満		0	0. 0
K	5.0%以上		4	4. 7
	有 効 回 答 数		8 5	43. 1



EDI利用の運用合計対売上高比率を売上高別にみると、売上高が高くなるほど比率は低くなることがわかる。

① 売上高別運用合計対売上高比率

		A	В	С	D ·	E	F	G	Н	I	J	К
		0.1%:未満	0.1% 以上 0.2% 未満	0.2% 以上 0.3% 未満	0.3% 以上 0.4% 未満	0.4% 以上 0.5% 未満	0.5% 以上 1.0% 未満	1.0% 以上 2.0% 未満	2.0% 以上 3.0% 未満	3.0% 以上 4.0% 未満	4.0% 以上 5.0% 未満	5.0% 以上
	売上高			70E								
A	5 億円未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
В	5億円~10億円未満	0	0	0	0	. 0	0	0	0	.0	0	1
С	10億円~50億円未満	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
D	50億円~200億円未満	3	. 3	0	4	1.	1	3	2	0	0	0
Е	200億円~1千億円未満	9	2	3	0	0	. 1	1	0	0	0	0
F	1千億円~5千億円未満	2 1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0
G	5千億円以上	1 8	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1



1.6 EDI利用の主業務

EDIを利用している主業務は、「受発注処理」が130社(回答企業の77.8%)と回答企業の8割近くを占め、次いで「請求書処理」が65社(同38.9%)、「出荷業務」が51社(同30.5%)、「在庫管理」が50社(同29.9%)、「納品書処理」が50社(同29.9%)等となっている。

「その他」としては、「振込に関する業務」、「人事管理」、「成績報告」、「EDIサービスデモンストレーション」等で、後は各企業独自の業務に利用されているようである。

① EDIの適用主業務

[有効回答数:167(84.8%)]

回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	· [回答率(%)
01. 受発注処理	1 130	i i					1	1			1	77.8
02. 販売管理	1 38											22.8
03. 生産管理	1 27											16.2
04. 在庫管理	l 50											29.9
05. 倉庫管理	l 15											9.0
06. 輸送管理	l 18	,										10.8
07. 運賃計算	l 10											6.0
08. 出荷業務	l 51											1 30.5
09. 納品書処理	l 50											1 29.9
10. 請求書処理	l 65											1 38.9
11 . 資金決済	1 42	تكريب ينبنو										25.1
12. 与信管理	1 '5											3.0
13. 店舗管理	1 2											1.2
14. 顧客管理	1 7											1 4.2
15. 予約·発券	1 5							•				3.0
16. その他	19										•	1 11.4

1.7 EDI利用の対象データ

(1) データ交換の種類

現在利用しているデータ交換の種類は、「注文書(発注書)」が100社(回答企業の66.7%)、「納品書」が56社(同37.3%)、「出荷指示書」が49社(同32.7%)、「注文変更書」が48社(同32.0%)等となっている。

これに対して、今後利用する予定のデータ交換の種類は、「注文書(発注書)」が20社 (同33.9%)、「見積書」が17社(同28.8%)、「納品書」が17社(同28.8%)等で、現在利用しているデータ交換の種類と比較して「見積書」の割合が高くなっているのが目立つ。 双方を通して、「クレーム」に利用、又は予定している企業は少ない。

(1) 現在EDIで利用しているデータ交換の種類

[有効回答数:150(76.1%)]

回答項目	回答件数		10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
	1 2	- ∎			<u> </u>		T	-	,	•	1	,	1.3
01, 仕様書/承認図	1 12												8.0
02. 見積書	1 100					-	_		=				66.7
03. 注文書(発注書)	1 48	1											32.0
04. 注文変更書	-	1											16.0
05. 注文讀書	1 24	1		_		_							37.3
06. 納品書	56	1				_							32.7
07. 出荷指示書	1 49	1	0										24.7
08. 検収書	37	1											6.0
09. 照合確認書	9				_								24.7
10. 代金請求書	1 37												1 12.0
11. 送金通知書	18												1 22.0
12. 振込通知書	33											•	1 13.3
13. 船積書類	20												
14. 船荷証券	1 5												! 3.3
15. クレーム	1 5												1 3.3
16. その他	1 54												36.0

(2) 今後予定としてEDIを使用するデータ交換の種類

[有効回答数:59(29.9%)]

回答項目	し回答件数	+	10	+	20	+	30	•	40	+	50	回答率(%)
	 		т.				1	1			,	11.9
01. 仕樣書/承認図	1 7	1										1 28.8
02. 見積書	1 17							_				33.9
03. 注文書(発注書)	1 20	l 1										1 25.4
04. 注文変更書	15	تباتنا المالية		:								
05. 注文請書	l [.] 11											18.6
06. 納品書	17				•							28.8
07. 出荷指示書	j 9	1										15.3
08. 検収書	1 14											23.7
	i 4											6.8
09. 照合確認書	1 15											1 25.4
10. 代金請求書	1 2	1										11.9
11. 送金通知書	1 /	!		_								13.6
12. 振込通知書	8	!										3.4
13. 船積書類	1 2											0.0
14. 船荷証券	1 0	1										0.0
15. クレーム	1 0	J										15.3
16. その他	1 9											1 13.3

(2) データ交換の件数 各データ交換の種類別件数においてそれぞれ一番多かった項目を上げてみると以下の通りである。

データ交換の種類	1日平均のデータ件数	ピーク 時の1日平均のデータ 件数	データ交換の企業
1. 仕様書/承認図	5 0 件未満 (回答企業 5社中の40.0%)	50件未満 50件~100件未満 100件~500件未満 1千件~5千件未満	10件未満 (回答企業4社中100%)
2. 見積書	5 0 件未満	100件~500件未満	10件未満
	(回答企業17社中の35.3%)	2千件~5千件未満	10件~20件未満
3. 注文書/(発注書)	100件~500件未満	5千件以上	10件未満
	(回答企業95社中の29.5%)	(回答企業81社中32.1%)	(回答企業94社中34.0%)
4. 注文変更書	100件~500件未満	1 0 0 件~ 5 0 0 件未満	10件未満
	(回答企業45社中の35.6%)	(回答企業35社中28,6%)	20件~50件未満
5. 注文請書	100件~500件未満	100件~500件未満	1 0 件未満
	(回答企業21社中の42.9%)	(回答企業20社中35.0%)	(回答企業24社中54, 2%)
6. 納品書	100件~500件未満	1 0 0 件~ 5 0 0 件未満	1 0 件未満
	(回答企業49社中の44.9%)	(回答企業38社中28.9%)	(回答企業46社中60.9%)
7. 出荷指示書	1 0 0 件~5 0 0 件未満	1 0 0 件~ 5 0 0 件未満	1 0 件未満
	(回答企業42社中の28.6%)	(回答企業39社中28, 2%)	(回答企業42社中47.6%)
8. 検収書	100件~500件未満	5千件以上	1 0 件未満
	(回答企業35社中の31.4%)	(回答企業29社中31,0%)	(回答企業41社中46.3%)
9. 照合確認書	5 0 件未満	5 0 件~1 0 0 件未満	10件未満
	1 0 0 件~ 5 0 0 件未満	(回答企業 5社中40.0%)	(回答企業6社中50.0%)
10. 代金請求書	1 0 0 件~ 5 0 0 件未満	5 0 0 件~1 千件未満	1 0 件未満
	(回答企業36社中の30.6%)	(回答企業32社中28.1%)	(回答企業36社中41.7%)
11. 送金通知書	1 0 0 件~ 5 0 0 件未満	1 0 0 件~ 5 0 0 件未満	1 0 件未満
	(回答企業15社中の46. 7%)	(回答企業13社中38, 5%)	(回答企業16社中43, 8%)
12. 振込通知書	100件~500件未満	5千件以上	1 0 件未満
	(回答企業26社中の26.9%)	(回答企業26社中38,5%)	(回答企業30社中53.3%)
13. 船積書類	5 0 件未満	2千件~5千件未満	1 0 件未満
	(回答企業15社中の40.0%)	5千件以上	(回答企業16社中68.8%)
14. 船荷証券	5 0 件未満 1 0 0 件~5 0 0 件未満 1 千件~5 千件未満 5 千件以上	5千件以上 (回答企業 4社中50.0%)	1 0 件未満 (回答企業 4社中50.0%)
15. クレーム	5 0 件未満 5 0 件~ 1 0 0 件未満 5 千件以上	500件~1千件未満 5千件以上	1 0 件未満 (回答企業 3社中66.7%)
16. その他	5 千件以上	5千件以上	1 0 件未満
	(回答企業55社中の43.6%)	(回答企業50社中56,0%)	(回答企業58社中36. 2%)

③ 仕様書/承認図の1日平均データ件数

[有効回答数:5(2.5%)]

回答項目	回答件数		٠	10	•	20	. •	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	2 0 1 1 0 0	1									,		40.0 0.0 20.0 20.0 0.0 0.0

④ 仕様書/承認図の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:4(2.0%)]

												_,	_
回答項目	回答件数		+	10	•	20	•	30	. •	40	+	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	1												25.0 25.0 25.0 25.0 0.0 25.0 0.0

⑤ 仕様書/承認図のデータを交換する企業数

[有効回答数:4(2.0%)]

回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
A. 10件未満	1 4 1		<u> </u>	-	ī		-1-	1	1			100.0
B. 10件以上20件未満	1 0 1											1 0.0
C. 20件以上50件未満	0 1											0.0
D. 50件以上100件未満	1 0 1											0.0
B. 100件以上200件未満	1 0 1											0.0
F. 200件以上500件未满	1 0 1											0.0
G. 500件以上	1 0 1											0.0

⑥ 見積書の1日平均データ件数

[有効回答数:17(8.6%)]

回答項目	回答件数	•	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	6						1					35.3 11.8 123.5 15.9 11.8 11.8

(7) 見積書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:14(7.1%)]

-													
回答項目	回答件数	İ	+	10	+	20	+	30	+	40	+	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 B. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	2 2 4 0 1 4						,		1	1	ı	1	1 14.3 1 14.3 1 28.6 1 0.0 1 7.1 1 28.6 1 7.1

⑧ 見積書のデータを交換する企業数

[有効回答数:16(8.1%)]

回答項目	回答件数	i I	•	10	•	20	+	30	•	40	•	50	, : 回答率(%)
A. 10件未満 B. 10件以上20件未満 C. 20件以上50件未満 D. 50件以上100件未満 E. 100件以上200件未満 F. 200件以上500件未満 G. 500件以上	6 6 0 0 3 0						,	-			ı		37.5 37.5 0.0 0.0 18.8 0.0

(9) 注文書(発注書)の1日平均データ件数

[有効回答数:95(48.2%)]

回答項目	回答件数	+	10	+	20	+	30	+	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	17 4 28 8 12 9 17				•			1				17.9 4.2 29.5 8.4 12.6 9.5

10 注文書(発注書)の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:81(41.1%)]

回答項目	回答件数	<u> </u>	10	+	20	•	30	+	40	+	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	4 4 20 10 7 10			 				1			.,	4.9 4.9 24.7 12.3 8.6 12.3 32.1

①1)注文書(発注書)のデータを交換する企業数

[有効回答数:94(47.7%)]

回答項目	回答件	友	•	10	+	20	+	30	•	40	+	50	回答率(%)
A. 10件未満	 	-			1	··· T ·-	7	1		1		ı	
	32												1 .34.0
B. 10件以上20件未満	1 13												13.8
C. 20件以上50件未満	1 17	!			• 1								18.1
D. 50件以上100件未満	1 10	i Allenda		•									10.6
B. 100件以上200件未満	1 8	1											8.5
F. 200件以上500件未満	1 9												J 9.6
G. 500件以上	1 5												1 5.3
	<u> </u>				1				. 1	_ ł	. 1	- 1	1

(12) 注文変更書の1日平均データ件数

[有効回答数:45(22.8%)]

回答項目	回答件数	•	10	+	20	+	30	+	40	•	50	图答率(%)	
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満	! 15 6 16 0 4						:					33.3 13.3 35.6 0.0 8.9	
G. 5000件以上	1 1				,							2.2	

(13) 注文変更書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:35(17.8%)]

GAYTE C	(France At-Mi)											(17.04)
回答項目	回答件数	! ◆	10	•	20	+	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満	1 7					7-		-	1		,	20.0
B. 50件以上100件未満	3										1	8.6
C. 100件以上500件未满	10											28.6
D. 500件以上1000件未清	1 5											14.3
E. 1000件以上2000件未満	l 4										i	11.4
F. 2000件以上5000件未满	! 4									•		11.4
G. 5000件以上	1 2										İ	5.7

14 注文変更書のデータを交換する企業数

[有効回答数:45(22.8%)]

回答項目	回答件数	į	•	10	•	20	•	30	•	40	+	50	回答率(%)
A. 10件未満 B. 10件以上20件未満 C. 20件以上50件未満 D. 50件以上100件未満 B. 100件以上200件未満 F. 200件以上500件未満 G. 500件以上	10 5 10 6 7 4												22.2 11.1 22.2 13.3 15.6 8.9 6.7

(15) 注文請書の1日平均データ件数

[有効回答数:21(10.7%)]

回答項目	回答件数	•	10	•	20	•	30	+	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	3 1 1 1 9 1 2 1 3 1 1											1 14.3 4.8 42.9 9.5 14.3 4.8 9.5

16 注文請書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:20(10.2%)]

回答項目	回答件数	į ∙	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	1 0 7 4 1 4 3					-						5.0 0.0 35.0 20.0 5.0 20.0

17 注文請書のデータを交換する企業数

[有効回答数:24(12.2%)]

回答項目	回答件数	ξÌ	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
A. 10件未満 B. 10件以上20件未満 C. 20件以上50件未満 D. 50件以上100件未満 E. 100件以上200件未満 F. 200件以上500件未満 G. 500件以上	13 2 5 0 1 2					1	-		•	•	,	· · · · · ·	54.2 8.3 20.8 0.0 4.2 8.3 4.2

(18) 納品書の1日平均データ件数

[有効回答数:49(24.9%)]

回答項目	回答件数	•	10	•	20	•	30	*	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満	4 4 22			1.	1	· · · ·	,		1			8.2 8.2 44.9
D. 500件以上1000件未満 B. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	4 5 5					•						8.2 10.2 10.2 10.2

(19) 納品書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:38(19.3%)]

回答項目	回答件数	į	•	10	. 🔸	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	1 1 11 8 4 6								1				2.6 2.6 28.9 21.1 10.5 15.8 18.4

② 納品書のデータを交換する企業数

[有効回答数:46(23.4%)]

A. 10件未満				- r		60.9 6.5
F. 200件以上500件未満 0 G. 500件以上 3 1	=					15.2 6.5 4.3 0.0 6.5

(21) 出荷指示書の1日平均データ件数

[有効回答数:42(21.3%)]

回答項目	回答件数	•	10	. •	20	•	30	•	40	+	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	6 3 1 12 6 5 3 7							· · · · · ·	-1			14.3 7.1 28.6 14.3 11.9 7.1 16.7

② 出荷指示書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:39(19.8%)]

回答項目	回答件数	+	10	•	20	*	30	+	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	2 ! 1 ! 11 6 ! 6							·	- 1	1 "		5.1 2.6 28.2 15.4 15.4 12.8 20.5

② 出荷指示書のデータを交換する企業数

[有効回答数:42(21.3%)]

	Υ	T										
回答項目	回答件数	:[•	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
4 1 0 N + 1#		1		- 1		-	- 1 -	γ		-	1	+
A. 10件未満	1 20					· .						47.6
B. 10件以上20件未満	I 3										_	7.1
C. 20件以上50件未満	I 9	į										21.4
D. 50件以上100件未満	1 4	1										1 9.5
E 100件以上200件未満	i ż											
D. TOOLINTTOOLING	. 4	!										1 4.8
F. 200件以上500件未満	1 4											9.5
G. 500件以上	1 0	1										0.0
												

②4)検収書の1日平均データ件数

[有効回答数:35(17.8%)]

											4200	3(I/.04)]
回答項目	回答件数	•	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満	1 6				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1	1	7	1	1	1	17.1
B. 50件以上100件未满	1 2											1 5.7
C. 100件以上500件未満	11											1 31.4
D. 500件以上1000件未满 E. 1000件以上2000件未清	1 7											1 20.0
F. 2000件以上5000件未满				_								1 2.9
G. 5000件以上	1 3											14.3
	<u> </u>											8.6

②5 検収書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:29(14.7%)]

回答項目	回答件数	: •	• 10	+	20	+	30	+	40	+	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	2 0 4 4 6 4					-		,			ı	6.9 0.0 13.8 13.8 20.7 13.8 31.0

②6)検収書のデータを交換する企業数

[有効回答数:41(20.8%)]

回答項目	回答件数	*	10	•	20	•	30	+	40	+	50	 回答率(%)
A. 10件未満	19						· 1	. 1	1		T	46.3
3. 10件以上20件未満	J 5			1								1 12.2
: 20件以上50件未満	1 4 1											9.8
50件以上100件未満	1 5			i								12.2
· 100件以上200件未満	1 4											9.8
'・200件以上500件未満	1 2 1	وندندت										4.9
3.500件以正	1 2											4.9

(27) 照合確認書の1日平均データ件数

[有効回答数:5(2.5%)]

回答項目	回答件数		+	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満	1 2					ì	- 1	ı	•		,	1	40.0
A. 50件水洞 B. 50件以上100件未満	1 0	_											0.0
C. 100件以上500件未満	1 2				-								40.0
D. 500件以上1000件未満	i ō	1											0.0
E. 1000件以上2000件未満	1 0												0.0
F. 2000件以上5000件未満	1												1 20.0
G. 5000件以上	0												0.0

(28) 照合確認書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:5(2.5%)]

回答項目	回答件数	r)	•	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満	1 0	+						7		T	,	r	0.0
		!											
B. 50件以上100件未満	1 2												40.0
C. 100件以上500件未満	1 1			*									20.0
D. 500件以上1000件未満	1												1 20.0
E. 1000件以上2000件未満	1 0	1											0.0
F. 2000件以上5000件未満	1 0	l											1 0.0
G. 5000件以正	1 1												20.0

(29) 照合確認書のデータを交換する企業数

[有効回答数:6(3.0%)]

回答項目	回答件数	1	•	10	•	20	•	30	•	40	+	50	回答率(%)
A. 10件未満 B. 10件以上20件未満 C. 20件以上50件未満 D. 50件以上100件未満	3 1 2 0	1	1		, ,	l				1			50.0 16.7 33.3 0.0
E. 100件以上200件未満 F. 200件以上500件未満 G. 500件以上	0 0 0	 		,	1		,		t	. 1	4		0.0

(30) 代金請求書の1日平均データ件数

[有効回答数:36(18.3%)]

回答項目	回答件数	ζį	•	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	4 3 11 8 4						i I	i	,	,		7	11.1 8.3 30.6 22.2 11.1 2.8 13.9

③1) 代金請求書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:36(18.3%)]

回答項目	回答件数	•	10	*	20	•	30	•	40	•	50	· □答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満	4 3 11 8 4					1		.	•	1		11.1 8.3 30.6 22.2 11.1 2.8
G. 5000件以上	l 5						,					13.9

③② 代金請求書のデータを交換する企業数

[有効回答数:32(16.2%)]

回答項目	回答件	数	•	10	•	20	+	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	1	i			I			,	ı	ı	- 1		3.1 0.0 12.5 28.1 15.6 21.9

(33) 送金通知書の1日平均データ件数

[有効回答数:15(7.6%)]

回答項目	回答件数	友	•	10	•	20	•	30	•	40	+	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	1 3 7 2 1 0										ŧ		6.7 20.0 46.7 13.3 6.7 0.0 6.7

③4)送金通知書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:13(6.6%)]

回答項目	回答件数	•	10	•	20	•	30	+	40	+	50	[回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	1					· •			-		- F	7.7 0.0 38.5 23.1 7.7 15.4

③5 送金通知書のデータを交換する企業数

[有効回答数:16(8.1%)]

回答項目	回答件数	+	10	•	20	+	30	+	40	+	50	回答率(%)
A. 10件未満	7		T		ī		_ '				1	I 43.8
B. 10件以上20件未満 C. 20件以上50件未満	l 4 l 3											25.0 18.8
D. 50件以上100件未満	1											1 6.3
E. 100件以上200件未満 F. 200件以上500件未満	0	i I										l 0.0 l 0.0
G. 500件以上	1 1	1	• ,									6.3

(36) 振込通知書の1日平均データ件数

[有効回答数:26(13.2%)]

回答項目	回答件数	<u>.</u>	+	10	•	20	•	30	+	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	5 2 7 2 1 4							1		1	,		19.2 1 7.7 1 26.9 1 7.7 1 3.8 1 15.4 1 19.2

③7)振込通知書の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:26(13.2%)]

	-	_									•		
回答項目	回答件	χį	•	10	*	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満	1 0					1			T			'''' 1	0.0 0.0 30.8
D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満	1 2												7.7 1 11.5
F. 2000件以上5000件未满 G. 5000件以上	1 3			`	1								11.5 38.5

③8 振込通知書のデータを交換する企業数

[有効回答数:30(15.2%)]

回答項目	回答件数	10	2 0	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
A. 10件未満	16			, , , ,	7		r	1		,	.,	53.3
B. 10件以上20件未满 C. 20件以上50件未满	1 1											16.7 3.3
D. 50件以上100件未满 E. 100件以上200件未满	l 2 l 4											6.7 13.3
F. 200件以上500件未满 G. 500件以上	1 1											3.3 3.3
	<u> </u>	<u>; </u>					,					1 0.0

(39) 船積書類の1日平均データ件数

[有効回答数:15(7.6%)]

回答項目	回答件	数	+	10	+	20	+	30	•	40	•	50	回答率(%)
· 50/4+/#	+	- -		1 ""	1		Ι.		1,		7	1	40.0
A. 50件未満) I											0.0
B. 50件以上100件未満	1 () [
C. 100件以上500件未満	[]	L 1		1	•								6.7
D. 500件以上1000件未満	i 1			i									6.7
7. 300件以上1000件次件。				·									33.3
E. 1000件以上2000件未満	,	5 I							_				
F. 2000件以上5000件未满	1 :	L		ŀ									6.7
G. 5000件以上	1 *	1		1 .									1 6.7
0. 3000 (INCL		- :-								1	- 1		1

(40) 船積書類の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:15(7.6%)]

可答項目	回答件数	i	•	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満	3 0 2 1 1				- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	1	·	· •	· · · · · ·			1 20.0 1 0.0 1 13.3 1 6.7 1 6.7
G. 5000件以上	4							i					26.7

(41) 船積書類のデータを交換する企業数

[有効回答数:16(8.1%)]

回答項目	回答件数	i	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
1/ (-)46	+	!			1					· T "			68.8
A. 10件未満	1 11	1											
B. 10件以上20件未満	1 2	11											12.5
- compatible of the		:=											1 12.5
c. 20件以上50件未满	l Z	1											
D. 50件以上100件未满	1	1											1 6.3
100姓民1200姓主港	1 0	i											1 0.0
E. 100件以上200件未满													
F. 200件以上500件未满	1 0	l											1 0.0
	1 0	1											1 0.0
G. 500件以上	, 0	•											i

(42) 船荷証券の1日平均データ件数

[有効回答数:4(2.0%)]

回答項目	回答件数	i	+	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	1								1	, · · ·			25.0 0.0 25.0 0.0 25.0 0.0 25.0

43 船荷証券の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:4(2.0%)]

回答項目	回答件数	ĺ	•	10	•	20	•	30	+	40	•	50	回答率(%
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満	1 0 0	 			··········				· 1	,			1 25.0 1 0.0 1 0.0 1 0.0 1 25.0
E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未满 G. 5000件以上	1 0	i I	٠.									1	23.0 0.0 50.0

44) 船荷証券のデータを交換する企業数

[有効回答数:4(2.0%)]

	- ! 回答件:	数!	+	10	•	20	•	30	•	40	•	50	回答率(%
a co totale 140	1 3	 		, ,	· 1 -	<u>1</u>			- 1				50.0
A.10仟木酒 B.10件以上20件未満	1 1	i											1 25.0
C. 20件以上50件未満	1 1	. (🖺											25.0
D. 50件以上100件未満	1 0	}							•				0.0 0.0
E. 100件以上200件未满 F. 200件以上500件未满	() 											0.0
G. 500件以上	(' !											0.0

45 クレームの1日平均データ件数

[有効回答数:3(1.5%)]

GM760	LC 154 NLW		_									
回答項目	回答件数	+	10	•	20	+	30	•	40	•	50	回答率(%)
A. 50件未満	1 1				·	- 1	1		,	· -		-
B. 50件以上100件未満	1 1	==				,						1 33.3
	1 1											33.3
C. 100件以上500件未满	1 0 1			•								0.0
D. 500件以上1000件未満	1 0 1											0.0
E. 1000件以上2000件未満	1 0 1											0.0
F. 2000件以上5000件未満	1 0 1											
G. 5000件以上	1 1											0.0
o. Souther	1 1				<u> </u>							1 33.3
						r	1	<u> </u>				

46 クレームの1日のピーク時データ件数

[有効回答数:2(1.0%)]

回答項目	回答	数	•	10	•	20	+	30	+	40	+	50	· 回答率(%
A. 50件未満		0 1	-	,						7	- 1	,	-
B. 50件以上100件未満	i	οi											0.0
C. 100件以上500件未满	;												0.0
	1	0 1											1 0.0
D 500件以上1000件未満	1	1 1	ننت										1 50.0
E 1000件以上2000件未満	I	0										_	0.0
F. 2000件以上5000件未満	1	0 1											
G. 5000件以上	:	- 1											0.0
6. 3000H以上	I	1											50.0

47 クレームのデータを交換する企業数

[有効回答数:3(1.5%)]

										CHI	WILL BY	
回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
A. 10件未満	2 1		7	7		1.	- 1		T	1	٠,	
B. 10件以上20件未満	i õi							-				66.7
C. 20件以上50件未満												0.0
D. 50件以上100件未満												0.0
E. 100件以上200件未満	. 0 .											0.0
	1 11											1 33.3
F. 200件以上500件未満	1 0 1											0.0
G. 500件以上	1 0 1											0.0

48 その他の1日平均データ件数

[有効回答数:55(27.9%)]

回答項目	回答件数	į	•	10	+	20	•	30	•	40	+	50	回答率(%)
A. 50件未満	5				1	-	1	ļ	Γ	· · ·	ı	1	9.1
B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満	l 6												10.9 5.5
D. 500件以上1000件未満 B. 1000件以上2000件未満	1 7 1 5												12.7 9.1
F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	5 24												9.1

49 その他の1日のピーク時データ件数

[有効回答数:50(25.4%)]

回答項目	回答件数	1	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
A. 50件未満 B. 50件以上100件未満 C. 100件以上500件未満 D. 500件以上1000件未満 E. 1000件以上2000件未満 F. 2000件以上5000件未満 G. 5000件以上	1 5 5			· - •	,	1	1	<u> </u>	,				2.0 4.0 10.0 10.0 8.0 10.0 56.0

50 その他のデータを交換する企業数

[有効回答数:58(29.4%)]

可答項目	回答件数	ļ	+	10	•	20	•	30	•	40	+	50	回答率(%)
1. 10件未満	21	بينت أ				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			-	-7-	T		36.2
3. 10件以上20件未満	1 7								_				12.1
. 20件以上50件未満	12												1 20.7
50件以上100件未満	1 2		1										3.4
100件以上200件未満	6	1											1 10.3
7. 200件以上500件未満	ĺ 5												1 8.6
3.500件以正	l 5	1						•					8.6

1.8 EDI利用の標準規格

(1) フォーマットの規格

EDIに利用しているフォーマットの規格は、「プライベート標準」が86社(回答企業の57.0%)と回答企業の半数以上を占め、次いで「業界標準(JCA)」が49社(同32.5%)、「業界標準(EIAJ)」が37社(同24.5%)等となっている。

① EDIに利用しているフォーマットの規格

[有効回答数:151(76.6%)]

回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
 国際標準 (EDIFACT) 米国標準 (ANSI) 業界標準 (EIAJ) 業界標準 (JCA) その他業界標準 (家電、紙バ等) プライベート標準 	1 8 1 8 1 37 1 49 1 29 1 86				T T		,					5.3 5.3 24.5 32.5 19.2 57.0

(2) 通信手順の規格

EDIに利用している通信手順の規格は、「全銀手順」が117社(回答企業の73.1%) と回答企業の7割以上を占め、次いで「J手順」が72社(同45.0%)、「メーカー手順」 が57社(同35.6%)等となっている。

② EDIに利用している通信手順の規格

[有効回答数:160(81.2%)]

回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)
1. 全銀手順 2. J手順 3. クレジット手順 4. 業界手順 5. メーカー手順 6. 無手順・TTY手順	117 72 5 14 57 14									1		73.1 45.0 3.1 8.8 35.6 8.8

1.9 欧米のEDI業界標準の認識

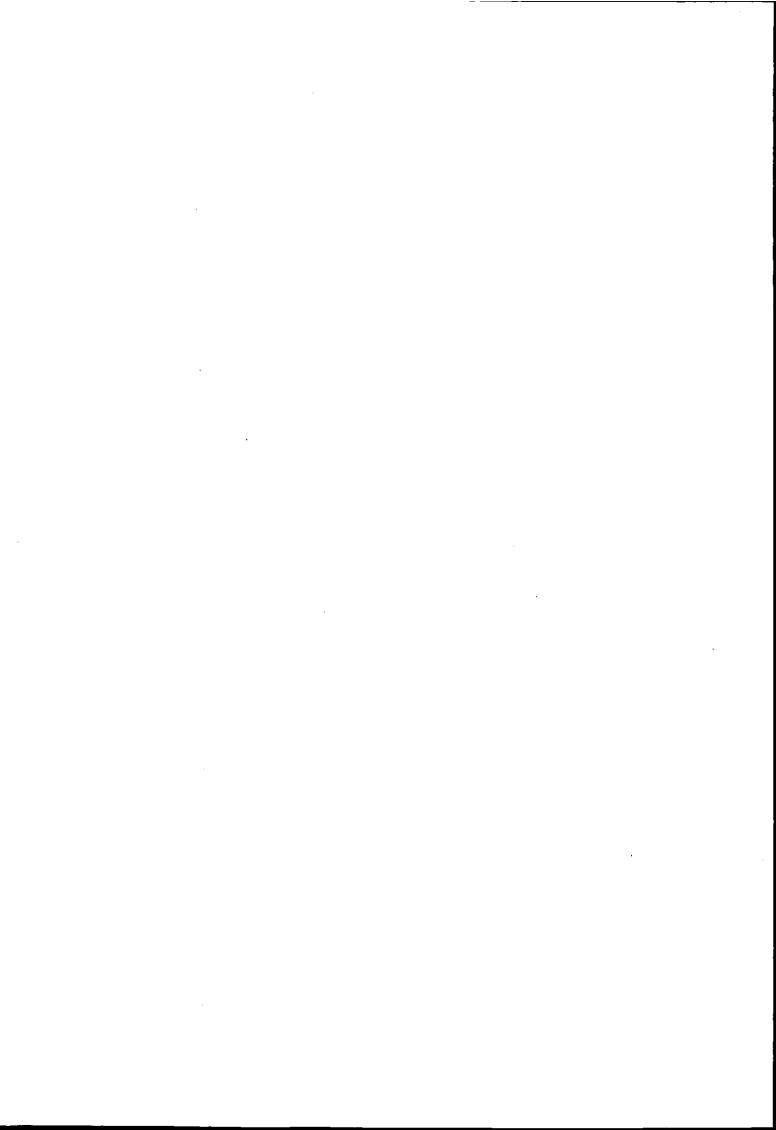
欧米のEDIの業界標準に対する認識の回答企業は、73社で全体の27.8%であった。 その内訳は、「AIAG」が37社(50.7%)、「ODETTE」が36社(49.3%)、 「EDX」が26社(35.6%)等で、他の項目も余り差はなかった。

① 認知EDI業界標準

												[有効回答数:73(27.8%)]
回答項目	回答件数	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	回答率(%)	
01. CARDIS 02. UCS 03. AIAG 04. CDIX 05. EDX 06. WINS 07. VICS 08. DISH 09. ODETTE	18 16 37 8 26 20 16 18				-			•	1	,		24.7 21.9 50.7 11.0 35.6 27.4 21.9 24.7	
09. ODETTE 10. DAKOSY	1 36										-	49.3 9.6	

2. 各種意見

- 2.1 EDI標準化の必要性
- 2.2 国内におけるEDI標準化活動
- 2.3 各業界におけるEDIの現状と今後の方向



2. 各種意見

今回の調査では、以下の事項については各種意見(記述回答)が寄せられており、これらの意見について整理しとりまとめた。

2.1 EDI標準化の必要性

- ・バッチ処理型のEDIは主にファイルフォーマットを標準化すれば良いが、今後はリアルタイム型のEDIも増えると思われるので、画面フォーマットや入出力メッセージの標準化も必要と思われる。
- 各社違うファイルフォーマットなので対応がしにくい。同一業界単位での同一フォーマットを望みたい。
- ・流通業界の発展や弊社の事業拡大に伴い、他業種とのデータ交換の必要性が極めて高くなりつつある。EDIの必要性を充分に認識し、現在、国内標準化動向を調査中の段階である。
- ・先行業界のプロトコル(特にEIAJ)に、あまり引っ張られすぎではないかと思う。
- ・サービスする側として、是非とも標準化して欲しいと思っている。
- 「VAN会社」としては、EDIの方向性、必要性には強い関心を持っている。今までのJCA手順等の展開をみていると、強い会社の意見がそのまま通るというビジネス上の関係がそのままビジネスプロトコル、EDIへ反映しているようだ。こういう件にはある程度中立の、かつ指導力の強い役所が主導権を発揮する段階に来ているのではないだろうか。
- ・我が国におけるEDIは、業界内を中心に導入されており、普及の拡大に伴って多端末 現象やコンバージョンの必要性が高まっている。今後、本格的普及を図っていくために は、ビジネスの業際化、国際化に対応した「国内標準規格」の早期制定が必要である。
- ・当社が積極的にEDIを行うというよりも、取引先(顧客)に対応して行うという色彩が強い。従って、標準化されている事が望ましく、EDIの依頼があった場合にも、原則として標準にでということで依頼している。
- ・EOSとPOSに代表されるように、ハードやデータの有効活用で活発な情報システム を構築するには、費用が膨大にかかりすぎる。又、各企業が個別でのソフト開発は無駄 が多すぎる。従って、標準化は必要である。

- OSIに基づく国際通信手順の確立が必要不可欠である。
- ・必要性を痛感している。機能拡充を段階的に進めてほしい。
- ・EDIの標準化は非常に重要であると認識している。他社とEDIを開始するに当たって、標準化されていれば、その開発期間の短縮及び運用、保守の面での効果は大きいと思う。
- ・個別企業間での取り決め方では非効率であり、取引の力関係でコスト負担を強いられるケースもあり得るため、標準化を是非とも推進すべきである。
- ・ E D I の進展には、ビジネスプロトコル、通信プロトコルの標準化が必須であり、これ らの標準プロトコルをサポートする汎用パッケージの普及が望まれる。
- ・産業界での電子取引では、業界内にとどまらず、業際的、国際的に拡大しつつあり、又、情報関係の技術開発の進展に伴い、業界を超えた電子取引が漸次拡大している。当社においても、金融機関とのEDI化の推進や、取引業者とのEDI推進の検討段階にある。これらに対応していくためには、ビジネスプロトコルの業際的な標準化やEDIシステムの相互運用性を高める相互連携方式の開発が急がれる。
- ・取引先から個別資材 V A N の形式でデータ交換の要請があるが、標準化されていないため、送受信プログラムなど重複投資が必要となるケースがあり、一刻も早い標準化が望まれる。
- ・囲い込み優位の発想による独自ネットワークの構築ではなく、EDIは業界活動に於けるインフラストラクチャーである。差別化を独自ネットワーク構築上に求めるのではなく、インフラとしてその上に独自の社内システムを構築することにより優位性を発揮すべきである。それが日本における国際競争性を高め、又、国際協調への道でもある。
- ・標準化を取り込まなければ、個別毎に調整・研究・ソフトウェア開発の点で、多大な労力・コストが必要になってしまう。標準化が進展すればその大部分を軽減することができるため、メリットは非常に大きいと思われる。ただし、業界標準・国内標準・国際標準が林立する状態では、あまり意味がない。多くとも3種類に絞っていきたい。
- ・当事業部は住宅用の外装材・バスルーム浴槽等を製造販売している。販売店は全国の広い範囲に及び、またその店の取扱い高の中で弊社の商品の占める割合は小さい。このような条件下で受発注のオンライン化を進めることは困難であるが、EDIがこのような困難な条件の解決手段となることを期待する。

- ・標準化は当業界にとって必要であり、一般化するためにも絶対条件となるものと思われる。
- EDI 化を簡便に低価格で行うためには、標準化が不可欠である。
- 労働供給力の逓減化傾向にそなえて、省力化インフラを整備するためにも必要である。
- ・国内労働力の不足対応、及び開かれた国際業務取引環境の整備のためにも、国内及び国際EDIの早期普及が望まれる。
- ・日本電子機会工業会(EIAJ)のように、標準化作業を行うことがEDI推進の為の 絶対条件と考える。
- ・今後は、オンライン取引の多くなることが予想できるので、EDIの標準化は重要であると思う。
- ・取引先の要望に対応するために標準化は必要である。ただし、データの正誤チェックを どう行うかが問題と思われる。企業間では相反するチェックロジックがおこり得ると思 われる。
- ・欧州で普及しているODETTEと米国のANSIの統一が望まれる。日欧・日米・米 欧の関連会社間のEDIをスムーズに運営するには、規格統一が望ましい。
- ・EDIを利用すると便利なだけに、発信者側は独自にいろんな情報を伝送しはじめるため、受信者側では、相手に応じた処理システムの開発が必要となり、人的、時間的に大きな負担となる。又、設備的にも多端末化を招きコストアップとなるため、標準化が必要である。
- ・現在は各社の仕様が使われており、発注側は相手により端末を設置しなければならず、 無駄が多い。標準化により端末が共通化できれば、金・スペース等のメリットが多い。
- ・標準化がなされていない場合、取引先毎に個別に対応しなければならず、多端末現象の 発生や取引先毎のシステム対応等が必要となってくる。このため、これらの問題を解消 するためにも標準化は必須である。
- オープン・システム構築の為に、EDIの標準化は必要だと思う。
- ・当社としては、これから本格的なデータ交換を始めるところであり、調査によると、このままでは相手先毎にデータ形式を検討しなければならないので、標準化されたEDIを当初から使用したいと思う。
- EDIのメリットが認識され始め、各所でEDIの試行が実施されようとしている。

- ・ O A 化の普及が末端まで至っており、アレルギー症状が出ぬよう通信手順・操作法・運用方法等について標準化の整備が急務といえる。
- ・EDIを普及させる為には、標準化は不可欠な事であり、標準化の整備いかんによっては、その普及度合も変わってくる事になる。よって、より良い標準化が必要だが、現状を見てみるとまだ不明確なものが多く、個々の企業間でその解決が異なっており、個々の企業の取り決めで運用されているようである。
- ・今後の新システム開発は、業界標準を使うつもりである。
- ・より多くの業種、データ種類を対象にする為に、EDIの標準化は避けられないが、既 存の規格からの移行負担を軽減する方向での実施を期待する。
- ・現在、国際的にも国内的にも他社とのデータ交換の必要がないので真剣に取り組んでいない。業界資料を参考程度に読んでいるだけである。
- ・今後の企業間取引で、EDIはますます重要になると思われるが、オンライン取引データを利用する社内システムは極力共通化をはかり、システム開発の工数やコストをかけないようにしたいと思う。その前提としてEDIの標準化は必須条件である。
 - ・① 昨今の産業界での急速なシステム化を背景に、鋼材の需要業界である自動車、造船、 電機等の主要需要家から、納品情報、品質情報の電子データの伝送化、現品表示のバ ーコード化等の要請が相次いでいること
 - ② 鉄鋼の流通業界での高齢化、要員不足に対する労働力対策、及び物流の近代化という観点から、システム化のニーズは大きいこと
 - ③ 個別取引単位でのシステム化は、上記の通り対象範囲の拡大を考慮すると、コスト、 開発負荷の増大は避けられないこと

等を勘案すると、EDIの標準化は是非必要である。

- ・EDIの必要性は高まる。効率的な情報化は、全企業を巻き込まないと実現しない為、 一人EDI化を拒むことは不可能である。
- ・開発費・保守費を考えると、EDIの標準化は非常に重要である。
- ・顧客とデータ交換する際のレイアウト決定までに時間がかかり過ぎることや、一方的に 相手のレイアウトを強制されることが多かったので、海外の業者とANSI、EDIF ACTでデータ交換した時は非常に楽であった。効率良くEDIを進めるためには、標 準化は不可欠である。

- 種々の標準の乱立は今後の展開にマイナスである。企業間、業種間、産業間等「際」、 「接点」における情報のデリバリーが重要となることは明白であり、標準化へ向けて国家レベルでの動きが必要である。
- ・ E D I 化は今後の方向であり、標準化は必要である。
- 各企業が独自の手法を唱え、傘下の企業を囲い込む形態は時代を逆流するものであり、 経済全体からも無駄な投資を強いることになりかねない。複雑な日本の取引を整備し、 オープンな企業経済を促進する為にもEDIの標準化は必要不可欠と考える。
- ・EDIは今後多くの会社に対して広まると思う。但し、コンピュータを持たない中小の 企業とのデータのやり取りは、以前としてFAX又は郵送に頼らざるを得ない状況であ る。そこの解決策を求めたい。
- ・税務上の問題「紙」の証票の必要性等がクリアーされなくてはならない。建設業の場合、 取引先が各地で変わることが多く、取引先が特定できない。
- ・ E D I の標準化の内、フォーマットのみならず、通信上の標準化(ex. VAN to VANのときの費用問題)も進めてほしい。
- ・ E I A J 標準が広く普及されることを望む。
- ・当社においては、取引先=本部であり、又、顧客の数が極めて多い為、EDIは当分の 間特定の相手先のみであろう。従って一般的な意味での標準化は、当社にとって特に望 まれるものではない。
- ・セキュリティ機器(部品)調達を、電子部品業界と取引している。現在、EIAJオンライン処理していないが、今後は必然的にそうなるのかもしれない。
- ・国際的にも、その必要性が拡大していることは実感している。
- ・企業内の生産性の向上策は限界があり、今後は企業間での取り組みにより諸課題を解決 しなければならない。社会的な要求でもある時短、労働時間の逓減のためにも、抜本的 な生産性の改善を図らねばならない。EDIはその一つ。
- ・標準化は必要であるが、旧標準との整合性を十分考慮する必要があると考えられる。
- ・図面等イメージデータの交換、漢字によるデータ交換が簡単にできるようにしたい。
- ・当社の業種柄、他の企業との継続した多量のデータ授受は考えにくく、標準化の必要性 は、現状ではあまり感じていない。
- 特に、今後の業際EDIの推進については、標準仕様をベースにしないと、個別対応となって、開発、運用のどのレベルをとっても問題が多すぎる。コードの標準化(JAN)

- コード等のもの)、業務処理のルール、通信手順の統一、いわゆるビジネス・プロトコルの標準化と、通信手順、運用の標準化は、必須と考える。
- ・標準化はぜひ必要である。日本として積極的にEDIFACTに参加し、標準化を推進 すべきだ。
- ・ 商取引の慣行が発注者中心となっており、当社は受注者側になることが多いこと、また、 取引先が多方面にわたっており、ターゲットをしぼりにくいこと等のため、EDIに対 しての関心は薄い。社会一般に標準化されたEDIが広まってくると、当社にもメリッ トは生まれてくると思われる。
- ・EDIを今後の情報社会のインフラとして活用する為には、標準化(フォーマットの開発と普及)は不可欠である。
- ・各社各様にシステム化が進んでいるので、伝票フォームがまとまらずやりにくい。法制 度も含めて、EDIの確立を望む。
- ・伝票授受に関する事務処理の迅速化、効率化、在庫レス化によるコスト低減、納期の迅速な確定等、EDI導入によるメリットは大きいが、現状を見ると、一部の先進的な企業・業界や定型化した取引関係にしかEDIの標準化がなされていない。
 - そのため、EDIを実現するためには、個別企業毎に取り決めや接続ソフトの作成、場合によっては専用端末の導入によるコスト増が必要となる。その手間を少なくし、コスト削減を双方で図るためには、EDIの標準化は必要である。
- 当社においてはまだこれからだが、今後はもっと必要性が出てくると思う。
- ・標準化は必要である。しかし、現在では多種多様な通信手段でそれぞれの業種が業務を 行っていることから考えても、国際的な標準化は難しい問題と思われる。したがって、 将来における課題と思う。
- ・ビジネスプロトコル等が標準化されることにより、EDIが一層進展するものと思われる。
- ・各社のプロトコルがバラバラなため、多端末現象や、ソフトウェアの重複投資を招いており、これらを解消するためにも、EDIの標準化は必要である。しかし、EDIは企業においてライバル企業との間に競争力格差を作り出す戦略情報システム(SIS)として位置づけられるので、企業固有のプロトコルが必然的に発生する。今後の課題は、どの様にして標準プロトコルと企業固有プロトコルの調和をとるかである。
- ・当社に関していえば、効果が投資費用を上回らない、実施している取引先が少ない、法

制面での環境が未整備などの理由から、EDI化へそれ程積極的に動いていない。とはいえ、世の中の趨勢もあり、上記各面がクリアされた部門からEDI化を進めている。

- ・国際標準メッセージ (UN/EDIFACT) の開発が進行中であり、その標準のED Iへの適用を期待したい。標準企業コードを世界規模での設定を期待する。
- ・標準化は、業務の効率化には欠かせない問題であり、標準的な情報交換方式がなければ、 複数企業間・異業種間でのスムーズな運用は期待できない。
- ・「標準化」の必要性については、通信面ではどの規格でもメーカー(ハード)で対応で きる現状にあるので、フォーマット面等(ビジネスプロトコル)の標準化がEDI実施 において不可欠である。
- ・当社の場合、数年前から複数の得意先企業よりオンラインデータ交換の要請が寄せられているが、それぞれが独自方式でのデータ交換を望んでいるため、開発要員、コストの問題から十分な対応ができていない。標準化によってコストがおさえられ、開発期間が短縮されることを望む。
- ・統一された規格の制定は、必要だと思う。
- ・標準化の必要性は十分認識しているが、指導的立場ではないので、動向を注視している。
- ・業界内外を問わずネットワーク化が進み、その際、系列化により強者から弱者への囲い 込み競争が発生している。しかし、業界としてもある集団以外の業界との取引も必要と なり、標準化が難しくなっていると思う。今後は国を中心とした、又、世界標準の取組 が必要であろう。
- ① 企業間のネットワークには重要なことと考える。
 - ② 当社においても情報通信の効率化を進める上でも取り組んでいく必要がある。
- ・商取引情報の迅速化、情報表現の簡素化等、その必要性は大いに有ると考える。
- ・当然、必要性は大いに感じている。特に、通信プロトコルや情報のフォーマットの標準 化が必要である。
- ・異メーカー間の接続、同メーカーでのオフコン、パソコン間又は、パソコン同士間の通信系の開発をすすめれば、社内、社外のネットワークが広がるので、EDIの標準化の必要性は十分にあると考えられる。
- ・取引の多様化、取引先数の増加による伝票取扱量の増加、ならびに企業間個別情報システム運用による個別ソフトウェア・専用端末の投資等、単独では解決困難な問題がでてきている。この様な問題を解決するために、EDIの標準化は必要であると考える。

- ・企業間ネットワーク接続で問題になるのは、接続先のコンピュータの事である。自社コンピュータと同じ構成なら一番良いのだが、完全な異機種間となった時の接続手段に時間を費やす。また、接続する為に費用的な面でユーザと折りが合わないこともある。
- ・日本国内におけるEDIの標準化は、外国(先進国)に比較し立遅れているので、早急 に政府が中心となって民間を指導し、標準化を進める必要がある。
- ・今後、情報の重要性が増し、企業内オンラインシステムから企業間オンラインシステム となることから、EDIの標準化は、重要課題と言える。
- ・標準化で共同開発のメリットを生かせる様にしたい。各社の重複関係を避け、コスト負担の軽減と、より理解し易く、拡張性のあるものが可能となるから、必須である。
- ・EDIの標準化は、業務の効率化、商権の維持・拡大などに有効な手段として重要であ り、その狙いも事務効率という次元から次第に高度化しており、イニシアチブの取れる、 又は、安定的取引の拡大を図る為の仕掛け作りとして推進している。
- ・基本的には受発注業務での利用が普通であると思う。通信により作業の重複を発生させず効率を高めると伴に、データ編集により複数企業に対応が可能となる。
- ・必要性は十分意識しているが、対象範囲を限定しないとなかなか標準化は難しい。標準 化に時間がかかりすぎると、利用者のスケジュールもあるので、各々ユニークな方式で 構築し、結果として標準化が完成した時には、既存方式で十分であるということとなり、 いつまでたっても普及しない可能性もある。
- ・当社にとってEDIは必要であり、早急に実施を拡大したいと考えている。既に米国の 親会社は米国内で実施している。日本国内の規格が未制定であることにより、広く実施 することに制約がある。早期に国際規格をベースとした日本版のEDI規格を制定すべ きと考える。
- ・中小企業でも利用できるような標準化の推進と低コストな機器の開発が必要と思われる。
- ・EDI導入の初期コスト、作業工数の削減のために、標準化はきわめて重要である。また、複数の企業とのEDIを行う場合、システムの複数化を防ぐためにも、標準化が必要である。
- ・いずれは導入する時期がくると思うので、必要性を支持する。
- ・EDIの標準化は望ましいが、同一業界内でも利害関係、常に自分が第1になりたいが ため、あえて標準化されてない感がある。標準化されれば、事務の効率化、業務の拡大 が可能になることが予想される。

- ・ 当社の規模では必要性なし。
- ・標準化の必要性は当然であるが、既存システム(複数)の変更について当事者全体のコンセンサスを得る何らかの指針が欲しい。
- ・① システム開発工数削減・工期短縮
 - ② 稼働後のシステム維持の手間の軽減
 - ③ 全体のシステムボリュームの削減
 - ④ 利用者への教育の容易性
- ・同業種内でも標準化が進んでいない現状で、特に顧客とのEDIは一対一になりがちで、 開発費用がかさんでいる。特に帳票類データについては、標準化が望ましい。
- ・特にこれからは、国際取引が増える状況でグローバルな視野からの標準化が益々重要に なっていくと思われる。
- EDIの必要性は高い。業界毎の標準を調整できる、強い指導力が必要である。
- ・他業種間の商取引における業務処理等の効率化や円滑化を図る上で、EDIの標準化は、 大変必要であると思う。
- ・長期に渡り取引のある企業とのEDIの必要性を感じる。特に情報処理システムの客先 要件の迅速な入手とフィードバックにより、納期短縮と経費の削減により競争力の強化 が図れる。
- ・受発注取引関係データの処理効率上是非必要である。
- ・EDIの活用が益々増える中、標準化は必須であり是非すすめてほしい。当社でも業界 や顧客で異なったフォーマット・VAN等で対応せざるを得ず、時間・手間がかかって いる。早急の標準化が切望される。
- ・アメリカ本社からの受注データについてEDIシステムを検討したことがあるが、データボリュームの数から時期尚早のため止めた経歴がある。アメリカ本社では既に実現しており、当社に導入されるのも時間の問題と思われる。
- ・同じ取引先においても工場毎にEDIに対する姿勢が異なり、標準化されていないケースが目立つ。少なくとも取引き先内部において統一されていてほしい。
- ・社内完結型のオンラインシステムなら社内標準のままで充分である。他社とのつながり が増加するにつれ、標準化の必要性が増してくる。海運業自体が国際業務なので、国際 標準に強い関心がある。
- 業界全体の事務処理効率化に必要である。

- ・卸売業である弊社では強く感じており、具体案を検討中である。一部、待ちきれない為、業界統一イメージ、製造メーカー指導型にて構築している。
- 業種を越えて、一つのものにしてほしい。
- ・他の会社と複数にからむことであるため、何らかの標準は、絶対に必要であり、端末の 機種も一機種に限定しない方式とされたい。
- ・今後、産業界にEDIが益々浸透してくると思われる。EDI利用企業の過剰投資を避ける意味でも、又、EDIを普及させる意味でも、EDIの標準化は必須である。標準化の範囲は、企業間のデータ交換部分(メッセージの標準化 etc)にとどめ、各企業は企業内システム部分で差別化を図っていけば良いと思う。
- ・今後も企業間のネットワークを構築し、推進する必要があり、標準化は絶対必要で、特 に公的機関に対しても進めてゆく必要がある。
- ・関係する企業が、鉄鋼、運輸、商社、製造(電機、自動車、化学)グループ内と多方面 になるため、業界標準が出来ても、それぞれの業界標準に対応するとなると統一標準が 無いに等しくなってしまう。かと言って、当社独自の仕様ですべての取引先に展開する ことも不可能であり、業界を越えた統一の標準ができ上がるのが望ましい。
- 通信とコンピュータ利用によるEDI化を、真に有効活用する為の必須条件と考える。
- 業際、国際化の進展の中においては、EDIの標準化はインフラとして不可欠である。
- ・当社の取引形態から、当面あまり必要性を感じていない。しかし、将来EDIが一般的 に普及した段階では、出来るだけ少ない種類の標準にして行く方向を希望する。
- ・標準化は当然必要であると思うが、業界標準等で既に広義のEDIを進めた企業(業界) にとっては、新たに国内(国際)標準が定められたとしても即時対応はむずかしいと思う。
- ・社内一般のコンピュータ化が進んでいる現在、過去のオンライン化による差別化という 考えは通用しなくなってきている。オープン化の要望が納入側から出てくるであろう。
- ・EDIの標準化は、業界あげて取組むべき重要な課題と考えている。経営資源の効率的活用を図り、経済的効果を得る為に、EDIは必須のツールとならざるを得ない。特に、流通業界は、不特定多数で、規模の異なる、業種を超えた取引先(卸、メーカー、倉庫、運輸、金融等)と一般消費者を相手に事業を行うという特性から、標準化無くして、効率化は望めず、それ故、当業界は、早い時期から標準化に取組んできた。

- ・EDIの標準化を進める場合に、ややもするとファイル転送と言うシステム技術的な側面に重きを置いて検討を進めがちだが、日々のオペレーションに直接係わり、得られる効果が極めて大きくEDI化の前提ともなるべき伝票フォーマットの標準化が最も重要な検討課題であると考えている。伝票は、業種業態の特性を反映したものであり、業界別の取組みが必要となるが、未だ未整備の業界に対しては、助成策も含め、国も積極的な働きかけをしてゆくべきではないだろうか。伝票フォーマットの標準化によって業界を超え、共通で使用可能な共通データエレメントと、業界固有のデータエレメントが明確になり、シンプルで効率的なEDIの標準化が可能になると考える。EDI化の進展に伴って、今後問題となるであろう次の諸点の検討と具体化が望まれる。
 - ① 電子取引に係わる法制上の整備
 - ② セキュリティー・システムの標準化(ローコストで容易にセット可能な簡易暗号 機の開発等も検討の一つと言えます。)
 - ③ EDIと通信プロトコル (OSI) のアプリケーションを含めた維持管理体制
 - ④ 通信ネットワークの整備
 - ⑤ 各種識別コード(企業コード等)とコード体系の整備、及び維持管理体制
- ・EDIの標準化は必要である。標準化されない場合、各業界や団体毎に多数の標準ができる可能性が高く、業界や団体を越えたEDI化を行う時、多数の標準に対応しなくてはならない。だから、EDIの標準化は必要だと考える。
- ・社内システムの整備が一通り完了している現在、企業の壁を越えた情報化を進めなければ情報化の採算性が見いだしにくい。さらに、交換データの標準化がなされていれば、コストのメリットが大きい。
- ・取引先に対してまだEIAJのフォーマットを使用せず、独自のフォーマットで管理しているところもあり、処理の統一ができず困っているのが現状である。また、納品書の形式においても書式が一定でなく、取引先毎にプリンター出力を行うことが要求され、プリンターが専有化される傾向にある。よって、機器の管理においても無駄な購入をしている面がある。
- ・EDIによる取引対象企業を広げるにあたり、標準化はその大きな推進力になり得る。 この点で標準化が各分野で進展することを期待している。
- EDIの拡大を推進していく上で是非必要と考える。

- ・異企業とのオンラインによる商取引データの交換を、標準化された規約に基づいて実施 する事は、商取引の迅速性・正確性・事務効率化に大きなメリットをもたらすと考えて いる。
- EDIは必然的にやらざるを得ないであろう。
- ・EDIの標準化は必要と考えるが、使い難い標準化では意味がないので、シンタックスルールは完全標準化、データフォーマットやデータエレメントは業界別に標準化する等の考慮が必要である。また、漢字の問題もあり、国際標準と国内標準(漢字対応)ということで分けた方がよい。
- ・当社はEDIに関する種々のコンサルテーションを行っているが、日本の各業界の事務 部門における生産性はまだまだ低いので、EDIは是非必要だと考えている。
- ・EDI標準は、国内外の企業が商取引を迅速かつ効率的に行うための一主要基盤であると考える。しかし、EDI標準は、業界標準、国際標準および国内標準(CII標準)のように各種標準が存在するため、EDI導入推進にあたり、適用するEDI標準の選定に苦慮しているのが現状である。
- ・当面は業界での標準化を望む。
- ・現状では、異なる手順・フォーマット(取引先のフォーマット)による多手順・多端末 現象がおきている。EDIがせめて業界間、望むべくは日本標準が制定されれば、これ に対応するコスト、時間等の大幅な削減となる。
- ・コード、レイアウト等の情報内容の統一、運用ルール、通信手順の規格化により、迅速 にEDI化が可能になり、又、正確な情報の伝達が出来る等々のメリットがあり、今後 のネットワーク化にとって不可欠なものだと思う。
- 現在、臨床検査業界に於いて、標準化を取り纏め中である。
- ・標準化の必要性は特に有る。標準化がなされない場合は、ソフトの開発時間、費用がか かる。
- ・現在は時に必要性を感じていない。
- ・受注者、発注者共にメリットがあり必要である。
- ・多種のデータを、多数の企業とやりとりするには、あるレベルまでの標準化が必要であると考える。特に部品関係の企業は、多くの発注元を持つ場合が多く、発注元メーカーにより通信方法が異なることがあれば、部品メーカーに多くの負担をかける。当方にとっても、ネットワーク化を拡大する上で支障になる可能性がある。

- ・少なくとも業界内では標準化が必要と思う。
- ・ここ1~2年間のうちに、代理店、関連会社、海外拠点とのEDI化が急速に進展する ことが予測されるので、国際標準を含め、EDIの標準化はますます必要となる。
- ・各社、まちまちなデータフォーマット、コード体系の場合、複数の取引先とのEDIを 行うときに、ソフト開発に多大な工数を必要とする。標準化は絶対的に必要なものであ り、当社がEDIを現在導入できない理由でもある。
- ・標準化の進展は望ましいと思うが、一般企業には必要ない。しかし、物流関係の企業に は不可欠の時代になっている。
- 企業毎でも良いから、統一の会社コードを設定できると良い。
- ・在庫照会、受発注、資金決済のペーパーレス化、効率化、省力化、迅速化には、EDI は必須であるが、システム化の工数が多く、ユーザーの負担が大きい。 汎用性のあるEDIの標準化を促進してほしい。
- ・日本企業のネットワークのグローバル化、複雑化、海外の多国籍企業の日本への進出という観点から、EDI標準化の動向には注視している。
- ・データ処理に掛かる人件費のコストダウンの上でも、是非標準化を進める必要がある。 又、一取引先が先行してEDI化を進める為に、取引先の差別化が進められ、業界内の 統一がとれなくなり、弱小メーカーは、システムコストが上昇し、対応しきれなくなる
- 標準EDIに移行するために次の過程を経ると思われる。
 - ① 強者による系列化
 - ② 取引の多様化
 - ③ 複数フォーマットによる伝票洪水と多端末現象
 - ④ 標準EDIの指向
- ・標準化は、EDIにとって必須のものであり、多くの業種、企業で使えるものを作るべきである。しかし、企業によって業務のオペレーションが違う以上、ある程度の融通性、しかも、標準化された融通性をもたす必要がある(受信確認の有無や自由使用欄など)。そうしないと、誰も使えない標準になることになってしまう。
- ・ビジネス文書のやりとりをEDI化することは、作業の軽減、省力化、処理の正確性向上、スピードアップ、ペーパーレスなど多くのメリット・効果をもたらすと考える。しかし、これを取引する企業ごとに進めていくと、コンピュータや通信などの設備費とアプリケーションソフトの開発費の増大を招くことも考えられる。これを防ぎ、円滑にE

- DI化を進めるためには、幅広いEDIの標準化が必須と考えられる。
- ・欧米に比較した日本でのEDIの標準化の立遅れは、受注者側のコストアップ、ひいて は商品のコストアップを招き、国際競争力を失いかねない。社会における、ファンダメ ンタルズと位置づけ、標準化に高い必要性を持たせるべきである。
- ・ペーパーレス取引や資材調達・物流の効率化、取引先のシステム化推進など、波及効果が大きい。積極的に取り組み、進めていきたい。
- ・当社のような組立産業においては、部品メーカーとのEDIは必須であろう。今後ますます重要性を増す。しかし、そうはいってもEDIの相手は事実上固定しており、それらとの間で独自方式を確立してしまっているので、現状では不都合は感じない。
 - 標準化は、今後の通信技術の進展を考慮した将来性のあるものでなければ意味はない。
- ・企業間情報取引が進展するにつれて、企業間取引相手・授受情報が多岐にわたり、その対応には、個別かつ授受情報の種類毎に取り決め、取引を実施しており、その負荷は膨大である。また、通信プロトコルもまちまちであり、これらの対応負荷も大変であるが、迅速性に欠ける。従って、EDIの標準化によって接続回線の輻輳化、運用の複雑化、設備費用の増大、多端末現象等の回避を是非とも行う必要がある。
- ・今後、企業間情報の交換が進み、情報スピードアップ、業務効率化のためにもEDIが 不可欠となり、海外ネットを含め標準化が必要であり、それに伴い十分なセキュリティ 機能を持つことが重要である。
- ・EDIは将来の経済活動の必須条件である。但し、現状のコンピュータシステムの脆弱性、硬直性(何れも人力、コスト上の要因が大きいが)が問題である。

2.2 国内におけるEDΙ標準化活動

[建設業]

- ・各業界の自主性に任せている感が強い。各業界特有の取引習慣はあるものの産業界全体 での標準化で充分耐えられるものと思われる。先行している業界の事例を集約して、通 産省主導のもと、産業界共通標準を推進する必要がある。
- ・普及状況を見るとそれほどでもない。業種、業務の違い、通信方式、通信手段の技術力 不足等、様々な問題もあるが、法的な整備の遅れが致命的と考える。官民合同での標準 化(複数官庁の協力が必要)が望まれる。

〔繊維工業〕

・戦略的情報システムの構築が、企業の生き残りをかけた企業戦略になるので、EDIの 使用が活発になる気配がある。

[紙・パルプ加工業]

・海外では、UN/EDIFACT、ANSI X.12 等の規約があるが、それらは日本 語対応の面で問題がある。日本では今のところEIAJが一番進んでいると思われるが 業界をまたがって使われていない。日本の場合、ネットワークを商取引のインフラとし て使うのではなく、差別化の手段として使っている部分もあるので、官庁主導型で普及 を図らないと、いつの間にか小さな範囲に限定された規約がたくさんできてしまい、業 際ネットワーク構築の段階でそれらが逆にネックになるのではないだろうか。

〔化学工業〕

- ・EIAJ標準が我国標準としての地位を確立し、普及すると良いと考える。
- もう少し積極的なPRが望まれる。
- ・特に業界を超えたプロトコルの確立とセキュリティ技術の確立の必要性を強く感じている。
- ・ビジネスプロトコル小委員会の活動をとおして、標準化を推進している。ただ、既にEDIのためのシステムがあり、また、標準化活動が遅々として進まないため、標準BPの取り入れは、なかなか困難である。そのため、①ある程度の強制化 ②標準を取り入れるためのシステム変更費用への補助または減税等、が望まれる。
- ・業界別標準から、OSIのレベル7での世界標準は、国レベルで推進してほしい。
- ・CIIシンタックスルールのもとでのEIAJ標準のデータフォーマットによるEDI の標準化が当面最良と考える。

- ・早く規約を制定し、真に使える内容が必要である。但し、拙速では意味がない。
- ・現在、各業界の企業はEDI化を普及している時期だと考えるが、EDIの標準化が、 各企業の思惑等により遅れがちであると思う。EDIの標準化活動については、標準化 に必要な基本仕様の普及を早い時期に始めていれば、従来よりも標準化に準拠した企業 も増えたと思う。
- ・EDIの遅れが外国企業からみて、又一つ別の障壁とならない様、もっと積極的に推進 してほしい。
- ・各業界・企業において、最近になってやっと標準化のニーズが高まってきた段階である と思われる。このような中で、各業界をすべて網羅した国内標準プロトコルを策定する のはまだ難しく、現状のようにとりあえず業界単位での標準化を推進するのが現実的で あると思われる。
- ・業界標準化はできているものの、今後は業界を越えた標準化が進んでいかないと、種々 の業界毎の対応を余儀なくされることとなる為、是非必要と考える。

〔石油・石炭製品業〕

・現状では、一部の業界あるいは大手企業を中心に進展しているEDIを、国際的な標準 化活動の高まりを受け、総合的な標準化を行いつつあるということは、EDIのメリットを高めるためには、非常に効果的なことであると思われる。また、当社が標準化されたEDIを利用することによって受けるメリットも大きいと思われる。

〔ガラス・窯業〕

・既存の標準をそのまま継続して活かしてほしい。

〔鉄鋼業〕

- ・①企業活動の多様化、広域化、国際化を踏まえ、国内・海外のEDI化推進事例を研究・紹介し、国内のEDI標準化の方向を示すことで、EDIの普及・促進を図る必要がある。②さらに、商品規格体系であるJISが産業高度化を支える基盤となったことを考慮すれば、業界単位を超えた業際的な標準化体系(もしくはモデルケースとしての標準型)の構築が必要である。③重複投資を回避する意味で、商取引を主体とした関連業界等で連携し共同開発を行う場が必要である。
- ・種々の業界総てを考慮した標準化は非現実的で、まず業界ベースに標準化を進めること の方が実情にマッチしていると思う。しかし、種々の業界も定期的には参集し勉強会等 を持って、業界特有の言葉(ファイル項目名)の相互理解を図って行く必要はある。

[非鉄金属・金属加工業]

- ・帳票レベルに至るまで標準化されるのがベストだが、現実的には不可能である。次善の 策として共通の辞書(データエレメント集)を作成しようというEIAJやCIIの現 在の取組みは、合理的だと思う。
- ・関係取引先との足並みが問題であり、又コストの低減に対しての施策も含め対応して行ってもらいたい。
- ・既存の業界標準を、今後どの様に扱うべきか、十分に検討する必要がある。
- ・現在は、取引先毎のビジネスプロトコルで実施しているケースが多い。国内一本化が望ましいが、業界の固有項目もある為、国内及び業界別標準の2本立が現実的である。
- ・EIAJ標準から唐突な形でCII標準が出来た感が強く、全体的なイメージが描けないまま、委員会を設けて早急な対応を迫っているように思えてならない。毎一度、全業界に渡る説明会なりを開催し、CII標準についての基本的な考え方を説明すべきと考える。

[電気機器製造業]

- ・電気機械業界ではテスト運用を始めているが、広く理解されていない。特に、素材、材料業界への衆知が遅れているように思う。
- ・業界別に標準化活動が進められているが、国内の統一標準化には至っていない。ある程度、強制力のある標準化を早急に進めるためにも、CIIの積極的なリーダーシップを期待します。発注者としては業界標準に従ったとしても、受注者としては発注者が(同じ業界であっても)プライベート標準を要求してきた場合に、これに従わざるを得ない場合があり、同一業界内同志でも完全な統一化は困難と思われる。
- ・広範囲に、かつ積極的に標準化活動を推進して欲しい。
- ・EIAJのEDI標準化活動の動きが他業界へも波及し、国内標準へと発展することを 希望する。また、JIPDECもデータタグ番号のみならず、標準メッセージ、共通コード、運用ルール等あらゆる標準化項目に対し積極的に管理運営されることを希望する。
- ・企業間では、いろいろな種類のデータが交換されているが、業界標準においてでさえも、なかなか使用可能なフォーマットができないのが現状である。また、ビジネスの上では、 今後ますます海外の企業あるいは海外の自社事業所などとのデータのやり取りが増え、 EDIの利用なしにはすまされない。したがって、早急に標準化を求められている今、 日本独自のものを作るより、国際標準になりつつあるEDIFACTを母体にして、そ

れを使用するための標準化を行った方が良いと考える。

- ・相手先企業により、自社独自情報ネットワークによる情報交換と、業界レベルの標準規格にもとづいた情報交換とを使い分けているのが現状である。
- ・各業界を横断した形での打合せ・調整が必要である。
- ・現在、EIAJの標準化活動は積極的に推進されているが、今後、各業界ごとに独自活動が行われると混乱するため、早急に業界間の調整が必要であろう。EIAJ標準フォーマットが決められても、運用面ではまだまだ各社独自のルールで行われており、この方面での標準化(VAN to VANのルール化等)も決めてほしい。
- ・漢字コードの統一が必要である。
- ・業界毎に統一されつつあるが、複数の業界との取引を行っていることを考えると、全国 全業統一のEDI標準がほしい。
- ・最近、いろいろな業界で標準化活動が活発に行われているようだが、今後は業界間のE DIも普及されてくるものと思われる為、他業界の標準に対応出来るように、国内での EDIの方向性を統一する事が必要である。
- ・商慣習の差を踏まえ、いたずらに世界標準に盲従すべきではない。但し、日本オリジナルだけで良いとも思わず、取引実態に応じた標準を用意していくことが重要と思う。
- ・EDIの必要性はまちがいないとしたら、これの標準化は早急に行われなければならない。先行しているEIAJ標準を一般標準として施行することは、当然なこと。
- ・EIAJで先行的に進んできたEDI業界標準をベースに、通産省がEDI国内標準を 策定しようとする動きは、時宜を得た政策であり、弊社としても積極的に対応していき たい。
- ・その活動に賛成である。現実には、企業間だとか、業種間での調整が難しいと思う。
- ・電子機器製造業界に属しており、積極的に業界標準作りに参加している。
- ・現在、もっとも進んでいるEIAJ標準は取引に関して業界として必要とする情報及び 内容がほとんど網羅され、標準化されたが、その情報を発注側で具体的にどの様に使う のか、余り検討されていない。技術的な面が先行して実際の運用面が遅れているため、 EDIの利用の段階で各種の問題点が発生し、受注側のアプリケーションパッケージソ フトを開発する上でも種々の課題が発生する。運用面の検討にも注力すべきである。
- ・データ交換の標準化の前提として対象業務の規約(標準)が重要と思われる。
- ・業界ごとに異なった規格をベースにEDIを実施することは好ましいことではないので、

シンタックスルール等の情報表現レベルの規格化を国際標準に準じて、早期に行うべきである。

- 国際標準との対応付けが急務である。
- ・国内の電子機器製造業界を中心とした(社)日本電子機械工業会の標準であるEIAJ標準は、業界の標準として成立し、大変注目された。このEIAJ標準が他業界へ適用するには、さらに改善が必要である。今後、国際標準との整合性についてさらに見直しを行い、新しい標準を構築し、製造業全体の標準に成長させる必要があろう。
- ・EDIの標準化は必要と考えている為、積極的に標準化活動を行い、早く標準を作って ほしい。
- ・CIIシンタックスルールの開発は、国内の業界横断型EDIを実現するための大きな前進であると考える。しかし、実際に国内EDI標準として普及させるためには、標準メッセージの開発及び国際標準に対する対応策の明確化が必須であると考える。また、EDI標準のたび重なる改訂は、EDI標準の各種バージョンを発生させることになり、EDI普及のための大きな障害となることも考えられる。ついては標準メッセージの開発計画ならびに国際標準への対応策の早急なアナウンスと、それらの青写真をもとにした国内標準の展開についての国家的見地での推進を切に希望する。
- ・現在は日本電子機械工業会が先行しているが、是非他業界へも働きかけ、国内標準を早期に確立して欲しい。
- ・業界毎の標準化は、それぞれ進んでいるようだが、今後は企業コードの様に、業界を越 えた標準化が必要となって来る。

〔輸送用機器製造業〕

- ・電機業界のようにすでに導入されている業界もあれば、検討段階の業界もある。国内で標準化が進められれば、より一層業界内での標準化が進むだろうし、業界間でのEDIも可能になるだろう。期待するところが大きい。早期実現を目指してほしい。
- ・企業の大小に関係なく、全ての会社が利用できるようにすべきと思う。
- ・国内だけのEDIがあまり展開されても困る。国際的なEDIを十分考えた標準化が望ましい。
- ・米国・欧州の動向、国内の各業界の動向、系列会社の取組状況・動向をみながら、当社 の位置づけを考え進めるべきである。
- ・国連のEDIFACTを国内にという考えもあるが、商習慣のちがい等や漢字の問題も

あり、国内標準となりにくいと思う。国内は独自の標準化でも良いと思う。むしろ、それぞれに対応可能なトランスレーターやVANの有効利用による解決の方が、すっきりするのではないか。

- ・業界別の標準化が主流で、真の意味の標準化はまだまだの感がある。各業界は、業界で 閉じた標準化をやめ、より広い立場に立って推進すべきと思う。
- ・各業界単位で推進母体が確立された体制で積極的に展開され、実用化ないしは実用化に 近い状態にあることを認識、理解している。また、実用化した業界においても全てがそ の標準化仕様で情報の授受が行われていないことも理解している。EDI標準化推進に おいて官民一体となっての推進により、本当に全体を統一した標準化が可能と思われる。
- ・全体統一の標準化の結果として逆に心配されることは、より広く包含するために最大公 約数を狙う結果、標準に対応するための費用(ハード・ソフト)が増大してしまう恐れ がある。EDIの標準化は無理な統一はせず、最低限の部分に限定すべきと考える。ま た標準へはメーカーが積極的に取り組む必要があり(例えばF手順)、廉価な機器を提 供することが必要である。
- ・産業情報化推進センターの活動に注目し、より多くの企業が標準化に取り組むことを期待している。但し、既に多くのネットワークが完成し稼働している現実を踏まえ、具体的な標準化への移行に当たっては、まずは大枠の標準化から実施し、時間をかけて徐々に枠をせばめ、詳細部分は各業界に任せるという方式を望む。

[一般機械器具製造業]

・国際標準メッセージと既に利用している業界標準(流通業界のJCA標準、金融業界の 標準、他日本電子機械工業会の標準(EIAJ))との上手な整合性を期待したい。同 時に、EIAJ標準で定めている標準企業コードは、全世界でユニークなコードを保証 するよう期待する。

〔精密機械器具製造業〕

- JIS化の動きが遅すぎる。
- ・現状は、取引状態の保存を電子データ保管・帳票保管の二重で行うため、国税局よりの 監査が緩和されることを望む。
- ・かなりEDIの標準化活動が進んでいると認識している。当社としては、早く全面採用 に向け検討を進めることにしている。但し、各活動において先行ユーザーのデータ交換 の効果実例等の紹介、宣伝 (アピール) がさらに必要であろう。

・一部、大手企業で進んでいるようであるが、先進企業の方式を全体標準として決定されては個々の企業で弊害も発生する。業種全体・業界全体を視野に入れた上で将来動向(業際取引・国際取引法など)を十分考慮して進めてほしい。

〔その他製造業〕

- ・チェーンストア業界の様な統一伝票まで制定できれば、かなりの効果が期待できるが、 残念ながら当業界ではそこまではできておらず、納品書等は各社別にソフト開発が必要 で手間がかかっている現状である。
- ・標準化は、まず業界単位で必要であると思われる。出来るところからやればいいのでは と思う。 (統一伝票→売上データ→請求データ→入金データ)
- 適度な数にまとめて欲しい。

〔卸売業〕

- ・標準化は進んでいると思うが、各社でそれぞれに特長が有り、当社としてはやりにくい。
- ・日本の風土からすれば、当初は行政主導で標準化のハズミをつける事が必要と思う。
- ・当社では現在家電業界の卸・小売店との間、及び大手電気メーカーとの間でEDIを利用している。家電業界では量販店(NEBA)がE-VANで標準化されているが、これとて必ずしもまだ全量販店が使っているわけではない。又、フォーマットは同じでも異なるVAN業者を使っている際にはそれぞれ別途に対応せざるを得ない状態である。
- 各業界(特にメーカー対小売店)毎にバラバラである。
- ・E I A J 標準を採用している顧客も多いが、厳密にチェックすると微妙に違っていることが多い。
- ・当社の業務内容、取引先との関係から、EIAJをEDIの標準として考えており、各 社セミナーなどにも参加している。他業界のEDIに関する標準については情報を持っ ていないが、EIAJに関して言うと標準化は進んでいると思う。
- ・国内関連会社間は、社内コードで統一して運用する。社外EDIについては、税関〜海 貨業者、SHIPNETS等の規格が、金融その他のネットとも統一されるのが望ましい。
- ・各社の力関係を越えた公共のとりまとめを、早期に願う。
- ・協力できる範囲で対応したい。

[代理商・仲立業]

・大変良いと考えている。ある程度データ項目をまとめて管理でき、標準的なシステム構築ができる。

[小売業]

- JCA-H手順開発に参画している。
- ・ビジネス分野ごとのニーズをベースとして、業際標準を設定し、コンバージョン・ソフトの開発普及と、国際化をにらんだ取組みが必要である。
- ・クレジット・カードの普及により、金融業界ではEDIが早くから利用されてきたが、 他の業種では、まだまだ利用されていないようである。国内におけるEDIに標準化活動を進めるには、各業種・各社間の相互利益及び現行資源の有効利用の観点から、かなり困難と考えているが、弊社としても、各社と協力し標準化活動を推進していくつもりである。
- ・先進企業及び先進業界において先駆的に実用化を進め、有効性を確認していく必要があると思う。
- ・標準化活動については、先ず、PR不足を強く感じている。特定の業界を除いて全体的 に見れば、現状では、一部の業界の識者のみが内容を把握をしているにすぎず、各々の 企業の担当レベルまで周知されているとは思えない。これは、EDIとは何か、СII シンタックスルールとは、その必要性は、標準化とは、メリットは、標準化の推進体制 は、国際的な動向は、と言ったことについての平易な解説書、もしくはパンフレットが 作られておらず、また、セミナー等の啓蒙・PRの場も極めて限定された範囲でしか実 施されていないことに起因していると思う。EDIは必要であり、身近な課題であるこ とを広く認識させて行かなければ標準化も進まず、特定の業界のみのツールになってし まう恐れがあり、国際的にも取り残される結果ともなりかねない。技術的な検討とあい まって、普及・啓蒙の為の工夫とツール作りをし、業界団体をはじめ、広く一般企業へ も強力に働きかけることが望まれる。現在の標準化活動は、今までの経緯から、国際的 な対応に当たっては商取引上、国際的なEDI標準を必要とする業界と国が、国内標準 対応については、CIIが中心となって進めてきており、クローズされた世界での標準 化推進との感はいなめないが、最初は、どこかメインプレイヤーが先駆的にやらねばな らないことであり、やむ得ないこととは思われる。しかし、国内標準対応向けのCII シンタックスルールのプロトタイプ版が出来た現在、オープンな世界で充分な論議を重

ね、広く国内産業界を前提としたトップダウンのアプローチとの印象をぬぐえない。

標準化は、実用化されてごそ意味があり、ボトムアップで進められることが望ましい 姿と言える。しかし、今回のCIIシンタックスルールは、既に出来上がったものを、 どう使わせてゆくかということがポイントであり、現状を是認した上で、スムーズに移 行させる為の指針ないし、考え方を明確に打ち出すことによって、徐々に、その必要性 を認知せしめ、結果としてボトムアップで標準化が進められる様に図ってゆくべきでは ないかと考える。その為には、先に述べた啓蒙・PRを積極的に進めることが必要不可 欠ではないかと思う。

〔金融業〕

・国際標準の一致を目指していくべきと考える。

[保険業]

生保VANの様なものを拡大して行くべきだ。

[運輸業]

- ・大手荷主の指導で系列会社・下請業者間で独自に先行している傾向と聞いている。標準 化は明確化して置かれて、順次置き変える様対応される。
- ・2年先位から急速に活発化すると思う。
- ・国内における標準化活動に関して、まだ理解する段階にない。
- ・日本では、漢字およびカナなどのUN/EDIFACTで考慮されていない文字種を取扱う必要があり、世界標準を作るのは致し方ない面がある。ただ、EIAJ標準のようにStructureまで変えてしまうのは疑問が残る。業界標準が乱立する前に、UN/EDIFACTの日本語版を作成するような形で、国際化に立遅れないようCIIでリードしていただきたい。。
- ・業界ごとに標準化を進めており良いと思うが、あまり国際標準を意識していないように 思える。
- ・標準化の推進に最も重要な要素の一つがイニシアチブである。業界内で最もイニシアチブのとりやすい組織(旅行業界では、国際が I A T A、国内は J A T Aがある)に音頭をとってもらいたい。
- ・EDIFACT (ISO 9735) へ進む前に、ANSI X.12 の様な国内標準が 望ましい。

〔倉庫業〕

- ・外圧(EDIFACT)に何とか合わせようという意識が一部にあり過ぎるのではないか。「広く普及しないEDIは意味がない」ということを再確認する必要があるのではないか。
- ・メーカーの利害、業界あるいは企業のユーザー囲い込み方策等からEDIの標準化が遅れていると思う。

〔電力・ガス〕

- ・先行している E I A J 標準をベースにして、とにかく業界横断的な標準を早急に作成すべきと考える。又、物品の購入以外の分野についても、国内全体の E D I を底上げする意味から、先行している企業・業界のものをベースにして標準の作成を急ぐ必要がある。
- ・業界間のEDI推進にあたっては、各業界で広く合意された(各業界の意見・要望を採り入れた)国内標準ともいうべき標準が必要であり、できるだけ早く、この標準が作成されることが望ましい。
- ・現在の活動は業界単位で進んでいるが、実際に取引することを考えた場合、業界標準の位置づけでは運用面、コスト面での問題発生も予測される。この際、一歩押し進め、国際標準も視野に入れた国家的レベルでの標準確立を待望している。この場合、単に標準ビジネスプロトコルの作成のみではなく、各文書の保存・管理基準も含めた標準化であれば、さらにEDIの導入・普及が進むと考える。
- ・業際的なEDIが進展すれば、多業務とのEDIシステムの相互接続が必要となり、業 界横断的な、同一のビジネスプロトコル標準化が望まれる。
 - ① 標準的な電子計算機を相互連携する汎用ソフトウェアパッケージの開発が望まれる。
 - ② OSIによる相互接続プロトコルの標準化が急がれる。
- ③ 各業界においての利害調整、普及啓蒙等の推進すべく組織体制の整備が必要である。
- ・業界毎に標準化に取り組んでいるが、業界によってかなり差がある。EDIの普及をは かるためには、全業界を網羅した標準を早急に策定する必要がある。
- ・ 通産省を中心に EDIの標準化活動が行われているが、その結果どの業界間で行われ、 効果が出ているかについてはよく知らない。効果をあげている実例を知ることにより、 標準化活動が促進されるのではないだろうか。
- 一部の業界では、ビジネスプロトコルの標準化が進んでいるが、業際取引や国際取引への対応を考慮すると、国家レベルの標準ビジネスプロトコル(国際標準のEDIFAC

Tも意識して)の早期作成が望ましい。メーカーには、トランスレーターの品揃えにより、ユーザーが使用ハード・使用プロトコルを意識せずEDIを実現できる環境整備を望む。また、法的(監査上)保存(印付き)を必要とする書類等について合法性を認めることが本来のEDI機能を発揮する上で重要である。

・CIIビジネスプロトコルは製造業以外の金融業、流通業等にも広げるべきであると考える。

〔新聞・放送・広告・通信業〕

- ・国内においても業種・業界を超えたEDIの標準化活動が急速に活発化しているが、業際標準化は国内標準確立に向けての重要な足がかりであり、今後の普及にも大きく影響すると思われる。貴協会で「EIAJ標準」をベースに作成した「CII標準」について、関係業界との調整をさらに進め、JIS化の促進を図られたい。
- ・当社自身としては、国内 E D I のニーズは低いですが、国内の標準化と国際 E D I とのかねあい、整合性には興味をもっています。
- ・官庁の縄張り争い解消が第一である。これができないと国内のEDI標準化は進展しない。
- EDIサービス提供者であるVAN事業者間のルール確立と事業基盤の確立を急ぐべき である。
- ・我が国のEDIは、専用フォーマットが先行し、標準フォーマットのEDIが著しく遅れているため、産業界の大幅な潜在的損失を招いており、標準EDIの早期普及が望まれる。このために各業界標準メッセージの制定、統一コード化など、EDI使用環境の早期整備と促進が急務である。又、銀行、運輸などサービス産業へのEDIの適用あるいは異業種間EDIの促進、研究会の設立など積極的な推進が望まれる。

〔情報処理サービス・ソフトウェア・情報提供業〕

- 国内においては、企業内、業界内の独自ネットワーク化が進んでいるため、国内標準を 設定したとしても普及にはかなりの時間を要すると思う。また、漢字の問題、商慣習の 問題等があるため、国際標準であるEDIFACTがそのまま国内標準として利用され ることはないと思う。
- システム再構築の機会をとらえ標準プロトコルの適用を段階的に拡張したい。
- 業界ごとの活動が中心となるのではないか。

- ・現在、EIAJの動きについては良い流れで展開していると思う。しかし、JCA、全銀は、本来の意味のEDIから、日本的なEDIに変化し、個々の企業毎に自由度を高くしすぎた為に、各企業は逆に大変なこととなっている(主にソフトウェア開発)。多少、初期の開発に費用がかかっても汎用性のある形にしないと、大きく業界、企業を巻き込んでいくのは難しいのではないか。
- ・どの業界も、自分の業界はEDI化が困難であり特殊な業界であると思っているところが問題だと考える。
- ・標準化活動に参加されている方には、さぞ大変でしょうが、是非頑張って推進して欲し い。
- ・通産省及びメーカーが一体となって、グローバルな見地から方向付けをする必要がある。
- ・特に現時点では話題になることが少ないがビジネスチャンスの面で興味を持っている。
- ・情報を収集する域を脱していない。
- ・取引先の要望に対応している。
- ・国内の標準的な通信手順に対し、メーカーのソフト対応を早くしてほしい(特に、追加・変更機能に対して)。
- ・国内では中小企業との取引が多いため、中小企業へのEDI化推進が必要である。その ためには、ある程度の強制化、EDI推進(関連業務の情報化も含め)への国からの助 成、VAN活動のためにVAN業者への助成等が必要と思われる。
- ・企業間のネットワーク結合は、今後、加速度的に進むと考えられ、EDIはそれに伴って増加するであろう。現在は、特定業種にかたよっているEDIの標準化は、社会のインフラの整備によりあらゆる業種に拡大されて行くであろうが、現状は各社コストに見合う効果が見定めにくく、積極的になれないのではないだろうか。
- ・実現に向け、コードの統一、法的問題の検討等を進め、利用出来る環境を早く作り上げ てほしい。
- ・日本のEDI標準化活動は、産業界全体から見ると、まだ一部でスタートしたというレベルである。今後、官庁/各業界のリーダー企業を中心に積極的な投資(人的、予算的)が望まれる。また、国際化の観点からEDIFACTをもっと研究し、国内標準としても利用できるかの検証が必要ではないか。
- ・業界ごとに標準化が行われているものの、バラバラであまり進んでいないように思う。
- 日本語対応の問題、特殊性を解決しつつ、国際標準との融合が必要である。

- 通産省が「電子計算機の連携利用に関する指針」をまとめ、今後産業界を超えたビジネスプロトコル「CII標準」を利用し普及されると聞いている。建設業界、電力業界、 鉄鋼業界、EIAJ、石化協等がCII標準を段階的に取り入れようとしており、商社のように多種多様の商品を扱っている会社にとっては、大変歓迎すべきことと言える。
- ・標準化活動は、各社の自発的な人々の集まりで運営されている。社内での仕事と、標準 化活動での仕事を効率よくこなすためには、外部団体からの要請が社内で仕事の一部と して認定されなくてはならない。今後の標準化活動は、この点を考え、活動メンバーが 十分な活動時間を費やせるよう、様々な各社、団体のサポートが必要と思われる。
- ・EIAJの活動に期待しているが、全銀協などとの連帯強化、さらにEDIFACTへの日本的取引の標準組み入れ化に、全産業が取り組むべき問題であろう。個別巨大企業による囲い込み型EDIを独禁法で禁止すべきである。
- ・鉄鋼・自動車・電気・建設・ガス等々の業界では、EDIのコンセプトに基づく業界標準化の検討が行われており、一部の業界では実稼働フェーズに入っている。各業界個別のEDI化では各々に特化したネットワークの構築になり、将来にかなりの問題を残すようになると思われる。従って、OSI等の早期実用化によって、日本国内統一の通信プロトコル、シンタックスルール、ネットワーク等を検討し、業界間の情報取引が円滑に行えるようにする事が重要と考える。
- ・標準化は必要であるが、データの利用法は各社まちまちである。基準を高位に上げる事 による設定期間が延びることとなり、早く利用できる活動が優先されるべきである。

[旅行業]

公的機関が標準化しないと、その会社と取引できないとかの強制的手段をとらせることをもっと検討すべきである。

〔娯楽・その他サービス業〕

- ・まだ、製造業が中心であるが、もっと幅広い業種で使えるようなものにしていってもらいたい。
- ・論理フォーマットにより分かれるよりも、フォーマット情報を含んだ型での論理データ が標準化されれば、後は通信レベルでの標準化のみで良いのではないか。
- ・EIAJとSHIPNETS以外の活動については、よく知りません。建築業界にも当 社は属しているので、業界のEDI化の推進を望む(CADデータキャビネット)。
- ・各業界により推進組織・監督官庁の支援体制も整備されつつある様だが、具体的導入・

活用の場面となると国内では検討が始まったばかりというのが実情であると思う。日本の場合(特に当社業界)は、中小企業が多く、全ての企業がEDIに対応できるかどうか疑問であり、100%実施できないとコストアップの要因にもなりかねないのではないか。

・他業界には無知であるが、標準化の推進は好ましい方向であると思う。

〔その他業種〕

- ・各業界で標準化活動が進められており、その必要性及び緊急性については大いに感じられるが、早くから標準化に着手し実績を積み重ねて来た業界と、これから標準化活動を始めようとする業界の差、またEDI化が成熟している業界とそうでない業界との差が著しいと感じられる。今後は、業界を超えて業際レベルとなった場合にこの差が標準化活動の障壁となりかねないと危惧している。業界間の調整や、レベルのボトムアップが図れることを期待したい。
 - ・業種・業態別の益々の統一が望まれる。
 - ・行政(通産省)の強力なイニシアチブで、国内統一標準を制定し、各業界の標準の再構築をすすめることが必要である。現在、各業界で標準化が行われているが、どの部分が共通で(あるいは類似で)どの部分が業界固有なのか不明確である。業界標準の届出・登録・公開の制度化が必要である。

2.3 各業界におけるEDIの現状と今後の方向

〔建設業〕

- ・業界標準を策定中である。
- ・CI-NET推進協議会で業界として取り組んでおり、本年3月までが、モニター実験期間となっている。各社のモニター実験での評価を踏まえ、CI-NET標準プロコトルの見直しが実施されよう。

- ・建設産業情報ネットワーク (CI-NET) 推進協議会において、ワーキンググループ を設置し、具体化の検討を行っている。
- ・取引業者の特定ができる部門では可能であるが、全体に認識は低い。

[業工品負]

・現状では出荷地に対してのEDI化は、メーカー側がイニシアチブを持っているのに対し、卸店とのEDI化は卸店側のイニシアチブによって行われている。 今後は卸店及び大型店からの受注は全てEDIによって行われると思う。

[繊維工業]

- 各社各様に進められていると思う。ただし、委託先等相手が同一になって事が有るため、
 委託先の方から同一方法で行いたいとの要望が出ている。業界全体でそれにどの様に対応するかといった動きは未だないのが現状である。
- ・EDI取引の標準化の為のノウハウの標準化、共有化、弊社―小売間の共通のリソース の上に立つ事が双方のメリットになるので、その方向に向かうのではないか。

[紙・パルプ加工業]

・紙パルプの代理店と卸商間で、「紙パルプ流通VAN」及びメーカー数社と代理店の間で「P-EDI」というネットワークを構築している。

〔化学工業〕

- ・石油化学業界では、石化協を中心に業界EDIを推進しており、1992年より各社トライアルを実施する予定である。
- ・トイレタリー業界では、プラネットに参画し、EDIの導入に積極的に推進している。 今後は代金決済や請求業務の取り込みなど、データ交換の質的充実に向けて推進を図る。
- ・セメント業界・肥料業界以外に特に動きなし。
- ・石油化学工業協会のEDI状況は、商社←→メーカー間の標準化規約としてガイドラインはほぼ完成し、現在、パイロットとして数社が試行を行っている。本年度後半頃より

新たに商社←→メーカー(石油化学工業協会加盟企業)間におけるEDIについては業界規約に準拠していく見込みである。

- ・現状における化学業界のEDIへの取り組み意識は低いと考える。今後は需要家業種が 多岐であり、進展は遅いと考える。
- ・石化協では、日本貿易会との間で石化協標準ビジネスプロトコルを用いたEDIを進めている。(実施時期: '92年7月 石化協側 2社、貿易会側 3社)
- 今後は、①標準ビジネスプロトコルを用いたEDIの促進(94年末までに石化協16 社ぐらいが計画中)
 - ②パソコンパッケージによるEDIの拡大
 - ③石化協標準ビジネスプロトコルの充実
- ・石化協等 E D I 標準化活動に参画しているが、当社としては、当面既存システムの継続 使用、又は、ユーザー等の意向を踏まえた複数規約で運用せざるを得ない。
- ・石油化学業界では、石油化学工業協会が中心となって、1990年に石化協標準プロトコルを発表した。現在は、その機能の拡張を検討している。また、特に石油化学メーカーと専門商社との間のEDIを促進するため、上記プロトコルにもとづいた専門商社向EDIパッケージソフトを開発中である。
- ・近年、顧客企業からのEDIニーズが増えているが、業界としての標準もなく、今後業 界標準を作り上げようという気運もない。今後も当分企業の個別取り組みが主であろう。
- ・石化協として対商社のEDI標準化を推進中である。
- ・石化協業界では弊社も参画し、'90年3月に標準BPを作成したがあまり普及はしていない。昨年より、この標準BPを基にして総合商社とのEDI化を検討しており、この標準BPの必要な手直しを行っているところである。

〔石油•石炭製品業〕

・石油元売間でEDIを目的とした標準化は、具体化していない。しかし、石油製品が国 民生活へ及ぼす影響の大きさから、政府が中心となって石油情報システムと呼ばれるネ ットワークシステムを構築し、運用している。

〔鉄鋼業〕

- ・鉄鋼業界の標準化活動として、鉄鋼製品の受注・生産・納入に関する業務全般にわたって、業際レベルで適用可能な標準化をめざして、活動をスタートしたところである。
 - ①鉄鋼業界では '91年9月に「鉄鋼ネットワーク研究会」(従来の業界内標準化対応

組織が母体)を発足させ、需要家業界とのEDI化に向けた研究を開始。

- ② '92年春に向け、関連業界とのコンセンサスを得る原案とすべく、鉄鋼ネットワーク研究会としての標準化一次案を作成中。
- ③関連業界との連携状況は下記の通り。なお、下記以外の関連業界へのPRも実施中。
 - ・日本自動車工業会とは共同研究のためワーキンググループを発足させ、本年より具体的検討を開始。
 - ・日本造船工業会とは造船検収サービスカードのEDI化案を提案。同時に共同研究 のためのワーキンググループ設置を要請。
- ・新聞紙上によると研究機関を設置して調査検討を既に実施しているようである。 〔非鉄金属・金属加工業〕
- ・系列企業を含めると、意外にEDIが進展している。
- ・EDI化への周辺整備のため、製品のID表示としてバーコード化の標準案を作り、取引先への協力を進めている。(電気機械工業会、新金属協会、シリコン部会としてまとめてある)今後、EDI化へ向けて積極的に提案していきたいと考える。
- ・現在普及していないが、今後活用される分野であり、徐々に普及すると考えられる。
- ・昭和60年より電線工業会に産業情報化対応委員会(大手8社)を設け、電事連、EIAJとの業界間EDI確立に取り組んできた。今後は、EIAJとの合同ワーキングの継続と、4業界及びCII標準への対応を計画している。
- ・電力とは主要各社との間で実施中。

EIAJとは各社個別に実施中。業界としてEIAJとの合同WGを開催し、EIAJ標準について検討中。今後実施のオンラインはEIAJ(CII)方式に集約されると思われる。

電線流通とは系列の主要問屋・代理店にオンライン端末を設置。

- ・電線工業会を中心とし、EIAJの利用検討及びCII標準の作成に参加している。 [電気機器製造業]
- ・当業界ではEDIへの取組は活発であり、各社から代表を出して、メッセージの標準化、 通信手順の標準化、VAN運営のあり方、バーコードラベルの扱い方等、多面にわたり 標準化活動を行っており、当社を含め多くの企業でEDIを行っている。また、将来の 他業界とのEDIを考え、現在国内標準となるべき標準メッセージを検討中である。
- ・全く進んでいない。但し、CAD/CAM/CATでの分野では、データベース標準化

への取り組みを始めている。

- ・EIAJ標準は、実務に適用されており、活動の成果が表れている。但し、EIAJ標準もバージョンが上がって現在"1 C"となっている。したがって、早く採用した企業程古いバージョンが負担となっているので、実施するにあたっては十分な検討が必要である。
- ・製造業と流通業とに二分化されていますが、将来の国際協調性を考えたとき、JIPD ECの進めている方向に進むものと思う。通信手順の面からも、メッセージの構成、運 用ルールにしても完成度は低い為、流通業はいずれ大きな転換が必要になると思う。
- ・EDIの構築の取り組みは、中小/零細企業にも及びつつある。しかし、現在の標準化の主流は、単一業種の標準の拡大であり、他の業種の標準と衝突し、摩擦を起こすという問題を抱えている。今後は、他業種とのオンラインデータ交換が増加すると思われるので、他業種との整合性がある標準化が必要であろう。
- ・標準が一体化されるには、かなりの時間・期間を要すると思う(無理かもしれない)。 その間、各標準への対応をVANサービスを利用することで対応している。標準への追 随 (レベルアップ) も、自社内での対応をしなくても済む方が有利と考えている。
- ・標準化が決められ、推進されつつあるが、標準化を推進する企業の中には独自のフォーマット規格で実施しているところもある。今後は、他業界との調整、国際化の方向でEDI化を推進する予定である。
- ・国内における発注者としてはEIAJ標準で進めている(プライベート標準で運用していたが、切り替えた)。取引のある他の業界の標準化がかならずしも進んでいないため、 他業界の動向も見ながら取り組まざるを得ない。

海外においてはプライベート標準で実施中である。EDIFACT等国際標準の検討を 開始する予定である。

- ・① EIAJのEDIセンタ会員として、業界標準化活動に参加。資材部門はEDI標準をとり入れ対応中である。
 - ② 日本電機工業界のEDI推進委員会の業界標準化活動に参加。
 - ③ 四業界連携指針策定委員会に参加。
 - ④ 弊社営業部門もEIAJ標準による受注システムを構築。
- ・家電業界とは注文データを主に処理を行っているが、今後は納品・請求データも処理が 増えると思われる。特に、注文データはバッチ処理から店頭でのリアルタイム処理へと

変わってくると思われる。パーツメーカーとはEIAJ規格の資材VANが稼働しているが、当社は今年度より実施する予定である。

- ・弊社の業界は、EIAJ標準を中心にして、EDIの利用という意味では他業界より進んでいると考える。今後の部品の調達などの取引でも、業務処理の効率化、情報の迅速化という面からしても、EDIを使用するしないで、差が出てくるはずである。さらに、EDIを前提に取引をする企業が増えると考える。
- ・技術情報(CAMデータ)、受注、発注業務において導入されつつある。当社でも最近 納入業者からの要求でCAM情報、発注データ等をフロッピー、テープ等で提供しつつ ある。
- ・これからは、業界を越えた取引が増えていくことが考えられるが、弊社の場合、他業界 とのEDIはまだ行っていない。将来、自動車業界等とのEDIが必要になると考える。
- ・ 資材取引先とのオンラインは他社で先行(標準化、実施規模)事例あり。
- ・企業間ネットワークは量の拡大から質の充実へと進むと思われる。具体的な内容として は…①帳票併用データ交換→ペーパーレス化
 - ②蓄積交換方式→蓄積交換方式+リアルタイム方式
 - ③国内ネットワーク→国際化
 - ④オンラインデータ交換→企業システム対企業システム
- ・EIAJ標準(1 C)が完成(91/6)でほぼ取引全体を網羅している。今後は国際化対 応、納品書レス化が課題である。
- ・① 伝送データ量の増大で、より高速なISDNや専用線の利用を検討中。
- ② 異機種間、異伝送速度間通信を実現するため、OSIの利用を検討中。
- ・当社は、EIAJ標準を使用した取引業務のEDI化を推進している。
- ・EIAJでは、毎年標準化を進めている。今後、納品書の標準化、監査に対する証票書 類の明確化について早急にまとめてもらいたい。
- ・業界標準を積極的に取り込んでいる。
- ・正直言って現在は取引先の要請で対応しているが、自社システムの取込が行われた後は 自社システムのEDIにそうしたシステム変更、改善をトータルな見地で行う必要があ ると考えている。

[輸送用機器製造業]

・自動車では、自動車メーカーが独自で展開しているので、部品メーカーとしては客先ご

との対応となり、負担が大きい。

- ・各社個別のEDIは盛んに行われているが、業界における標準化等はなされていない。 今後、EDIの標準化をにらみつつ、標準化をすすめる方向へ行くと思われるが、各社 の既存システムとの関係もあり、容易には進みそうもない。
- ・自動車業界に属している当社は、どの様に進んでいるのか把握していないのが現状であ る。
- ・自動車工業会の中に情報システムW/G(企画部会)を設置し、また、同工業会購買調 査分科会の中に鋼材電算化W/Gを設置し、EDIについての調査・研究を行っている。
- ・まず銀行関係より始まったが、同業種の関係会社より広げていく必要がある。
- ・系列会社・仕入先会社間で実施している状況である。
- ・当社は、自動車工業会に属している。自工会としては、他業界に見られるよう推進母体 もなく、今後どの様な体制の下に推進するかの検討に第一歩を踏みだそうとしていると 考える。標準化することにより「何が」「どう変化し」「どんな影響力を持ち」「結果 として何が得られるか」をきっちりと整理して展開をしていかなければ歩調も合わず、 利便性のない標準化となる危惧を感ずる。
- ・自工会で検討中である。
- ・EDIの勉強等を行う場が設けられたが、業界として具体的なEDIの取り組みを開始するには至っていない。各メーカーが各々の関連企業をネットワークし、各々独自のプロトコルで運営しており、これらを包含する様々な標準化は大変困難であることで意見は一致している。しかし、産業界全体を考えるとき、標準化の必要性は十分理解できるので、今後前向きに標準化に取り組んで行くことを協議中である。

[一般機械器具製造業]

- ・メーカー主導のオンライン受発注と、流通関連(問屋)主導のVANとが混じり合って 模索している状況である。
- ・いずれEDIは不可欠なものとなるが、投資効果の点では、しばらく模様ながめと言ったところ。

〔精密機械器具製造業〕

- ・部品などの購買業務でのEDI化が進んでいる。
- ① グループ内ローカルでEDIを行っている。
- ② 他社パートナーとの各種調整を行うEDI推進組織の実現を考えている。

- ・当社の場合、部品メーカー等の取引先とのデータ交換が中心となるが、電子部品系を筆頭に先端企業での事例がかなりでてきているところである。当社では、92年度をEDI本格的利用開始の年と位置づけ、国内、海外とも積極的に取り組んでいくつもりである。
- ・講習会・書籍等で一部の人が知っているぐらいで、考えている者は少ない。

〔その他製造業〕

- ・日本電子機械工業会にてEIAJ標準を推進し、各社共、ビジネスの基本となりつつあるため、ビジネスの取引維持の為にも必須事項となっている。従って、当社でも先ずは、受注データの取組から推進しているが、客先への回答情報(納期、出荷等)を早急に実施する必要があると考えている。
- ・雑貨業界はかなり発達しているが、医療関係は保守的の様である。
- ・自転車業界では全くない。必要であれば既存の手順で充分と思う。
- ・アパレル業界は、チェーンストアとのEDIは進んでいる。百貨店とはややおくれぎみで、縫製業とは、まったく動きがない。

〔卸売業〕

- ・海外顧客(自動車メーカー)からのEDIの要請が多くなる傾向にある。現在はODE TTEによるEDIが主体であるが、ANSIを要求するには個別対応となる。
- ・EIAJという標準が出来ているが、自社固有のEDIを前から行っている会社のEI AJへの取り組みが遅れているように思われる。
- ・紙パ業界では現在、代理店(10社)とその得意先である卸商36社間での「紙パ流通VAN」が稼働しており、今後は加入者を増やすことと地方への展開が課題となる。
- ・化学薬品専門商社であるが、業界規模として小さく、業界として標準化云々できる程の 確固たる基盤は無い。原材料商社として、常にメーカーの要請に応じる体制が今後とも 必要と思われ、各メーカー(特に大手)主導の要請に常に柔軟に対応できるスキルが必 要であると考える。
- ・大半は取り組んでいる様に思う。今後は全社とまでは行かなくとも取り組む方向ではないかと思われる。
- ・青果物仕切情報システムに関しては、全国各地でほぼ導入され、青果物出荷情報システムに関しては、5 県ぐらいが実施しており、今後さらに増えると予想される。出荷情報システムに関しては、送信データの正確性等階級コードの統一などまだまだ問題点は多い。

- ・家電業界ではNEBAの4社と受注業務にEDIを利用しており、そのうち2社とは請求業務にも活用している。今後着実に増加していくことは間違いないとは思うが、今のところまだ一部の会社、一部の業務に限られている。
- ・組合に於いて、専門分科会を設け検討中である。
- ・水産業界は他業界に比べ取り組みが遅れているが、量販側からの要望、人員不足、省力 化等の点から今後広く利用されると思う。
- ・当社は輸入たばこの受注~配送までの卸売業務、国産たばこの配送を主な業務としており(国産たばこの販売はJTが担当)、今日までの取引の形態はたばこ店からの電話注文あるいは訪問受注であった。しかし、最近になり、たばこ販売の許可を得ている大手チェーンストアからの要請があり、それらがすでに行っているEOS発注に、たばこの発注も組み入れることになった。現在行っているのは1社のみであり、今後展開を予定している。ただし、たばこ小売店は小規模な店舗が多く、全国で27万軒もあることから、全国でのEDI化は難しい問題である。
- ・日本貿易会の活動を通し、各業界(Ex石化協)の標準化作業に参画している。

〔代理商•仲立業〕

・現状はほとんどが、注文データのみの処理であるが今後は納品情報(出荷情報)や買掛 情報などのデータも取り扱っていきたいと考えている。

[小売業]

- 特に動きはない。
- ・通信手順のレベルでは、早くから全銀手順、J手順が業界標準として確立してきたが、 アプリケーションレベルでのデータ交換の標準化は、まだまだの段階であり、各企業グループ単位でバラバラになっている。今後の方向としては、各社協力し、強力に標準化 作業を推進する体制作りも必要となるだろう。
- ・10余年前にJCA手順を設定し、以降定着化を見て現在に至っている。91年5月にJC A-H手順を制定、発表し、現在メインフレーム各メーカーへホスト側ソフト、パソコ ン対応について依頼し進渉中である。92年度から徐々に新手順の利用が始まる予定であ る。
- ・レンタカー業界において予約システムの必要性が叫ばれ、個々の企業で対応が図られ始めているが、旅行業・鉄道業・航空業との接続が必ず必要となると思われるが、未だE DIについての関心はない。

- ・日本チェーンストア協会(JCA)では、小売と取引先とのビジネスプロトコルの標準 化作業を以下の通り完了している。
 - ①JCA(J) 手順の制定(1980年7月)
 - ②標準データ交換フォーマット(受発注データ)の制定(1982年7月)
 - ③ターンアラウンド伝票(オンライン発注伝票)の制定(1984年3月)
 - ④請求データ標準フォーマットの制定(1985年4月)
 - ⑤手書き伝票(発注、返品伝票)の追加制定(1987年10月)
 - ⑥JCA-H手順の制定(1991年4月)

通信手順から伝票フォーマットに加え伝送フォーマット(請求データは、FD、MTも 含む)まで標準化を進めた結果、小売と取引先との間の主要業務である商品の発注(受 注)から仕入(納品)、買掛(売掛)までの一連の処理が標準化され、パッケージソフ トも多数、製品化されておりローコストでのシステム導入が可能となっている。受発注 データのEDI化は、通信手順とセットでほぼ定着しているものと推測されるが、請求 データについては月1回、もしくは2回程度の処理で、かつデータ量が大きいというこ ともあり、MT、もしくはフロッピーでのデータ交換が主流となっているのが現状であ る。しかし、MT、フロッピーでのデータ交換では、ハンドリング負荷が大きく、JC A-H手順等の新しい高速伝送手順が実用化されれば、EDI化が相当進むものと考え られる。EDI化を促進する為には、伝送の高速化と適用業務処理に見合った通信機能 の拡充が必須であり、かつ、広く普及させる為にはローコストで導入可能であることが 前提となる。その意味で、JCA-H手順は、当業界の特性に合った適切な通信手順と いえる。今後、JCA-H手順の普及に伴い、従来、通信手順がネックでEDI化が困 難だったものが可能になることが考えられ、その適用範囲が順次、拡大されるものと推 測される。適用範囲の拡大に合わせ、CIIシンタックスルールをベースにした可変長 ファイルの伝送についても、検討の必要があり、EDI化促進の為の重要な課題の一つ であるとの認識をしている。CIIシンタックスルールの普及促進のポイントは、先ず、 第一にデータエレメントの設定であり、次に重要なのは、いかに軽いシステムに出来る かである。言い換えるといかにローコスト(適用可能ハードとソフト)で、容易に運用 出来るシステムが提供されるかであり、具体的にはトランスレーターの造り込みがキー になるのではないかと思われる。

[金融業]

- ・顧客サービスの一環として位置づけられており、今後ますます推進されていくと思われる。
- ・全銀協を中心に標準化がなされている。今後は国際標準との標準化が課題である。

[保険業]

・業界として適用できる業務について、標準化の仕様が決まったものから実施している。 今後も、業務の追加が予定されている。

〔運輸業〕

- ・国際輸送の活発化に伴い国際的標準化が必要とされる。当社もEDIFACT研究会に参加している。
- ・個別のEDIはかなり進んでいる。また、SHIPNETS、NACCSなど業界横断的なEDIも稼働している。ただ、国際間ではEDI事例も各社行っており、国際標準であるEDIFACTや米国ANSIX・12なども考慮せざるを得ない。この業界ではすべてのEDIはEDIFACTに収束することが望ましい。
- ・UNのEDIFACTに船主協会より毎年2回参加している。
- ・顧客の要請に従って個別に対応しているだけであり、標準化の動きには至っていないの が現状である。
- ・運輸省と船生協会が中心となって着実な前進がはかられている。時にはボランティア活動の限界を感ずることもある。
- ・現在、同業種内では標準化へ共同歩調はとっていない。しかし、NACCSや米国税関、 航空会社という標準化の少数の相手方があるので、自然に標準化しつつあると思われる。 顧客に対しては、相手次第というところがあるが、比較的先を行っていると思われる業 界より提案という形が望ましいと考えられる。
- ・現在、当社では全国オンライン展開がなされている営業システム(貨車の輸送システム他)、基幹業務システムなど、各々が独自に(異メーカー、異機種、異プロトコル)システム化されているため、これを一元化することを目的とした「貨物トータル情報ネットワークシステム」の構築に取り組んでいる。さらにグループ企業(臨海鉄道、物流別ターミナル、通運各社等)のネットワーク化を強力に推進するためにも、EDIは不可欠であり、貨物陣営の旗主としてグループ各社との調整に乗り出している。
- 新規の接続先で交換する情報が共通のものは、極力プロトコルおよびデータフォーマットを標準化する動きにあり(例えば旅客案内システムと、各エアラインシステム間の接)

続)、今後発生するものについても同一標準を適用したいという考えで業界は一致している。ただし、適用業務によってフォーマットは変わる事も考えられるので、プロトコルは統一しようという考えである。

〔倉庫業〕

- 特定企業主導のEDI化であり、汎用化志向はほとんど無いと言える。
- ・倉庫業者のシステムは、荷主の物流管理システムを補完する役割を担っているため、比較的早い時期から荷主とのEDIを進めてきた企業が多い。しかしながら、倉庫業界のEDIの相手先は荷主企業であり、同業者間でのEDIは皆無で、業界としての標準化には効果が認められないことから消極的である。

〔電力・ガス〕

- ・現在、電力業界としては業界で標準化に取り組んでいるが、EDIの実施はできていない。また、関連する業界(電子、電気、電線)と標準化の検討をしている。近い将来、これらの業界との間でEDIが実施されると思う。
- ・同業他社において、一部の企業とEDIを始めたと聞いている。
- ・EDIに対する都市ガス業界としての標準をまとめ、これを都市ガス業界で実現していくため、日本ガス協会内にWGを新設し、作業を進め始めた(勉強中)。今後の方向としては、以下の通りである。現時点では、EDI化の対象業務を検討中である。
 - ① EDIの規約そのものの都市ガス業界としての標準化
 - ② EDIの各事業者への標準的な導入方法、運用方法についてのガイドライン作成。
- ・都市ガス業界における ED I 標準を作成するため、日本ガス協会内にワーキンググループを設立し、検討を開始した。現在は ED I の全般知識を習得中である。今後は他業界の標準化を参考にしつつ、資材購買業務を対象業務の候補に、都市ガス業界の ED I 標準づくりと標準的な導入方法、運用方法のガイドライン作成を進めていきたいと考えている。
- ・業界のEDI推進専門委員会において諸課題に取り組んでいる。 現状では金融機関などとの連係に一部着手している。今後は、業界標準を策定する。
- ・業界連携指針に対応していくため、電事連で検討が進められている。金融機関連係ビジネスプロトコルの標準化と4業界連携のためのビジネスプロトコル標準化に関し、検討が進められている。
- ・業界でビジネスプロトコルの標準化を実施し、EDIの推進を図っている。

標準プロトコル:電気料金収納業務ビジネスプロトコル標準 資材発注業務ビジネスプロトコル標準

今後、これらの業務のEDI化にあたっては上記プロトコルを採用していく。

・EDIの現状は、一部事業者で、独自規格によるEDIが行われている。

今後の方向としては、国内の(あるいは国際的な)統一標準に沿った方式でのEDIをすすめたい。都市ガス業界としてのEDI統一標準を作成し、それに沿ったEDIを普及するために、協会を事務局とするワーキンググループを、昨年11月に発足し、活動をはじめた。

- ・当社の関係業界では、まだ E D I への取り組みは少ないものの、今後増加していくものと考える。
- ・電力業界では工事請負、物品購入関係で関係会社との間でEDIを進めている所が多い。 それが一般企業との間に拡大しつつあると同時に、電気料金関係等で金融機関とのEDIが試行され、拡大の方向にある。今後は、商社、自治体などともさまざまな業種業界との間に展開されていくと予想される。また、その為の標準化についても、関係する業界と積極的に検討している。

〔新聞·放送·広告·通信業〕

- ・多くの取引先をかかえる国内通信業者(NTT等)と較べると、国際通信業者のEDIへの取り組みは少ないと思う。外国通信事業者との間でのEDI化は、今後の検討課題となると思う。例えば、通信料金の国際決済のEDI化は、電気通信諮問委員会の勧告の中でも課題となっているが、まだ具体的な取り組みはされていないようだ。
- 特別第二種電気通信事業者協会ではEDI専門委員会をもちEDIサービス(蓄積交換、 セキュリティ、運用、課金、VAN間接続、プロトコル等)の標準化、検討を推進中で ある。
- ・関係する業界が多数であり、自社独自のビジネスプロトコルを使用しているところであ り、業界横断的国内標準の制定等を見ながら検討していくこととする。なお、通信プロ トコルについては、OSI方式の採用について現在検討中である。
- ・専用線サービスのみを行っている弊社のような衛星通信業界では、顧客数が最大50~60 社程度であり、取引内容も単純なためEDIの必要性はほとんどないと思われる。
- ・出版 VAN が本格的に稼働すれば、当然出版部門での EDI利用もあり得るのかもしれないが、現状では、利用できる環境にないと思う。なぜなら、小零細企業が余りにも多

すぎ、小口物流の合理化メリットが不明確だから。

〔情報処理サービス・ソフトウェア・情報提供業〕

- ・弊社の所属するソフトウェア業界は取引の数が少ないので、まだ取り組まれていない。 しかし、システムインテグレーションで顧客のシステムを構築する時は必要となるので、 技術的には取り組んでいる。
- ・固定長のプライベートフォーマットをデータ圧縮して送受信している。
- ・顧客でEDI利用があれば、取組を行っている程度である。(受注業務でEDIが前提 となっている場合)
- ・採算性改善のため以下のことを取組んでいる。
 - (1) アクセスポイントの設置(オンラインの拡大、関係会社側の取り込み)
 - ② 設備の有効利用(電力会社余剰能力の活用)
 - ③ 標準プロトコルの利用によるEDI導入の負荷軽減
 - ④ ソフトウェアの共同開発、汎用パッケージの利用
- EIAJでの対応を推進している。
- ・鉄鋼業界では、「鉄鋼ネットワーク研究会」が、90年10月に発足し高炉6社で分担 してEDI化を鋭意推進中である。今後は、業務面の標準化を併せて通信プロトコル、 シンタックスルール、ネットワーク利用上のルール、ガイド等を提案・決定し、今秋も しくは来春実施を目指す方向にある。
- ・EDIサービスをベンダーとして提供する立場にあり、現在、各業界別/海外での標準 化動向に注視している。今後EDIサービスの相互接続がユーザ側から要求される事が 考えられ、業界としての対応が必要と考える。
- ・当社の業界ではEDIは考えられない(導入の意味がない)と思う。
- ・業界標準フォーマットを設定し、J手順または全銀手順を利用しているため、EIAJ標準とは異なるが、広義でのEDI化は十分に進んでいると考えている。EDI化に関しては、当業界内においては、当面現行通り進み、EIAJ標準を実施している他業界との接続、あるいは標準フォーマットの全面見直し等を機に検討されることになると思われる。
- ・自社内のEDI化(納品書、請求書その他管理帳票)が整備された後に、企業間のEDI化が進められるものと考える。
- ・昨年の4月から石油化学工業協会より日本貿易会へ提案があり、「石化協ビジネスプロ

トコル標準」の共同開発を行う事になり、石化協作業合同部会に参加しており、石化協側と貿易会社の各社のグループが試行するために既に何回となく打合せを行い、システム開発に着手した所で6月総合テスト、9月本番稼働を目指している。これはあくまでも先行投資であり今後他社に拡大してこそ効果があると思われる。

- ・業界としてはないと思う。但し、VAN会社同志の接続というのは、今後増加していく と考えている。
- ・国内においては、JCA、全銀手順を中心にVANサービスをしている。さらに、EI AJ標準やその他の業界標準をサポートし差別することになると思う。
- ・情報処理サービス業としては、他業界におけるEDIシステム化の開発作業もしくはシステム運用(EDI各種標準間のトランスレーションを含む)を新しいビジネスとして取扱っていくことになろう。EDI関係の各種アプリケーションパッケージ、トランスレーションソフトウェアパッケージの開発・販売も有望と考えている。
- ・コンピュータメインフレーマの動向に準拠しているレベルである。
- EDIの取り組みは非常に進んでいる。
- ・業務処理上、必要としている会社では実施しているようだが、会社規模により検討すべき課題であろう。

[旅行業]

・今のところまったくない。

〔娯楽・その他サービス業〕

- ・グループ内に規模の異なる企業が多いため、実現はなかなか進まない。
- あまり聞いたことがない。

〔その他業種〕

- ・調査中である
- ・当社関連業界(物流業界)は、現在輸出関連業務の標準化が具体的に進展しているが、 その他領域は進展していない。物流業界は、諸課題が表面化(労働力不足・輸送問題 等)してきているがそれらを業界で克服する過程でEDI化の検討が行われるのではないかと思う。
- ・特に必要はない。

3. 集計結果表

- 3.1 凡例
- 3.2 業種区分別集計結果表
- 3.3 売上高区分別集計結果表
- 3.4 従業員数区分別集計結果表

3. 集計結果表

3.1 凡例

今回の調査では、次のような区分により、各調査項目の集計を行った。

- ① 業種区分
 - A. 建設業
 - B. 製造業
 - C. 流通業
 - D. 金融・証券・保険業
 - E. 運輸·倉庫業
 - F. 電力・ガス
 - G. 通信業
 - H. 情報処理サービス業
 - I. サービス業
 - J. その他業種
- ② 売上高区分
 - A. 5億円未満
 - B. 5億円以上10億円未満
 - C. 10億円以上50億円未満
 - D. 50億円以上200億円未満
 - E. 200億円以上1000億円未満
 - F. 1000億円以上5000億円未満
 - G. 5000億円以上

③ 従業員数区分

- A. 50人未満
- B. 50人以上100人未満
- C. 100人以上300人未満
- D. 300人以上500人未満
- E. 500人以上1000人未満
- F. 1000人以上3000人未満
- G. 3000人以上5000人未満
- H. 5000人以上10000人未満
- I. 10000人以上

(1) 業種区分別集計結果表

- 資本金区分
- 売上高区分
- · 従業員数区分
- ・EDI利用の有無
- · ED I 未利用理由
- ・EDI 利用理由
- ・オンライン開始年
- · EDI利用開始年
- · 大型汎用機
- 中型汎用機
- 小型汎用機
- ・オフィスコンピュータ
- ・ミニコンピュータ
- ・パーソナルコンピュータ
- ・EDIホスト接続端末
- ・ネットワーク形態
- · VAN利用の有無
- 末端形態
- 利用通信回線(現在)
- ·利用通信回線(今後)
- · 初期 · 機械設備費
- ・初期・ソフト開発費
- ・運用・人件費
- ・運用・機械設備費
- ・運用・処理費
- ・運用・通信費
- ・運用・外注費
- ・運用・その他・費用
- ・運用・合計
- ・運用合計売上高比率
- ・EDI 利用業務
- EDI対象データ(現在)
- ED I 対象データ(今後)
- ・仕様書等データ件数
- ・見積書データ件数
- ・注文書データ件数
- ・注文変更書データ件数
- ・注文請書データ件数
- ・納品書データ件数
- ・出荷指示書データ件数
- ・検収書データ件数
- ・照合確認書データ件数
- ・代金請求書データ件数
- ・送金通知書データ件数
- ・振込通知書データ件数
- ・船積書類データ件数
- ・船荷証券データ件数
- クレームデータ件数
- ・その他データ件数
- ・仕様書等ピーク時データ件数
- 見積書ピーク時データ件数
- ・注文書ピーク時データ件数
- ・注文変更書ピーク時データ件数
- ・注文請書ピーク時データ件数
- ・納品書ピーク時データ件数
- ・出荷指示書ピーク時データ件数
- ・検収書ピーク時データ件数
- ・照合確認書ピーク時データ件数

- ・代金請求書ピーク時データ件数
- ・送金通知書ピーク時データ件数
- ・振込通知書ピーク時データ件数
- ・船積書類ピーク時データ件数
- ・船荷証券ピーク時データ件数
- ・クレームピーク時データ件数
- その他ピーク時データ件数
- ・仕様書等データ交換企業数 見積書データ交換企業数
- ・注文書データ交換企業数
- ・注文変更書データ交換企業数・注文請書データ交換企業数
- ・納品書データ交換企業数
- ・出荷指示書データ交換企業数
- ・検収書データ交換企業数
- ・照合確認書データ交換企業数
- ・代金請求書データ交換企業数
- ・送金通知書データ交換企業数
- ・振込通知書データ交換企業数
- ・船積書類データ交換企業数
- ・船荷証券データ交換企業数
- クレームデータ交換企業数
- ・その他データ交換企業数
- ・フォーマット規格
- ・通信手順規格
- · 認知業界標準

(2) 売上高区分別集計結果表

- ・資本金区分
- ・従業員数区分
- ・業種区分
- ・EDI利用の有無
- ・EDI未利用理由
- ・EDI 利用理由
- ・オンライン開始年
- · EDI利用開始年
- ネットワーク形態
- · VAN利用の有無
- 末端形態
- ·利用通信回線(現在)
- ·利用通信回線(今後)
- ・初期・機械設備費
- ・初期・ソフト開発費
- ・運用・合計
- 運用合計売上高比率
- ・EDI利用業務
- EDI対象データ(現在)
- ED I 対象データ(今後)
- ・フォーマット規格
- 通信手順規格
- 認知業界標準

(3) 従業員数区分別集計結果表

- 資本金区分
- 従業員数区分
- •業種区分
- · EDI利用の有無
- · ED I 未利用理由
- ・EDI 利用理由
- ・オンライン開始年
- · EDI利用開始年
- ・ネットワーク形態
- ・VAN利用の有無
- ・末端形態
- ·利用通信回線(現在)
- ・利用通信回線(今後) ・初期・機械設備費
- ・初期・ソフト開発費
- ・運用・合計
- ・運用合計売上高比率
- · E D I 利用業務
- EDI対象データ(現在)EDI対象データ(今後)
- ・フォーマット規格
- ·通信手順規格
- ・認知業界標準

3.2 業種区分別集計結果表

黄本金区分(紫磁区分別)

粟桃区分	1	1	F	3	- 0	;)	E		F	•		3	ŀ	I	ĺ	l		I	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	率 (X)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	邓 (%)	件数	率 (1)	件数	¥ (%)	件数	₩ (¥)	件数	≭ (%)
A. 3千万円末額 B. 1億円末額 C. 10億円未額 B. 50億億円未額 B. 20千億円未該 F. 1千億円未該	0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	D 3 11 12 19 29	0.0 3.3 12.2 13.3 21.1 32.2	3 3 9 8 2 3	10.3 10.3 31.0 27.6 6.9 10.3	0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 25.0	1 4 4 1 4	0.0 7.1 28.6 28.6 7.1 28.6	0000	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 1 0 2 1	0.0 0.0 16.7 0.0 3.3 16.7	7 14 5	D.0 25.0 50.0 17.9 3.6 0.0	0 2 1 1 0 0	50.0 25.0 25.0 0.0 0.0	0 2 1 0	0.0 0.0 50.0 25.0 0.0		1.6 8.4 22.1 18.3 13.2 21.6
G. 1千盤円以上 計	0	0.0	18 90	100.0	29	100.0	3	75.0 100.0	0 14	100.0	8	100.0	2 B	33.3 100.0	28	3.6	0	100.0	1	25.6 100.0	32 190	100.0

売上高区分 (業種区分別)

菜種区分	-	1	ı	3	(2	1)	1	3	ı	-		3	1	1		ī	,	ı	全	#
回答項目	件政	率 (%)	件数	献 (X)	件数	李 (%)	件数	* (1)	件数	率 (%)	件政	率 (%)	件数	平(1)	件数	平 (%)	件数	孝 (1)	件数	率 (X)	作政	辛(1)
A. 5億円未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	ı	7.1	0	0.0	0	0.0	2	8.0		0.0	0		3	1.7
B. 10億円未開 C. 50億円未開	0	0.0 0.0		1.1	1 1	3.7	0	0.0 0.0	0.	0.0 7.1	0	0.0 0.0	0	0.0 50.0	2	0.0 8.0		0.0 50.0	0	0.0 0.0	8	4.5
D. 200億円未満 B. 1午億円未満	Ď	0.0 0.0		11.2		- 14.8 40.7	0	0.0 0.0	2	14.3 28.8	0	0.0	0	0.0 0.0	16	84.0 16.0		0.0 25.0	0 2	0.0 68.7	32 41	17.9 22.9
F. 5千億円未満	1	33.3	34	38.2	7	25.8	2	60.0	1	28.6	2	25.0	ı i	50.0	ò	0.0	1	25.0	ő	0.0	52	29.1
G. 5千億円以上	2	86.7	24	27.0	3	11.1	2	50.0	2	14.3	В	75.0	0	0.0	1	4.0	<u>a</u>	0.0		83.8	41	22.8
#1	3	100.0	89	100.0	27	100.0	4	100.0	14	100,0	.8	100.0	2	100.0	25	100.0	4	100.0	3	100.D	179	100.0

従業員数区分(業務区分別)

業艦区分別	,	١.	1	3		2	I)		E	1	7	1	G	1	4		I			全	体
回客項目	作政	卒 (%)	件数	华 (1)	件数	孝 (1)	件数	率 (1)	件数	卓(%)	件数	举 (%)	件数	孝(1)	件数	辛(%)	件数	翠(*)	件数	串 (%)	件数	# (1)
A. 50人未満 B. 100人未満	0	0.0 0.0	D 1	1.1	1	7.1 3.6	0 0	0.0	ı	7.7	G	0.0 0.0		33.3 0.0	9 1	3.8	0	25.0	0	0.0 0.0	7 5	3.7 2.8
C、300人未満 D、600人未満 E、1000人未満	0	0.0 0.0 0.0	5 8 10	5.5 8.8 11.0	3	17.9 10.7 25.0	0	0.D 0.0 0.0		15.4 15.4 15.4	0 0	0.0 0.0 0.0	1 0 0	18.7 0.0 0.0	6 6 7	21.4 17.9 25.0	1 0 0	25.0 0.0 0.0	0 0	0.0 0.0 25.0	20 18 27	10.5 9.4 14.1
F. 8000人未満 G. 5000人未満 H. 1万人未綱	0 L	0.0 33.3 33.3	21 9 18	23.1 9.9 17.8	6 1	17.9 3.6 8.6	1 1 3	16.7 16.7 50.0	6 0	30.8 0.0 7.7		0.0 0.0 25.0	0 0 1	0.0 0.0 16.7	5 0 n	17.8 0.0 0.0	1 1 0	25.0 25.0 0.0	1 0 2	25.0 0.0 50.0	38 13 27	19.9 8.8 14.1
i. i另入似上	i	33.3	21	23.1	3	10.7	Ĭ	16.7	i	7.7	6	75.0	ž	33.3	i	3, B	Ġ	0.0	Ō	0.0	18	18.8
##	3	100.0	91	100.0	28	100.0	6	100.0	13	100.0	8	100.0	6	100.0	28	100.0	4	100.0	4	100.D	191	100.0

ED1利用の有無(葉額区分別)

業極区分		A		B		С		D		E		F		G		H		I		J	全	#
		孝 (\$)	件数	率 (%)	件数	單 (%)	件数	零 (%)	作数	華 (%)	件数	零(1)	作散	率(1)	件数	寧 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	準 (1)
1. 現在利用 2. 今後利用予定 3. 利用予定なし	1 2 5	12.5 25.0 82.5		81.4 10.8 7.8	28 2 4	82.4 5.9 11.8	8 0 2	75.0 0.0 25.0	4.3	52.0 21.1 20.3	7 1 1	77.8 11.1 11.1	2 4	20. 0 40, 0 40. 0	18 10 31	30.5 16.9 52.5	3 1 4	87. 5 12. 5 50. 0	3 1 1	60.0 20.0 20.0	181 36 85	81.5 13.7 24.8
#F	8	100.0	102	100.0	34	100.0	8	100.0	19	100.0	9	100.0	10	100.D	59	100.0	8	100.D	6	100.0	262	100.0

ED【未利用理由(業賦区分別)

業國区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		I		J	全	体
回客項目	作政	孝 (%)	件败	始(X)	件数	率 (%)	件政	平 (1)	件数	率(%)	件数	率(1)	件数	率 (%)	件数	# (%)	件数	# (X)	件数	準 (1)	件数	寒 (*)
1. 必要性なし 2. 利用環境未整備 3. 他社接続が困難 4. 費用効果がない 5. その他	0 4 0 0	0.0 100.0 0.0 0.0		20.0 50.0 0.0 20.0 0.0	2 0 0	50.0 50.0 0.0 0.0 0.0	2 0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0	2 3 0 0	40.0 80.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0	100, 0 0, 0 0, 0 0, 0 0, 0	2 2 0 0	50.0 50.0 0.0 0.0 0.0	18 6 0 1 3	64.3 21.4 0.0 3.6 10.7	0 2 0 0 1	0.0 66.7 0.0 0.0 33.3	1 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0	29 22 0 2	50.9 38.8 0.0 3.5 7.0
#†	4	100.0	5 .	100.0	4	100.0	2	100.0	5	100.0	1	100.0	4	100.0	28	100.0	3	100.0	1	100.0	57	100.0

ED I 利用理由 (業額区分別)

業極区分		A		В		С		D		Е		F		G		Н		I		J	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	淬 (%)	件数	孝 (1)	件数	孝 (%)	件数	本 (*)	件数	率(%)	件数	平 (1)	件数	率 (%)	件数	騋 (%)	件数	* (%)
1. 情に対する 1. 情に対する 2. 774次の解除 4. 取引先に可向射数 4. 取引先に可向射数 5. 取引先に可向数 6. 取引先に対象のの預測 6. 取引系統を 6. 取引系統を 7. 物記載を 7. 物記が 10. 国際の 11. 情報の 11. 情報の 12. 第人の超 13. 約人の超 13. 約人の超	0 1 0 2 0 0 2 0 0	0.0 50.0 0.0 50.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	7 11 14 35 14 48 9 5 7 7 3 49 2	8.8 13.8 17.5 43.8 17.5 60.0 11.3 8.3 8.8 81.3 2.5	2 7 8 14 8 13 2 2 2 1	8.0 28.0 24.0 58.0 32.0 52.0 8.0 8.0 4.0 28.0 0.0	0 2 0 3 3 0 1	0.0 0.0 50.0 0.0 75.0 76.0 0.0 25.0 0.0	0 3 5 2 0 5 1 8	0.0 27.3 0.0 45.5 27.3 45.5 18.2 0.0 45.6 9.1 54.5 0.0	0 3 0 1 8 0 1 0 7 0	0.0 0.0 37.5 0.0 12.5 100.0 0.0 12.5 0.0 87.5 0.0	2 2 1 0 0 4 0 0 0 1 3	33.8 33.3 18.7 0.0 0.0 58.7 0.0 0.0 16.0 50.0 0.0 33.3	0 5 6 7 9 13 4 0 3 2 9	0.0 21.7 28.1 30.4 38.1 56.5 17.4 0.0 13.0 8.7 39.1 4.3	0 2 1 0 3 0 0 0 0 0	0.0 68.7 33.3 33.3 0.0 100.0 0.0 33.3 0.0 0.0 0.0	0 0 2 0 1 1 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 50.0 0.0 0.0 0.0 0.0	11 31 33 65 38 100 18 8 19 8 8 19	6.7 18.9 20.1 39.8 23.2 61.0 11.0 4.9 52.4 1.8 11.0
14. 系列化の強化 15. 1-タエントワーの名力化 18. その他	0	0.0 0.0 0.0	18 0	2.5 20.0 0.0	8	8.0 24.0 4.0	0	0.0 0.0 0.0	2	9. I 18. 2 0. 0	0	0.0 0.0 12.5	0 1	0.0 D.0 18.7	4 0	0.0 17.4 0.0	1	0.0 33.8 0.0	0	0. D 0. D 0. D	29 3	3.0 17.7 1.8
āŀ	2	100.0	80	100.0	25	100.0	4	100.0	11	100. D	8	100.0	8	100.0	23	100.0	8	100.0	8	100.0	184	100, a

オンライン開始年 (栗枢区分別)

累壓区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		I		J	全	#
回答項目	作数	平 (%)	件数	平 (%)	件数	率(1)	作数	率 (%)	件数	孝 (%)	件数	率 (1)	件数	辛(*)	件数	平(%)	件数	举 (1)	件数	# (%)	件政	孝 (%)
A. 1989年以前 B. 1970年~1974年 C. 1975年~1979年 D. 1980年~1984年 E. 1985年~1989年 F. 1980年以降	0 1 1 1	0.0 0.0 33.3 33.8 0.0 33.3	15 28 21 18	7.0 18.8 30.2 24.4 18.8 1.2	3 14	0.0 7.7 11.5 53.8 26.9 0.0	3 0 2 0	18.7 50.0 0.0 33.3 0.0	1 1 4 4 2 0	7.7 7.7 80.8 80.6 23.1 0.0	1 7 0 0 0	12.5 87.5 0.0 0.0 0.0 0.0	1 0 0 0 2 1	25.0 0.0 0.0 0.0 50.0 25.0	2 4 8 0 5	11.1 22.2 33.3 0.0 27.8 6.8	0 1 1 1	0.0 0.0 33.3 33.3 33.3 0.0	0 2 0 2	0.0 50.0 0.0 50.0 0.0	12 35 41 45 34	7.0 20.5 24.0 28.3 19.8 2.3
81	3	100.0	86	100.0	26	IOD. C	6	100.0	13	100.D	8	100.0		100.0	18	100.0	3	100.0	4	100.0	171	100.0

ED I 利用開始年(糞茲区分別)

类種区分		A		B		С		D		E		F		G		H		1		J	全	#
回答項目	件数	34 (X)	件数	學 (#)	件数	# (X)	作数	学(1)	作数	* (X)	作数	字 (X)	作数	平(%)	件数	邾 (%)	件数	率 (%)	件酸	辛 (%)	件数	学 (%)
A. 1969年以前 B. 1970年~1874年 C. 1975年~1979年 B. 1980年~1884年 E. 1985年~1989年 F. 1990年以降	000	0.0 0.0 0.0 0.0 50.0 50.0	4	1.2 0.0 4.9 4.8 81.0 28.0	2 7 13	0.0 0.0 7.1 25.0 48.4 21.4	0 0 3 2 1	0.0 0.0 0.0 50.0 33.3 16.7	1 3 3	0.0 7.1 21.4 21.4 21.4 28.6	0 0 2 2 3	0.0 0.0 0.0 25.0 37.5 87.5	0 0 1 0 1	0.0 83.3	0 1 0 2 8	0.0 5.8 0.0 11.8 47.1 35.3		0.0 0.6 33.3 33.3 33.3 0.0	0 1 0 0 1 2	0.0 25.0 0.0 0.0 25.0 50.0	11 22 83	0.8 1.8 6.8 (3.2 49.7 28.1
āt	Z	100.0	82	100.Q	28	100.0	8	100.0	14	100.0	В	100.0	3	100.0	17	100.0	3	100.0	4	100.0	187	100.0

大型汎用機 (業種区分別)

業部区分		A		В		С		D		E		F		C		Н		I		J	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	* (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	翠 (*)	件数	半 (*)	件数	孝 (5)	件数	辛(%)	件数	翠(%)	件数	* (\$)	件数	¥ (%)
A. 1台 B. 2台 C. 3台~ 8台未滿 D. 8台~10台未滿 B. 10台~20台未滿 F. 20台以上	2 0 0 0	160.0 0.0 0.0 0.0 0.0		58.1 22.8 8.1 3.2 4.8 3.2	6 3 4 1 0	42.9 21.4 28.6 7.1 0.0 0.0	4 0 1 0 0	80.0 0.0 20.0 0.0 0.0	7 2 0 0 0	77:8 22.2 0.0 0.0 0.0 0.0	2 1 0 0	82.5 25.0 12.5 0.0 0.0	D	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	6 4 2 0 0	50.0 88.3 18.7 0.0 0.0	0 0 0 0	0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	2 0 1 0 0	66.7 0.0 33.3 0.0 0.0	88 27 14 3	58.6 22.9 11.9 2.5 2.5
#i	2	100.0	62	100.6	14	100.0	Б	100.0	8	100.0	В	100.0	1	100.0	12	100.0	z	100.0	3	100. D	· 118	100.0

中型汎用機(業態区分別)

梨種区分		A		B		С		D		E		F		G		Н		I		J	全	#
回答項目	作数	率 (%)	件数	學 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	半(%)	件数	¥ (X)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
A. 1台 B. 2台 C. 3台~ 8台未満 D. 8台~10台未満 E. 10台~20台未満 F. 20台以上	00000		23 6 2 2 0 3	63.9 18.7 5.6 5.6 0.0 8.3	1 1	89.2 7.7 7.7 7.7 0.0 7.7	0 0 0 0		2 0 0 1	66.7 0.0 0.0 0.0 33.3 0.0	0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0		9 1 1 1 0	7.5 8.3 8.3 6.3 0.0	1 0 0 0	0.0	1 0 0 0	50.0 50.0 0.0 0.0 0.0	48 9 4 4 1	67.6 13.2 5.9 5.9 1.5 5.9
B†	0		36	100.0	13	100.0	0		3	100.0	1	100.0	. 0		12	100.0	1	100.0	2	100.0	88	100.0

小型汎用機(業額区分別)

製棚区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		ĺ		J	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	準 (X)	件数	率 (#)	件数	平 (%)	件数	半 (%)	件数	* (X)	件数	李 (1)	件数	率 (1)	件数	學 (1)	件数	率 (1)	件数	¥ (%)
A. L台 8. 2台 C. 3台~ 8台未築 D. B台~10台未義 8. 10台~20台末 F. 20台以上	0 0 0 0 1	0.0 0.0 0.0 0.0 100.0	4 2 2 2 2 1 2	30.8 15.4 15.4 15.4 7.7 15.4	2 3 0 1 0	33.3 50.0 0.0 18.7 0.0	0 0 0 0		1 1 0 0	50.0 50.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0		4 0 2 0 0	88.7 0.0 33.3 0.0 0.0 0.0	0000		0 0 0 0		11 8 4 3 2	37.9 20.7 13.8 10.3 6.9 10.3
ät .	1	100.0	13	100.0	в	100.0	0		2	100.0	1	100.0	0		8	LOB. D	a		0		29	100.0

オフィスコンピュータ(業種区分別)

業種区分		A		В		С		D		E		F		G		H		I	1	J	全	#
回答项目	作数	平 (X)	件数	率 (%)	件数	¥ (%)	件数	平 (1)	作数	學 (%)	件数	孝 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	孝 (1)	件数	# (X)	件数	字(\$)
A. 1台	0	0.0	n	40.7	2		0		0	0.0	0		0		1	20.0	1	100.0	0		15	28.8
8. 2台 C. 3台~ 8台来湖	0 1	8.0 100.0	1 8	3.7 22.2	3	27.3 9.1	0	,	9	0.0 42.8			P		2	40.0	0	0.0	0		11	11.5 21.2
D. 8台~10台米潤	ò	0.0	ā	0.0	i	9.1	ō	İ	2	28.6	la		Ŏ		ŏ	0.0	ō	0.0	ő		3	5.8
E. 10台~20台未掲 F, 20台以上	Ö	0.0 0.0	4	18.5 14.8	3	9. i 27. 3	0		1	14.3 14.3					1	20.0 20.0	0	0.0	0		8	15.4 17.3
#†	_	100. D	27	100.0	11	100.0	0		7	100.0	0		0		5	100.0	ŀ	100.0	U		52	100.0

ミニコンピュータ(漿種区分別)

梨植区分		A]	В		С		D		E		F		G		н		I		1	全	#
回答項目	作数	率 (%)	件数	率 (%)	作数	增(%)	件数	半 (%)	件数	率 (%)	件数	邓 (\$)	作数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	孝 (1)	件数	率 (%)	件数	후 (%)
A. L台 8, 2台 C. 3台~ 8台未演 D. 8台~10台未满 B. 10台~20台未清 F. 20台以上	0 0 0 0 0		2 2 1 0 1	28.6 28.8 14.3 0.0 14.3 14.3	0 1 0 0	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	0 0 0 1 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0	0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0	0. D 100, 0 0. D 0. O 0. O	0 0		2 0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0		0 0 0 0		5 8 2 1 1	38.5 23.1 15.4 7.7 7.7 7.7
äf	٥		7	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.G	e		z	100.0	a		0		13	100.0

パーソナルコンピュータ (葉壁区分別)

業額区分		A		В		С		D		Е		F		G		H		I		1	全	#
回答項目	件数	啐 (%)	件数	平 (1)	件数	辛(%)	件数	半 (1)	件数	半 (%)	件数	平 (%)	作数	举 (1)	件政	丰 (%)	件政	平(1)	件数	平 (1)	件数	平 (%)
A. 10台未稿 B. 10台~ 20台未稿 C. 20台~ 50台未稿 O. 50台~ 100台未稿 E. 100台~ 200台未稿 F. 200台以上	0 0 0 1 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	0	54.8 9.7 6.5 9.7 0.0 19.4	8 0 2 1 0 3	57.1 0.0 14.3 7.1 0.0 21.4	0 0 0 0		2 0 2 0 0	50. D 0, 0 50. D 0. G 0. D	0	50.0 0.0 0.0 0.0 0.0 6.0	0 0 0	-	4 0 1 0 1	86.7 0.0 18.7 0.0 10.7 0.0	0 0 0 1 0	0.0 0.0 100.0 0.0		0, 0 100, B 0, D 0, O 0, O 0, O	8 5	53.3 8.7 13.8 8.3 1.7 18.7
at-	1	100.0	31	100.0	14	100.0	0		4	100.D	2	100. B	a		6	100.0	1	100.0	_ 1	100.0	80	100.6

EDI利用ホスト接続指末(業種区分別)

業額区分		A		В		¢		D		E		F		G	i	Н		I]	全	4
回答項目	件数	平 (%	件数	华 (%)	件数	平 (%)	件数	平 (%)	件数	平 (%)	件数	平(1)	件数	平 (%)	件数	平(1)	件数	辛(%)	件数	平 (%)	件数	字(1)
A. 10台未資 B. 10台~ 20台未満	0		18	24.3 8.8	7	26.9 3.8	L	83.8 C.O	2	18.2	2	28.8 14.3		0.0	2 2	12.5 12.6	1 0	33.8 0.0	ı	25.0 0.0		23.3 8.2
C. 20台~ 50台未満 O. 50台~ 100台未満	G	İ	11	14.9	3	11.5 3.8	0	0,0 0.0	3	27.3 0.0	Ö	0.0 0.0	Ī	50.0 0.0	4 3	25.0 18.8	0 1		0	0. D 25. 0	22	15.1 6,2
E.100台~ 200台未満 F.290台以上	0		8 28	10.8	11	11.5 42.3	1	33.3 83.3		0.0 54.5		28.8 28.8		0.0 50.0	2	12.5 18.6	0	0.0 33.3	D 2	0. D 50. 0		11.D 36.3
48	0		76	100.0	28	100.0	3	100.0	11	100.0	7	100.0	2	100.0	18	180. B	3	100.0	4	10D. O	148	100.0

キットワーク形塑(装積区分別)

業程区分		A		B		С		D		E		F		Ģ		н		[1	全	#
回答項目	作数	举 (1)	件数	率 (%)	件数	半(%)	件数	率 (1)	件数	率 (1)	件数	率 (1)	件数	平 (1)	件数	半 (%)	件数	.辛 (1)	件数	¥ (%)	件数	# (I)
1. 4办集中型	!	50.0		39.8	14	50.0		83.3	5	35.7	4	50.0	0	0.0	6	23.8	1	33.3	1	25.0		40.1
2、 #スト中心キットワーク型 3、 #スト/ネットワーク分離型	b		2	33.0 2.3	11	39.8 0.0	0	16.7 0.0	1	42.9 7.1	0	50.C D.O	1	66.7 33,3	10 1	47.8 4.8	2	68.7 0.0	0 :	60.0 0.0	68 5	38.4 2.6
4. 分散キットワーク型 5. その他	0	0.0 0.0		22.7 2.8	1 2	3.6 7.1	0	0.a 0.0	2	14.3 0.0	0	0.0 0.0		D.0 C.0	8	14.3 9.5	G G	0.D 0.D	1 0	25.0 0.0		15.3 8.4
81	2	100.0	88	100.8	28	100.0	8	100.0	14	100.0	8	100.0	3	100.0	21	100.0	3	100.0	4	100.0	177	180.0

VAN利用の存無(業種区分別)

業態区分		A		В		С		D		E		F		G		H		I		J	全	体
回答项目	件数	平 (%)	件数	學(%)	件数	平 (%)	件数	平(%)	件数	翠(%)	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	半(%)		¥ (%)		率 (1)	件数	≠ (1)
1. 利用 2. 未利用	1	50.0 50.0	63 2 5	71.6 28.4	18 12	57.1 42.9	2	33.3 66.7	5 9	35.7 64.3	7	87.5 12.5		68.7 33.3	10 11	47.B 52.4	1 2	83.3 66.7	2 2	50.0 50.0		81.8 38.4
H	2	100.0	88	100.0	26	100.0	в	100.0] é	100.0	8	100.0	3	100.0	21	100. D	3	180.0	4	100.0	177	100.0

末端形態(業種区分別)

製艦区分		A	İ	В		C	•	D		E		F	ŀ	G		H		I		J	全	#
回答項目	作数	率 (%)	作数	率 (1)	件数	學(%)	件数	举 (%)	件数	半 (%)	件数	率 (%)	件数	举 (1)	件数	率 (%)	件数	奉(1)	件数	半 (1)	件数	平 (X)
1. 販売先	0	0.0	58	84.4	18	84.3	0		0	0.0	1	12.5	0	0.0	3	15.0	1	88.8	1	25.0	80	48.2
2. 仕入先 3. 系列 • 開選会社	0 L	0.0 50.0	42 28	48.3 32.2	18	67.1	2	0.0 33.3	8	57.1	3	97.5 37.5	0	0.0 0.0	4 B	26.0 30.0	2	86.7 0.0	1 2	25.Q 50.0	58 58	39.9 32.4
4. 海外現地法人 5. 最終需要家	0	0.0 0.0	20	23.0	2	7.1	0	0.0 50.0	5	35.7 50.0	0	0.0	1	100.0	5	25.0	Ó	0.0	!	25.0	34	18.7
8. 銀行	ă	0.0	15	10.8 17.2	ĺ	21.4	2	83.3	ő	0.0	1	D.O 60.0	ŏ	D. 0 0. 0	B	45.0 25.0	å	3.3 0.0		25.0 25.0	32 34	18.5 19.7
7. 倉庫・運送会社 8. 寛社 (代理店)	0	0.0 0.0	10 15	11.5	4	14.3	0	0.0	3	21.4]	12.5 12.5	0	0.0 0.0	2	10.0 5.0	2	10.0 3.8	1 1	25.0 0.0	21 23	12.1 13.3
8. 保険会社	Ō	0.0	ï	1.1	ō	0.0	i	16.7	Ö	0.0	Ó	0.0	ŏ	0.0	Ó	0.0	ō	0.0	0	0.0	2	1.2
10. クレタット会社 11. 情報センタ~	0	0.0		1.1	3 2	10.7	1	0.0 18.7	0	0.0 0.0	3	0.0 37.5	0	0.0		5.0 0.0	1	0.0 3.8	0	0.0 0.0	. B	2.9 4.6
12. その他	1	50.0	- 11	12.8	3	10.7	1	18.7	1	7.1	0	0.0	1	100.0	3	15.0	3	15.0	0	0.0	21	12.1
#†	2	100.0	87	10D.D	28	100. D	ð	100.0	14	100.0	8	100,0	1	100.0	20	100. D	3	100, C	4	100.0	178	100.0

利用通償回線 • 現在(業種区分別)

業種区分		Α		В		C		D		E		F		G		H		J		J	拿	#
回答項目	件数	# (X)	件数	本(%)	作数	寒 (%)	件数	學 (%)	件数	寧 (X)	件数	率 (%)	件数	串(1)	件数	¥ (%)	件数	¥ (%)	件数	率 (%)	件数	字 (X)
1. 専用回線(一般) 2. か(高速を分析) 3. 電話回線 4. 電信回線 5. 00が、回線子交換 6. 00が、回線子交換 7. 1883か64 8. 1833か160 9. 新星通信 11. 77973回信 12. ほおおか回線	100000000000000000000000000000000000000	106.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	47 32 88 1 24 21 13 0 0	54.7 37.2 79.1 1.2 27.9 24.4 15.1 0.0 0.0 0.0 5.8 0.0	13 5 21 0 9 3 7	50.0 19.2 80.8 0.0 84.8 11.5 28.9 3.8 0.0 3.8	3 1 2 1 4 1 0 0	75.0 25.0 60.0 25.0 100.0 25.0 0.0 0.0 0.0 25.0 25.0	10 4 5 0 3 0 2 0 0 0	100.0 40.0 50.0 0.0 30.0 0.0 20.0 0.0 0.0	5 1 3 0 3 0 0 0	62.5 12.5 37.5 0.0 87.6 0.0 0.0 0.0 0.0 12.6 0.0	3 1 3 0 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	100.0 83.3 100.0 0.0 83.8 33.3 0.0 0.0 0.0 0.0	12 4 13 0 8 6 7 1 3 0 1	83.2 21.1 88.4 0.0 42.1 26.3 36.8 5.3 15.8 0.0 5.3	2 0 1 0 0 0 0 0	100.0 0.0 50.0 50.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	1 1 0 3 1 0 0	33.3 33.3 33.3 0.0 100.0 33.3 0.0 0.0 0.0	97 49 117 3 55 33 29 2 4 0 9	59.9 30.2 73.2 1.9 34.0 20.4 17.9 2.6 0.0 6.0 6.0 2.6
att	1	100.0	86	100.0	28	100.0	4	100.0	10	100.0	8	100.0	3	100.0	19	100.0	2	100.0	3	100.0	182	100.0

利用適信回線・今後(業額区分別)

業器区分		A		В		С		D		E		F	}	G		Н		1		J	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	章 (*)	件数	郑 (*)	件数	翠(%)	件数	翠(X)	件数	卒(%)	件数	半(%)	件数	率 (\$)	件数	半 (%)	件数	半 (%)	件数	字 (I)
1. 専用回線(一般)	0	0.0	1	4.5	ì	16.7	1	25. U	3	42.9	a	0.0		60.0	4	44.4	0	0.0	0	0.0	11	15.6
2. // (高速ディジタル)	1	50.D	4	18.2	0	0.0	0	0.0	3	42.9	8	0.0	l i	50.0	3	33.3	Ιŏ	0.0	Ď	0.0	12	21.4
3、電話回線	2	100.0	2	9.1	1	18.7	0	0. D	1	14.3	0	0.0	0	0.0	4	44.4	1	60.0	1	100.0	12	21.4
4. 電信回線	0	0.0	0	D. D.	0	0.0	0	0.0	0	-0.0	0	0.0	lo	0.0	a	0.0	lo	0.0	0	0.0	0	0.0
5、DDN 回線交換	1	50.0	l t	4.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1.	11.1		j D.O	Ō	0.0	8	5.4
B、DDX・ハウゥト交換	1	50,0	. 5	22.7	2	33.3	1 1	25. D	2	28.6	0	0.0	0	0.0	4	44.4	0	0.0	1	100.0	1B	28.8
7. INS4+184	1	50.0	17	77.8	5	83.3	4 :	100.0	2	28.6	1	100.0	1	50.0	5	65.8	1	[6D.0	1 !	100.0	88	87.9
B. 1NS4>F1500	0	0.0	1	4.5	ì	16.7	1	25.0	0	0.0	0	0.0	ם	0,0	l l	11.1	lo	0.0	Ď	0.0	4	7.1
8. 衛星通信	0	0.0	D.	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0 1	0.0	0	0.0	0	0.0	1 0	0.0	D.	0.0	0	0.0
10. 移動通信	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	a	0.0	D	D. D	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	1.8
11. ファウシミシ通信	0	0.0	43	18.2	2	33.3	0 :	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	22.2	1	60.0	Ö	0.0	9	18.1
12. Eftf797	0	0.0	0	0.0	D	0.0	0	0.0	0	0.0	0 1	0.0	0	0.0	0	6.0	G.	0.0	0	0.0	ا آه	0.0
18. 私股回韓	D	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	1	11.1	C	0.0	Ð	0.0	2	3.6
āt	2	100.0	22	100.0	6	100.0	4	100.0	7	100.0	,i	10a.a	2	100.0	9	100.0	2	100.U	1	100. U	58	100.0

初期・機械政備費(業際区分別)

業種区分		A)	В		С	1	D		E		F		G		H	_	I		1	全	4
回客项目	件数	報(#)	件数	率 (1)	件数	率 (1)	件数	李 (\$)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	率(1)	件数	寧 (\$)	件数	孝 (1)	件数	举 (#)	件数	# (X
A.100万未満 B.100万~500万未満	0		12	29.3 28.8		14.3 42.9	0	0.0 0.0	1 2	20.0 40.0	0	0.0 0.0	0		1	14.3 28.6	0	0.0	1 0	50.0 0.B	17	22. 29.
C.600万~1千万未满 B.1干万~6千万未满	0		6	12.2 14.6	2	14.3	Į į	0.0 0.0	Ō	0.0	ž	8B.7 33.3	Ŏ		ő	0.0	ó	0.0	ō	0.0	9	12.1
E.6千万~1億未満 F.1 磁~10億未満	o o		3	7.3	0	0.0	اِ ا	50.0	0	0.0	1	D.D	0	Ì	2	28.6 28.6	0		0	0.0 0.0	12	16.1 8.1
G.10條以上	0		Ď	9.8 0.0		14.3 0.6	0 1	5a,o 0.0		0.0 20.0	0	0.0	0		0	0.0 0.0	0		0	5D.0 0.0	8 1	10.1
at .	0		41	100. D	14	100.0	2	100.0	6	100.0	3	100.0	D		7	100.0	1	100.0	2	100.0	75	100.1

初期・ソフト開発費(業毬区分別)

業種区分		A		В		С		D		E		F		G		н		[J	全	#
回答項目	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (5)	件数	平 (1)	件数	華 (%)	件数	平(%)	件数	率 (1)	件数	平(%)	件数	¥ (*)	件数	* (1)	件数	# (\$)
A.100万未阀 B.100万~600万未滴 C.500万~1下万未滴 D.1千万~5千万未滴 F.5千万~1億未滴 F.1億~10億未滴 C.10條以上	0 0 0 0		2 14 2 15 7 4	4.4 31.1 4.4 33.8 15.6 8.9 2.2	3 6 1 7 0 1	18.7 33.3 5.6 38.9 0.0 5.6 0.0		0.0 0.0 0.0 50.0 50.0 0.0	1 1 2 1 1 1	12.5 12.5 12.5 25.0 12.5 12.5 12.5	0 1 0 2 0 1	0,0 25,0 0.0 50.0 0.0 25.0	0 0 0 0 1	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 100.0	2 0 1 1 4 0	25.0 0.0 12.5 12.5 60.0 0.0	0 0 0		0 I 0 0 1	0.0 50.0 0.0 0.0 0.0 60.0	23 5 28 14 8	9.1 28.1 5.7 31.8 15.9 9.1 2.9
Bt*	0		45	100.0	18	100.0	2	100.0	8	100.0	4	100.0	1	100.0	8	100.0	0		2	100.0	88	100.0

選用・人件数(業種区分別)

業態区分		A		B		С		D		E		F		G		Н		1		J	全	伴
回答項目	件数	率 (%)	件数	率(%)	件数	半 (1)	件数	辛 (%)	作数	率 (%)	件数	翠 (1)	件数	平(1)	件数	华 (1)	件数	單 (%)	作数	率 (%)	件数	半 (%)
A.10万未満 B.10万~50万未満 C.50万~100万未満 D.100万~500万未満 E.500万~1千万未満 F.1千万~1位未満	0 0 0 0		3 8 8 18 3	7.9 15.8 21.1 42.1 7.9 5.3	2 3 0 5 1	16.7 25.0 0.0 41.7 8.3 0.0	0 I 0	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	1	0.0 25.0 26.0 25.0 0.0 25.0	0 0 1 0	0,0 0,0 0,0 100.0 0.0	0 1 0 0	0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	0 8 4 3 0	18.7 0,0 25.0 83.3 25.0 0.0	0 0 0	0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	8 1 0 1	60.0 0.0 60.0 0.0	12 13 29 7	9.7 18.7 18.1 40.3 9.7 4.2
G 1億以上 計	3 0		38	100.0	12	8.3 100.0	ı	0.0	4	100.0	1	100,0	1	100.0	-	100.0		100.0	2	100.0	72	100.0

運用 + 機械設備費 (業標区分別)

業種区分		A		В		С		D		E		F		C		Н		I		J	£	(#
回答項目	件数	率 (%)	件数	零 (%)	件数	率(%)	件数	举 (1)	件数	神 (1)	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	學 (%)	件数	率 (%)	件政	平 (%)	件数	學(%)
4.10万未満	0		3	8.3	4	28.7	0		0	0.0	0	0.0	0		a	0.0	1	50.0	a	0,0	8	10.8
8.10万~60万未満	0)	1	13	38.1	2	13.3	G	0.0	3	6 0.0	1	33.3	0 !		0 !	0.0	0	0.0	o l	D.0	19	25.7
C.50万~100万未満	0	•	3	8.3	1	8.7	0	0.0	0 !	0.0	1	33.3	0 1		2	22.5	D	0.0	0	0.0	7	9.6
0.100万~500万未清	0	!	1	8.3	6	40.0	0	0.0	2	83.3	1	33.3	0		5	55.6	0	0.0	2	100.0	19	26.7
E.500万~1千万未満	0	!	4	11.1	1	6.7	0	0,0	D	0. D	ן מן	0.0	0		2 2	22.5	0	0.0	0	0.0	7	9.5
P.1千万~1位未満	0		10	27.8	0	0.0	1.3	100.0	0	0.0	0	0.0	0		0	0.0	1	50.0	G i	0.0	12	18.2
G 1数以上	0		0	0.0	1	6.7	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0		0	0.0	0	0,0	0	0.0	2	3.7
ā	0		38	100.0	15	100. D	l	100.0	В	100.0	3	100.0	ם		9	100.0	2	100.0	2	100.0	74	100.0

運用 + 処理費(業種区分別)

業額区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		I		J	全	#
回答項目	件数	字(%)	件数	半(1)	件数	率 (%)	件数	卒 (%)	件数	學 (1)	件数	率 (1)	件数	华 (%)	件数	半(%)	件数	準 (%)	件数	卑 (%)	件数	寧 (%)
 A. 10万未満	0		3	13.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	18.7	0		0		4	8.9
B. 10万~50万未満	0		5	22.7	1	20.0	0	0.0	2	40.0	1	20.0	٥	0.0	1	18.7	۵		0	İ	10	22.2
C.60万~100万未満	a		4	18.2	j 2 '	40.0	1	100.0	0	0,0	1	20.0	٥	0.0	2	33.3	a	İ	l D	ĺ	10	22.2
D.100万~500万未满	0		8	38.4	2 '	40.0	0	0.0	2	40.0	3	80. 0	0.	0.0	1	16.7	0		, 0		18	35.8
E.500万~1千万未满	0] 1	4.5	0	0.0	0	0.0		0.0	0	0.0	0	0.0	0	00.	0		10		1	2.2
F.1千万~1億未満	9		1	4.5	0.	0.0	0	0.0		20.0	0	0.0	1	100.0	1	18.7	0	!	{ D	l	- 4	8.9
G.1億以上	0		0	0.0	a	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	D	0.0	0		[0		0	0.0
āf	0		22	100.0	5	100.0	1	100.0	5	100.0	5	100.0	1	100.0	В	100.0	0		0		45	100.0

運用・通信費(業館区分別)

業種区分		A		В		С		D		E	1	F		G		H	1	I		J	全	#
回春項目	件数	翠 (%)	件数	率(%)	件数	率 (%)	件数	辛(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	學 (%)	件数	辛(%)	件数	平 (%)	件数	¥ (%)
A. 10万未満 B. 10万~50万未満	0		15 12	31.3 25.0		40.0 28.7	0	0.0 25.0		0.0 50.0	0 2	86.7	1.	0.0 100.0	2	15.4 30.8) 0	33.3 0.0	1	50.0 60.0	25 28	28.3 29.5
C.50万~100万未満 B.100万~500万未満 E.500万~1千万未満	0	! }	8 3	12.5 18.7 8.3	2 2	13.3 13.3 0.0	1 1	25.0 25.0 0.0	1 1 0	18.7 16.7	0	33.3 0.0 0.0	0	0.0 0.0 0.0	8	80.8 23.1 0.0	0	0.0 0.0 33,3	0 0	0.0 0.0 0.0	15 15	15.8 15.8
F.1千万~1億未満 G.1億以上	a 0	<u> </u>	3 1	8.9 2.1	0	0.0 8.7	1 0	25. O G. D		0.0 18.7	0	0.0 0.0	0		0	0.0 0.0	i 0	83.8	ů	0.0 B.0	5 8	5.3 3.2
, #	0		48	100.0	15	100.0	4	100.0	В	100.0	3	100.0	1	100.0	13	100.U	3	100.0	z	100.0	95	100.0

運用・外注費 (業態区分別)

業態区分		A			В		С		D		E		F		G		н		I		J	全	#
回答項目	件数	堆 ()	0	件数	半 (%)	件数	率 (%)	作数	平 (1)	件数	字(%)	件数	平(%)	件数	半 (*)	件数	率 (%)	件数	¥ (%)	件数	* (%)	件数	# (%)
A.10万未満 B.10万~50万未満 C.50万~100万未満 D.100万~500万米高 B.500万~1千大未満 F.1千万~1億未満 G.1億以上	0 0 0 0 0			D 3 1 4 2 1	0.0 27.3 9.1 36.4 18.2 9.1	3 0 3 0 0	30.0 30.0 0.0 30.0 0.0 0.0	0 0 1 0	0.0 0.0 0.0 0.0 100.0 0.0	0 0 0 0	66.7 0.0 0.0 0.0 0.0 33.3		50.0 0.0 50.0 0.0 0.0 0.0	0		0 0 5 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	0 0 0		0 0 0		8 2 12 3	18.8 18.8 6.9 37.5 9.4 8.3
a t	0		Ť	11	100.0	10	100.0	ı	100.0	3	100. D	2	100.0	D		5	100.0	0		D		32	100.0

運用・その他費用(架匯区分別)

業程区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		I		1	全	
四答項目	件数	率 (%)	件数	举 (1)	件数	率 (%)	件数	平 (1)	件数	平(%)	件数	率 (%)	作数	¥ (%)	件数	寧 (1)	件数	率 (%)	件数	* (%)	件数	半 (%)
A.10万未納 B.10万~50万未満 C.50万~100万未満 D.100万~500万未減 E.500万~1千万未満 F.1干万~1益未満 G.1億以上	0 0 0 0 0 0		8 8 0 3 0	37.5 37.5 0.0 18.8 0.0 6.3 0.0	0 2 0 1	0.0 0.0 60.0 0.0 25.0 0.0 25.0	0 0 0		0 0 1 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0		0 0 1 1 1 0	0.0 0.0 33.3 33.3 33.3 0.0	1 0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0		8 8 3 5 2 1	30.8 23.1 11.5 19.2 7.7 3.8 3.8
at .	0		18	100.0	4	100.0	0		1	100.0	1	100.0	C		3	100.0	1	100.0	D		28	100.0

连用•合計(架種区分別)

業種区分		A		B		С		D		E		F		G		Н		1		1	全	#
阿谷項目	件数	啐(%)	件致	培(%)	件数	率(%)	作数	學 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	半(1)	件数	辛()	件数	辛(%)	件数	率 (%)	件数	¥ (\$)
4.10万米酒	0		4	8.7	1	6.3	0	D. D	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	ů, p	0	0.0	G		5	5.8
B.10万~50万未満	0 :		6	18.0	2	12.5	0	0.0	Ò	6.0		0.0	Ō	0.0	l o	0.0	ĺi	50.0	ă		9	10.0
C.50万~100万未満	0		6	10.9	1	6.3	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	2	18.7	ا ا	0.0	l a		9	10.0
0.100万~600万未满	û		10	21.7	5	31.3	0	0.0	4	60.7	4	BO.D	0	0.0	3	25.0	la	0.0	1 0		28	28.8
E.500万~1千万未満	Ð,		5 !	10,9	4	25.0	C	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0,0	2	18.7	1	50. D	0		12	13.3
F. 1千万~1億米積	0		14	30.4	2	12.5	2	100,0	0	0.0	0	D.D	lι	100.D	5	41.7	a	0.0	0		24	26.7
6.1位以上	0		S	4.3	1	8.3	0	0.0	2	33.3	a	0.0	D	0.0	Q	0.0	0	0.0	0		5	5.8
· at	0		46	100.0	16	100.0	2	100.0	5	100.0	5	100.0	1	100.0	12	100.0	2	100.0	0	•	80	100.0

運用合計流上高比率 (業態区分別)

業種区分	ŀ	A		B		С		D	1	E		F		G		H		I	Ì	J	全	. (
回答項目	件数	翠 (紫)	件数	卒(%)	件数	举 (%)	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	車 (%)	件數	率 (1)	件数	率 (X)	件数	率 (1)	件数	= (1
A. O.1X未満	0		33	73.3	8	57.1	ī	100,0	3	50.0	- 5	100.0	0		2	18.7	٥	0.0	C		52	81.
B. D.1%~0.2%未満	0]	4.	8.9	3	7.1	0	0.0	0	9.0	۵	0.0	0	ĺ	2	18.7	ا ه	0.0	0		7	8.
C. 0.2%~0.3%未満	G		- 1	2.2	2	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	ļ	0	0.0	1	56.0	0		4	4.
0.0.3%~0.4%未満	a :	1	2	4.4	1	7.1	0	0,0	G	0.0	0	0.0	0	!	1	8.3	1	60.0	0		5	5.
E. C.4%—D.5%未満	a		1.	2.2	a	0.0	Đ	.a, D	Q	0.0	D	0.0	. a j	l	1	8.3	0	0.0	0		2	2.
F. 0.6%~1.0%未満	0		2	4.4	Ð	0.0	0	0.0	6	0.0	0	0.0	0	ļ	1	8.3	0	0.0	0		3	3.
G、1.0%~2.0%未満	0		1	2.2	1	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	ļ	2	18.7] 0	0.0	0		4	4.
H. 2.0%~8.0%未満	0	Ì	1	2.2	a	0.0	Ü.	0.0	1	18.7	0	0.0	0 1	i	2	18.7	0	0.0	0		4	4.
1. 3.0%~4.0%未済	0		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		0	0.0	Q	0.0	0		0	Q.
J. 4.0%~5.6%未満	O.		0	0.0	0	0.0		0.0	0	0.0	0	0.0	0		0	0.0	0	0.0	0		0.	0,
E. 6.0%以上	0		0	0.0	1	7.1	0	0.0	2	33.3	0	Q. D	0		1	8.3	0	0,0	0		4	4.
8f	D		45	100.0	14	100.U	1	100.0	В	100.0	5	100. C	0		12	100.0	2	100.0	a i		85	100.

EDI利用業務(業種区分別)

業組区分		A		В	[С		D		E		F		G		н		1		J	£	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	寿 (第)	件数	率 (%)	件数	翠(紫)	件数	率 (%)	件数	难 (*)	件数	郑 (%)	件数	率 (%)	件数	翠(%)	件数	率 (%)	件数	半 (1)
1. 受夠注処理	0	0.0	80	90.9	21	8.08	1	18.7	5	45.5	3	42.9	1	33.3	15	75.0	2	100.0	2	88,7	130	77.8
2. 販売管理	0	0.0	22	25.0	10	38.5	0	0.0	1	9.1	2	28.6	0 !	0.8	3	15.0	ן מ	0.0	0	0.0	38] 22.8
3. 生産管理	0 8	0.0	23	26. l	3 !	11.5	Ð	0.0	0	0.0	0)	0.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	2	68.7	27	18.2
4. 在中管理	0	0.0	24	27.3	7	20.9	0	0.0	8	72.7	1	14.3	1	83.8	B	30.0	1	5Q. O	1	33.3	60	29.9
5、倉庫管理	0	Q. 0	5	5.7	3	11.5	0	0.0	2	18.2	0	0.0	0	0.0	1 4	20.0	0	0.0	1	33.3	15	9.0
B. 輸送管理	0	0,0	6	6.8	2	7.7	0	0.0	7	63. B	a	0.0	0	0.0	2	10.0	0 1	0.0	1 1	33.3	18	10.8
7. 運貸計算	0	0.0	4	4.5	2 !	7.7	0	0.0	8	18.2	0	0.0	0 !	0.0	1	5.D	0 8	0.0	1 !	33.3	10	8.0
8. 出荷業務	0	0,0	84	36.6	[4]	15.4	0	0.0	5	46.5	Ł	14.8	0	0.0	8	30.0	0	0.0		33.3	51	30.6
9. 的品番処理	0	0.0	35	39.8	5	34.6	0	0.0	1 1	9.1	0	0.0	0	0.0	4	20.D	0	D.D	1	33.3	50	28.8
10. 牌求斟処理	1	100.0	35	39.8	11	42,8	1	18.7	B	54.6	0	0.0	0	0.0	10	50.D	0 !	D.D	1 !	33.5	85	38.9
11. 賃金決済	Ð	0.0	19	21.6	В .	23.1	4	88.7	2	18.2	2 !	28.6	0	0.0	7	35.0	0 1	0.0	2	86.7	42	25.1
12、与信管理	0	0.0	1 1	1.1	2 !	7.7	1	18.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	6.0	1 3	33.3	5	3.0
13. 店舗管理	D !	0. D	0	0.0	1 !	3.8	0	0.0	ا ۵	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.0	0 1	0.0	0	0.0	2	1.2
14. 顧客管理	0	0,0	1	1.1	2	7.7	1.3	18.7	1	9. 1	0 !	0.0	1 1	33,3	1 1	6.0	0	0.0	0	0.0	7 1	4.2
16. 予約・発券	0	0.0	0 !	0.0	2	7.7	Q	0,0	2	18.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5D.D	0 !	0.0	5	8.0
18. その他	D	0.0	5	5.7		3.8	2	33.3	D	0 . D	5	71.4	2	66.7	2	10.0	,	50.0	1 5	33.3	19	11.4
ät	ı	100.0	88	100.0	28	100.0	8	100.0	11	100.0	7	100.0	. ä	160.0	20	100.0	2	100.0	3	100.0	187	100.0

ED [対象データ・現在(製額区分別)

業種区分	١.	A		B		С	1	D		E		F		G		H		I		1	全	Ħ
回答項目	件数	举 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	平(1)	件数	率 (X)	件数	平 (1)	件数	¥ (X
1. 仕障害/承認図	0	0.0	1	1.3	0	Q, D	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	a	0,0	e	D.D	2	1.
2. 見積盛	0	0.0	9	11.6	[[3.7	0	0.0	0	0.0	1	14.8	0	0,0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	12	8.1
3. 注文書	0	0.0	86	84.6	17	63.D	1	20.0	1	10.0	2	28.6	1	100,0	10	86.7	1	33.3	1	33.3	100	60.
4. 注文変更要	0	G, O	34	43.B	7	25.9	Ü	0.0	1 1	10.0	0	0.0	. 0	0.0	5	33.3	0	0.0	1	33.3	48	32.
B. 注文精響	0	0.0	17	21.8	4	14.8	Ņ	0.0	D	0.0	0	0.0	B	0.0	Z	13.3	0	0.0	1 1	33.3	24	18.9
6. 納品書	0	0.0	42	53.B	9	33.3	Ų	0.0	3 1	10.0	u	0.0	ш	0.0	3	20.0	Ŏ	0.0	! !	83.3	58	37.
7. 出資指示費	0	0.0	29	37.2	þ	18.6	Ň	0.0	7	70.0	2	2B. 6	ŭ	0.0	1	33.8	ן ט	0.0	! !	33.3	48	32.
8. 検収書	0 ;	0,0	30	38.5	8	11.1	יַט	0.0	ן ט	0.0	tl	0.0	ש	0.0	3	20.D	0	0.0	1 !!	33.3	37	24.
9. 照合確認番	a :	0.0	b	B. 4	1 1	3.7	1	20.0	1	10, D	u	0.0	l B	0.0	0	0.0	ı i	0.0	1 1	33.3		В.
10. 代金餅水醬	ָים ן	0.0	19	24.4	8	29.6	1 1	20.0	4 !	40.0	0	0.0	0	0.0	!	26,7	Q	0.0	!!!	33.3	37	24.
11. 送金通知曹	0	0.0	1 .7	9.0	3	11.1	1	20.0	, z	20.0	1	14.3	יַ ן	0.0	3	20.0		0.0		89.3	18	12.
12. 振込通知書	1 1	100.0	10	12.B	3	11.1	3	60.0	ן ט	0.0	þ	71.4	1	100.0	1	46.7		33.3	2	68.7	33	22.
13. 船級番類	C	0.0	9	11.5	0	0.0	a	0.0	1 7 1	70.0	U	0.0	l D	0.0	2	13.3	Ų	0.0	2	68.7	20	13.
14、船彈紅券	0	0.0	2	2.8	Q .	0.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7	Ų	0.0	וַס	0.0	1 9	3.
15、 カレーム	ן ס	0.0	4	6.1	ים ן	0.0	a	Ð. O	D	0.0	0	0.0	D	0.0	0	0.0	0	0.0]]	33.3	1 5	3.
16. その他	0	0.0	92	41.0	7	25.9	2	4D.0	3	30.0	4	57.1	0	0,0	4	26.7	2	6B.7	D	0.0	54	38.
Ħ	G	100.0	7B	160.D	27	100.0	5	100.0	10	100.0	7	100,0	1	100.0	15	100.0	9	100.0	3	100.0	150	100.

EDI対象データ・今後(繁煕区分別)

業額区分		A		В		С	ŀ	D	1	E		F		C		Н	1		J	全	1
回答項目	件数	举 (%)	件数	平 (%)	件数	平(1)	件数	率 (1)	件数	半 (%)	件数	率 (%)	件数	* (X)	件数	≇ (%)	作数 率 (%)	件数	辛(%)	件数	* (
1. 仕様書/承紀図	0	0.0	В	18.8	a	0.0	a		0	0.0	0	0.0	0	0. D	0	0.0	0	1	60.0	7	11.
2. 見積掛	0	0.0	11	84.4	1	11.1	G.	l	0	0,0	1	26.0	0	0.0	3	50.0	0	1	50.0	17	28.
3. 注文藝	1	60.0	9	28. 1	5	55.8	0	!	0	0,0	1	25.0	0	0.0	2	33.3	0	2	100.Q	20	\$3
4、注文変更書	1	50.0	6 !	15. B	4	44.4	Q.	!	0 :	0.0	1	25.0	0	0, D	2	33.3	0 1	2	100.0	15	25
5. 注文貸費	1	50.0	5	15.6	1	11.1	Q.	•	ַם	0.0	1	25.0	0	0.0	2	83.8	0	1 1	50.0	11	
8、納品番	1	50.D	8	25.0	3	33.3	0]	0	0.0	1	25.0	0	0.0	8	60.0	0 1	1 1	50.0	17	28
7、出資投示數	Į į	0.0	6	18.8	0	0.0	0	!	1 1	83.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	2	100.0	ا و ا	15
8. 換収費	0	6.0	7	21.9	2	22.2	[0		Ď	0.0	2	60.0	Ň	0,0	2	33.3	0	1 1	60.0	14	28
9. 則合政犯書	0 !	0.0	2	6.3	Z	22.2	1 0	ì	U	0.0	U	0.0	l u	0.0	ו ו	0.0	0 1	1 6	0.0	,:	8
0. 代金額求養	2	100.0	3	9.4	8	88.7	1 0	1	1	33,3 0.0	L)	0.0		0. D	8	60.0	V	"	0.0	15	25
1. 送金運知費	!	60.0	"	0.0	1 0	33.3 0.0	ן ני	į	יי	83.3	6	50.0 0.0	"	0.0		16.7 16.7	0	1 1	50.0]	11
2、振込速知費 3、船積掛額	الما	50.0 0.0	1 1	12.5 3.1	1 1	11.1	1 6	Į.	1 6	0.0	1 6	0.0	1 6	0.0	ľ	0.0	l ăi	اما	0.0	ا و	1 3
3. 船校番頭 4. 船荷証券	ايا	0.0	l ¦i	0.0	1 6	0.0	1 6	i	1 6	0.0	ا م	0.0	l ñi	0.0	lő	0.0	lăi	l ñ	0.0	5	lő
4. 201410E5F 5. 11√4	וה	0.0	"	0.0	1 6	0.0	l ñ	İ	ا م	0.0	l ő	0.0	ا م	0.0	ا ا	0.0	ăl	ì	0.0	اة ا	Ιŏ
6. その他	ő	0.0	š	9.4	ĭ	11.1	٥	İ	3	100.0	1	25,0	ī	100.0	ō	0.0	ō	Ò	0.0	9	15
8t	2	100.0	32	100.0	9	100.0	0		3	100.0	4	100.0	1	100.0	В	100.0	0	2	100.0	59	100

仕様素等。データ(薬館区分別)

桑亚区 分		A		В	·	С		D		E		F		G	н		1		J	£	#
回答項目	件数	平 (1)	件数	平(1)	件数	字 (%)	件数	半 (1)	件数	半 (%)	作数	半 (%)	件数	# (%)	件数率(%	件数	半(1)	件数	平 (%)	件数	平 (1)
1. 50件未満	0		2	100.0	Ð	·	G		0		0	0.0	0		0	· ·		0	0.0	2	40.0
B. 50件~ LCD件未満	0	ĺ	0	0.0	0	ļ	0	!	0		0	0.0] 0	- -) [0 :	0.0	0 !	0.0
C.100件~ 500件未綱	0		0	0.0	0		0 '		a			0.0			0 !	')	1 1	100.0		20.0
0.500件~ 1千件未構	0		0	0.0	0		0		0		1 1	- 50.0			0	') į	6	0.0	!!	20.0
B.1子件~ 2千件未满	0		0	0.0	0		0		0			0.0			0	') ļ	0	0.0		0.0
F.2千件~ 5千件未满	0.	1	0	0.0	0		٥		0		[D	0.0			0	1 :	2	0	0.0	0 1	Ç.Q
G.6于件以上	0,		0	0.0	D		0		0		1	50.0	0		0		יו	0	0.0	1	20.0
#t	0		2	100.8	0		٥		a		2	100.0	0		0)	1	100.0	5	100.0

見積番・データ(業種区分別)

業種区分		A		В	T	¢		D		E		F		G		Н		[l	全	体
回答項目	件数	率 (*)	件数	率 (%)	件数	平 (%)	件数	学(%)	件数	率 (1)	件数	¥ (1)	件数	华 (1)	件数	半 (%)	件数	寧 (%)	件数	¥ (%)	件数	學 (\$)
A. 50件未满	0		4	33.3		50.0	Đ		. 0		1	50.0			0		0		0	0.0 0.0	6	35.3 11.8
8.50件~ 100件未満 C.100件~ 500件未満	0		1	18.7	1	0.0 50.0	0		Ü		1	0,0 50.0	0		0		0		1	100.0	4	23.5
0.500件~ 1干件未滑: E.1千件~ 2千件未満:	0		2	8.9 18.7	0	0.0 0.0	0		0		C	0.0 0.0	0		O		U		0	0.0 0.0	2	5.9 11.8
E.2于件~ 5千件未満 G.5干件以上	0		2	18.7 0.0		0.0 0.0	0		0		0	0.0 0.0			G		0		0	0.0 0.0	0	11.8 0.0
ft	0		12	100.0	2	100.0	0		0		2	100.0	¢		G		0		1	100.0	17	100.0

注文番・データ(業種区分別)

業種区分		A		В		c		D		E,		F		G		H		[j	全	4
回春項目	件数	举(%)	件数	半 (*)	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率(%)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (X)	件数	¥ (1
A. 50件未撰	0		12	19.7	3	20.0	1	100.0	o.	0.0	٥	0.0	0	0.0	1	10.0	D	0.0	0	. 0.0	17	17.
B. 50件~ 100件未満	0		2	3.3	1	6.7	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	4.:
C.100件~ 500件末満	0		17	27.9	5	33.3	Q	0.0	1.	100.0	1	33.3	0	0.0	3	20.0	0	0.0	2 3	100.0		29.
D.500件~ 1千件末満	0		6	9.B	1 !	8.7	0	0.0	0	0.0		33.3	0	0.0	a	0.0	0	0.0	D	a.b		8.
E.1千件~ 2千件未満	0		j B	9.8	2	£3.3	0	0.0	0	0.0	o l	0,0		0.0	4	40.0	0	0.0	0	0.0	เย	12.
F.2千件~ 5千件未満	0		7	11.5		0.0	0	0,0	0	0.0	0	0.0		0.8	2	20.0	G I	6.0	0	0.0	9	9.
G.5千件以上	0		11	18.0	a	20.0	0	0.0	0	0.0	Đ	0.0	1	100.0	1	10.0	1	100.0	0	0.0	17	17.
8†	0		81	190.0	15	100.0	1	100.0	1	100.0	8	100.0	1	100,0	10	100.0	l	100.0	2	100.0	95	100.

往文変更数・アーク(架性区分別)

禁棋区分		A		В		C		D		E		F	G		н	1		J	全	#
回答項目	件数	率 (\$)	件数	平(%)	件数	¥ (1)	件数	率 (%)	件数	半(1)	件数	學 (%)	件数 寧 (1)	件影	睾 (%)	件数 率 (1	件数	零 (%)	件数	学(%)
A. 50件未满 B. 50件~ 100件未流 C.100件~ 500件未消 B.600件~ 1千件未消 E.1千件~ 5千件未流 G.5千件以上	0 0 0 0		8 5 10 0 2 3	27.8 17.2 34.5 0.0 6.9 10.3 3.4	0 1 0 1	88.7 0.0 18.7 0.0 18.7 0.0	0 0 0 0 0		1 0 0 0 0	100.6 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 ! 0	190.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0		0.0 18.7 88.7 0.0 1 18.7 0.0	0 0 0	1 0 1 0 0	0.0	8	33.3 13.3 35.6 0.0 8.9 8.7 2.2
ž†	0		29	100.0	6	100.0	0		1	100.0	ľ	100.0	ם	نــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	100.0	0	2	100.0	45	100.0

计分级类	A = 1 - 8	(学研り	7/1/9/11

業額区分		A	1	В		С		D		E		F			G		H		I	Ì	J	全	体
回答項目	件数	率 (%)	件数	率(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 ()	0	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	₩ (X)	件数	半 (%)
A. 50件未費 B. 50件~ 100件未換 C.100件~ 500件未換 O.600件~ 1千件未満 E.1千件~ 2千件未満 F.2千件~ 5千件未満 C.5千件以上	0 0 0 0		2 1 6 1 1 2	15.4 7.7 48.2 7.7 7.7 0.0	0	39.3 0.0 68.7 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0		0 0 0 0		0 0 1 0 0	0 0 100 D	0.0	0		0 0 0 2 1	0. D 0. D	0 0 0 0 0		0 1 0 0 0	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	9 2 3 1 2	14.3 4.8 42.9 8.5 14.8 4.8 9.6
#F	0		13	100.0	3	100.0	0		Ū		1	100	.0	Ð		8	100.0	a		1	100. D	21	100.0

納品書・データ(業職区分別)

業種区分		A			В			С			D			E			F			G		н		i ·		J	全	#
回客項目	件数	率	(X)	件数	坤	(%)	件数	毒	(%)	件数	¥	(1)	件数	*	(\$)	件数	平 ((X)	件数	半 (は)	件数	睾 (*)	件数	平(%)	件数	章 (1)	件数	¥ (%)
A. 50件未摘 B. 50件~ 100件未滴 C. 100件~ 500件未滴 D.500件~ 1干件未滴 E. 1干件~ 5干件未满 F. 2干件~ 5干件未清 C. 5干件以上	0			3 2 18 2 4 3 3	Ì	B. 1 8. 1 48. 5 6. 1 12. 1 9. 1	1 2 4 0 0 1	4	11.1 22.2 14.4 0.0 0.0 11.1	000000			0 0 0		0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 1 0	100 100 0	0.0	0 0		0 1 1 1 0	0.0 0.0 25.0 25.0 25.0 25.0	0 0 0 0 0		0 1 0 0 0	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	4 4 22 4 5 5	8.2 44.9 8.2 10.2 10.2
at .	0	ļ-		33	1	100, D	9	10	30.0	0	Т		. 1	10	D. O	1	100	0,0	Đ		4	100,0	a		1	100.0	48	100.0

出荷指示器・データ(業種区分別)

業種区分		A		В		С		D	l	E		F		G	l	Ħ		I		j	全	A
回答項目	件数	串 (#)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	¥ (¥)	件数	辛 (%)	件数	辛 (%)	件效	学 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	平 (1
A. 50件未構	0	-	4	17.4	2	50.0	0		0	0.0	Đ	0. D	0		0		0		D.	D. D	6	14.
8. 50件~ 100件未納	Q		2	8.7		U.0	0	İ	D	0.0	0	0.D	0	1	1	25.0	a		, 0	0.0	5	7.
C.100件~ 500件未満	0		5	21.7		25.0	O		3	42, 9	0	0.0	0	1	2	50.0	ŭ		, ,	60.0	12	28.1
P.500件~ 1于件未调	0		(17.4		25.0	0		1	14.8	D	0.0	0	1	0	0.0	l u		1 5	0.0	2	14.
2.1干件~ 2干件未謂	0		3	13.0	0	0,0	0		2	28.8	ן ט	0.0	ַט ו	ţ	J. U.	0.0	มู่		י ו	0.0	0	11.
F.2干件~ 5干件未満	0		1	4.9		0.0	0		0	0.0	1	50.0		1	0	0.0	a a		!	50.D	3	7.
C.5千件以上	0		1 4	17.4	0	0.0	. 0		1	14.8	1	50.0	0		1	25.0	u		13	0.0		18.
āt	0		23	100.0	1	100. D	0		7	100.0	2	100. D	0		4	100.0	0		2	100.0	42	100.

検収番 * データ(業種区分別)

梨郡区分		A			В		C			D			E		F	1	G		H		L	[L	J	全	ŧ
回答項目	件数	輅	(%)	件数	卒 (*) 件数	4	(%)	件数	平 ((%)	件数	串 (1)	件数	率 (%)	件數	學 ()) (件系	t 5	¥ (1)	纬数	半(1)	件数	學 (%)	件数	* (1
A. 50件未满 B. 50件~ 100件未满 C. 100件~ 500件未满 D. 500件~ 1千件未满 8. 1千件~ 2千件未摘 F. 2千件~ 5千件未满 G. 6千件以上	0		•	5 1 8 6 1 5	20. 3. 28. 20. 3. 16.	3 0 7 1 0 0 3 0 7 0		0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	0 0			000000		0 0 1 0 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	0			0 1 1 0 0 0 0 0 0 0	0.0 50.0 60.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0		0 1 0 0 0	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	8 2 11 7 1 5	17. 6. 31. 20. 2. 14. 8.
at	0			30	100.	0 1		100.0	0	_		G		1	100,0	٥			2	100.0	0		1	100.0	35	100.

照合確認書・データ(業種区分別)

業體区分		A			В			С		D			E		F		G	ì	l	H		1		J	全	#
回答項目	件数	*	(%)	件数	9	(X)	件数	學(\$)	件败	# ((X)	件数	半(t)	件政	率 (1) f	#数 2	# (1)	件数	¥ (%)	件数	章 (%)	件数	率 (%)	件数	事 (1)
4. 50件未換	а	1		$\overline{}$	Т	33.3	0		0	(1.0	1	100.0	0		1	0		0	ļ	0	į	0		2	40.0
B. 50作~ 100件未満	ŏ	i		Ö	į	0.0	D		0	(3.0	0	0.0	0 !			0		0	1	1 0	1	0		2	0.0 40.0
C. 190件— 500件末額	0	1		2	ŧ	66.7	0		0		0.0	0	0.0	0 !			Ď,		Ų		1 0	1	"		ñ	0.0
D.500件~ 1干件未満]		0	ļ	0.0	D D		0		0.0	U	0.0	1 41		-	01		, ,	l	١،	Ī	ľ	,	1 6	0.6
B.1千件~ 2千件未満	0			0	1	0.8	Ņ		1 1		0.0	u n	0. 0 0.0	"		1	n l		ا ا	ĺ	l Ď	1	l ŏ		ĭ	20.0
F.2干件~ 5干件未満 G.5干件以上	Ü			l ü		0.0 0.0	ă		á		0.0	ŏ	0.0	ŏ			οj		D		0		0		0	0.0
at	0	T		8	T	100.0	Đ		1	100	0.0	1	100.0	D			a		0		0		0		5	100.6

代金鵄求書・データ(業種区分別)

業組区分		A		В		C		D.		E	1	F	G		H			I		J	<u>全</u>	#
顾答項目	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	孝 (\$)	件数	率 (1)	件数 率 ()	件	数 率 ((3	件数	率 (%)	件数	* (*)	件数	平 (%)
A. 60件未摘 B. 50件~ 100件未摘 C. 100件~ 500件未换 G. 500件~ 1千件未被 E. 1千件~ 2千件未满 F. 2千件~ 5千件未满 G. 5千件以上	0	0.0 100.0 0.0 0.0 0.0 0.0	1 0	12.5 0.0 87.5 25.0 6.3 0.0 18.8	2 2 1 2 0	20.0 20.0 20.0 10.0 20.0 0.0	0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	0 3 0 0	0.0 75.0 0.0 0.0 25.0	0 0 0 0		0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 2 50 1 25 0 0	0.0000000000000000000000000000000000000	0 0 0		0 0 0 0 0		4 3 11 8 4	11.1 8.3 30.8 22.2 11.1 2.8 13.9
at .	1	100.0	16	100.0	10	100.0	1	100.D	4	100.0	0		0	1	4 100	.0	0		0		38	100.0

送金通知費・データ(業団区分別)

業種区分		A		В		С	Γ	D		E		F	C	3		н		I		J	金	#
回答項目	件数	平(1)	件数	率 (%)	件数	¥ (%)	件数	平(%)	件数	率 (1)	件政	半 (%)	作数	平(%)	件数	¥ (%)	件数	專 (X)	件数	半(%)	件数	平 (1)
A. 50件未减 B. 50件未减 C. 100件~ 100件未减 D. 500件~ 1千件未满 E. 1千件~ 2千件未满 F. 2千件~ 5千件未满	[0		0 0 3 0 0	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	1 1 0 0	83.3 93.3 93.3 0.0 0.0 0.0	0 0 1 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	1 2 0 0	0.0 33.3 86.7 0.0 0.0 0.0	0 1 0 1 0	0.0 50.0 0.0 50.0 0.0 0.0	0 0 0 0		0 0 1 0 1	0.0 0.0 33.2 0.0 33.3 0.0 33.3	0 0 0		000000000000000000000000000000000000000		1 9 7 2 1 0	8.7 20.0 48.7 13.3 8.7 0.0 8.7
81	0	 	3	100.0	3	100.0	1	100.0	3	(aa.a	2	100.0	0		3	100.0	0	<u> </u>	Û		16	100.0

版込通知書・データ(業団区分別)

業種区分		A		B		C		D		Ė		F		C		н		I		J	全	#
回答項目	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	半(*)	件数	率 (%)	件数	¥ (1)	件数	半(%)	件数	辛(%)	件数	平(%)	件数	率 (1)	件数	# (1)
A. 50件未満	0		2	25.0		0.0	0	0.0	1	100.D	В	0.0	0	0.0	1	20.0	D	0.0	1	60.0	6	19. 2
8. 50件~ 100件未満	a		1	12.5		50.0	0	0.0	۵	0.0	0	0.0		0.0	0	0.0	٥	0.0	a	0.0	2	7.7
C.100件~ 500件未満	Q	!	2	25.0	0	0.0	1 !	60.0	B	0.0		25.0	0	0.0	i i	20.0	1	100.0	1 1	60.0	7	28.8
0.600件~ 1千件未満	O.	!	1	12.5	0	0.0	1	60.0	0	0.0	0.	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	la	0.0	2	7.7
8.1干件~ 2干件未満	O.		0	0.0	1 0	0.0	ָוֹם וְ	0.0	ı o	0.0	Ð	0.0	Ð	0.0	l l	20.0	0	0.0	0.	0.0	1	3.6
F、2千件~ 5千件未满	G		0	0.0	0	0.0	D	0.0	0	0.0	2	60.0	1	100.0	1	20.0	р	i a.o	٥	0.0	4	15.4
G.5千件以上	0		2	25.0	1	50.0	0	0.0	ū	0.0	1	25.0	0	0.0	1	26.0	0	0.0	0	0.0		19.2
Ħ	0		a	100.0	2	100.0	z	100.0	1	EGD. D	4	100.0	1	100.0	5	100.0	1	190.0	. 2	100.0	26	100.0

船積書類・データ(築棚区分別)

業職区分		A	L	В		C		D		E		F		G		Н		ı		J	全	#
回答項目	件数	率 (*)	作数	率 (%)	件数	學 (%)	件数	半(%)	件数	平 (%)	件数	率 (1)	件数	串 (%)	件数	罩 (1)	件数	孝 (%)	件数	举 (%)	件数	率 (%)
A. 50件未満 B. 50件~ 100件未高 C.100件~ 500件未高 D.500件~ 1千件未讀 B.1千件~ 2千件未讀 F.2干件~ 5千件未讀 G.5千件以上	0 0 0 0 0		4 0 1 0 2 0	57.1 0.0 14.3 0.0 28.8 0.0	0 0 0	100.0 6.0 6.0 0.0 0.0 0.0	0000	,	1 0 0 1 8 1	18.7 9.0 0.0 18.7 50.0 16.7 0.0	0 0		0 0 0 0 0		D D D D		0 0 0 0 0		D D D D D	0, 0 0, 0 0, 0 0, 0 0, 0 0, 0	6 0 1 1 5	40.0 0.0 6.7 6.7 33.3 8.7 8.7
8h	0		7	100.0	1	100.0	a		6	100.0	0		D		. 0		a		1	160.0	15	100.0

船荷証券・データ(架毬区分別)

業極区分		A			В		C		D		E		F	G			Н		I		J	全	#
回答項目	件数	郑 (X)	件数	平 (%)	件数	孝 (1)	件数	率 (\$)	件数	平 (%)	件数	举 (%)	作数 率	(%)	件数	率 (%)	件数	淬(%)	件数	半 (%)	件数	≭ (%)
A. 60件未満	0			1	100.0	0		٥		0	0.0	0		0		0	0.0	D		a		,	25. D
8. 50件~ 100件未満	ū			0	0.0	0	1	D		C	0.0	. 0		0 [0 1	0.0	D	į į	Ō		Ċ	0.0
C.100件~ 500件未満 D.500件~ 1千件未満	0			0	0.0			Ď		0	0.0			0		1	100.0	0	1	a		1	25.0
1.500升~ 1十分未過 E.1千件~ 2千件未満	u			Ü	0.0 0.0		Ì	l n] !	0.0 50.0	0		0 1		0 1	0.0	D		0		0	0.0
F.2千件~ 5千件未换	0		- 1	n	0.0		l	ן ה		1 - 1	D. G			":		0!	0.0 0.0		1	u i		1	25.D
G.5千件以上	ő			Č	0.0			ő		i	50.0	٥		ä			0.0	0		0		1	0.0 25.D
ā†	0			l	100.0	0		0		2	100.0	٥		0		1	100.0	0		0		4	100.0

クレーム・データ(架積区分別)

業種区分		A		E	3		C	Т		D		E		F		G	Ī	Н		1		J	全	#
回答項目	件数	平()	(件)	tt [半 (1)	作政	* (*) (件数	学 (1)	件数	率 (第)	件数	學 (%)	件數	辛(1)	件数	學 (%)	件数	率 (%)	件数	字 (1)	作数	率 (1)
A. 50件未到	0			1	33.3	0			a		0	i	0		0		a	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1			1	93.8
B. 50件~ 100件未満	Đ			1	33.3	0			0] 0		lõ		Ιō		lŏ		Ιŏ	1	ŏ	1	l i	33.3
C.100件~ 600件未満	0	İ		0 [0.0	0	İ		αí] 0	İ	0	i	D		i ő!		l ŏ	į	Ö		اه ا	0.0
0.500件~ 1干件来調	0		1	0	0.0	0	l		0)		0	İ	0	İ	i o	İ	! a !		ĺ	į	ا م	ì	ň	0.0
B.1千件~ 2千件未銷	0		1	0	0.0	0	ļ		0 }		0	!	0	İ	Ð	ļ	0		0	į	Ō		Ď	0.0
F.2千件~ 6千件来湖	0,		1	0	0.0	0	ļ		o ļ		} 0		0		0]	l a		0	1	0		וֹם ו	0.0
G.5千件以上	¢			1	33.3	0			0		0		0		0		0		0		Ð		1	33.3
ilt	0			3	100,0	Q			0		0		ß		0		0		0		0		8	100.0

その他・データ(業様区分別)

業都区分		A			В]	c		D		E		F		G		Н		I	ľ	J	全	#
回答項目	件数	*	(X)	件数	孝 (*)	件数	净(%)	件数	學 (%)	件数	平 (%)	件数	平(1)	件数	率 (%)	件数	字(1)	件数	字 (X)	件数	學 (X)	件数	率 (%)
A. 50件未满 8. 50件~ 100件未讀 C. 100件~ 500件未請 O. 500件~ 1干件未讀 E. 1干件~ 2干件未清 F. 2干件~ 5干件未清 G. 5干件以上	0 0 0 0			3 4 2 4 2 2	10. 8 13. 8 8. 9 13. 8 8. 9	1 0 0	14.8 14.8 14.8 0.0 0.0	0	0.0 0.0 0.0 0.0 50.0	0 2	14.3 14.3 0.0 28.6 0.0 14.3	0 0 1	0.0 0.0 0.0 20.0 0.0 20.0	0		D 0 0 0 2	0.0 0.0 0.0 0.0 86.7 0.0	0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0	a 0	_	5 8 3 7 5	9, 1 10, 9 5, 5 12, 7 9, 1 9, 1
th	0			12		 	42.9 100.0	2	50.0 100.0	7	28.B 100.0	ა 5	100.0	0	·	3	33.3 100.0	2	100.0	0		24 65	100.0

仕様書等・ピーク(業績区分別)

業孤区分		A			В		C		D		E		F		G	ì	H		I		J	全	14
回答项目	件数	PF ())	件数	平 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	卒 (%)	件数	率 (X)	件数	举 (1)	件数	率 (\$)	件数	¥ (%)	件数	率 (1)	件数	率 (%)
A. 50件未調	0			1	50.0	0		0		0		G	0.0	٥		n		n		0	0.0	1	25.0
B. 60件~ 100件未満	Ð	İ		1	50.0	0	İ	0	İ	0	į	a	0.0	0		ŏ		l ŏ	į	Ιā	0.0	l i	25.0
C.100件~ 500件米額	0	l		D	0.0	0	l	0	İ	0	!	a	0.0	0		0		م ا	Ì	1	100.0	l i	25.0
D. 500件~ 1千件未満		ļ		0	0.0	0	ļ	0	ļ	0	ļ		0, 0	0.		0		1 0	j	Ð	0.0	6	0.0
B.1子件~ 2干件未満				0	0.0	0	ŀ	0	1	0	ļ .	1	100.D	0		0		0	İ	0	0.0	1	25.0
F.2子件~ 5干件未補	0	!	- 1	0	0.0	0	l	8	!	0	!	0	0.0			0		Ò	ĺ	0	0.0	D 0	0.0
G.5千件以上	0		_l_	0	0,0	D	<u>.</u>	Ð		0		G	0.0	0		0		0		0	0.0	0	0.0
8†	a			Z	100.0	0		0		D		1	100.0	0		0		0		1	100.0	4	100.0

見積着・ピーク(集団区分別)

業種区分		A		В		С		מ		Е		F		G	н			I .		J	全	体
回答項目	件数	举 (%)	件数	郑(%)	件数	率 (*)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	學(%)	件数	唐 (3)	件数 辛	¥ (%)	件数	率 (1)	件数	平(以	件数	平 (1)
A. 50件未摘 B. 50件~ 100件未摘 C. 100件~ 500件未摘 D. 500件~ 17件未摘 E. 17件~ 27件未摘 F. 27件~ 67件来滴 G. 57件以上	0 0 0 0		0 2 3 0 1 3	0.0 20.0 30.0 0.0 10.0 30.0	0 0 0 0	50.0 0.0 0.0 0.0 0.0 50.0	000000		0 0 0 0		1 0 0 0 0 0	100.0 6.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0		0 0 0 0		0 1 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	2 2 4 0 1	14.9 14.3 28.8 0.0 7.1 28.8 7.1
āt	0		10	100.0	2	100.0	0		0		1	100.0	0		0		O		1	100.0	14	100.0

注文曲・ピーク(葉極区分別)

業覆区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		1]	全	#
回答項目	件数	率 (1)	件数	平 (*)	件数	率 (%)	件数	岩(1)	件数	平(%)	件数	平(1)	件数	平(%)	件数	平(%)	件数	平 (1)	件政	平(#)	件数	₩ (X)
A. 60件未納 B. 60件~ 100件未納	0		2	4.0 4.0	2	14.3 7.1	0	0.0 0.0	0	0.0 0.0	0	0.0 0.0		0.0 0.0		0,0 11.1	D 0	0,0 0.0	0	0,0 0.0		4.8 4.9
C.100件~ 500件未満 D.500件~ 1千件未満 G.1千件~ 2千件未初:	0		13 5	26.0 10.0 6.0		21.4 21.4 7.1	0	100.0 0.0 0.0	0	100.0 0.0 0.0	1	50.0 50.0 0.0		0.0 0.0 0.0	1 2	0.0 11.1 22.2	0	0.0 0.0 0.0	1 0 0	60.0 0.0 0.0	20 10	24.7 12.8 8.6
F. 2千件~ 5千件未満 G. 6千件以上	0		7 17	14.0 34.0		0.0 28.6		0.0 0.0	Ö	0.0	ŏ	0.0 0.0	o 1	0.0 100.0	2	22.2 33.3	0	0.0 100.0	1	50.0 0.0	10 26	12.3 32.1
al	0		б0	100.0	14	100.0	ì	100.0	1	100.0	2	100.0	1	100.0	₿	100.0	1	100.0	2	100.0	81	100.0

注文変更書・ピーク(業種区分別)

業種区分		A		E	В		С		D	1	E		F		G		Н		1		J	全	#
回春項目	件政	举 ()	(件)	故	率 (%)	件数	2¥ (%)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	単(%)	件数	平 (%)	件数	华(1)	件数	翠 (%)	件数	率 (1)	件数	半 (1)
A. 80件未満	O.			4	18.2	2	40.0	0		0	0.0	0		٥	Ì	0	0.0	0	i -	1	50.0	7	20. D
8.50件~ 100件未満	0	ĺ		1	4.5	1	20.0	a	1	1	100.0		ł	0	l	0	0.0	0		0	0.0	3	8.6
C.100件~ 500件未満	D	1	1	8	27.3	0	0.0	0	!	0	0.0			0	!	3	60.0	0	!	1	60.0	10	28.6
D.600件~ 1千件未満	0	l	1	5	22.7	0	0.0		!	0	0.0)	0	1	0	0.0	0	ļ	1 0	0.0	- 6	14.3
B.1干件~ 2干件未潤	D,	!		1	4.5	2	40.0			1 0	D.O	0	1	1 0		1	20.0	1 0	1	0	0.0	4	11.4
F.2干件~ 6干件未满	0	1		3	13,8	0	0.0			0	0.0	0		į c	I	1	20.0	, 0	ļ	0	0.0	4	11.4
G.6千件以上	0	!	1	2	9.1	0	0.0	0		0	0.0	0		0		0	0.0	0	[D	0.0	2	6.7
āt .	0		1	22	100.0	6	100. D	0		, 1	100.0	0		0		5	100.0	0		2	100.0	35	100.0

注文顕書・ピーク(菜種区分別)

業種区分		Α .		В	1	С		D		E		F		G		Н		1		1	全	#
阿答項目	件数	孝 (1)	件数	率 (X)	件数	翠 (%)	件数	平(1)	件数	平(1)	件数	率 (%)	件数	率(%)	件数	平 (以)	件数	梅(%)	件数	平(1)	件数	平 (%)
A. 50件未満	0		D	0.6	1	50.0	0		û		0		0		0	0.0	0		0.	0.0	1	5.0
B. 60件~ 100件未満	0	l	D	0.0		0.0	D	ļ	0		a		0		Ð	0.0	O.	İ	0	0.0	0	0.0
C.100件~ 500件未満	Ō	l	В			0.0	į į		0	ł	Ò		0		0	0.0	0	1	1	100.0	7	3 5.0
D.500件~)千件未満	0	!	3	21.4		50.0	0	!	0	1	0		0		0	0.0	a		0	0.0	4	20.0
B.1子件~ 2子件未满	0		1 1	7.1		0.0	0		0	ļ	0		0 9		0	0.0	0	!	0	0.0	1	5.0
F.2千件~ 5千件未満	0]	2	14.2		0.0	0] 0	ļ	, O		1 01		2	66.7	0		0	0.0	4	20.0
G.5千件以上	0		2	14.3	1 0	0.0	D		0		0		0		1	33.3	0	<u> </u>	0	0.0	3	15.0
at	0		14	100.0	2	100.0	D		0		D		0	,	3	100.0	0		1	100.0	20	100.0

納品書・ピーク(業種区分別)

業配区分		A			В		С		D	ŀ	Е	ł	F		G	i		H		I		J	全	Ħ
回答項目	件数	\$\$\$ (¥)	件政	邓 (1)	件数	平(1)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	準 (1) 件数	t 4	# (%)	件数	字 (I)	件数	字 (X)	件数	李 (X)	件数	* (%)
A. 50件未満	0			a	0.0	1	12.5	0		0	0.0	0		,	ıΤ		û	0.0	0		0	0.0	1	2.6
8、50件~ 100件未満	a j		1	0	D. D	1	12.5	0		10	0.0	C		- 1) [0	0.0	0	!	0	0.0	1	2.6
C.100件~ 500件未満	0		J	6	24.0	3	37.5	0		[0	0.0		!		1		1 }	33.3	0	!	1	100.0	11	28.9
0.500件~ 1于件来額	0		ı	7	28.0	l L	12.5	0		[0	0.0			1 (] [0 1	0.0	0	!	D	0.0	l B	21.1
E.1千件~ 2千件未満	0		- 1	4 !	16.0	0	0.0	0 }		0	0.0		!	- 1) [0	0.0	0	•	0	0,0	4	10.6
F.2干件~ 5干件未销	0			4 !	18.0	(1)	0.0	0 (l e	0.0	1 0	1	- 1 ()		2	88.7	0	ļ	D	0.0	- 8	15.6
G.5千件以上	D			4	18.0	2	25.0	0		1	100.0	0] [0	0.0	0		0	0.0	7	18.4
ā†	٥			25	100.0	8	100.0	0		1	100.0	0			ı		3	100.0	0		1	100.0	38	100.0

出荷指示書・ピーク(桑匯区分別)

業種区分		A		В		С		D		E	}	F		G	<u> </u>	н	l	<u> </u>		J	全	#
回答項目	件数	# (X)	件数	罕(%)	件数	學 (%)	件数	學 (%)	件数	率 (%)	件数	辛 (%)	件数	率 (1)	件数	平 (%)	件数	率(%)	件数	# (X)	件数	字 (%)
A. 50件未满 B. 50件~ 100件未剩 C.100件~ 500件未到 D.500件~ 1千件未滿	0 0 0		0 1 6	0.0 4.8 28.6 13.0	1	50.0 0.0 25.0 25.0	0		0 0 1 1	0.0 0.0 14.3 14.3	0	0. D 0. B 0. D 0. O	0		0 0 0	0.0 0.0 88.7 0.0	0 0 0		0 0 1 0	0.0 0.0 50.0 0.0	2 1 11 8	5. l 2. 8 28. 2 15. 4
E.1子件~ 2子件未満 F.2子件~ 5子件未満 E.5子件以上	000		3 2 5	14.3 9.5 23.8	0	0,0 0.0 0.0	0 0 0		9 1 1	42.9 14.3 14.3	l t	0.D 60.D 60.D			D. 0	0.0 0.0 33.3	0 0 0		0 1 0	0.0 50.D 0.D	6 5 8	15.4 12.8 20.6
ät	Ð		21	100.0	4	100.0	0		7	100.0	2	100.0	0		3	100.0	e		2	100.0	39	100.0

検収書・ピーク(業種区分別)

架截区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		1		ı	全	4
回答項目	件数	李 (X)	件数	率 (%)	件数	후 (1)	件数	率 (%)	件数	¥ (X)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	孝 (%)	件数	华(1)	件数	半(%)	件数	平 (%)
A. 50件未満	D		2	8.3	a	0.0	0		C		0	0.0	0		0	0.0	0		0	0.0	2	8.5
8.60件~190件未満	D		0	0.0	0	0.0	0		0	!	0	0.0	0	1	0	0.0	0	Ì	0	0.0	8	0.0 13.8
C.100件~ 500件未満 0.600件~ 1干件未満	0		3	12.5	0	0.0	ומו		0	i	0	0.0	"	1	1 0	0.0 0.0	ľ	i	1	100.0 G.G	2	13.6
8.1千件~ 2千件未摘	0		;	18.7	Ö	a.a	ő		Ö	İ	i	100.0	ا ا	Ì	ĭ	50.0	ŏ		ő	0.0	6	20.7
F.2干件~ 5干件未満 G.5子件以上	0		9	8.3 87.5		100.0 0.0	0		0		0	0.0 0.0	0		0	\$0.0 0.0	0		0	0.0 0.0	9	13.8 81.0
at	0		24	100.0	1	100.0	ß		0		1	100.0	0		2	100.0	0		1	100.0	29	100.0

照合確認書・ピーク(業種区分別)

業祖区分		Α			В			С			D		E		F		G		Н		ī]	J	全	体
回答項目	件数	率	(X)	作数	19	g (%)	件数	丰	(1)	件数	孝 (*)	作数	李 (%)	件数	卓(%)	件数	率 (%)	件数	平 (%)	件数	率 (1)	件数	单(*)	件政	学 (%)
A. 50件未初 B. 50件~ 100件未滴 C.100件~ 500件未滴 C.500件~ 1千件未滴 B.1千件~ 2千件未滴 F.2千件~ 5千件未滴 C.5千件以上	0 0 0 0 0			0 1 1 1 0 0		0.0 33.3 33.3 33.3 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0			0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0	0.0 100.6 0.0 0.0 0.0	0 0 0		0 0 0 0 0 0		0 0 0 0		0 0 0		0 0 0 0		0 2 1 1 0 0	0.0 40.0 20.0 20.0 0.0 0.0 20.0
# †	0			3	Γ	100.0	0			i	100.0	1	100.0	0	L	0		0	<u> </u>	0	<u> </u>	D		5	100.0

代金請求書・ピーク(業種区分別)

架礁区分		A		В		С		D		E		F		G		H		1	<u> </u>	1	£ .	#
回答项目	件数	率 (%)	件数	率 (*)	件数	翠 (%)	件数	# (%)	件数	平 (X)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	* (t)	件数	* (%)	作数	* (1)
A. 50件米 B. 50件~ 100件未 C. 190件~ 500件未 D. 600件~ 1干件未 B. 1干件~ 2千件未 F. 2干件~ 5干件未 G. 5干件以上	0 0 1 0 0	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	0 2 4 1 8	0.0 0.0 14.3 28.6 7.1 21.4 28.6	0 1 3 3	11.1 0.0 13.1 38.8 93.3 0.0	0 D Q		0 0 1 1 2	0.0 0.0 0.0 25.0 25.0 50.0	0 0 0 0 0		0 0 0 0 0		0 0 0 1 0 2	0.0 0.0 0.0 25.0 0.0 50.0	0 0 0	-	0 0 0	,	1 0 4 9 5 7 8	3. 1 0. 0 12. 5 28. 1 15. 8 21. 9
81	1	100.0	14	100.0	9	100.0	D	<u> </u>	4	100,0	0		0		4	100.0	0		0		32	100.D

送金通知曲・ピーク(装顔区分別)

業態区分		A		В		С		D		E		F		G		H		1		J	全	#
回答項目	件数	學(%)	件数	孝 (1)	件数	率 (%)	件数	举 (1)	件数	学(%)	件数	率 (%)	件数	率(以)	件数	單(X)	件数	率 (1)	件数	平(%)	件数	學 (%)
A、60件未満	٥		0	0.0	0	0.0	ď		0	0.0	O.	0.0	0		1	33.3	a		a	ĺ	1	7.7
B. 50件~ 100件未満	וֹם		1 0	0.0	1 0	0.0	0		l o	0.0	a	0.0	0	Ī	loi	0.0	a		lo	į	0	0.0
C.100件~ 500件未満	0		1	25.0	i	50.0	0		2	88.7	1	100.0	İ	i	Ŏ	0.0	ō		ĺõ		1 5	38.5
D.500件~ 1千件未満	0		2	60.0	1	60.D	0	ĺ	0	0.0	a	6.0	6	į	loi	0.0	o i	ĺ	0		9	23.1
B.1千件~ 2千件未満	D)		0	0.0	0	0.0		ĺ	1	33.3	a	0.0	O	Ī	0	0.0	0	İ	Ō		1	7.7
F.2千件~ 5千件未満	G.		1 1	25.0	0	0.0	0		0	0.0	a	0.0	0		ı	38.3	a l	İ	0		2	16.4
G. 5千件以上	Ū		0	0.0	٥	0.0	0		0	0.0	0	0.0	G	!	1	33.3	0		0		1	7.7
8t	0		4	100.0	2	100.0	0		3	100.9	1	100.0	0		3	180. D	0		D		13	100.0

版込週知書・ピーク(菜筐区分別)

業福区分		A		B		С		D		E		F		G		Н		I		J	全	#
回客項目	作数	率 (1)	作数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	学(1)	件数	率 (1)	件数	翠 (*)	件数	率(%)	件数	率 (%)	件数	¥ (%)	件数	半 (1)	件数	率 (1)
A. 50件未装	a	0.0		0.0	0	9.0	0	0.0	a	0.0	0	0.0	0	0.0	G	0.0	D	0.0	0	0.0	0	6.0
B. 50件~ 100件未满 C.100件~ 500件未請	0	0.0 0.0	3	0.0 42.9		0.0 \$0.0	0	0.0 0.0	1	0.0 100.0		0.D 0.D	0	0.0 0.0	1	0.0 20.0	D 0	0.0 0.0	2	0.0 100.0	8	0.D 30.8
0.500件~ 1千件末调 E.1千件~ 2干件未満	0	· 0.0	0	14.3 0.0	0	0.0	D 1	0.0 100.0	0	0.0 0.0	0	0.0 0.0	0	0.0 0.0	1	20.0	0	0.0 100.0	0	0.0 0.0	2	7.7 11.5
F.2千件~ 5千件未颁 G.5千件以上	0 G	0.0 0.0	8	0.0 42.9	0	0.0. 50.0	0	0,0 0.0	0	0.0 0.0		20.0 80.0	l O	100.0 0.0	1 2	20.0 40.0	0	0.0 0.0	0	0. D 0. D	3 10	11.6 38.5
at .	1	100.0	7	100.0	2	100.0	ı	100.0	1	100.0	5	100.0	0	100,0		100.0	1	100.0	2	100.0	- 26	100.0

船積書類・ピーク(業献区分別)

業包区分		A		B		С		D		E	F		G	Т	1	ŀ		I		J	全	#
回客項目	件数	辛(%)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	平 (#)	件数	埼 (*)	件数 4	K (%)	件数率()) 1	件数	半 (1)	件数	半 (%)	件数	平 (%)	件数	平 (%)
A. 50件未均 8. 50件~ 100件未约 C.100件~ 500件未约 0.500件~ 1寸件未约 E.1千件~ 2千件未约 E.2千件~ 5千件未均 G.5千件以上	a		1 0 2 1 0	18.7 0.0 33.3 18.7 0.0 18.7 18.7	1 0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0		1 0 0 0 0 3 2	16.7 0.0 0.0 0.0 0.0 60.0 33.3	0		0		0 0 1	0.0 0.0 0.0 0.0 100.0	0 0 0 0		90000	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	3 0 2 1 1	20.0 0.0 13.3 6.7 6.7 26.7 28.7
射	0		8	100.0	ı	100.0	a		6	100.0	0		0	\dagger	1	100.0	a		1	100.0	15	100.0

鉛荷証券・ピーク(業福区分別)

業種区分		A		В		С		Đ.		E		F		G		Н		1		J	全	#
回答項目	件数	平(%)	件数	平(%)	件数	本(1)	件股	字(\$)	件数	半 (%)	件数	率 (%)	件数	単 (%)	件数	平 (%)	件数	平(%)	件数	單 (数)	件数	半 (#)
A. 50件米額	0		1	100.0	0		0		0	0.0	0		a		D	O. C	0		0		1	25.0
8. 50件~ 100件未満	G (0	0.0] G		D		0	0.0	0		0		0	0.0	0	ĺ	0		0	0.0
C.10D件~ 5DD件未満	0		0	0.0			0		0	0.0	0		0 !		0	0.0	0	!	! D		į o	0.0
11.500件~ 1千件未満	0 }		0 ;	0.0			ย		G	0.0	0		0 }		0	0.0	0	1	0		0	0.0
E.1千件~ 2千件米滴	0		0	0.0	0		0		a	0.0	0 !		0 {		1	100.0	0		D D		1	25.0
F.2千件~ 6千件未满	0 !		0	0.0			0		0	0.0	0		0		0	0.0	D		0		0 -	0.0
G.5千件以上	0		0	0.0	0		G		2	100.0	0		0		0	0.0	0	ļ	0		2	60.0
1t	0		1	LOD. O	D		0		2	100.0	0		0		1	100.0	9		0		4	100.0

クレーム・ピーク(梨塩区分別)

業種区分		A		В		C		D .		E		F		C]	H		I	ŀ	J	全	#
回答項目	件数	敢 (*)	件数	凇 (%)	件数	等 (1)	件数	率 (1)	件数	举 (1)	件数	學 (%)	作数	字 (X)	件数	平(%)	件数	平 (%)	件数	學 (1)	件数	# (X)
A. 50件未満	0		a	0.0	0		0		D	l	a		0		a		0		0		a	0.0
B. 50件~ 100件未満	C		1 0	0.0	0	į	0	İ	0	į	Ð		0 1		0 1		0	ĺ	Ò		Ō	0.0
C.100件~ 600件米润	0	ĺ	1 0	0.0	0	1	0	j	0	İ	0				l oi		l o	į	ا و		0	0.0
D.500件- 1千件未満	O	!	1	50.0		!	0	ł	ן מ	!	0		1 0!		0		0.	1	G		1 1	50.0
B.1子件~ 2千件未満	9		0	0.0		!	0	1	Ð	l	0		1 0		0		0		Q.		0	0.0
F.2干件~ 5干件未摘	0	ļ	0	0.0		!	1 0	1	0	!	0		[0]		0		0		0	!	0	0.0
G,5千件以上	0			50.0	0	ļ	D	<u> </u>	0		0 }		[a l		0		0		0		1	50.0
8t	0		2	100.0	0		0		O		0		٥		0		0		0		2	100.0

その他・ピーク(菜蘸区分別)

業額区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		3		1	全	#
何答項目	件数·	罗(1)	件数	率 (1)	件数	华 (1)	件数	辛(%)	件数	举 (%)	作数	# (%)	件数	半 (%)	件数	率 (%)	件数	半 (%)	件数	半(4)	件数	¥ (\$)
A. 50件未摘 B. 50件~ 160件未满 C. 100件~ 500件未满 0.500件~ 1千件未满 E. 1干件~ 2千件未满 F. 2干件~ 5千件未消 C. 5干件以上	0 0 0		0 1 4 0 4 3	0.0 3.8 15.4 0.0 35.4 11.5 53.8	1 1 1 0	0.0 16.7 16.7 16.7 0.0 18.7 33,3	0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 3 0 0	14.3 0.0 0.0 42.9 0.0 6.0 42.8	1 0 1	0.0 0.0 0.0 20.0 0.0 20.0 20.0	0 0 0 0 0 0	-	0 0 0 0 0 3	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0		1 2 5 4 5 28	2.0 4.0 10.0 10.0 8.0 10.0 58.0
#t	0	1	28	100.0	8	100.0	ı	100.0	7	100.0	Б	100. D	0		3	100,0	2	100,0	0		50	100.0

仕機**藝等・企業数(業種区**分別)

業態区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		[J	全	#
回答項目	件数	华(%)	件数	辛(%)	件数	學 (%)	件数	學 (X)	件数	₩ (x)	件数	晔 (*)	件政	平(%)	件数	半 (%)	件数	半 (%)	件数	平 (¥)	件数	# (X)
A.10件未満 B.10件~20件未満 C.20件~50件未満 O.50件~100件未満 B.100件~200件未満 F.200件~500件未満 C.500件以上	0 0 0 0 0		2 0 0 0 0	160.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0		0 0 0 0 0		0 0 0 0 0		l 0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0		00000	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	400000	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0
ät	0		2	100.0	0		0		D		l	100.0	0		0		0		1	100.0	4	100. D

見積截・企業数(業極区分別)

業種区分		A		В		С		D		E		F		G		H.		1		1	全	4
回答項目	作数	罪(X)	件数	率 (1)	件数	华(红)	件数	字 (E)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	作数	學 (%)	件数	學 (1)	件数	率 (%)	件数	平 (1)	件数	孝 (3)
A, 10件未満	0		3	90.0	2	100.0	0		0		0	0.0	0		0					50.0	8	37.6
B.10件~20件未潤	0	1	4	40.0	0	0.0	0	1	l c	İ	- 1	50.0	0	ĺ	0		0	ĺ	l ii	50.0	l e	37.5
C.20件~50件未消	0	!	G.	0.0	0 !	0.0	C	1			0	0.0	a	1	0		٥		0	0.0	اة	0.0
D. 50件~100件未到	0	ļ	0	0.0	0	0.0	0		0	!	0	0.0	. 0	1	0	1	ו ס	Ì	l oi	0.0	ا ۵	0.0
E. 100件~200件未満	0	•	3	30.0	0	0.0	0		lo	ļ	0	D. 0		1	0	ĺ	0	ĺ	0 1	0.0	9	18.8
F.200件-600件未満	j 0	ļ	0	0.0	0	0.0	0		<u> </u>		0	0.0	0	!	0		ו ס		Jel	0.0	0	0.0
G.500件以上	0	!	0	0.0	0	0.0	0		0		1 :	50.0	ן מ	!	0		0		ا ٥	0.0	1	8.3
ž†	D		10	190.0	2	100.0	0		D		2	100.0	0		0		a		2	100.0	18	100.0

往文書 • 企業数(禁極区分別)

業種区分		A	1	В		С		D	ĺ	E		F		G		н		1		J	全	#
回答項目	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	作数	率 (%)	作数	率 (%)	件数	¥ (%)	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	串(1)	作数	率 (%)	件数	孝 (%)
A. 10件未摘	0		18	30.0	7	50.0	1	100.0	1	100.0	1	33.8	0	0.0	3	30.0	D	0.0	1	33.3	32	84.0
8.10件~20件未満	0		9	15.0	3	21.4	0.	0.0	0	0.0	Ó	0.0	اِمَا		Ιĩ	10.0	0	0.0		0.0	13	13.8
C.20件~50件未讀	0 !	!	15	25.0	1 0	0.0	a	0.0	0	0.0	0	0.0	oi	0.6	l ż	20.0	Ö	i õõ	امًا	0.0	l i7 i	18.1
0.60件~100件未満	D!	!	6	10.0] 0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	0	Û, D	2	20.D	i	100.0	اما	0.0	10	10.6
E.100件~200件未到	0		4	6.7		7.1	0	0.0	a	9.0	0	0.0	1	100.0	1	10.0	0	0.0	l i	33.3	B	8.6
P.200件~600件未満	0		Б	8.3	2	14.3		0.0	0 :	0.0	0	0.0	0)	0.0	1	10.0	l a	0.0	1	33.3	9	8.6
G.500件以上	0		3	6.0	1	7.1	D	0.0	0	0.0	L	33.3	0	D.G	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	5.8
8 †	0		60	LOU. O	14	100.0	1	100.0	1	100.0	3	100.0	1	100.0	10	100.0	1	100.0	3	100.0	84	100.0

往文爱更掛・企業数 (業種区分別)

		A		В		C		Đ	l	E		F		G		Н		I		J	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	孝 (1)	件数	净 (%)	件政	本 (*)	件数	平 (1)	件数	¥ (1)	件數	字 (1)	作政	平(%)	作数	¥ (X)
A.10件未獨 B.10件~20件未満 C.20件~50件未満 O.50件~100件未离 E.100件~200件未減 F.200件~去 G.500件以上	00000		5 2 7 4 6 3	17.9 7.1 25.0 14.3 21.4 10.7 3.6	2 D	33.3 33.8 0.0 0.0 0.0 16.7 16.7	0 0 0 0 0		0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0	0.0	00000		1 3 1 0 0	18.7 18.7 50.0 18.7 0.0 0.0	0 0		1 0 1 1 0	83.3 0.0 0.0 33.3 33.3 0.0	10 5 10 8 7 4	11.1
ät	0		28	100.D	6	100.0	B		1	190,6	1	100.0	0	-	ð	100.0	۵		3	100.0	45	100.0

注文請書・企製数 (業種区分別)

樂都区分		A].	Ð		С	İ	D	ļ	E		F		G			Н		[J	全	#
回答項目	件數	*	(3)	件数	率 (%)	件数	宁(%)	件数	平(%)	件数	华(%)	件数	率 (%)	件数	*	(\$)	件数	字 (\$)	件数	平 (1)	件数	平 (X)	件数	平 (1)
4.10件未満	0			10	68.7	2	66.7	а		0		0	0.0	0	1		0	0.0	0		1	50.0	13	54.2
B.19件~20件未捌	0	Í		1	8.7		0.0	a i		0		Ιo	0.0	lõ	i		Ĭ	33.3	آ	į	Ó	0.0	2	8.3
C.20件~50件未讀	D	!		3	20.0	0	0.0	0 :		0		0	0.0	l o	į .		ż	66.7	Ιō	İ	اةا	0.0	6	20.3
D.50件~100件未満	C	!		0	0.0	D	0.0		!	0		0.	0.0	0	!		0	0.0	l c	į	loi	0.0	Ō	0.0
E.100件~200件未讀	0	ı		0	0.0	0	0.0	0		0		0	0.0	٥	1		. 0	0.0	0	İ	1	50.0	1	4.2
F.200件~500件未満	0	ļ		1	8.7	1	33.3	0		Û		0	0.0	0	1		0	0.0	0	1	0	0.0	2	8.3
G.50D件以上	. 0			0	0.0	0	0.0	0		0		ı	100.0	D	1		۵	0,0	0		0	0.0	1	4.2
at	G			15	100.0	3	100. B	D		D		ŀ	100.0	0	1		3	100.0	0		2	100.0	24	100.0

納品書•企業数(業態区分別)

業種区分		A			B		C	1	D		E		F	[G		Н		1		J	全	4
回答项目	件数	半(X)	件数	李 (1)	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	翠 (1)	件数	率 (%)	件数	學 (%)	件数	學 (%)	件数	學 (%)	件数	半 (%)
A. 10件未満	Ð	<u> </u>		20	88.7	6	65.6	a		1	100.0	С	0.0	0		1	38.3	ß		1	50.0	28	80.8
B. 10件-20件未満	ō	ļ	- 1	1	3.3	l i	11.1	l o		Ó	0.0	O.	0.0			Ιî	33.3	Ιō.	j	i	0.0	3	6.5
C.20件~50件未满	0	Ì		5	16.7	1	11.1	0		0	0.0	a	0.0	0	İ	1	33.3	0	į	0	0.0	7	15.2
D.50件~100件未満	G		- 1	2	6.7	0	0.0	0		0.	0.0	0	0.0	0	!	Ð	0.0	0	ĺ	1	50.Q	3	6.6
8.100件~200件未満	0 :	ĺ	- 1	1	3.3	1	11.1	0		0	0.0	0	0.0	0		0	0.0	0		0	0.0	2	4.9
F. 200件~500件未到	0	İ	- 1	0	0.0		0.0	0		0	0.6	0 !	0.0	0	}	0	D.0	C	İ	0	0.0	0	0.0
G.500件以上	Ō			1	3, 3	1	11.1	0		C C	0.0		100.0	0		0	0.0	0		0	0.0	3	6.5
ā†	0			30	100.0	9	100.0	0		1	100.0	1	100. D	0		3	100.0	0		2	100.0	48	100.0

出荷指示書・企業数(業額区分別)

業種区分		A		В		С		D		Е		F		G		H		ī		3	全	体
回答項語	件数	率 (%)	件数	率(%)	件数	率 (1)	件数	章 (1)	件数	率(1)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	寒 (%)	件数	平 (1)	件数	平(1)	件数	平 (2)
A.10件未讀 8.10件~20件未讀 C.20件~50件未讀 D.50件~100件未讀 B.100件~200件未讀	0 0		9 1 4 3	40.9 4.5 18.2 13.6 4.6	1 0 0	75.0 0.0 25.0 0.0 0.0	0		4 1 1 0	57.1 14.3 14.3 0.0 14.3 0.0	2 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0		1 2 0	25.0 25.0 50.0 0.0 0.0	0 0 0		L 0 1 0	33.3 0.0 33.3 33.3 0.0	20 3 9 4 2	7.1
F.200件~500件未满 C.500件以上	D		0	18.2 0.0	a	0.0	0		0	0.0	0	0.0	ő		ă	0.0	ő		6	0.0	ò	0.0
Ħ	0		22	100.0	4	109.0	. 0		7	100.0	2	100.0	a		4	100.0	0]	8	100.0	42	100.0

検収書・企業数(菜配区分別)

菜棚区分		A		B		Ç		D		E _		F	•	G	L	H		1		J	全	#
回答項目	作数	平(%)	件数	* (%)	件数	準 (%)	件数	平 (%)	件数	岩(1)	件数	半(%)	件数	平(%)	件数	辛 (以)	件数	辛(%)	件数	半 (%)	件数	# (X)
A.10件未滿 B.16件~20件未滿 C.20件~50件未滿 B.100件~200件未滿 E.100件~200件未滿 F.200件~500件未滿 G.650件以上	0 0 0 0		14 5 3 4 4 2	42.4 16.2 9.1 12.1 12.1 6.1 8.0	0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0		0 0 0	-	1 0 0 0 0 0	50.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 50.0	0 0 0 0 0		2 0 1 0 0	68.7 0.0 0.0 33.3 0.0 0.0	D D D		1 0 1 0 0 0	50.0 0.0 50.0 0.0 0.0 0.0	19 5 4 6 4 2	48.3 12.2 9.8 12.2 9.8 4.9
đi	D		83	10Q.D	t	100. D	0		0		2	100.B	0		3	100.0	0		2	100.0	41	100.0

照合確認書・企業数(葉種区分別)

業程区分		A		В		С	•	D		E		F		C	H		1		J	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	举 (1)	件数	學(%)	件数	字(1)	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	孝 (1)	件数 率 (%)	件数	字(%)	件数	字 (X)	作数	率 (1)
A.10件未満 8.10件未満 C.20件~50件未満 D.50件~100件未満 B.100件~200件未満 F.200件~500件未満 G.500件以上	0 0 0		1 1 0 0	33.3 33.8 33.8 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0		0 0 1 0 0	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0		0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	1 2 0 0	50.0 16.7 83.8 0.0 0.0 0.0
21	0		3	100. D	0		1	300.0	1	100.0	0		0		0	1		!	100.0	6	100.0

代金請求書・企業数(業区区分別)

業態区分		A		В		С		D		E		F		C		Н		ı		J	全	#
回客項目	件数	幸(1)	件数	率 (1)	件数	率 (1)	件数	¥ (X)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	¥ (1)	作数	率(%)	作数	¥ (%)	件数	率 (%)	件数	率 (X)
1.10件未満	0	0.0	в	37.5	8	68.7	0		2	60.0	0		0		1	20.0	0		0	0.0	15	41,7
B.10件~20件未満	0	0.0	5	31.3	2	22.2	.0	!	2	50.0	0	ĺ	0 (1 !	20.0	a	1	0 1	0.0	10	27.B
C.20件~50件未満	- 1	100.0] 4	25.0	0	0.0	0	1	C	0.0	0	1	0 1		2	40.0	0	}	1 1	100.0	В	22.2
D.50件~100件未満	0	0.0	0	0.0	1	11.1	8	!	. 0	0.0	1 0		0 1		1 1	20.0	0	1	0	0.0	2	5.6
E.100件~200件未清	- 0	0.0	0	0.0		0.0	} . a	!	0	0.0	jo	1	0		0	D. D	0		0	0.0	0	0.0
F, 200件~500件米額	Ð	0.0	1	8.8		0.0		l ·	0	0.0	0	!	0 !		. 0	0.0	0	ļ	0 !	0.0	1	2.8
0.500件以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		0	0,0	1 0		0		0	0. D	9		0	0.0	В	0.0
at	L	100.0	16	100.0	9	100.0	0	İ	4	100.0	û		a		5	100.0	O		1	100.0	28	108.0

送金通知書 • 企業数(業和区分別)

業額区分		A		Ð	1	С		D	Ī	E		F		G		н		I		1	全	#
回答項目	件数	翠(%)	件数	平(%)	件数	率 (X)	件数	半 (%)	件数	率 (1)	件数	孝 (1)	件数	率(1)	件数	举 (3)	件数	孝 (X)	件数	半(%)	件数	学(I)
A. 10件未满 6. 10件~20件未满 C. 20件~50件未满 D. 50件~100件未满	0 0		1 2 1 0	25.0 50.0 25.0 0.0	1	33.3 33.3 0.0 33.3	0		2 1 0	86.7 33.3 0.0 0.0	0	0.0 0.0 50.0	0		2 D 1	88.7 0.0 33.3 0.0	0		1 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0	7 4 3	43.8 25.0 18.8 6.3
B.100件~200件未満 F.200件~500件未満 G.500件以上	0		0	0.0 0.0 0.0	0	0.0 0.0 0.0	0		0	0.0 0.0 0.0	0	0.0 0.0 50.0	O		0	0.0 0.0 0.0	0		0	0.0 0.0 0.0	0 0 1	0.0 0.0 6.3
2 +	a	į	4	100.0	3	100.0	0	į	8	100.0	2	100.0	0	ļ	3	100.0	0		1	100.0	18	100.0

振込遁知書・企業数 (業額区分別)

業額区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		I		1	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	平 (1)	件数	學(%)	件数	李 (1)	件数	平 (5)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	举 (1)	件数	举 (1)	件数	半(%)	件数	半 (%)
A.10件未搁 8.10件~20件未摘 C.20件~50件未摘 D.50件~100件未滴 E.100件~200件未滴 F.200件~500件未滴 G.500件以上	1 D D D D	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	4 2 1 0 0	50.0 25.0 12.5 0.0 0.0 0.0	2 0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	L Q Q Q I Q	50.D 0.0 0.0 0.0 50.0 .0.0	0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	3 2 0 0 1 0	80.0 40.0 0.0 0.0 100.0 0.0	0 0 0 1	0.0 0.0 0.0 0.0 100.0 0.0	2 1 0 2 1 0	33.3 16.7 0.0 33.3 16.7 0.0	1 0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	2 0 0 0 0	6B.7 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 33.3 0.0	16 5 1 2 4 1	53.3 18.7 3.3 6.7 13.3 3.3
#H	1	100.0	В	100.0	2	100.0	2	100.0	1	100.0	Б	100.0	ı	,100.0	8	100.0	0	100.0	3	100.0	30	100.0

船取書類・企業数(業配区分別)

菜種区分		A		В		C ·		D		E		F		C		H		I		J	全	#
回答項目	件数	平 (1)	件数	率 (1)	件数	率 (1)	件数	率 (X)	件数	率 (%)	伴胶	學 (%)	件数	率 (*)	件数	筝 (1)	件数	¥ (1)	件数	平 (X)	件数	學 (%)
A. 10件未満	D		Б	83.3	1	100.0	ó		4	68.7	0		0		0 :	0.0	0		1	50.0	· 1t	68.8
8.10件~20件未満	Ð	l	1	16.7	0	0.0	0		0	0.0	0		0 !		1	100,0	0	Ī	0 :	0.0	2	12.5
C. 20件~50件未納	0	l	0	0.0	0	0.0	ļ o	l	2	33.3	0		0		0	0.0	0	ļ	0	0.0	2	12.5
9.50件~100件米捌	0		D	U. Q	6.	0.0	[0		0	0.0	0		0		0	0.0	0	1	1	50.0	L	8.3
E.100件-200件未満	0		0	0.0	l D	0.0	[0	1	0	0.0	ן מ		0		1 0	D.D	0	1	0	0.0	0	0.0
F.200件~500件未润	G .	!	0	0.0	0 1	0.0	10	1	0	0.0	ן ט		0		0	0.0	a		0	0.0	0	0.0
G.500件以上	0	!	0	0.0	0	0.0	0		0	0.0	Ð		0		0	0.0	0	<u> </u>	0	0.0	0	0.0
āt	0		8	100.0	1	100.0	0		6	100.0	0		0		1	100.0	a		2	100.0	18	100.0

船荷延券 • 企業数(業種区分別)

業種区分		A		В		¢		D	1	E		F		G	1	H		I	١.	1	全	#
回答項目	作数	學 (%)	件数	举 (兆)	件数	率 (%)	件数	举 (t)	件数	率 (%)	件数	举 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	岩(1)	作数	¥ (%)	件数	平 (X)
A. 10件未潤 B. 10件~20件未満 C. 20件~50件未満 D. 50件~100件未筑 E. 100件~200件未清 f. 200件~500件未清 C. 500件以上	0 0 0 0		1 0 0 0 0 0	109.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0		0 0		1 0 1 0 0 0	50.0 0.0 50.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0		0 0 0 0 0 0	,er. r	0 0 0 0	0.0 100.0 0.0 0.0 0.0 0.0			0 0 0 0 0		2 1 1 0 0 0	50. D 25. 0 25. 0 0. 0 0. 0 0. 0
ät	0		1	100.0	0		a		1	100.6	0		0		1	100.0	0	<u> </u>	0		4	100.0

クレーム・企業数(業種区分別)

類		Α		B		C		D	l	E		F		G		H		ļ	I		J	全	#
回答项目	件数	平 (*)	件政	平(%)	件数	率(%)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%	件數	** ((X)	件数 辛	(1)	件数	华 (1)	件数	半 (%)	件数	学 (X)
A. 10件未満	0		1	50.0	0	į	D		0	1	0		0			a		0		1	100.0	2	86.7
B.10件~20件未満	0		0	0.0	0		. 0		0		0		ŀō	!		ŌÌ		l ŏ	į	l i	0.0	ة ا	0.0
C.20件~60件未詢	B		0	0.0		l	٥		0	1	0		0	į		0 İ		l ō	i	a ·	0.0	ة ا	0.0
0.50件~100件未确	D O		0	0.0		ł	0	1] 0	l	0		0	1		0		0	ĺ	l o	0.0	ĺõ	0.0
E.100件~200件来調	0		1	50.0		ţ	0	ļ	10		0		0	1		0		l o		o	9.0	1	33.3
F.200件~500件未満	0		0	0.0		1	0		0	ļ	0		0	Ī		C İ		0	ĺ	0	0.0	اةا	0.0
G.500件以上	0		0	0.0	Û		0		0	1	a] 0	ĺ		0		0	ĺ	0	0.D	a	0.0
āt	C		2	100.0	Û	i	0		0	Ι	0		0	Τ.		0		0			100. B	9	100. D

その他・企業数(榮郁区分別)

			D	L	C		D	ļ	E		F		G		H		I		J	全	拌
回答項目 件数	姓 平 (%)	件数	辛(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	平 (*)	件数	半(%)	件数	华(%)	件败	辛 (%)	件数	辛 (%)	件数:	學 (%)	件数	¥ (1)
	0	12 4 6 1 2	37.5 12.5 18.8 3.1 6.3	2 0 4 0	28.8 0.0 57.1 0.0 14.3	1 0 0 0	60.0 0.0 0.0 0.0	3 1 0 0	42.9 14.3 0.0 0.0 28.8	1 2 1 1	20 40.0 20.0 20.0 0.0	0 0 0		2 0 1 0	86.7 0.0 33.3 0.0 0.0	0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	000		21 7 12 2	38.2 12.1 20.7 3.4 10.3
F. 200件~500件未銷 G. 500件以上 0	0	5 2 32	15. B 6. 3	0	D.0	0 1	0.0 50.0	Ō	0,0 14.3	0 0 5	0.0 0.0	0		0	0.0 0.0	0	0.0 50.0	0		5 5	8.6 8.6

フォーマット規格(梁櫨区分別)

業態区分		A			В		C		D	İ	E		F		G		н		1		J	全	#
回答項目	件数	串	(\$)	件数	率 (%)	件数	¥ (X)	件数	平 (1)	件数	半 (1)	件数	率 (\$)	件数	學 (%)	件数	寧 (%)	件数	¥ (\$)	件政	率 (%)	件数	平 (%)
1. 国際標準 2. 米国領準 3. 禁昇標準(EIAJ) 4. パ (JCA) 5. その他装昇標準	0 0 0		0.0	3 8 29 22 6	3.7 3.7 85.4 26.8 8.8	6	4.3 4.3 21.7 52,2 28.1	0 0 0 1 2	0.0 0.0 0.0 25.0 50.0	1 0 1 2	9.1 0.0 9.1 18.2	0 1 0 2	0.0 14.3 0.0 28.6 57.1		50.0 50.0 0.0 50.0 0.0	1 1 1 8	B. 3 B. 3 B. 3 50.0 25.0	D 0 2 2	0.0 0.0 0.0 68.7 68.7	0 0 2 0	0.0 0:0 100.0 0.0 50.0	97 48	5.3 5.3 24.5 82.5 19.2
B. 79代小様準 計	1	<u> </u>	0.0 0.0	63 82	84.8 100.0	23	30.4 100.0	4	26.0 100.0	11	81.8 100.0	7	42.8 100.0	1 2	50.0 100,0	16	100.0	2	68.7	1 2	50.0 100.0		67.0 100.0

通信手順規格(築種区分別)

業態区分		A	İ	В	1	С		D		Ε		F		G		Н		I		J	全	#
回答項目	件数	華 (*)	件数	寧 (%)	件数	率 (%)	件数	翠 (\$)	件数	率 (3)	件数	學 (%)	件数	寧 (%)	作数	半 (t)	件数	举 (1)	件数	單(1)	件数	學 (%)
1. 全級手版	0	0.0	60	75.9	18	59.3	В	100.0	8	72.7	8	85.7	1	50.0	18	78.2	1	33.3	3	100.0	117	73. 1
2. J手版	Ō	0.0		43.0		63.0	i	18.7	5	45.5		28.8	ا ا	0.0		52.4	,	33.3	ا تا	33.3	72	
3. CAT/CAFIS	0	0. D	£	1,3	3	11.1	٥	0.0	0	0.0	Ō	0,0	l ö	0. D	l î	0.0	i i	0.0	ا أ	0.0	5	3.1
4. 業界手順	0	0,0	8	7.6	3	11.1	ا ٥	0.0	3	27.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	33.3	l īl	33.3	14	6.6
5. メーカー手類	- 1	100.0	31	39.2	5	18.5	0	0.0	5	45.5	3	42.9	1	50,0	9	42.9	1	33.3	l ii	33.3	57	35.B
B. 無手順・TIY手順	D	0.0	В	7.8	0	0.0	0	0.0	5	45.5	0	0.0	0	0.0	3	14.3	a	0.0	0	0.0	14	. B. B
ât	ì	100.0	79	100.0	27	100.0	6	100.0	11	100.0	7	100. O	2	100.0	21	100.0	0	100.0	3	100.0	180	100.0

紀知業界優準(業務区分別)

業種区分		A		В		C		D	ł	E		F		G		Ħ		I		j .	全	#
回答項目	作数	準 (%)	作数	率 (1)	件数	平 (%)	件数	平 (1)	件数	平(%)	件数	平 (1)	件数	半 (%)	件数	學 (1)	件数	率 (1)	件政	平 (%)	件数	半 (%)
t. CARDIS	a	0.0	2	7.4	2	33.3	a	 	2	33.3	0	0.0	O	0.0	2	25.0	n		,	33.3	9	18.4
Z. UCS		0.0	4	14.8	1	16.7	0	ĺ	0	0.0	2	100.0	1	50.0	ا آ	0.0	Ιō		ا م	0.0	Ē	14.5
3. Alag	0	0,0	18	B8.7	1	16.7	1 0	i	1	18.7	2	100.0	1	6D. 0	Б	B2.6	ĺÔ	j	z	66.7	30	54.8
4. CD1X	a	0.0	2	7.4	0	0.0	0	ł	0	0.0	1 0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	į	0	0.0	3	5. 5
5, EDX	1 1	100.0	11	40.7	2	93.3	10		0	D.G	0	0.0	l ti	60.0	3	37.5	D	ļ	l o	0.0	19	34.5
8. WINS	0 !	0.0	2	7.4	6	0.0	0 :	l	2	33.5	2	100.0	l i	50.0	4	50.0	. 0	İ	1	33.3	12	21.8
7. VICS	0	0.0	9	11.1	1 1	18.7	0	ı	0	0.0	1	50.0	[]	50.0	2	25.0	0	ĺ	1 1	33.3	9	16.4
8. DISH	0	0.0	- 4	14.8	1	18.7	0	1	1	18.7	1	50.0	1	50.0	4	50.0	0	Į.	l o	0.0	12	21.8
9. QOETTE	0	0.0	14	51.9	3	50.0	0	!	3	60.0	Z	100.0	2	100.0		82.5	0	į	1 1	33,3		54.5
10. DAKOSY	D	D. G	1	3.7	1	18.7	D		1	18.7	0	0.0	0	0.0	2	26.0	Q Q		D	0.0	5	9.1
āt	1	100.0	27	100.0	В	100.0	O		6	100.0	2	100.6	2	100.0	8	10D. C	a		3	100.0	65	100.0

3.3 売上高区分別集計結果表

質本金区分(売上高区分別)

樂醮区分別	£	λ'	В		Ç		D		E		F		G		全	H
回答項目	件数	率(%)	件数	率 (%)	件数	\$¥ (¥)	件数	率 (1)	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	平 (%
A.3千万円未満	1	20.0	4	67. 1	1	4.0	3	7.0	1	1.9	0	0.0	0	0.0	10	4.:
B.3千万円以上~1億円未満	3	80.0	1	14.3	В	24.0	9	20.9	2	3.8	0	0.0	0	0.0	21	8.
C.1億円以上~10億円未満	0	0.0	1	14.3	13	52.0	24	65.8	21	40.4	1	1.7	, 0	0.0	60	26.
D.10億円以上~60億円未濟	0	0.0	0	0.0	3	12.0	7	16.3	16	30.8	10	18.7	2	4.4	38	18.
E. 50億円以上~200億円未満	0	0.0	1	14.8	1	4.0	0	0.0	12	23.1	18	30.0	0	0.0	32	13.
F. 200億円以上~1千億円米減	L	20.0	0	(0.0	1	4.6	0	0.0	0	0.0	20	46.7	14	31.1	44	18.
G. 1千億円以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	5.0	29	84.4	32	13.
at ·	5	100.0	7	100.0	25	180.0	43	100.0	62	100.0	80	100.0	45	100.0	237	100.

従業員数区分(売上高区分別)

業種区分別	1	A		В		С		D		3	F		G		全	
回答項目	件数	率(%)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	承 (%)	作数	率 (%)	件数	率 (*
A.50人未潤	3	60.0	2	28.6	2	8.0	1	2.4	1	1.9	0	0.0	0	0.0	9	3.
B.50人以上~100人未満	0	0.0	3	42.9	3	12.0	ÌВ	14.3	1	1.9	O.	0.0	0		18	5.
C.100人以上~300人未満	1	20.0	2	28.6	12	48.8	10	23.8	5	9.4	0	0.0	0		30	12.
0.300人以上~600人未満	O	0.0	a	0.0	9	12.0	9	21.4	8	15.1	2	3.8	0		22	8.
E.500人以上-1000人未満	0	0.0	0	0.0	3	12.0	12	28.6	14	28.4	8	5.0	0		32	13.
F.1千人以上~8千人未销	0	0.0	0	0.0	2	8.0	4	9.5	20	37.7	17	28.3	3	8.7	4B	19.
G,8千人以上~6千人未满	0	0.0	0	[0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.9	15	25.0	0	0.0	18	В.
H.6千人以上~1万人未销		0.0	0	0.0	0	0.0		0.0	2	8.8	16	26.7	11	24.4	29	12.
1.1万人以上	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.9	7	11.7	31	68.9	40	16.
8t	6	100.0	7	100.0	25	100.0	42	100.0	53	100.0	80	100.0	45	100.0	287	100.

業棟区分(売上高区分別)

樂種区分		A		В		C		D		E		F		G	全	£#
回答項目	件数	半(%)	件数	萃 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	滋(*)	件数	率(%)	件数	半(%)
A. 建設業	0	0.0	a	0.0	0	0.0	ß	0.0	1	1.9	4	8.6	3	8.3	8	3.
B. 製造業	0	0.0	1.	14.8	3	12.0	11	25.6	21	99.6	37	60.7	24	53.3	97	40.
C. 流函業	0	0.0	1	14.8	1	4.0	7	16.3	12	. 22.6	7	11.5	3	8.7	31	13.
B. 金融·証券·保険業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.9	2	9.3	3	6.7	8	2.
B. 運輸·金庫業	1	20.0	O.	0.0	2	8.0	2	4.7	5	9.4	5	8.2	3	8.7	18	7.
F. 電力 + ガス	l o	0.0	0	0.0	0	0.0	0 !	0.0	0	0.0	3	4.9	8	13.3	9	3.
G. 通信業	loʻ	0.0	1	14.3	1	4.0	0	0.0	0	0.0	1	4.6	0	0.0	3	1.
H. 情報処理サービス装	8	60.0	4	67.1	16	64.0	23	53.5	9	17.0	۵	0.0	1	2.2	53	29.
1. サビース製	1 1	20.0	0	0.0	2	8.0	0	0.0	2	3.8	2		1	2.2	8	3.
J. その他	Ó	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	3.8	0	0.0	1	2.2	3	1.
ā†`	5	100.9	7	100.0	25	100.0	43	100.0	53	100,0	61	100.0	45	100.0	239	100.

EDI利用の有無(売上高区分別)

売上高区分	A		В		С		D		E		F		G		全	#
回答項目		率 (%)	件数	率 (1)	件数	平 (%)		字(%)	件数	¥ (%)	件数	率 (%)	件数	平 (%)	件数	辛 (%)
1. 現在利用 2. 今後利用予定 3. 利用予定なも	2 1 2	40.0 20.0 40.0	1 1 5	14.9 14.3 71.4	4 4 17	18.3 18.3 88.4	26 8 11	80.5 14.0 25.6	30 11 12	56.6 20.8 22.6	46 7 9	73.8 11.5 14.8	39 2 4	86.7 4.4 8.9	147 32 60	81.5 13.4 25.1
at	5	100.0	7	100.0	25	100.0	43	100.0	53	100.0	81	100.0	45	100.0	239	100.0

EDI未利用壓由(死上高区分別)

売上高区分		A		В	1	С		D		E		F	l	G	全	件
回答項目	作数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	翠 (%)	件数	拏 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
1. 必要性なし 2. 利用環境未整備 3. 他社接続が困難 4. 費用効果がない 5. その他	1 0 0 0 1	60.0 0.0 0.0 0.0 50.0	3 1 0 1 0	60.0 20.0 0.0 20.0	9 4 0 0 1	84.3 28.6 0.0 0.0 7.1	6 4 0 0	55.8 44.4 0.0 0.0 0.1	5 3 0 0 2	50.0 30.0 0.0 0.0 20.0	1 6 0 1	12.5 75.0 0.0 12.0	2 2 0 0	60.0 60.0 0.0 0.0	28 20 0 2 4	50.0 38.5 0.0 3.8 7.7
Ħ	2	100.0	5	100.0	14	100.0	9	100.0	10	100.0	8	100.0	4	100.0	52	100.0

EDI利用理由(売上商区分別)

売上高区分		A		В		c .		D		E		F		G	全	体
回答項目	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	举 (%)	件数	華 (紫)	件数	水 (1)	件数	字(1)	件数	率 (%)
1. 積報額得が容易 2. 7942の迅速化 3. 事務コナル的減 4. 取引先からの数据 5. 取引免が回向上 6. 事務処理の効率化 7. 物流発療の散設 8. 関急を企業と差別化	0 1 1 0 1	0.0 0.0 100.0 100.0 0.0 0.0	0 1 0 1 0 0 1	0,0 5.0 5.0 5.0 5.0 6.0 6.0	2 2 3 1 4 1 0 0	28.8 28.8 28.6 42.9 14.3 57.1 14.3 0.0	2 5 4 14 8 10 5	7.7 19.2 15.4 63.8 30.8 38.6 18.2 3.8	3 9 7 18 9 13 4 1	10.0 30.0 28.9 60.0 30.0 43.3 13.3 8.9	1 8 12 19 11 35 2 0	2.2 17.4 28.1 41.3 23.9 78.1 4.3 0.0	1 3 2 7 8 27 4 5	2.7 8.1 5.4 18.9 21.6 73.0 10.8 13.5	9 28 28 63 37 91 18 7	8.6 18.8 18.8 42.3 24.8 61.1 10.7
0. 国際印1への対応 11. 情報の迅速化 2. 製造2水の印域 13. 納入の短縮化 4. 系列化の強化 15. たりンリーの省力化 16. その他	0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 1 0 0 1 0	0.0 5.0 0.0 0.0 5.0 0.0	0 3 0 0 1 1	0.0 42.9 0.0 0.0 14.3 14.3	1 11 0 2 0 5	3.8 42.8 0.0 7.7 0.0 19.2 0.0	0 10 0 2 2 7 0	0.0 33.3 6.0 6.7 6.7 23.3 0.0	27 0 3 1 11 0	4.3 58.7 0.0 6.5 2.2 23.9 0.0	3 25 3 10 0 4 2	8.1 67.8 8.1 27.0 0.0 10.8 5.4	6 77 8 17 5 28 2	4, 51, 2, 11, 3, 18,
a i	1	100.0	2	100.0	7	100.0	28	100.0	30	100.0	46	100.0	37	100.0	149	100.

オンライン開始年(売上高区分別)

売上高区分		A		В		С		D		E	-	F		G .	全	体
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	寧 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
A. 1989年以前 B. 1970年~1974年 C. 1875年~1979年 D. 1880年~1984年 E. 1985年~1989年 F. 1990年以降	0 1 0 2 0	0.0 0.0 33.3 0.0 68.7 0.0	0 0 0 1 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0	0 0 2 2 1	0.0 0.0 0.0 40.0 40.0 20.0	2 2 8 2 10 1	7.7 7.7 34.6 7.7 38.6 3.8	0 4 3 21 9	0.0 10.8 8.1 58.8 24.3 0.0	0 10 18 12 7 1	0.0 20.8 37.5 25.0 14.6 2.1	9 17 8 3 0 0		11 33 39 41 30 3	7.0 21.0 24.8 26.1 19.1
81	3	100.0	1	1 00. 0	5	100.0	28	100.0	37	100.0	48	100.0	37	100.0	157	100.0

EDI利用開始年(売上高区分別)

売上高区分		A		В	"	С		D	·	E		F		G	全	体
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	举 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
A. 1968年以前 B. 1970年~1974年 C. 1975年~1979年 D. 1980年~1984年 B. 1985年~1989年 F. 1990年以降	0 0 0 0 1 1	0.0 0.0 0.0 0.0 50.0 50.0	0 0 0 0 1 1	0.0 0.0 0.0 0.0 50.0 50.0	0 0 1 3 2	0.0 0.0 0.0 16.7 50.0 33.3	0 1 2 3 14 5	4.0 8.0 12.0 58.0	0 0 1 6 11 18	0.0 0.0 2.9 17.6 32.4 47.1	0 1 4 4 24 13	0.0 2.2 8.7 8.7 52.2 28.3	1 1 3 8 22 5	2.8 2.8 7.9 15.8 57.2 13.2	1 3 10 20 76 43	0.7 2.0 8.5 13.1 49.7 28.1
計	2	100.0	2	100,0	В	100.0	25	100.0	84	100.0	48	100.0	38	100.0	153	100.0

ネットワーク形態 (売上高区分別)

売上高区分		A		В		С		D		E		F		G	全	体
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	肃 (%)	件数	率 (%)	件数	本(%)	件数	率 (X)	件数	率 (%)	件数	举 (%)
1. 87ト集中型 2. 87ト中心キットワーク型 3. 87ト/キットワーク分離型 4. 分散キットワーク型 5. その他	0 3 0	0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	1 1 0 0	50.0 50.0 0.0 0.0 0.0	3 0 0 1 0	75.0 0.0 0.0 25.0 0.0	11 13 0 2 1	40.7 48.1 0.0 7.4 3.7	20 13 1 0 2	55,8 38.1 2,8 0.0 5.6	21 20 1 6	42.9 40.8 2.0 12.2 2.0	8 12 1 18 0	22,5 30.0 2.5 45.0 0.0	85 82 3 27 4	40.4 38.5 1.9 16.6 2.5
āt	3	100.0	2	100.0	4	100.0	27	100.0	36	100,0	49	100.D	40	100.0	181	100. D

VAN利用の有無(売上高区分別)

売上高区分		A		В		С		D		E		F		G	全	体
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	举(%)	件数	翠 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	學 (%)
1. 利用 2. 未利用	0	0.0 100.0	1 1	50.0 50.0	2 2	50.0 50.0	12 1 5	44.4 55.6	20 18	55.8 44.4	37 12	75.5 24.5	80 10	75.0 25.0		83.4 38.6
BH	3	100.0	2	100.0	4	100.0	27	100.0	36	100.0	49	10 0.0	40	100.0	181	100.0

末端形態(売上高区分別)

売上高区分		A		В		C		D		E		F		G	金	(#
回答項目	件数	率 (%)	件数	举 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
1. 阪売先	0	0.0	1	100.0	2	50.0	13	48.1	17	48.6	24	49.0	19	47.5	78	47.8
2. 仕入先	0	0.0	0	0.0	1	25.0	7	25.9	12	34.3	20	40.8	24	80.0	84	40.3
3. 系列•関連会社	2	88.7	a	0.0	2	50.0	7	25.9	10	28.6	· 19	38.8	15	37.5	55	34.8
4. 海外現地法人	1	33.3	0	0.0	0	0.0	3	11.1	5	14.3	8	18.4	15	37.5	33	20.8
5. 最終簡要家	2	68.7	0	0.0	ìa	0.0	7	25.9	4	11.4	9	18.4	7	17.4	29	18.2
8. 銀行	0	0.0	0	0.0	1	25.0	9	33.8	4	11.4	- 6	10.2	12	30.0	31	19.8
7. 念庫•運送会社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	11.1	7	20.0	5	10.2	8	15.0	21	13.2
8. 商社 (代理店)	0	0.0	a	0.0	0	0.0	1	3.7	4	11.4	14	28.6	3	7.5	22	13.8
9. 保険会社	0	0.0	0	0.0	.0	0.0	Ø	0.0	0	0.0	1	2.0	1	2.5	2	1.8
10. ルジット会社	۱ ۵.	0.0	0	0.0	0	0.0	2	7.4	D	0.0	0	0.0	3	7.6	6	3.1
11. 情報tンター	0	0.0	o	0.0	1	25.0	1	3.7	0	0.0	1 :	2.0	4	10.0	7	4.4
12. その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	11.1	8	8.6	9	18.4	4	10.0	19	11.5
計	3	100.0]	100.0	4	100.0	27	100.0	35	100.0	45	100.0	40	100.0	159	100.0

利用通信回線 • 現在 (売上高区分別)

売上高区分		A		В		С		D	Γ	E		F		G	全	体
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
1. 専用回線(一般) 2. ル(高線・	2 1 1 0 1 0 0 0 0 0	100.0 50.0 50.0 50.0 50.0 0.0 50.0 0.0 0.	1 0 1 0 0 0 0 0 0 0	100.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	1 0 1 0 0 0 0 1 0 0	25.0 0.0 25.0 0.0 25.0 0.0 0.0 25.0 0.0 0.0	14 4 22 0 6 8 9 2 1 0 2	51.9 14.8 81.6 0.0 22.2 22.2 33.3 7.4 3.7 0.0 0.0	12 2 21 0 7 4 2 0 0 0	41.4 6.9 72.4 0.0 24.1 13.8 8.9 0.0 0.0 0.0 0.0	30 16 33 2 14 12 6 0 1 0 0	86.7 35.6 73.3 4.4 31.1 25.7 13.3 0.0 2.2 0.0 0.0 0.0	29 24 25 0 20 8 8 0 1 0 6	74.4 81.5 84.1 0.0 51.3 23.1 20.5 0.0 2.6 0.0 15.4 0.0	89 47 104 2 49 31 26 2 4 0 8	60.5 32.0 70.7 1.4 33.3 21.1 17.7 1.4 2.7 0.0 5.4 0.0 2.0
B†	2	100.0	1	100.0	4	100.0	27	100.0	29	100.0	45	100.0	39	100.0	147	100.0

利用通信回線 • 今後(売上高区分別)

売上高区分		A		В		C		D		E		F		G	全	4
回答項目	件数	率 (%)	件数	举 (%)	件数	平(%)	作数	单(数)	件数	я ў (%)	件数	率 (%)	件数	平 (X)	件数	罕(%)
1. 吹用回線(一般) 2. カ(西速ディジタル) 3. 域話回線 4. 域居回線 5. DDX・回線・ 5. DDX・砂ァナー交換 7. INSネット1500 8. 新駆動通信 10. 砂車通通信 11. ブァクジミツ連径 12. ビデオテックス	0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 50.0 50.0 0.0 50.0 60.0 6.0 0.0 0.0	000000000000000000000000000000000000000	0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	2 1 0 0 1 0 0 0 0	100. 0 50. 0 50. 0 0. 0 0. 0 0. 0 0. 0 0.	4 2 2 0 3 8 1 0 0 2	44.4 22.2 22.2 0.0 0.0 33.3 66.8 11.1 0.0 0.0	1 1 3 0 0 3 8 1 0	14.8 14.8 42.9 0.0 42.9 85.7 14.3 0.0 14.3 28.6 0.0	3 4 4 0 1 3 10 1 0 0 8	17.6 23.5 23.5 0.0 5.9 17.6 58.8 5.9 0.0 0.0	0 3 1 0 1 3 10 0 0 0 2	0.0 25.0 8.3 0.0 8.9 25.0 83.3 0.0 0.0 0.0	10 12 12 .0 3 13 33 0 1	20.0 24.0 0.0 6.0 28.0 56.0 0.0 2.0 18.0
13. 私設回線	0	0.0	Ō	0.0	ا م	0.0	Ī	11.1	Ō	0.0] ī	5.9	0	0.0	2	4.0
āt	2	100.0	1	100.0	2	100.0	9	100.0	7	100.0	17	100.0	12	100.0	50	100.0

初期 • 機械設備費(売上高区分別)

死上高区分		A	ļ . .	В		С		D		E .		F		G	全	体
回答項目	伴数	率 (%)	件数	学(%)	件数	率 (*)	件数	字 (%)	件数	举 (%)	件数	華 (*)	件数	平(%)	件数	¥ (%)
A. 100万未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	40.D	8	37.5	4	17.4	0	0.0	18	22.2
8.100万~590万未满	1	100.0	0	0.0	1	50.0	4	28.7	8	18.8	8	39.1	4	28.6	22	30.6
C. 500万~1千万未满	0	0.0	10	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3	4	17.4	4	28.6	8] 12.6
0.1千万~6千万未満	0	0.0	1	100.0	1	60.0	2	13.3	1	8.3	8	18.0	4	28.6	12	16.7
E.6千万~1億未満	i a!	0.0	0	0.0	1 0	0.0	. 3	20.0	1	6.3	2	8.7	0	0.0	8	8.3
F.1做~10億米潤	0	0.0	l o	0.0	0	0.0	0	0.0	4	25.0	1	4.3	l	7.1	6	8.3
G.10億以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	a	0,0	1	7.1	1	1.4
18	ì	100.0	1	100.0	2	100.0	15	100.0	18	100.0	23	100.0	14	100.0	72	100.0

初期・ソフト朗発費(茂上高区分別)

売上高区分		A		В		C		D		E		F		G	£	体
回答項目	件数	¥4 (%)	件数	率 (%)	件数	¥4 (%)	作数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率(%)	件数	秋 (%)	件数	举 (%)
A. 100万米満	1	100.0	0	0,0	٥	0.0	2	11.1	3	15.8	2	7.1	0	0.0	8	9.4
B.100万~500万未満	0	0.0	۵	0.0	Ω	0.0	8	44.4	8	31.8	8	28.6	1	5.8	23	27.1
C.500万一1千万未満	D	0.0	1	100.0	0	0.0	1	5.8	2	10.5	0	0.0	1	5.9	5	5.8
0.1千万~5千万未満	0	0.0	0	0.0	1	100.0	3	18.7	- 5	28.3	11	39.3	8	47.1	28	32.9
E.5干万~1億未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	22.2)	5.3	5	17.9	2	11.8	12	14.1
F. 1億~10億米潤	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	10.5	2	7.1	3	17.6	7	8.2
G. 10 鐵以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	11.8	2	2.4
#H	1	100.0	1	100.0	1	100.0	18	109.0	19	100.0	28	100.0	17	100.0	85	100.0

運用 • 合計(売上高区分別)

売上高区分		A		В		С		đ		E		F		G	全	#
回答項目	件数	翠 (%)	件数	率(%)	件数	翠 (%)	件数	率 (%)	件数	翠 (省)	件数	率 (*)	件数	率 (%)	件数	翠 (*)
A.10万未満 B.10万一50万未満 C.50万~100万未満 D.100万~500万未満 E.500万~1千万未満 F.1千万~1億未満 C 1 磁以上	0 0 1 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 100.0	1 0 0 0 1	33.3 33.3 0.0 0.0 0.0 33.3	0 3 2 6 3 9	0.0 17.8 11.8 35.3 17.6 17.6	2 3 1 5 3 2 0	12.5 18.8 6:3 31.3 18.8 12.5 0.0	1 4 9 4 5	3.8 3.8 15.4 34.8 15.4 19.2 7.7	0 1 2 4 2 10 2	0.0 4.8 9.5 19.0 9.5 47.8 9.5	4 9 8 25 12 22 4	4.7 10.6 10.6 29.4 14.1 25.9 4.7
#H	1	100.0	1	100.0	8	100.0	17	100.0	16	100.0	28	100.0	21	100.0	95	100.0

,運用合計売上高比率(光上高区分別)

売上高区分		A		В		С		D		E		F		G	全	体
回条項目	件数	平 (%)	作数	率(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	× (%)	件数	ж (%)	件数	举 (%)	件数	\$ (%)
A.O.1%未潤	0	0.0	0	0.0	1	33.3	3	17.6	9	56.3	21	80.8	18	85.7	52	81.2
9.0.1%~0.2%未適	l oi	0.0	n	0.0	a	0.0	3	17.6	2	12.5	1	9.8	1	4.8	7	8.2
C. D. 2%~0.3%未将	O.	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	18.8	1	3.8	0	0.0	4	4.7
0.0.3%~0.4%未満	0	0.0	0	0.0	1	33.9	4	23.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	5.9
E.O.4%~0.5%米額	0	0.0		0.0	0	0.0	1	6.9	0	0.0	1	0.0	0	0.0	2	2.4
F.O.5%~1.0%未満	0	0.0	10	0.0	0	0.0	1	5.9	1	6.3	1	3.8		0.0	8	3.5
G.1.0%~2.0%未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3 :	17.6	1	6.3	ũ	0.0	Ð	0.0	4	4.7
H.2.0%~8.0%未満	0	0.0	0	0.0	0.	0.0	2.	11.8	0	0.0	1	3.8	1	4.8	4	4.7
1.3.0%~4.0%未满	0	0.0	0	0.0	0.	0.0	0 :	0.0	Ð	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
J.4.0%~5.0%未満	a	0.0	0	i o .o	0	0.0	0		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
K. B. 0%以上	1	100.0	1	100.0	1	83.3	a	0.0	0	0.0	٥	0.0	1	4.8	4	4.7
at-	1	100.0	1	100.0	3	100.0	17	100.0	18	100.0	28	100.0	21	100.0	85	100.0

EDI利用業務(売上高区分別)

業種区分	1	A		В		С		D	:	E		F		G	全	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	作数	率 (%)	件数	華 (%)	件数	率 (%)	件数	学(%)	件数	率 (%)
1. 受預売管理 4. 在管理 4. 在管理 6. 检查时度增加 6. 检查时度增加 6. 检查时度增加 6. 检查时度增加 7. 運動學的實際 7. 運動學的實際 7. 運動學的學 7. 運動學 7. 運動學 7. 運動學 7. 運動學 7. 運動學 7. 是一個	1 0 2 2 2 2 1 1 0 0	33.3 0.0 0.0 68.7 68.7 88.7 33.3 33.3 33.3 0.0 0.0	1 1 2 1 0 0 0 0 1 1 1 0	50.0 50.0 100.0 50.0 0.0 0.0 50.0 50.0 5	3 0 0 0 0 0 0 0	100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 33.3 33.3 0.0	20 5 2 8 2 1 0 7 10 12 8 0	74.1 18.5 7.4 28.6 7.4 3.7 0.0 25.9 34.0 42.2 0.0	31 6 5 5 1 3 1 7 7 8 1	98.8 18.8 15.6 15.8 3.1 9.4 3.1 21.9 21.9 21.9 18.8 3.1 0.0	37 B 8 14 8 3 6 19 11 18 12 12	80.4 17.4 13.0 80.4 8.6 8.5 13.0 41.3 23.9 39.1 28.1 2.2 0.0	30 15 11 15 6 9 2 16 19 21 1,1	78.9 38.6 28.2 39.6 15.1 5.1 41.0 48.7 53.8 36.9 2.8	123 35 26 45 14 10 60 48 81 40 4	80.9 23.0 17.1 28.8 9.2 11.8 8.3 32.9 31.8 40.1 26.3 3.3
15. 予約・発券 16. その他	0	0.0 33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0 3.7	2	0.0 6.3	3	8.6 2.2	8	2.6 20.5	13	8.
a+	3	100.0	2	100.0	3	100.0	27	100.0	32	100.0	46	100.0	39	100.0	152	100.0

ED I 対象データ・現在(売上高区分別)

	売上高区分		A		в .		С		D		E		F		G	全	(4
回答	項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	寧 (%)	件数	率 (%)
	仕様書/承認図	Q	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.2	1	2.8	2	1.4
2.	見被書	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.7	4	8.9	6	16.7	11	8.0
	注文書	0	0.0	0	0.0	2	50.0	14	58.9	19	70.4	32	71.1	27	75.0	94	68.1
	注文変更書	0	0.0	0	0.0	1	25.0	5	20.0	8	22.2	15	33.9	19	62.8	48	33.3
	往文請書	0	0.0	0	0.0	Q.	0.0	4	18.7	4	14.8	7	15.6	9	26.0	24	17.4
	树品雷	0	0.0	1	100.0	1 ;	25.0	11	45.8	8	29.6	18	40.0	15	41.7	54	89.1
	出荷指示書	1	100.0	0	0.0	0	0.0	б	20.8	7	25.9	15	33.3	20	55.6	48	34.8
	検収费	0	0.0	1	100.0	2	50.0	3	12.5	4	14.8	10	22.2	15	41.7	35	25.4
	照合確認書	0	0,0	l D	0.0	0	0.0	1	4.2	2	7.4	3	6.7	3	8.3	8	8.5
	代金額求盛	1	100.0	1 1	100.0	0	0.0	Ð	25.0	3	11.1	11	24.4	13	38.1	35	25.4
	送金通知書	. 1	100.0	Q.	0.0	0	0.0	4	16.7	1	8.7	8	13.3	6	18.7	18	13.8
12.	振込通知書	0	0.0	C.	0.0	1	25.0	8	25.0	2	7.4	9	20.0	12	33.3	30	21.7
	船班書類	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	12.5	3	11.1	8	13.3	7	19.4	19	13.8
	船荷征券	0	0.0	B	0.0	0 1	0.0	1	4.2	2	7.4	0	0.0	2	5.6	5	3.6
	クレーム	0	0.0	0;	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.7	2	4.4	2	5.6	Б	3,6
18.	その他	0	0.0	0	0.0	2	50.0	6	25.0	8	29.6	17	37.8	15	41.7	48	34.8
	計	1	100.0	1	100.0	4	100.0	24	100.0	27	100.0	45	100.0	36	100.0	138	100.0

ED I 対象データ・今後 (売上高区分別)

売上高区分		A	ŀ	B		С		D		E		F		G	全	体
回答項目	件数	率 (¥)	件数	翠 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	释 (%)	件数	率 (%)	件数	寧(%)	件数	率 (%)
1. 仕様書/承認図	0	0.0	0		0	0.0	0	0.0	1	10.0	2	11.8	4	28.7	7	13.0
2. 見積書	0	0.0	0		0	0.0	3	33.3	3	90.0	5	29.4	5	33.3	16	29.8
3. 往文書	0	0.0	Ü		1	5.0	3	33.3	5	60.0	8	47.1	0	0.0	17	31.5
4. 注文変更書	0	0.0	0		1	5.0	l z	22.2	3	30.0	6	35.3	Ò	0.0	12	22.2
5. 注文結審	0	0.0	l o	ĺ	1	5.0	lo	0.0	2	20.0	7	41.2	ة ا	0.0	10	18.5
8. 納品番	0	0.0	0		l ti	5.0	lo	0.0	3	30.0	5	29.4	Ī	33.3	14	25.9
7. 出荷指示器	0	0.0	0		0	0.0	3	83.9	ا ا	i 40.0	2	11.8	٥	0.0	l i	18.7
8. 検収書	. 0	0.0	0	1	loi	0.0	3	33.3	3	30.0	5	29.4	3	20.0	14	25.9
9、照合確認書	0	0.0	0		a	0.0	1	11.1	ا ما	0.0	2	11.8	ĭ	8.7	1	7.4
10. 代金請求書	1 1	100. D	0		1 1	5.0	1	11.1	[4]	40.0	8	35.3	l i:	8.7	14	25.9
11. 送金通知費	0	0.0	0 1		٥	0.0	0	0.0	2	20.0	4	23.5	l á	o.o	8	11.1
12. 摄込通知書	0	0.0	0		0	0.0	1	11.1	2 !	20.0	3	17.6	2	13.3	8	14.8
13. 鉛積書類	0	0.0	0		0	0.0	0	0.0	2	20.0	0	0.0	Ō	0.0	2	3.7
14. 船荷征券	0	0.0	0		, o i	0.0	0	0.0	0	0.0	o i	0.0	a	0.0	a	0.0
15. 20-4	0	0.0	0		0	0.0	0	0.0	اما	0.0	0	0.0	اَهُا	0.0	اة	0.0
16. その他	a	0.0	0		1	6.0	1	11.1	1	10.1	2	11.8	3	20.0	8	14.8
81	1	100.0	0		2	100.0	9	100.0	10	100.0	17	100.0	16	100.0	54	100,0

フォーマット規格(売上高区分別)

売上高区分		A		В		С		D		E		F		G	全	体
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	举 (%)	件数	率 (%)
1. 国際標準 2. 米国標準 3. 業界模準(EIAJ)	0 0 0	0.0 0.0 0.0	0 0	0.0 0.0 0.0	0 0 1	0.0 0.0 25.0	2 1 1	8.0 4.0 4.0	2 2 5	7.7 7.7 19.2	2 0 14	4.7 0.0 32.6	1 3 13	2.6 7.9 34.2	7 8 34	5.0 4.3 24.3
4. ル (JCA) 5. その他業界標準 8. 乃代-ト標準	1 0 2	50.0 0.0 100.0	1 0 1	60.0 0.0 50.0	2 0 2	50.0 0.0 5 0.0	15 2 10	60.0 8.0 40.0	9 6 13	34.6 19.2 50.0	7 11 29	16.3 25.6 67.4	11 9 24	28.9 23.7 63.2	48 27 81	32.9 19.3 57.9
āt	2	100.0	2	100.0	4	100.0	25	100.0	26	100.0	43	100.0	38	100.0	140	100.0

通信手順規格(売上高区分別)

売上商区分		A		В		С		ď		E		F		G	全	#
回答项目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
1. 全銀手順 2. J手順 3. CAT/CAFIS 4. 業字手順 5. メ-λ-手順 8. 無手順◆TIY手順	2 1 0 2 1	66.7 33.3 0.0 0.0 68.7 33.3	0 1 0 0 0	0.0 50.0 0.0 50.0 50.0	2 1 0 0 2 0	50.0 25.0 0.0 0.0 60.0	19 11 2 1 10 3	70.4 40.7 7.4 3.7 37.0	17 14 0 3 8 4	54.8 45.2 0.0 9.7 25.8 12.9	35 20 0 5 19 2	81.4 48.5 0.0 11.6 44.2 4.7	30 19 3 4 14 3	83.3 52.8 8.3 11.1 38.9 8.3	105 87 5 13 55 14	71.9 45.9 3.4 8.9 37.1 9.6
Bf*	3	100.0	2	100.0	4	100.0	27	100.0	81	100.0	43	100.0	36	100.0	148	100.0

超知業界極準 (売上高区分別)

売上高区分		A		В		С		ם		E		F		G	全	体
回答項目	件数	學 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	字 (%)
1. CARDIS	2	88.7	2	100.0	1	33.3	2	16.7	3	23.1	2	14.3	4	18.2	16	23.2
2. UCS	ī	33.3	0	0.0	1	83.3	3	25.0	3	23.1	8	21.4	4	18.2	15	21.7
3. Alag	1	33.3	1	50.0	2	66.7	5	41.7	6	48.2	8	57.1	13	69.1	38	52.2
4. CDIX	1	33.3	1	50.0	0	0.0	1	8.3	1	7.7	1	7.1	1	4.5	6	8.7
5. EDX	1	33.3	1	50.0	1	33.3	3	25.0	3	23.1	6	42.9	- 8	36,4	23	33.3
6. WINS	3	100.0	1	50.0	0	0.0	5	41.7	4	30.8	3	21.4	1	4.5	17	24.6
7. VICS	1 1	33.3	2	100.0	1	33.3	2	18.7	3	23.1	4	28. B	1	4.5	14	20.3
8, DISH	2	68.7	1	50.0	1	33.3	3	25.0	1	7.7	3	21.4	5	22.7	18	23.2
9. ODĚTTĚ	1	33.3	1	50.0	2	68.7	3	25.0	5	38.5	8	57.1	13	59.1	33	47.8
10. DAKOSY	0	0.0	0	8.0	0	0.0	2	16.7	2	15.4	1	7.1	1	4.5	8	8.7
āt	3	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	13	100.0	14	100.0	22	100.0	69	100.0

3.4 従業員数区分別集計結果表

資本金区分(従業員数別区分)

業種区分別	A	l .	E	3 '	•		1)	1	Ξ	1	7	(;	1	1	!	l	全	(#
回答項目	件数	孝 (%)	件数	學 (%)	件数	平 (*)	件数	率 (%)	件数	率 (X)	件数	平 (1)	件数	¥ (%)	件数	率 (%)	件数	學 (%)	件数	¥ (%)
A.8干万円米灣 B.3干万円以上~1億円未壽 C.1億円以上~10億円未壽 B.10億円以上~50億円未兩 E.50億円以上~200億円未滿 F.200億円以上~1千億円未滿 G.1千億円以上	8 3 0 1 0	48.2 23.1 23.1 0.0 7.7 0.0 0.0	2 5 0 1 0 0	15.4 38.6 38.5 0.0 7.7 0.0	3 10 18 2 1	9.1 30.3 48.5 6.1 9.0 3.0 0.0	0 0 15 7 0 1	0.0 0.0 65.2 30.4 0.0 4.3 0.0	0 1 18 13 5 0		0 4 7 12 17 5	0.0 8.7 15.2 26.1 37.0 10.8 2.2	0 0 1 5	0.0 0.0 0.0 8.3 31.3 62.5	0 0 1 2 1 18 7	0.0 0.0 3.4 6.9 3.4 62.1 24.1	0 0 3 2 10 28	0.0 0.0 0.0 7.0 4.7 23.3 65.1	23 B3	4.4 9.2 25.1 15.5 18.1 17.5
8t	13	100.0	13	100.0	33	100.G	23	100.0	35	100.0	46	100. B	16	IOD.O	29	100,0	43	100.0	. 251	100.0

従業員数区分(従業員数別区分)

業種区分別	ě	1	I	3	(:	I)	1	3	1	?		3	ı	1		I	全	#
回答項目	件数	举 (1)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	半(1)	件数	寧 (1)	件数	率 (%)	件数	寧 (%)	件数	平 (%)
A.50人未積 B.50人以上~100人未填 C.100人以上~300人未萌 D.300人以上~1000人来荷 E.500人以上~1000人来荷 G.3千人以上~3千人未積 B.6千人以上~17人未積 H.6千人以上~17人未载	13 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0	0 13 0 0 0 0	0.0 100.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 33 0 0 0 0	0.0 8.0 100.6 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 23 0 0	0.0 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 38 0 0	0.0 0.0 0.0 0.6 100.0 0.0 0.0	0 0 0 0 47 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 190.0 0.0	0 0 18 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 100.0	0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	13 13 33 23 36 47 16 81	5. l 5. l 12. g 9. 0 14. l 18. 4 6. 3 12. 2 16. 9
B†	13	100.0	13	100.0	88	100. D	23	100.0	36	100.0	47	100.0	16	100.0	31	100.D	43	100.0	255	100.0

樂隊区分 (従業員数区分別)

奠徽区分		A		В		C		D		E	ļ	F		G	1	H	l	1	全	件
回答項目	件数	举 (%)	件数	¥ (%)	件数	华(%)	件数	平 (1)	件数	平 (%)	件数	平 (X)	件数	单 (%)	件数	辛(新	件数	半 (1)	件数	# (1
J. 鎌政業	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0			2.8	2	4.8		12.5	1	3.2	2	4.7	8	3.
B. 製造業 C. 流通業	0	0.D 15.4		7.7 30.B	7 8	21.2	8 8	34.8 18.0	11	30.6 19.4	22 5	48.8 10.6	10	82.6 8.8	18	58 I 8.2	22	51.2 7.0	99 32	38. 12.
D. 金融・証券・保険業	Ď	0.0	l i	7.7	0	0.0	0	0.0	Ó	0.0	2	4.8	i	8.3	3	9.7	ĭ	2.8	8	3.
E. 運輸・倉庫業 F. 電力・ガス	0	0.D 0.0	2	15.4 0.0	2	8.1 0.0	2	8.7 0.0	3	8.3	4	8.5	0	0,0 8,3	l	3.2 8.5	8	7.0 14.0	17 9	6. 3.
G. 通信業	3	23.1	ŏ	0.0	2	8.1	0	0.0	Ŏ	0.0	ă	0.0	á	0.0	2	8.5	3	7.0	10	3.
H. 情報処理が以業 J. サビース業	7	53.8 0.0	4	30.8 7.7	16	45.6 3.0	9	39.1	13	36.1 0.0	10	21.3	0	0.0 8.3	0	0.0 3.2	1 2	2.8	59 8	23. 3.
G. その他	1	7.7	ò	0.0	ò		ó		ī	2.8	i	2.1	. a	0.0	2	8.5	Õ	0.0	5	2.
tt	13	100.0	13	100.0	33	100.0	23	100.0	36	100.0	47	10C.Q	18	100.0	31	100.0	43	100.0	255	100.

ED【利用の有類(従業員数区分別)

従業員数区分		A		В		C		Œ		E		F		G		H		I	全	#
回答項目	件数	率(%)	件数	率 (%)	件数	哗 (%)	件数	∓ (¥)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	半(红)	件数	半(1)	件数	* (1)	件数	率 (%)
1. 現在利用 2. 今後利用予定 3. 利用予定なし	5 2 8	38.5 15.4 46.2	3 2 8	23.1 15.4 81.5	14 6 13	42.4 18.2 39.4	12 6 5	52.2 28.1 21.7	25 2 9	69.4 5.6 25.0	28 10 9	59.6 21. 3 19.1	10 3 3	82.5 18.8 18.8	24 3 4	77.4 9.7 12.8	84 2 7	79.1 4.7 18.3	155 30 84	60.8 14.1 25.1
āf	13	100.0	19	100.0	33	100.0	23	100.0	80	100.0	47	100.0	16	100.0	81	100.0	43	100.0	255	100.0

ED【未利用壁由(従業員数区分別)

從業員数区分		A	1	В	Ì	C		D		E		F		G		H		I	全	#
回答項目	件数	举 (%)	件數	學 (%)	件数	率 (X)	件数	率 (1)	件数	事 (X)	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	翠 (%)	件数	平 (%)
1. 必要性なし 2. 利用環境未整備 3. 位社接続が困難	4 1 0	88.7 18.7 0.0	8 2 0	75.0 25.0 0.0	7 3 0	63.6 27.3 0.0	3	0.0 75.0 0.0	Б 1 0	71.4 14.3 0.0	3 5 0	37.5 82.5 0.0	1 2 0	33.3 68.7 0.0	l 0 0	50.0 0.0 0.0	2 4 D	28.6 57.1 0.0	29 : 21 : 0	0.0
4. 費用効果がない 5. その他	0	16,7 D.0	0	0.0 0.0	1	0.0 9.1	1	0.0 26.0	0	0.0 14.3	0	0.0	0	0.0 0.0	0	50.0 0.0	1	0.0 14.3	4	3.6 7.1
B†	6	10D.0	8	100.Đ	11	100.0	4	100.D	7	100.0	8	100.0	3	100.0	2	100.0	7	100.0	58	100.0

ED【利用理由(従業員数区分別)

從業員数区分		A		В		С		D		Ε		F		G		H		I	全	H
回答項目	件数	率 (%)	件数	平 (%)	件数	學 (%)	件数	率 (%)	件数	平 (X)	件数	率 (%)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	字 (X)	件数	₽ (%)
1. 情報獲得が容易	G	0.0	0	0.0	2	12.5	0	0.0	l 6	4.5	5	15.2 9.1	1	7.7 38.5	0	D.0 8.1	1	3, 1 12, 5	10 29	8.: 18.
2. アクセスの迅速化 8. 事務コストの削減	1	20.0 20.0	0	25.0 0.0	2	18.8 12.6	5	38.5 38.5	4	22.7 18.2	3 5	15.2	4	30.5 30.8	8	27.3	1	12,5	31	18.
4. 取引先からの要談	2	40.0	2	50.0 50.0	12	75.0 18.8	1	7.7 48.2	11	50.0 36.4	15 5	48.5 18.2	7	53.5 30.8	8	40.9 18.2	4	12.5 15.6	84 38	40. 23.
5. 取引先計の向上 6. 事務処理の効率化	8	0.0 80.0	2	50.0	7	43.8	8	81.5	11	50.0	20	80.6	8	61.5	14	63.6	28	81.3	99	81.
7. 物流業務の改善 8. 図品在庫の削減	G	0.0	0	0.0 0.0	8	18.8 6.3	9	23.1 0.0	3	13.6 0.0	4	12.1 3.0	0	0.0 0.0	3	13.6 13.6	1 2	8.1 6.3	17	10.
9. 競争企業と差別化	ő	0.0	ĭ	25.0	4	25.0	Ö	D.D	2	9. L	i	12.1	2	15.4	ă	13.6	8	9.4	19	11.1
10. 爾際印1への対応 11. 情報の迅速化	1	20.0 20.0	2	25.0 50.0	1 5	6.3	0 5	0.D 98.5	9	4.5 40.9	18	3.0 57.8	5	0.0 38.5	19	4.5 59.1	26	8.3 78.1	84	5.0 52.1
2. 製造3ストの節緒 8. 納入の短額化	0	0.0	0	0.0	Ď	0.0 0.0	0	0.0 7.7	0 9	0.0 9.1	0	0.0 6.1	0	0.0 7.7	0	0.0 9.1	3 10	8.4 31.3	18	1.
4. 裏列化の強化	ŏ	0.0	ő	0.0	ĭ	8.3	ż	15.4	õ	0.0	ī	3.0	i	7.7	ã	0.0	Ō	0.0	- 6	8.
l5. ホータエントリーの省力化 l6. その他	2	40.0 20.0	1 D	25.0 0.0	0	6.8 0.0	1 0	7.7 0.0	6	27.3 0.0	0	27.8 0.0	9	7.7 0.0	å	16.2 0.8	2	8.4 6.3	28 3	17.
at	Б	180. B	4	100.0	16	100.0	13	100.0	22	100.0	33	100.0	13	100.0	22	100.0	82	100.0	160	LGO.

オンライン開始年(従業員数区分別)

従業員数区分		A		В		С		D		E		F		G		Н		I	全	伴
回答項目	件政	平(%)	件数	率 (%)	件数	寿 (1)	件数	率 (%)	作政	翠(%)	件数	單(%)	件数	平 (2)	件数	* (1)	件数	率 (%)	件数	半 (1)
A. 1989年以前 B. 1970年~1974年 C. 1975年~1979年 D. 1980年~1984年 E. 1985年~1989年 F. 1990年以降	000040	0.0 0.0 0.0 0.0 100.0		33.8 0.0 33.3 0.0 33.3 0.0	0 1 2 7 5	0.0 6.3 12.5 43.8 31.3 6.3	1 0 4 3 5	7.7 0.0 30.8 23.1 38.5 0.0	0 2 8 9 5	0.0 7.7 30.8 34.6 19.2 7.7	1 7 7 13 7	2.9 20.0 20.0 37.1 20.0 0.0	0 3 4 1 1	0.0 25.0 25.0 83.3 8.3 8.3	1 9 7 5 3	4.0 38.0 28.0 20.0 12.0	8 12 8 2 1	25.0 37.5 28.1 6.3 3.1 0.0	12 34 41 43 32 4	7, 2 20, 5 24, 7 25, 9 19, 3 2, 4
āt	. 4	100.0	3	100.0	18	100.D	13	100.0	28	L00. û	35	100.0	12	100.0	26	100.0	32	100.0	188	100.0

EDI利用開始年(従業員数区分別)

従業負数区分		A		В		С		D		E		F		G		H	1	I	全	#
国各项目	件数	半(*)	件数	半(%)	件数	串 (X)	件数	字 (t)	件数	半(%)	件数	率 (%)	件数	半(%)	件数	# (X)	件数	率 (%)	件数	* (%)
A. 1989年以前 B. 1970年~1974年 C. 1976年~1978年 D. 1980年~1984年 E. 1985年~1989年 F. 1990年以降	0 0 0 3 2	0.0 0.0 0.0 0.0 80.0 40.0	0 0 1 0 2	0.0 0.0 25.0 0.0 50.0 25.0	0 0 4 7 4	0.0 0.0 0.0 26.7 46.7 28.7	0 0 2 1 6	0,0 0.0 15.4 7.7 38.6 38.5	0 1 1 3 14	0.0 4.0 4.0 12.0 58.0 24.0	0 1 5 13	0.0 0.0 3.0 15.2 39.4 42.4	0 0 1 0 8 4	0.0 9.1 0.0	1 2 3 12	4.3 4.3 8.7 13.0 62.2 17.4	0 0 3 4 20 8	0.0 0.0 9.1 21.1 80.8 18.2	1 2 11 20 82 46	0.6 1.2 8.8 12.3 50.6 28.4
##	5	100.0		100.0	15	100.0	13	100.D	25	103.0	33	100.0	11	100.0	23	100.0	33	100.0	162	100.0

ネットワーク形態(従業員数区分別)

従業員数区分		A		В		c		D		E		F		G		Н		I	全	体
回賽項目	件致	平(1)	件数	率 (%)	件数	率 (₹)	件数	寧 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	作数	率 (%)	件数	翠(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
1. 47ト集中型 2. *7ト中心キットワーク型 8. *7ト/キットワーク型 4. 分数キットワーク型 5. その他	1 4 2 0 0	14.3 67.1 28.6 0.0 0.0		75.0 0.0 0.0 25.0 0.0	7 8 D 1	50.0 42.9 0.0 7.1 0.0	5 7 0 1 2	48.7 0.0 6.7	13 10 0 0 2	62.0 40.0 0.0 0.0 8.0	18 12 2 2 2	47.1 85.3 5.9 5.9 5.9	8 8 0 0	50.0 50.0 0.0 0.0	7 9 1 8 0	28.0 \$8.0 4.0 \$2.0 0.0	. 9 12 0 14 0	25.7 34.3 0.0 40.0 0.0	67 66 5 27 8	39.2 38.8 2.9 15.8 3.5
#1	7	100.0	4	100.0	14	100.0	15	100.0	25	100.0	34	100.0	12	100.0	25	100.0	35	100.0	171	100.8

VAN利用の有無(従業員数区分別)

従業員数区分		A		B		С		D		E		F		G		Н		I	全	#
回客項目	件数	率 (%)	件数	率(%)	作数	举 (%)	件数	率 (%)	件数	难 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	孝 (*)	件数	半(%)	件数	半(次)
1. 利用 2. 未利用	2 5	28.6 71.4	2 2	50.0 50.0	8	57.1 42.9	4 11	26.7 73.3	16 9	4-7-	22 12		8	68.7 33.3	15 10	80.0 40.0	2 9 6	82.9 17.1	108 65	62.0 38.0
at	7	100.0	4	180.0	14	100.0	15	160.0	26	100.0	34		12	180,0	25	100.0	35	100.0	171	100.0

末端形態(従業員数区分別)

従業員数区分		A		В		С		D		E		F	}	G		H		I .	全	4
回答项目	件数	率 (%)	件数	攻(1)	件数	率 (%)	件数	平(1)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率(X)	件数	半 (%)	件数	举 (%)	件数	半 (%)
1. 販売先	1	18.7	1	33.3	LO.	68.7	В	42.8	10	40.0	16	48.5	5	41.7	12	48.0	15	44.1	78	45.6
2. 仕入先	1	18.7	0	0.0	4	26.7	8	42.9	10	40.0	8	24.2	4	33.3	10	40.0	22	64.7	85	38.9
8. 系列•関連会社	2	83, 3	1	33.3	2	13.3	4	28.6	7	28.0	9	27.3	5	41.7	11	44.0	13	30.2	54	32.3
4. 海外環地法人	3	50. Q	1 1	33.3	2	13.3	8	0.0	0	0.0	5	15.2	1	8.3	9	38.0	12	35.3	33	1B.6
5. 叔終需要家	3	50. Q	1 :	8.88	4	26.7	0	0.0	5	20.0	7	21.2	2	16.7	6	24.0	4	11.8	32	19.2
6. 銀行	û	0.0	0	0.0	4	28.3	7	50.0	2	8.0	4	12.1	1	8.3	4	16.0	11	32.4	33	19.8
7. 倉庫 • 運送会社	1	16.7	O D	0.0	2	13.3	4	28.6	3	12.0	б	15.2	0	0.0	2	8.0	4	11.8	21	12.8
8. 函社(代理店)	0 1	0.0	0	0.0	0 !	0.0	1 1	7.1	2	8.0	7	21.2	3	25.D	3	12.0	5	14.7	21] 12.6
9. 保険会社	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	ι	8.3	1	4.0	0	0.0	2	1.2
10. がか 会社	0	Q. D	0	0.0	1	8.7	0	0.0	1 1	4.0	0 1	0.0	0	0.0	1	4.0	2]	5.9	5	3.0
11. 情報ヒンター	D	0.D	0	0.0	2	13.3	a !	0.0	0	0.0	2	6.1	0	0.0	1	4.0	3	8.8	8	4.8
12. その他	2	33.3	C	0.6	2	13.3	1	7. 1	1	4.0	4	12. i	2	18.7	5	20.0	3	8.8	20	12.0
8†	8	100.0	3	100.0	15	100.0	14	100.0	14	100,0	33	100.0	12	100.0	25	100.8	34	100. Q	167	100.0

利用通信回線・現在(従業員数区分別)

從業員數区分		A		B		С		D		E		F		G		Н		I	全	体
回答項目	件数	翠 ()()	件数	率 (%)	件数	¥ (%)	件数	≠ (%)	件数	李 (*)	件数	率 (%)	件数	半 (%)	件数	半(%)	件数	半 (%)	件数	# (%)
1. 専用回線(一般) 2. 単個回線(重子がま) 3. 電話回回線(交換 4. 電影(中華) 5. DOX・回線(交換 7. 1NSキット84 8. INSキット84 8. INSキット84 10. 移動型通過回信 11. アッテッション	3 2 4 0 2 2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	80.0 40.0 80.0 0.0 40.0 20.0 0.0 0.0	2 0 3 0 0 1 0 0	86.7 0.0 160.9 0.0 0.0 0.0 83.3 0.0 0.0 0.0	8 8 0 1 4 4 2 0 1 0	81.5 15.4 81.5 0.0 7.7 30.8 30.8 15.4 0.0 7.7	6 1 11 0 3 2 2 0 0	48.2 7.7 84.8 0.0 23.1 15.4 15.4 0.0 0.0 7.7	12 3 18 0 8 2 4 0 1	48.0 12.0 72.0 0.0 32.0 8.0 18.0 0.0 4.0 0.0 0.0	16 6 23 0 5 3 3 0 0	53.3 20.0 78.0 0.0 16.0 10.0 0.0 0.0 0.0	8 1 3 5 0 0 0	80, 0 10, 0 50, 0 30, 0 50, 0 0, 0 0, 0 0, 0 0, 0	13 14 17 2 18 8 4 0 0 0 5	58.5 60.9 73.8 8.7 69.6 34.8 17.4 0.0 0.0 21.7 4.3	28 18 23 0 14 7 8 0 1 0 2	82. 4 52. 9 67. 8 0. 0 41. 2 20. 8 23. 5 0. 0 2. 9 0. 0 5. 9	94 47 112 3 62 33 27 2 4 0	60.3 30.1 71.8 1.9 33.3 21.2 17.3 2.8 0.0 6.8
13. 私投回線	1	20.0	0	0.0	o	0.0	D	0.0	1	4.0	Ó	0.0	0	0.0	2	8.7	0	0.0	4	2.6
#H	5	100.0	3	100.0	13	100.0	25	100.0	25	100.0	30	100.0	10	100.0	23	100.0	84	100.0	156	100.0

利用通信回線 + 今後(従業員数区分別)

従業員数区分		A		В		С		D	ŀ	E	ŀ	F		G		H	1	1	全	H
回答項目	件数	李 (1)	件数	平 (1)	件数	翠(新	件数	半(%)	件数	率 (%)	件数	举 (I)	件数	率(1)	件数	辛(%)	件数	辛(1)	件数	率 (%)
1. 専用回線(一般)	0	0.0	0	0.0	2	50.0	3	42.9	1	20.0	2	18.7	2	28.8	0	0.0	ı	10.0	11	20.1
2. n (高速fc591)	Ð	0.0	0	0.0	2	50.0	2	28.6	0	0.0	4	33.3	Û	0.0	2	28.8	2	20.0	12	21.4
8. 電話回線	D	0.0	1	50.0	0 1	0.0	2	28.B	1	20.0	4	33.3	3 1	42.9	0	0.0	ı	10.0	12	21.1
4. 電信回線	0	0.0	a	0.0	D -	0.0	O :	0.0	a	0.0	D	0.0	0	0.0	10	0.0	0	0.0	0	0.1
5. DDX·回線交換	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1]	14.3	0	0.0	ι	10.0	8	5.1
8. DDX·バナット交換	0	0.0	1	50.0	0	0.0	2 '	28.6	3	60.0	4	33.3	1	14.3	3	42.B	2	20.0	16	29.
7. INS+>1B4	1	100.0	1	50.D	2	50.0	4	57. l	3	BO.D	B	86.7	5	71.4	5	71.4	8	BO. 0	37	87.1
8. INS#7F1500	0	0.0	0	0.0	0.	0.0	2 .	28 6	0	0.0	0	0.0	6	0.0	2	28.6	۵	O.D	4	7.
9. 衛星通信	0	0.0	0 !	0.0	loj	0.0	0,	0.0	0	0.0	0	0.0	a	0.0		0.0		0.0	0	0.1
10. 移動通信	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1 0	0.D	l i	8.3	a	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1
11. 777939通信	0	0.0	0	0.0	1	25.0	2	28.0	1	20.0	2	18.7	1	14.8	0	0.0	2	20.0	9	18.
12. ビデオテックス	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	C.D	a	0.0	0	0.1
13. 私設回線	0	0.0	0	0.0	a	0.0	1	14.3	à	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.1
計	ı	100.0	2	100.0	4	100.0	7	100.0	5	100.0	12	100.0	12	100.0	7	100.0	10	100.0	55	1GB. I

初期・機械設備費(従業員数区分別)

従業負数区分		A		B		Ç		D		E	-	F		G		Н		I	全	体
回条項目	作数	率 (%)	件数	平 (%)	件数	率 (%)	件数	* (%)	件数	率 (3)	件数	¥X (%)	件数	% (%)	件数	平(%)	件数	平 (%)	件数	半 (*)
A.100万未滿 B.100万~500万米次 C.500万~1千万未滿 D.1千万~6千万未減 E.5千万~1億未満 F.1億~10億未獨 G.10億以上	0 0 0 1	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 100.0	1 1 0	0.0 33.3 0.0 33.3 33.3 0.0	2 0 2 0 0	33.3 33.3 0.0 33.3 0.0 0.0	4 3 0 1 1	40.0 30.0 0.0 10.0 10.0 10.0	7 3 0 1 1 2	50.0 21.4 0.0 7.1 7.1 14.3 0.0	1 4 2 0 2 3	7.7 30.8 15.4 0.0 15.4 23.1	2 1 1 2 1 0	28.8 14.3 14.3 28.6 14.3 0.0	1 4 1 0 0	14.3 57.1 14.3 14.3 0.0 0.0	0 3 5 4 0 1	23.1 38.6 30.6 0.0 7.7	17 21 9 12 6 8	23.0 28.4 12.2 18.2 8.1 10.8
#f	ı	100.0	3	100.0	В	100.0	10	100.0	14	100.0	13	100.D	7	100.0	7	100.0	13	100.0	74	100.0

初期・ソフト開発費(従業員数区分別)

従業員数区分		A		В		C		D		E		F		G		н		I	全	#
回答项目	件数	平 (%)	件数	平 (1)	件数	平(%)	件数	半 (%)	件数	孝 (%)	件数	字(%)	件数	* (¥)	件数	半 (\$)	件数	半 (%)	作数	字(%)
A.100万米満	a	0.0	0	0.0	2	25.0	2	25.0	2	13.3	ī	8.3	0	0.0	1	10.0	а	9.0	8	9.2
B.100万~500万米荷	i	50.0	1	33.3	2	25.3	1	12.5	4	26.7	4	25.0	2	28.B	В	BO. 0	1	5.B	22	25.8
C,500万~1千万未満	0	0.0		0.0	1	12.5	l e	0.0	3	20.0	Ð	0.0	0 !	0.0	0	0.0	1	5.6	5	5.7
0.1千万~6千万米箱	1	50.0		88.8	3	37.5	2	25.0	3	20.0	8	18.8	4	57.1	3	8D. 0	8	44.4	28	32.2
E.6干万~Ⅰ億未満	0	0.0		33.3	0	0.0	2	25.0	3	20.0	3	18.8	1	14.3	0	0.0	4	22.2	14	18.1
F. 1億~10億未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1 1	12.5	0	0.0	3	18.B	0	0.0	0	0.0	4	22.2	8	9.2
6.10億以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0,0	2	2.3
#†	2	100.0	3	100.0	8	100.0	8	100.0	15	100.0	18	100.D	7	100.0	10	100.0	18	100.0	87	100.0

運用・合計(従業员数区分別)

従業負数区分		A		В		С		D		E		F		G		н		1	全	体
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	李 (%)	件数	* (%)	件数	半(%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	岩 (X)	件数	半(1)
A. 10万未満 B. 10万~50万未満 C. 60万~100万未満 D. 100万~500万未満 E. 500万~1下万未凝 F. 1千万~1億未獨 G 1億以上	***		0 0 0 1 0	0.0 0.0 6.0 58.0 0.0 50.0	2 2 0 8 1 2 0	20.0 20.0 0.0 80.0 10.0 20.0	2 2 1 2 2 1	20.0 20.0 10.0 20.0 20.0 10.0	0 4 0 7 1 3 0	0.0 28.7 0.0 46.7 8.7 20.0	0 0 2 4 3 2 2	0.0 0.0 15.4 30.8 23.1 15.4 15.4	0 0 2 0 0 2	0.0 0.0 40.0 0.0 0.0 40.0 20.0	1 0 1 4 2 2 0	10.0 0.0 10.0 40.0 20.0 20.0	0 1 2 6 3 11 0	4.5 9.1 22.7 13.6	5 8 8 26 12 24 3	5.7 10.3 9.2 29.9 19.8 27.6 3.4
Ħ	Û		2	100.0	10	106.0	16	100.0	10	100.0	13	100.0	5	100.0	10	100.0	22	100.0	67	100.0

運用合計売上高比率(從菜貝数区分別)

従業員数区分		A		B		С		D		E		F		G	-	H		1	全	4
回答項目	件数	率(%)	件数	字 (%)	件数	學(%)	件数	學 (%)	件数	李 (%)	件数	率(*)	件数	率 (%)	件数	学(X)	件数	率 (%)	件数	平 (%)
A. O. 1%未銷	0 :		Ö	0.0	4	40.0	8	33.3	7	50.0	7	53.8	2	40.D	В	88.9	21	100.0	52	62.7
B. 0, 1%~0, 2%未満	0	į	0	0.0	8	0.0	1	11.1	2	14.8	1 1	7.7	1	20.0	l L	13.1	G		В	7.8
C.O.2%~0.3%未満	0	į	0	0.0	0	0.0	1	11.1	2	14.3	1	7.7	0	0.0	0	8.0	0	0.0	4	4.1
D.O.3%~0.4%未満	0	Ì	1	50.0	2	20.0	1	11.1	0	0.0	1	7.7	0	0.0	1 0	0.0	G		5	B.(
E.O.4%~0.5%未満	0	1	D	0.0	0	0.0	2	22.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		2	2.4
F.0.5%~1.0%未満	0	1	0	0.0	0 -	0.0	0	0.0	1	7.1	0 1	0.0	2	40.D] 0	0.0	0		3	9.8
G. 1.0%~2.0%未満	0	!	8	0.0	1	10.0	1 1	11.1	1	7.1	1]	7.7	0	0.0	0	0.0	0	j 0.0	4	4.1
B. 2. 6%~3. 0%未満	0	ł	1	50.0	0	0.0	Ð	0.0	1	7.1	1 1	7.7	U	0.0] 0	0.0	0	0.0	3	3.6
1.3.0%~4.0%未将	0	}	1 0	0.0	0)	0,0.	D	0.0	0.	0.0	0 }	0.0	0	0.0	0	0.0	0		0	0.0
J.4.0%~5.0%未満	0	1	0	D. 0	G	0.0	ן ס	0.0	0 1	0.0	0 1	0.0	0	0.0	. 0	0.0	1 0	0.0	0	0.6
K.5.0%以上	a		D	0.0	8	30. D	D	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.6	0	0.0	a	0.0	4	4.8
8†	O		2	100.0	10	100.0	9	100.0	14	100.0	13	100.0	5	100.0	9	100.0	21	100.0	B3	100.0

EDI利用業務(従業員数区分)

業種区分		A		B		С		D		E		F		G		H		I	全	- 1
回答项目	件数	率 (%)	件数	举 (1)	件数	平 (\$)	件数	半(1)	件数	學 (%)	件数	華 (%)	件数	半 (%)	件数	¥ (%)	件数	率 (%)	件數	串 ()
1. 受照 を	2 2 1 1 1 2 1 1 0 2 0 3	28.6 28.6 14.3 71.4 14.3 14.3 28.6 14.9 14.3 0.0 0.0 42.9	1 0 1 1 0 1 1 0 1 2 0 0 0	25.0 0.0 26.0 25.0 0.0 25.0 0.0 25.0 0.0 0.0 0.0	12 2 1 3 1 1 0 1 0 0 0 0	92.3 15.4 7.7 23.1 7.7 7.7 7.7 30.8 53.8 38.5 0.0 0.0	9 5 3 4 2 0 0 2 4 9 3 0 0 1 0 2	89. 2 23. 1 23. 1 30. 8 7. 4 0. 0 15. 4 30. 0 23. 1 0. 0 0. 0 7. 7 0. 0	2) 4 3 7 4 2 3 10 9 10 3 0 1	84.0 18.0 12.0 28.0 18.0 8.0 12.0 40.0 36.0 40.0 0.0 4.0 0.0	24 4 3 7 0 4 2 8 5 9 4 1 0 2 0 2	82.8 13.8 10.3 24.1 0.0 13.8 6.9 27.6 17.2 31.0 13.8 0.0 6.9	8 4 0 2 0 0 0 2 1 4 3 1 0 0 1	81.8 38.4 0.0 18.2 0.0 0.0 18.2 9.1 38.4 87.3 8.1 0.0	17 3 6 8 3 8 12 10 11 10 1 10 1	70.8 12.6 20.8 37.5 25.0 12.5 50.0 41.7 45.4 41.7 4.2 0.0 18.7	29 14 10 10 4 3 0 13 14 18 13 1 1 1 1 2 5	82.9 40.0 28.8 28.8 31.4 8.8 0.0 87.1 40.0 45.7 2.8 2.9 2.8 5.7 14.3	124 38 27 48 15 18 8 51 49 63 42 4 2 7	77. 22. 16. 28. 9. 11. 5. 31. 30. 39. 28. 2. 1. 4. 2.
at .	7	100.0	4	100.0	13	100.0	13	100.0	25	100.0	29	100.0	11	100.0	24	160.6	35	100.0	161	100

EDI対象データ・現在(従業員数区分別)

従業員数区分		A	<u> </u>	В		C		D		E		F	l	G		н		1	全	
答項目	作股	率 (%)	件数	寧(*)	件数	举 (%)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	率 (%)	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (X)	作数	率 (
1. 化镁密/承認图	0	0.0	0	0.0	0	0.D	a	0.0	Ó	0.0	1	3.6	0	0,0	0	0.0	1	3.0	2	1
2、見積掛	0	0.0	0	0.0	a	0.0	0	0.0	1.	4.5	1	8.6	ī	10.0	š	13.8	5	15.2	11	l î
3. 注文書	2	88.7	1	33.3	5	38.5	6	80.0	15	68.2	19	87.9	8	80. O	18	59.1	26	75.0	94	85
4. 注文変更書	1 1	33.3	0	0.0	3	23.1	1 !	10.0	6	27.3	6	21.4	3	30.0	9	40.8	18	48.5	45	31
6. 注文研查	1	33.8	9	0.0	2	15.4	0	0.0	5 :	22.7	- 6	17.9	0	0,0	4	18.2	7	21.2	24	16
3. 納品書	3	100.0	1	33.3	В	48.2	3 1	30.0	6	38.4	13	48,4	2	20.0	9	40.9	10	80.0	55	84
7. 出得指示者 3. 検収書	3 3	100.0		33.3	3	23.1	2	20.0	B	27.8	8	28.6	1	10.0	9	40.9	16	48.5	49	34
3. 饭以香3. 照合確認書		0.0	"	0.0	4	30.8 7.7	0	0.0	1 1	18.2	5	17.9	Z	20.0	7	81.8	13	39.4	35	2
. 代金額求蓄		0.0	, ,	33.3	5	38.6	٥	0.0		4.5 36.4	2	7.1	!!	10.0	2	9.2	2	6.1	9	1
送金通知器	ត តែ	0.0	ń	0.0	2	15.4	9	20.0		13.B	•	14.8 3.6	1 :	10.D 10.D	10	45.5 18.2	1 7	21.2	88	2
. 提込通知書	ľi	33.3	امًا	0.0	ă	30.8	2	20. D	, ,	9.1	;	7.1	! ;	20.0	•	36.4	12	15. 2 36. 4	18 83	1.
. 船積書類	o i	0.0	م ا	66.7	ñ	0.0	i i	10.D	2	9. 1	์ คี	17.1	ĺ	0.0	В	27.3	12	12.1	20	2:
. 船資征券	Ď	0.0	l ī	33.3	Ď	0.0	ó	0.0	l ĩ	4.5	2	7.1	Ιň	0.0	l n	0.0	;	3.0	5	1
. 91-1	Ō	0.0	0	0.0	o i	0.0	ő	0. D	i	4.5	ไก้ไ	0.0	1 1	10.0	2	9.1	1 :	3.0	5	
. その他	1	33.3	O	0.0	5	38.5	3	30.D	8	27.3	8	32,1	6	50.0	7	31.8	18	48,5	52	31
8 †	3	100.0	я	100.0	13	100.0	10	100.0	22	100.0	28	100.D	10	100.0	22	100.0	33	LDD. O	144	100

ED 1対象データ・今後(従業員数区分所)

延業員数区分		A			В		C		D		E		F		G		Н		1	全	4
回答項目	件数	* (0	件数	率 (%)	件政	平 (%)	件数	学(X)	件数	¥ (%)	件数	半 (¥)	件数	半(%)	件数	學 (%)	件数	半(%)	件数	丰 (%)
1. 仕様着/承ば図	0	0.	0	O	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	G	0.0	3	33.3	4	22.2	7	12.1
2. 見積倍	1	25		0		1	20.D	D	0,0	1 3	42.9	1 1	14.3	1	j 25.0	4	44.4	8	33.3	17	29.8
3. 往文書	1	26.		0		(3	60.0	0	D.D	3	42.9	6	71.4	3	75.0	1 4	44.4	l ī	5.8	20	34.1
4. 注文変更書	1	25.		0		1.	20.0	Ð	0.0	3	42.9	9	42.9	2	i 50.0	1 4	44.4	8	0.0	14	24.1
5. 往文請書	Û,	l G.	0 [0 !		1	20.6	Ð	0.D	1	14.8	2	28.6	4	100.0	3	93.3	l ā	0.0	ii	19.0
8. 钠品苷	0) O.	0 [0		2	40.0	0	0.0	2	28.6	1	14.3	2	50.0	l ā	44.4	5	27.8	ÌВ	27.6
7. 出荷指示書	0	i 0.	0	0 !		1	20.0	2	60.B	1	14.3	2	28.6	ō	0.0	8	33.3	i i	0.0	<u>.</u>	15.6
8. 検収費	0	a.	0	υ [0	0.0	Ō	0.0	4	57.1	Ž	28.6	ĭ	25.0	l i	44.4	3	18.7	يّنا	24.1
9. 照合確認費	1	25.	0 l	0 !		l ō	0.0	Ιō	0.0	1 6	0.0	1 5	0.0	l i	Z5.D	l i	111.1	1 1	5.B	l '7.	B. 8
10. 代金請求費	3	76,	0 l	οi		i i	20.0	1	25.0	2	28.6	2	28.8	2	50.0	,	22.2	,	11.1	15	25.8
11、送金滩知番	o l	O.	αl	o i		ا م	0.0	ň	6.0	2	28.6	l 7:	14.3	2	50.0	1 1	11.1	1 7	5.B	17	12.1
12. 振込通知番	ŏ	Į Ď.		ăl		l îl	20.0	ň	0.6	ا آ	0.0	أؤا	28.6	1 1	25.0	1 2	33.8	1 1	6.8	۱ ،	13.8
13. 船級書類	1	25.	οl	o i		l či	0.0	lŏ	0.0	ا آها	0.0	l îi	14.3	Ó	0.0	۸	0.0	1 .	0.0		3.4
14. 船脊証券	o l	0.		ñΙ		ាំ	0.0	n i	0.0	ı ň.	0.0	اة	0.0	ő	0.0	Ĭ	0.0	ו ו	0.0	G G	
15. 71-1	Ó	ō.		Ď		l ŏ l	ā. ō	l ň l	0.0	l ñ	0.0	ا م	0.0	ŏ	0.0	١ ١	0.0	١ ٪	0.0	.0	0.0
18. その他	ĩ	25		ō		l i	20.0	ž	5D. 0	o	0.0	ĭ	14.3	ő	0.0	ĭ	11.1	3	18.7	9	0.0 16.6
8 †	4	100.	0	0		5	100.0	4	100.0	7	100.0	7	100.0	4	100.0	8	100.0	18	100.0	58	100.0

フォーマット規格(従業員数区分別)

従業員数区分		A	}	Ð		С		D		E		F		G		Н		I	全	件
回答項目	件数	學 (%)	件数	平 (1)	件数	率 (%)	件數	率 (1)	件数	率 (1)	件数	率 (%)	件数	学(1)	件政	字 (X)	件数	平 (1)	件数	¥ (X)
1. 国際標準 2. 米国標準	2	50.0 25.0		25.0 25.0	0	0.D 0.0	1 0	B. 3 0. 0	0	D.C	2 2	8. G 8. G	0	0.0	0	0.0	2 3	5. 9 8. 8	8	5.5
8. 栗界標準(EJAJ) 4. カ(JCA)	0 2	0.0 50.0		0.0 25.0	1 7	8.3 58.3	0 7	0,0 58.3	- 6 1D	26.1 43.5	5	20.0 12.0	8	30.0 10.0	7 5	33.3 23.8	13	38.2 32.4	35 47	24.1 32.4
5. その他業界模準 8. ソライヤート模準	1	26.0 25.0	0 2	25.0	D B	0.0 50.0	2 5	18.7 41.7	9	17.4 39.7	16	82.0 84.0	1 8	10.0 80.0	3 13	14.3 61.9	8 22	23.5 84.7	27 B2	18.6 68.6
āt	4	100.0	4	100.D	12	100.0	12	100.0	23	100.0	25	100.0	10	100.0	21	100.0	34	100.D	145	100.0

通信手順規格(従業員数区分別)

企業員数区分	ĺ	A		В		С		D		E		F		G		Н		1	金	#
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (*)	件数	率 (%)	作数	半 (%)	件数	學 (%)	件数	學 (%)	件数	半 (%)	件数	字 (1)	件数	率 (%)	件数	学 (%)
1. 全似于期 2. J手順 3. CAT/CAFJS 4. 菜子手順 5. メーシー手順 6. 維手順・TTY手順	8 2 0 0	100.0 39.8 0.0 0.0 16.7 16.7	1 1 0 0 2 1	25.0 25.0 0.0 0.0 50.0 25.0	9 7 1 0 2	80.0 48.7 8.7 8.7 20.0 8.0	9 8 0 2 5	75.0 25.0 0.0 18.7 41.7 8.3	16 10 1 2 9	68.7 41.7 4.2 8.3 37.5 12.5	19 14 0 2 8	87.9 50.0 0.0 7.1 28.8 7.1	7 4 0 1 3	83.8 38.4 0.0 9.1 27.3 9.1	21 12 0 1 8	95.5 54.6 0.0 4.6 38.4 4.5	24 15 3 4 17 2	75.0 48.9 8.4 12.6 53.1 6.3	112 68 5 13 56	72.7 44.2 3.2 B.4 38.4 B.4
#†	8	100.0	4	100.0	15	100.0	12	100.0	24	100.0	28	100.0	11	100.0	22	100.0	32	100.0	154	100.0

級知業界標準 (従業員数区分別)

従業員数区分		A		В	l	С		D		E		F		G		H		I	全	(4
回答項目	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率(1)	件数	率 (1)	件数	單 (1)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)	件数	平(%)	件数	平 (%)
1. CARDIS	i	67.1	0	0.0	2	100.0	1	33,3	5	38.5	1	7.7	ī	0.0	3	33.3	,	9.6	18	24.7
2. UCS	1	14.3	0	0.0	0	0.0	3	100.D	2		2	15.4	2	68.7	Ιī	11.1	5	23.8	18	21.9
3. Alag	2	28.6	1	60.0	1 1	50.0	2	66.7	4	30.8	8	46.2	3	100.0	1 4	44.4	14	86.7	37	60.7
4. CDIX	8	42.8	ł D	0.0	0 1	0.0	l t	33.3	1 1	7.7	1 1	7.7	1	83.8	0	0.0	l i	4.8	8	[11.0
6. EDX	3	42.9	1.	50.0	1	50.D	1	33.3	8	23.1	3	23. 1	ì	33.3	3	33.3	10	47.B	26	35.8
B. WINS	5	71.4	1	50.0	G	0,0	1	33.3	3 .	23.1	5	88.5	1	83.8	1	11.1	2	9.5	20	27.4
7. VICS	4	57.1	1 1	50.0	0	0.0	2 j	€6.7	2	15.4	2	15.4	2	68.7	0	0.0	4	19.0	18	21.9
B. DISH	4	57.1	2	100.0	L	60.0	1 1	33.3	1	7.7	1 !	7.7	ı	33.3	9	33.3	4	19.0	18	24.7
S. ODETTE	4	57.1	1	50.0	1	50.0	1	33.3	4.	80.8	5 !	35.6	2	88.7	5	55.5	13	61.8	36	49.3
10. DAKOSY	1	14.3	1	5a, o	0	0.0	0	0.0	1	7.7	l l	7.7	a	0.0	0	0.0	1	4.8	7	8.6
ž†	13	100.0	2	100.0	2	100.0	3	100,0	13	100.0	13	100.D	3	100.0	9	100.0	21	100,0	73	100.0

.

4. EDIの国際標準化動向

- 4.1 標準化作業の経緯
- 4.2 UN/EDIFACTの開発保守体制
- 4.3 UN/EDIFACTの安定と統一

4. EDIの国際標準化動向

4.1 標準化作業の経緯

(1) TDI(貿易データ交換)ルールの誕生

貿易データ交換のためのデータ項目やコード、シンタックスルールの標準化を目指して、1976年から英国のSITPRO(注1)が中心となり、国連/欧州経済委員会の第4作業部会(UN/ECE/WP.4:貿易手続簡易化作業部会)の下部組織であるGE.1(データエレメントと自動データ交換に関する専門家会議:Meeting of Experts on Data Elements and Automatic Data Exchange)で作業が進められてきた。その結果が1979年3月のWP.4に報告されたのがTDI(Trade Data Interchange)ルールである。一方、米国のNCITD(注2)からも米国が独自に開発したEDI(Electronic Data Interchange)ルールが発表され、両ルールの何れを国連標準とするか問題となったが、SITPROを中心とする欧州各国の推すTDIをECEの標準とすることが決まり、国連の貿易データ交換指針書(UNTDID:United Nations Trade Data Interchange Directory)として公表されることとなった。

その第1章「序文」および第4章「貿易データ交換のためのガイドライン(GTDI: Guideline for TDI)は、1981年6月に第1版が出版され、その後、第2章「貿易データ交換のためのアプリケーションレベル・プロトコルの登録規則」が採択され、第3章「解説書」と共に1984年9月に発表された。

(2) TDIルールの強化から世界統一標準へ

ECEでは、TDIを標準することが決まっても、米国内では依然EDIルールによるデータ交換が行われており、ユーザとして何れを採用すべきか頭の痛い問題であった。1984年12月、ECE貿易拡大委員会の第33回会期で、貿易データ交換の為に種々のシステム間で国際的な互換性を確立すべくあらゆる努力を傾注すべきことが論議された。その結果、特別ラポータグループが結成され、GTDIの強化と単一の貿易データ交換標準の確立に向けての作業が開始された。

しかし、米国側もEDIの実績をPRしており、WP.4事務局も含めラポータグループおよびGE.1の専門家たちは、GTDIに則ったシステムと、開発中の米加両国内標準との間のデータ交換のために、ANSI(注3)の中で活動する米国における非公式な標準化調整委員会JEDI(注4)の呼び掛けに応じ、米国で開催の会合に

参加することとし、1985年11月ニューヨークでJEDI委員会と会合した。この会議には、米国運輸省(DOT)、米国標準局(NBC)(注5)、TDCC(注6)、NCITD、US AIAG(注7)、カナダ外務省等からも参加があり、TDI/EDI間のシンタックスの違いを検討するグループとデータエレメントとメッセージ/トランザクション標準を比較検討するグループの2つの作業グループが結成された。この会議は、EDIシンタックスルールの世界的に統一された標準を作るための第一歩であり、その第2回会議において、2つのシンタックス技法の見直しが行われた。

(3) UN-JEDIグループの結成とEDIFACTの誕生

WP.4は、1986年3月の会議でTDI/EDIシンタックスの結合とデータエレメント、標準メッセージ、トランザクションを取り扱うためのUN/ECEとUSグループによる合同グループ(UN-JEDI)の結成を承認し、同年9月UN-JEDIグループに対し下記事項を付託した。

- ① 国際規格としてISOに提出するためのシンタックス草案の開発
- ② 修飾子技法 (Qualifier Technique)とコードを含む標準メッセージ (UNSMs) の開発
- ③ 標準メッセージの準備および現行システムからの移行に関するガイドラインの作成
- ④ EDIおよびEDIのための一般標準の促進に関する文書の改訂と編集 この結果、UN-JEDIグループは、合意されたシンタックスの概要をWP.4事 務局に提出し、1987年3月EDIFACTの名称を採択して、ISO宛文書を提出、ISOは、Fast-track Procedureとして即刻DIS9735 (国際規格案)の番号を付与した。このDIS9735 (EDIFACT)は、1987年9月のISO/TC154において、反対なしの圧倒的多数で承認され、アプリケーションレベルのシンタックスルールとしての国際規格ISO9735が誕生し、その第1版が1988年7月15日付で発行された。
- (4) 貿易データエレメント集(UNTDED)開発の経緯

貿易関係業務のシステム化の基本となる(貿易)データエレメントの統一化、標準化の作業も国連ECE/WP.4において1975年頃から関係国際機関との協力の下に進められてきた。そして、合意に達したものから順次公表されてきたが、その後、これをまとめて「貿易データエレメント集(TDED)」として発行することとなり、第1節「序文」および第2節「索引」は、1980年9月のECE/WP.4会議で採択され

たものが、また、第3節「標準データエレメント」には、海上および複合輸送運送状、 商業送状、道路輸送と税関申告、鉄道輸送、信用状等のデータエレメントを収録した ものが、TDED第1版として1981年6月に出版された。

その後、ECE/WP.4の1982年9月会議において、SWEPRO(注8)のSWECOMSEA(注9)関連の新データエレメント、AWB(Air Way Bill)フォワーディング、保険関係のデータエレメント並びに保守管理規則(第9節9.1項)が採択され、これらと共に第4節「注釈」、第5節「コード」および第6節「関連勧告と規格」を新に収録した1983年版TDEDが発行された。TDEDは、毎年データエレメントの追加、更新を反映した最新版が出版されている。最新版である1990年版を見ると、第7、8節(予備として保留)を除く第1節から第9節までの7節(325頁)で構成されており、856のデータエレメントが収録されている。

ISO7372として1986年3月1日に公表された貿易データエレメント集(TDED) の第1版は、ISOの公式文書としては表紙、まえがきと本文1頁から成る簡単なものであり、その本文(内容)については、ECE/WP.4で発行したTDEDを参照することとなっている。

以上のECE/WP.4におけるEDI関連標準化作業の経緯と現状については、図4-1を参照されたい。

(注1) SITPRO	: The Simpler Trade Procedures Board 英国の貿易手続簡易化機関
(注2) NCITD	: International Trade Facilitation Council 米国の貿易手続簡易化機関
(注3) ANSI	: American National Standards Institute 米国規格協会
(注4) JEDI	: Joint EDI Standards Co-orditination Committee 米加合同電子データ交換調整委員会
(注5) NBS	: National Bureau of Standards 米国標準局(政府機関)
(注 6) TDCC	: Transportation Data Coordinating Committee 米国運輸関係データ調整委員会
(注7) US AIAG	: US Automotive Industry Action Group 米国自動車産業システム標準化委員会
(注8) SWEPRO	: Swedish Trade Procedure Council スウェーデン貿易手続簡易化機関
(注9) SWEPROSEA	スワェーテン員あす続間あれ機関 :SWEPROが開発した国連標準に基づく海上輸送関係データ交換標準

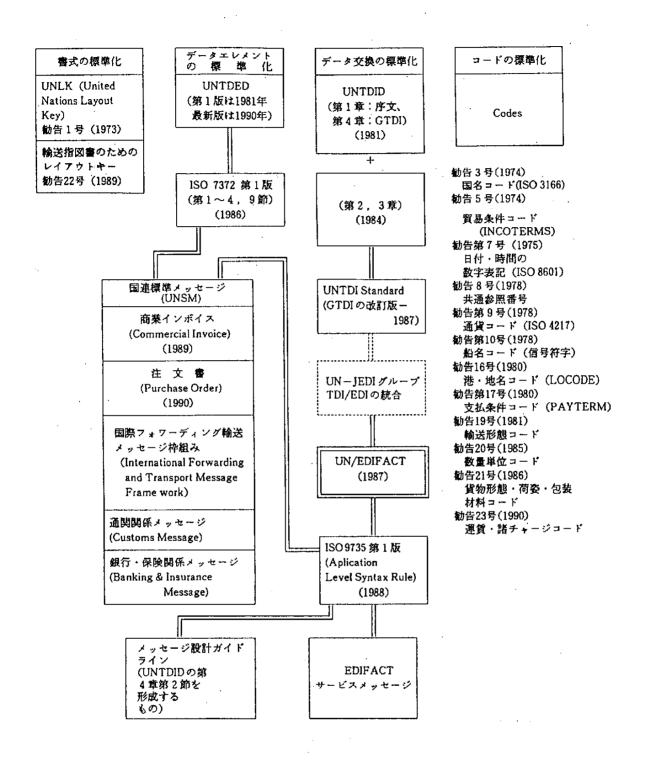


図4-1 ECE/WP.4における標準化作業の経緯と現状

4.2 UN/EDIFACTの開発保守体制

(1) UN/EDIFACTの概要

狭義のUN/EDIFACTは、ISO9735、即ち、開放型環境下での「メッセージ交換におけるユーザーデータおよび関連サービスデータの構造化に関するアプリケーションレベルの規則」を要約、記述したものである。この規則は、行政、商業および輸送分野の関係者間で交換するメッセージの準備に関するシンタックスルールを提供するもので、メッセージ設計ガイドラインを含む国連ECE貿易データ交換指針書(UN/TDID)の一部を成し、同ガイドラインが、本規則と共に使用されることになっている。

しかし、広義のUN/EDIFACTとしては、1990年3月のECE/WP.4において採択された次の定義を適用すべきである。

『 "UN/EDIFACT:行政、商業および運輸に関するデータ交換のための国連規則集。これは、構造化されたデータの、特に商品やサービスの取引に関する独立したコンピュータシステム間における電子交換のための、国際的に合意された規格、ディレクトリーおよび指針のセットより成る。』

国連の枠組みの中で勧告された規則集は、国連貿易データ交換指針書(UN/TDID)においてUN/ECEにより承認、発行され、合意された手続きの下で保守管理される。UN/TDIDは、以下のものを含む:

- EDIFACTシンタックスルール(ISO9735)
- メッセージ設計ガイドライン
- シンタックス実施ガイドライン
- ・EDIFACTデータエレメント集(EDED/UN/TDEDのサブセット)
- EDIFACTコード表(EDCL)
- EDIFACT複合データエレメント集(EDCD)
- EDIFACTセグメント集(EDSD)
- ・EDIFACT標準メッセージ集(EDMD)
- ・データ通信による貿易データ交換統一実施規則(UNCID)
- 解説書
- (2) UN/EDIFACTの開発保守体制

UN/EDIFACTの開発、保守は、図4-2のようにUN/ECE/WP.4の

下のGE.1で進められている。具体的には、全体的開発、保守のための調整、とりまとめ役として地域ごとに任命されたUN/EDIFACTラポータ、および、それを支える合同ラポータ会議(JRT会議)によって、作業は進められている。当初、このラポータは、北米、西欧、および東欧の3地域(region)からそれぞれ選出されていたが、UN/EDIFACTの他地域への積極的な展開を図るため、並びに、より世界的規模で開発を推進するため、1990年3月には、豪州/ニュージーランド地域、そして1990年9月には、日本/シンガポール地域から、ラポータが任命され、現在5名のラポータがいる。

合同ラポータ (JRT) 会議は、毎年2回、ECE/WP.4会議 (3, 9月の2回 ジュネーブで開催) の後で開催される。

現在、JRT会議は、16の作業グループで構成されており、各作業グループは、北 米および西欧から選出された2人の議長によるCochair 方式で運営される。現在、最 も作業が集中しているのは標準メッセージ(表4-1を参照)の開発である。

各地域ごとにラポータの活動を支援するEDIFACTボートが設置され、その下に普及啓蒙、技術評価、メッセージ開発、および、保守等具体的活動ごとに作業グループが結成されている。

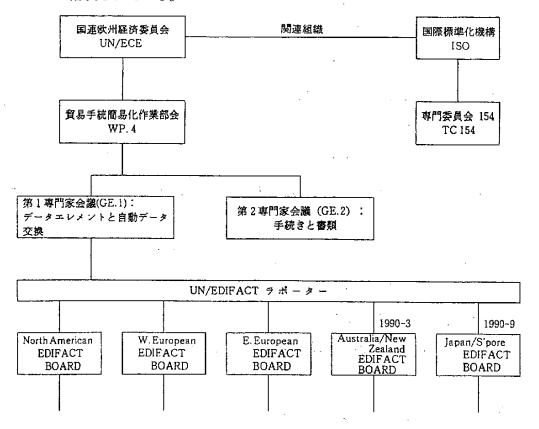


図4-2 UN/EDIFACTの開発保守体制

(3) 日本およびシンガポールのUN/EDIFACT対応組織

1990年末現在の日本、シンガポールにおけるUN/EDIFACT対応組織は、図4-3の通りである。日・シEDIFACTボードは、1990年8月20日ボードメンバー全員(日本側6名、シンガポール側2名)の署名を終え、正式発足した。同ボードは、1990年11月5~6日の両日東京において第1回会議を開催した。そこで、図4-3のような組織とすることを確認すると共にEDIFACT日本委員会(JEC)、EDIFACTシンガポール委員会(SEC)は、それぞれの組織の下に1991年3月15日までに、それぞれの優先順位に従って、作業グループを結成することを決定した。この決定に従い、両国において作業グループの設置が進められている。日本及びシンガポールとしても作業グループは、合同ラポータ会議の作業単位と対応して結成することが望ましいが、当初より16の作業グループの全てに対応して結成することは困難なので、優先度および関心の高いものに絞りこんで設置することにしている。なお、図4-3にあるJEC、SECにおける作業グループは、今後設置を予定しているものである。

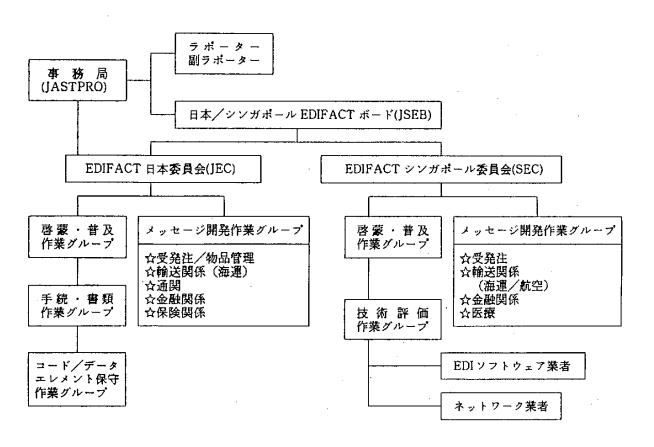


図4-3 日本/シンガポールEDIFACTボード組織図

表 4 - 1 標準メッセージ開発状況一覧表(1991 - 1 現在)

Sector	V/R	Tag	Name	Stat-0	Stat-1	Stat-2	
受発注関係	89. 2	INVOIC	Commercial Invoice			88-09	R. 527/Rev. 1
文 #L(포I됐I#	1.2		Purchase Order		89-03	90-03	R. 586+Corr. 1
}	$\frac{1.2}{0.1}$	ORDERG	Purchase Order Change	89-06			R. 582
,	V. I			00 00		-	
i		OKUTNO	Order status equirry	89-06		 	R. 581
	0.1		Purchase order response	09-00			11. 001
		ORDSTA	Order status	00.00		 	R. 619
-		PARTIN	Party Information Report	89-06		 	n. 010
	0.1		Product specification				P. 000
		PRICAT	Price/sales catalogue	89-06			R. 620
	0.1	QALITY	Quality data	89-03	89-09	ļ	R. 583+Corr. 1
	1.1	QUOTES	Quotation	89-06		<u> </u>	R. 623
	0, I	RECOTE	Request for quote	89-06		<u> </u>	R. 622
	0, 1	CTATAC	Statement of account	89-06		T	R. 624
勿品・管理	0. 1	211110	Deliverry Instructions	90-09			R. 711
勿200、日1年		DELIUK	Just-in-time (deliverry)	90-09			R. 712
	0.1			90-09		 	R. 713
		DESADA	Despatch advice	30 03		 	
		DISRPT	Distribution report	1-00-00		+	
	[Inventory report	90-03			D 000
輸送関係	1.2	1 FTMFR	IFTM framework	90-03	89-09		R. 690
		[FTMBP	IFTM Provisional booking	89-03	89-09		R. 660/Rev. 1
			1FTM Firm booking	90-03	90-09		R. 661/Rev. 1
	}		IFTM Booking confirmation	90-03	90-09	1	R. 662/Rev. 1
		IFTMIN		90-03	90-09		R. 663/Rev. 1
			IFTM Instruction contract status - B/L	90-03	90-09	 	R. 664/Rev. 1
		IFTMCS		" " " "	***		
		IFTMAN	Waybill IFTM Arrival natice	90-03	90-09		R. 665/Rev. 1
	·			1 ** **	1000	· ·	
EDIMAR	 	LAVALEE	Bayplan excluding empty spaces	 	 	+	
(IMO)		DAPLIE	Bayplan inclusive of empty spaces			 	
R. 512		BAPLTE	Bayplan total number only			 	<u> </u>
	T	CALINE	Call information	<u></u>	<u> </u>	J	<u> </u>
		COARRI			l	1	
	 		Container Departure	1			
		COORIN	Container Overland	1	T	1	
		COUNTY	Container Overland .		 		
	-		Container Pre-departure with guidelines	 	 	+	·
	L		Container Pre-arrival		 	 	1
	<u>L.</u>		Container Pre-departure	 			-
		COSHLA	Container Shortlanded	_		<u> </u>	0.007
	0.0	IFCSUM	International Frowarding and	90-09			R. 687
	1		Consolidation Summary	<u> </u>	<u> </u>		ļ
		VESDEP	Vessel departure		L		<u> </u>
通関関係	1, 2		Customs declaration	89-06	90-09		R. 688+Corr. 1
北京				89-06	90-09	T	R. 689 Corr. 1
	1.2	CUSRES		90-09	1 22 22	+	R. 716
M/P	0.1	CUSCAR			 		R. 717
M/F	0.1		Customs conveyance report	90-09	00.00	 	R. 701
金融関係		CREADY	Credit advice	90-03	90-09		
		CREEXT	Extended credit advice	90-03	90-09		R. 692
			Debit advice message	90-03	90-09		R. 693
	-	PAYFYT	Extended payment order	90-03			R. 694
		PAVODD	Payment order	90-03	90-09		R. 695
		DAVDEN	Overdue payment reminder	90-03	1		
	ļ	DEMARK	Remnitance advice	90-06	90-09	 	R. 714
	10.	KEMAUY	Multiple pourest pedage	90-09	1 3 33		R. 715
	0, 1	PAYMUL	Multiple payment order	90-09	+		R. 704
	-	BALANC	Trial Balance		 	 	R. 674
	0.0		Documentary Credit Application	90-09	 		R. 594+Corr. 1
保険関係	1,0	CURRAC	Current account	89-06		_	
	0.1	REINAC	Reinsurance account	89-06	 		R, 595+Corr. 1
		CLAIMS	Claims Massage	_			
建築関係		COFORM	Construction pricing formula			_	
AZ JELVIIM	1	COPLAN	Construction planning				
•	}	CODECE	Construction responsibilities				
		COVALI		1	1		
- ∓ 1 11.	 			1	89-09	-	R. 589
その他	1.1	CONTRL			1 30 00		
	<u></u>	DIRMN			+		
	L	DIRSE		- 00.00			R. 593
	0.1	GENRAL		88-03			V. 999
		NONCO	Non-conformance message				
		TRASTA					-
	1	TAXCOL		i	1	1	i i

4.3 UN/EDIFACTの安定と統一

国連貿易データ交換指針書(UNTDID)は、メッセージ構造、セグメント集、複合データエレメント集、および、コードセット集を含むステータス2ディレクトリーセットから構成される。これらのディレクトリーは、現在3月および9月のWP.4会議の後に発行されている。この発行間隔は、変更と新しいメッセージの提案が所定の手続きを踏んで処理される事を条件として、毎年2回の変更を認められている。新しく発行されたディレクトリーセットの各々は、UN/EDIFACT標準の最新版として、それまでの最新版に代わるものである。現在旧版ディレクトリーセットの改廃を宣言する手続きは存在しない。

UN/EDIFACT標準の利用者は、非常に早いペースでEDIFACTを使用し始めている。急速な実施を援助するためにディレクトリーセットは、年2回発行されてきた。しかしながら、このことは、これ自体に問題を生じさせた。多くの場合に利用者は、発行されたディレクトリーセットの正しい順番や施行に混乱させられてEDI業務実施の安定化よりも新しい版/リリースへ変更する事に不当に多くの時間を費やしている。このようなことから国連標準メッセージの開発に関連して、UN/EDIFACTラポータとDRG(Directory Reference Group)の議長は、UN/EDIFACTラポータとDRG(Directory Reference Group)の議長は、UN/EDIFACT開発と保守の安定化のために以下のような提案を行ないECE/WP.4で承認された。

- ① 試用メッセージ・ディレクトリーセットは、年1回、11月に発行して12カ月間は変更を行わない。
- ② UNSM (ステータス2) メッセージ・ディレクトリーセットは、国連貿易データ 交換指針書 (Trade Data Interchange Directory: UNTDID) の改訂に合わせ毎 年1回5月に発行され、36カ月間有効である。

この提案によって、今後、ディレクトリーセットのバージョン管理が確立し、新しい 標準メッセージの開発にも好影響を及ぼすことが期待される。

以下に、この提案によって作成された「UN/EDIFACTの安定と統一」に関する勧告と付属文書の概略を示す。

〔勧告〕

(1) UN/EDIFACTディレクトリーの安定

メッセージのステータス2への昇格、およびUNTDID内でのステータス2ディレクトリーへの変更は、毎年1回のみ認める事を勧告する。これは、UN/ED

IFACT標準の環境を安定させ、利用者をしてあるディレクトリーセットより他のディレクトリーセットへのより一層明確な前進をさせるものである。特にステータス2ディレクトリーセットへの昇格、および変更は、毎年3月のGE.1/WP.4会議に於いて認めることを勧告する。これらのディレクトリーセットは毎年5月に発行される。

更に、ステータス1(公式試用草案)へのメッセージの昇格は、毎年1回9月のGE.1/WP.4の会議で承認され、毎年11月にステータス1ディレクトリーセットを発行することを勧告する。公式試用は、12カ月周期で存続することが勧告されるが、この勧告は、メッセージがステータス1として最初に紹介されてから、UNSMステータス2として最終的に勧告となるまでには、少なくとも合計18カ月間必要である事を留意すべきである。

(2) ディレクトリーセットのバージョンの公表、存続期間および廃止

ステータス2ディレクトリーセットが発行されると、それは各々の"最新版"となる。これら毎年の最新版の発行は、UN/EDIFACT利用者に最新版のより 長期の計画と施行期間を提供する。年毎のディレクトリーセット発行は、また、所 定の手続を経て、ステータス2ディレクトリーセットの保守に一層の安定性をもた らすことになる。

・ディレクトリーセットの各版は、36カ月の存続期間を有し、従って、ディレクトリーセットの公式の規則正しい維持と発行は、36カ月目に終了することを勧告する。かくディレクトリーセットが3年間の有効期間を持つことは、UN/EDIFACTディレクトリーセットがいつまでも3版存在することを意味する。

ステータス1の18カ月の周期は、UN/EDIFACT利用者に、彼等が現在導入しているEDIFACTの根本に不都合を与えずにある版から他の版への時宜を得て安定した移行計画を十分に前以って立案する可能性を提供する。このステータス1の存続期間は、また、いつも2つのステータス1施行ディレクトリーが存在することを意味する。

各ディレクトリーセットの同時平行存続と限定有効期間は、UN/EDIFAC T利用者にディレクトリーセットのある版から他の版への着実な移行を行ったり、現在のディレクトリーセットが発行される度に移行する事が出来ない取引相手のために複数のディレクトリーセットを維持するという可能性を増大する。

(3) 実施日

- ① 1990年9月にステータス1として提案されるメッセージは、1991年3月にステータス2への昇格を討議することを認める。
- ② 上記安定と統一の勧告は、1991年3月に実施された。

ディレクトリーセット実施の安定ガイドラインと共に非常に積極的な時間枠内での大量メッセージのステータス2への昇格は、公的、私的分野に於けるEDIプログラムのEDIFACT標準への急速な実施に最適な環境を提供するものである。

[勧告の実施上の要約]

ステータス 0 - メッセージ設計グループ参加者による発展途上のメッセージタイプ。 これらメッセージの一般情報は、G E.1で発表される。

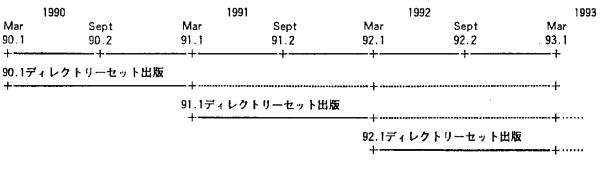
ステータス1 - 試用メッセージディレクトリーセットは、年1回、11月に発行され、 12カ月間変更されない。同時に発行される試用メッセージは、この統 一試用メッセージディレクトリーセットを利用する。

ステータス2 - ステータス2メッセージ (UNTDID) ディレクトリーセットは、 年1回、5月に発行され、36カ月有効である。同時に発行されるステ ータス2メッセージディレクトリーセットは、この統一ステータス2 UNTDIDディレクトリーセットを利用する。

どの期間を通じても3種のUN/EDIFACT (UNTDID) ディレクトリーセットが有効であり、その中で最も新しく発行されたものを"カレント(最新)"ディレクトリーセットと呼ぶ。

例 示:

ステータス2ディレクトリーセットの出版



凡 例:

+=ステータス 2 ディレクトリーセット出版(3 月 GE.1 でステータス 2 を承認、 5 月出版公表)
-----+= "最新"ディレクトリーセット

*=ディレクトリーセットの終結

……=継続

5. E D I 利用実態調査票

			•	
•				

5. EDI利用実態調査票

EDI利用実態調査票〔平成3年度〕

貴	衤	±.	名	,		整理番	를	1	1 1 1 4 1 1	;				:	8
所	7:	E	地	〒					Tel ())	- P	_ 勺線	()
回	答	者	名			役職名		٠			;				
	結身			(住所)	•				(氏名)						-
資	Z	Z	金	直方円	売_	上高	8			Ī		-	22	百	万円
従	業	員	数	23	業科	重番号	30 :	3 İ	業種名						-
(7	È1)	整	番	見については、ご記入不要です。							٠.	•			
(e	t,		複数	号については、下記より該当番号を選んで 数の業種にまたがる場合は、貴社の売上の					/業種を	1 -	つ選	ほんつ	で回ざ	答し ·	.T
	56. 和 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日 1. 日 1	広葉食機氏 ドロビニア 業設品維・材刷学油ム	漢業ルボードでは 大学の大田業石	14. 非鉄金属・金属加工業 15. 電気機器製造業 16. 輸送用機器製造業 17. 一般機械器具製造業 7加工業 18. 精密機械器具製造業 以品製造業 19. その他製造業 反業 20. 卸売業 21. 代理商・仲立業 と製品業 22. 小売業 以造業 23. 金融業		31. 情報 32. 旅行 33. 娯楽	動谕軍力聞収フラ産業業・・処ト業	業が放理ウェイ	ス 送・広告 サービス エア・情 D他サー	報	是付	集業			
	出了金额	ーと と さけ 見 こりから こうり こうりょう こうしょう こうしょう こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうしゃ こうし	れま導てに一よ間 際あ ので	こおけるEDIとは、次のように定義してで企業間で行われる商取引に際し、各種の人により、発注者側の出力帳票を受注者側のコンピュータに入力コンピュータ及び通信回線の利用が進みなと端末間で直接にデータの交換が行われて、商取引のためのデーで交換することをEDI(Electronic D当事者間でデータ交換に必要となる各種ることが必要です。	帳です、るタat の	票、書類が あカンドラン は、 では では に に に に に に に に に に に に に	たとーり 腺 は が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	、れとしか ige な	一歩よン。て電 りの こうこう とうじょう できる こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう	でなったシー合	酸りターピター 意	またが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これ	ーであり、 に標	など いは 端い 準的	にっきょな
(? <u>.</u>		月、a	うるし	Dご記入については、貴社においてコンピ いは情報システム部門がありましたらご回 コンピュータ業務を完全に別会社で運営さ	答-	下さるよう	うお	願	いします					ー タ	돼

(注5) 本調査票に記載された個別企業の内容については、外部に漏らさないことを厳守いたします。

(注 6) 本調査に関するご質問等については、下記までお問い合せ下さい。 (附日本情報処理開発協会 産業情報化推進センター EDI利用実態調査担当 ☎03-3432-9386

 $\stackrel{3}{\triangle}$

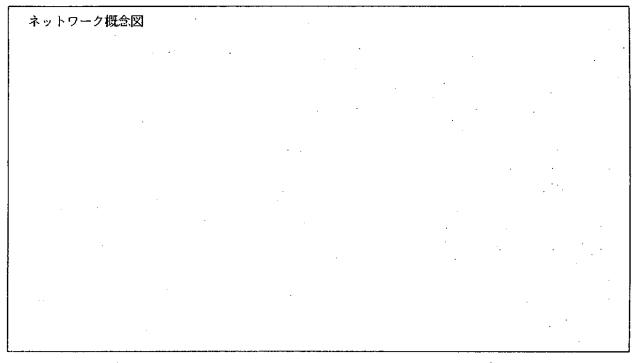
質問! 貴社におけるEDIの利用状況について次の項目から1つ選択して該当番号に○印をつけてお答え下さ W 3 3 1. 現在、EDIを利用している。 2. 現在はEDIを利用していないが、今後利用する予定がある。 3. EDIを利用していない。今後も利用の予定はない。 EDIを利用していない理由を次の項目から1つ選択して該当番号に○印をつけてお 答え下さい。 3 4 1. EDIを利用する必要性がない。 2. EDIの利用環境が整備されていない。 3. 他社ネットワークとの接続が容易でない 4. 投資コストに見合う効果が出ない。 5. その他() → EDIに関するご意見等について質問7からご回答して下さい。 EDIを利用する理由について次の項目から該当するものを3つ選択して〇印をつけてお答え下さい。 (利用予定も含む) (複数回答可) 35-40 1. 情報の獲得の容易さ 9. 競争企業との差別化(市場優位の獲得) 2. 応答および情報へのアクセスの迅速化 10. 国際EDIへの対応 3. 事務コストの削減(費用効率が良い) 11. 情報の迅速化と正確性の向上 12. 製造コストの節減 (生産性の向上) 4. 取引先からの要請 5. 取引先へのサービスの向上 13. 納入の短縮化と利便性の向上 6. 事務処理の効率化・省力化 14. ネットワーク系列化の強化 7. 物流業務の改善 15. オーダーエントリーの省力化 8. 商品在庫の削減(ジャストインタイム) 16. その他() 41~44 貴社においてオンライン業務処理を開始したのは何年(西暦)からですか。 19: 年から開始 貴社においてEDIを利用したのは(利用予定も含む)何年(西暦)からですか。 19: 年から利用

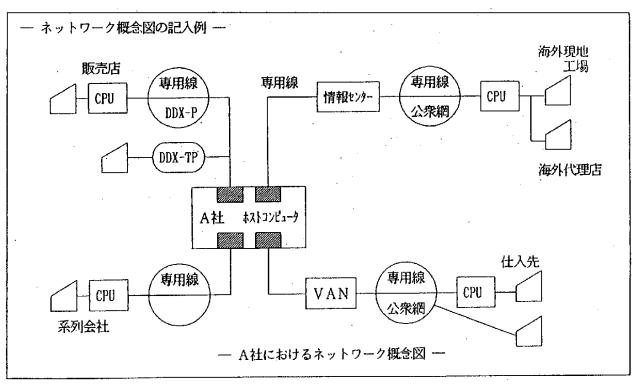
質問 2 貴社におけるEDI利用のコンピュータ設備等についてお答え下さい。 (1)EDIで利用(利用予定も含む)している主要コンピュータの規模と接続端末台数はどの程度ですかQ

7	1. 大型汎用機 ※	台 45~46	
ピピ	2. 中型汎用機 ※	1 47~48 (計7) コンピ なの公告けて	へいて同物ナフ組入 ドエア
ユ コ 夕	3. 小型汎用機 ※	: : (注7)コンピュータの台数に~ : : : 台 ^{40~50} 定義を参照し、コンピュー - : : - :	ついて回合する場合、以下の ータの分類を行って下さい。 「同一のアーキテェクチァに
yの 規	4. オフィスコンピュータ	: :台 51~52 基づき「ファミリ」ある	。同一のテーヤテェクテァに るいは「シリーズ」を形成す 、ソフトウェアの上位互換性
 模	5. ミニコンピュータ	: 台 53~54 があるものとします。	領を購入価格をもとに次のよ
	6. パーソナルコンピュータ	: :台 55~56 うに区分するものとしる	
	OIで利用している ストの接続端末台数	57~00 2. 中型汎用機 4千万	5 十分日次上 万円以上~2億5千万円未満 万円以上~4千万円未満

B)

(2)EDIで利用(利用予定も含む)しているネットワークの概念図を簡単に記入して下さい。 (下図のネットワーク概念図の例を参照の上記入して下さい。)





(3)EDIで利用している通信回線はど	のような種類ですか。次の該当項目に現在和	用しているものに○印を、今
後予定のものに△印をつけてお答え下	さい。(複数回答可)	62~74
□1. 専用回線(一般)	□5. 公衆が沙川回線(DDX・回線交換)	□9. 衛星通信
□2. 専用回線(高速ディジタル)	□6. 公衆行沙川回線(DDX・竹小交換)	□10. 移動通信
□3. 電話回線	□7. INSネット64	□11. ファクシミリ通信
□4. 電信回線	□8. INSネット1500	□12. ビデオテックス
		□13. 私設回線 - 15
		r

貴社におけるEDI利用に係わる初期費用、および現状のEDI利用の月額平均運用経費はどの程度で すか。その概算額を記入して下さい。

EI	01利用	別に保	わる	費用	金 額	十億	億	千万	百万	十万	万	千円	
		eler		ŧ									76~82
1 15	刀期	費	用	7:	フト開発費			:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				# D~# 9
	人	,	件	•	費								90~04
月	※機	械	設	備	費			1	•				97~103
額平均	※処		理		費				•		:		104~110
運	通		信	•	費				:		:	:	111~117
用経典	※外		注		費			:					118~124
費	そ	の	他	費	用				•			1 1	125~131
	合		計					:	: :			!	132~138

- (注8)・機械設備費は、コンピュータレンタル料(リース含)、保守料等が含まれます。

 - ・処理費は、外部を利用した場合の基本料、処理料金等が含まれます。 ・外注費は、委託費、データ作成費、ファシリティーサービス等が含まれます。

費社において主にどのような業務にEDIを利用していますか、次の該当項目に○印をつけてお答え下 質問4 さい。(複数回答可)

1	Ì	受発注処理
		女がにて火い土

6. 輸送管理(貨物追跡等)

11. 資金決済

2. 販売管理

7. 運賃計算

12. 与信管理

3. 生産管理

8. 出荷業務

13. 店舗管理

4. 在庫管理

9. 納品書処理

14. 顧客管理

5. 倉庫管理

10. 請求書処理

15. 予約·発券

)

16. その他(

155 D 質問5 貫社において主にどのような種類のデータ交換にEDIを利用していますか。現在利用しているものに ○印を今後予定のものに△印を記入し、その他の場合は()内に具体的なデータ交換の種類を記入して 下さい。また、1日平均のデータ量とピーク時のデータ量の概算及びデータ交換の企業数も記入して下 さい。(複数回答可)

- (): 現在利用 一 △:今後予定

	データ交換の種類	1日平均のデータ件数	ピーク時の1日のデータ件数	データ交換の企業数
1	仕様書/承認図	件	件	件
2	見積書	件	件	件
3	注文書(発注書)	件	件	件
4	注文変更書	件	件	件
5	注文請書	件	件	件
6	納品書	件	件	件
7	出荷指示書	件	件	件
8	検収書	件	件	件
9	照合確認書	件	件	件
10	代金請求書	件	件	件
11	送金通知書	件	件	件
12	振込通知書	件	件	件
13	船積書類	件	件	件
14	船荷証券	件	件	件
15	クレーム	件	件	件
16	その他()	件	件	件
17	その他()	件	件	件
18	その他()	件	件	件
19	その他()	件	件	件
20	その他()	件	件	件

質問 6. 貴社においてEDIに利用している標準的な規格はどのようなものですか、次の該当項目に〇印をつけ てお答え下さい。(複数回答可) (1) フォーマットの規格 306~407

- - 1. 国際標準 (EDIFACT=ISO 9735) 2. 米国標準 (ANSI X.12) 3. 業界標準 (BIAJ)

 - 4. " (JCA)
 5. その他業界標準(家電,紙パ等)
 6. プライベート標準

- (2) 通信手順の規格
 - 1. 全銀手順

 - 2. J手順
 3. CAT/CAFIS (クレジット手順)
 - 4. 業界手順
 - 5. メーカー手順
 - 6. 無手順・TTY手順

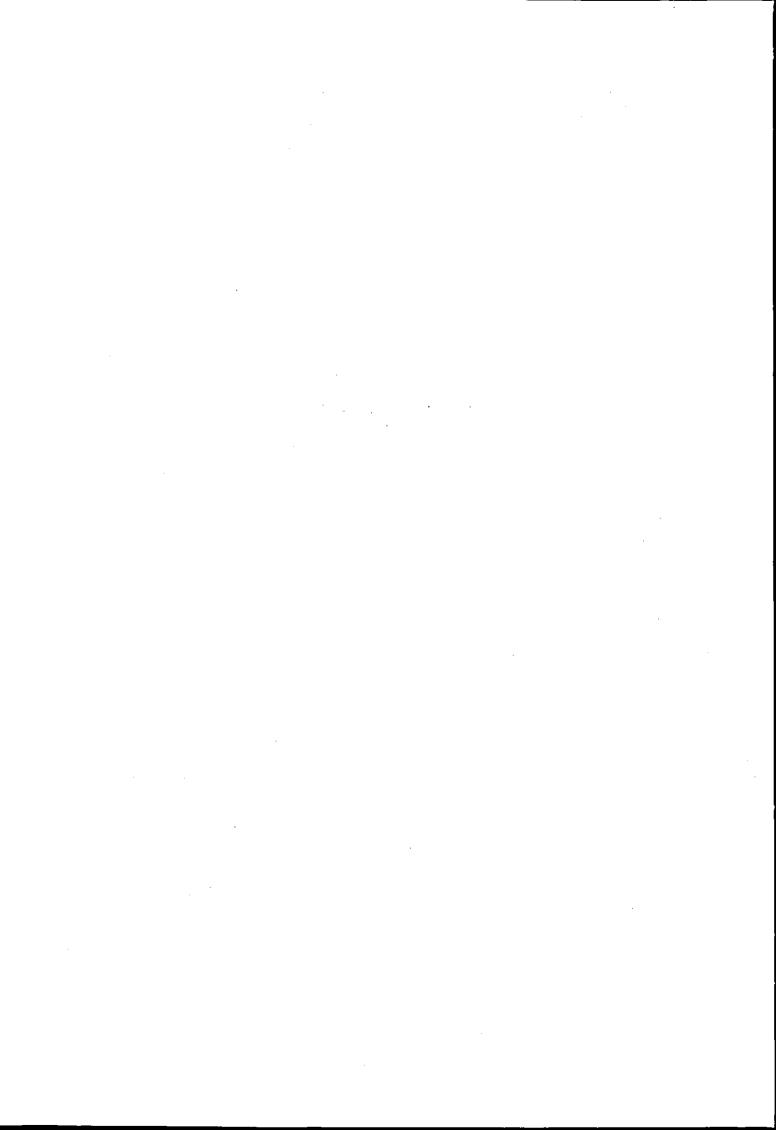
408 E

質問7	アメリカやヨーロッパにおいては業界標準によるEDIが普及していますが、 ご存知の標準について○印をつけてお答えください。(複数回答可)	次の項目の中から貴社が 408~418
	 CARDIS (CARgo Data Interchange System) UCS (Uniform Communication Standard) AIAG (Automotive Industry Action Group) CDIX (Chemical Deta Information Exchange) EDX (Blectronic Data Interchange for the Electrical Industry) WINS (Warehouse Information Network Standard) VICS (Voluntary Interindustry Communication Standards) DISH (Data Interchange for Shipping) ODETTE (Organization for Data Exchange by Teletransmission DAKOSY (Daten Kommunikations System) 	in Europe)
質問8	EDIの標準化の必要性について貴社のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。	
L		,
質問 9	国内におけるEDIの標準化活動に関して貴社のご意見をお聞かせ下さい。	
	······································	
	······································	
•		
質問10	貴社の関係業界ではEDIの取り組みはどのような状況でしょうか。業界におの方向についてお聞かせ下さい。	けるEDIの現状と今後
	······································	
		
		4

負[ii]] [本美悲調査に対して特に何かと息見めるいはこ嬖望寺かありましたら、こ日田にこ記入下さい。				
	······································				
	······································				
	······································				
	·				
L					

420 **G**

以上で本アンケートに関する質問事項は終わりです。 ご協力ありがとうございました。



禁無断転載

平成4年3月発行

発行所 財団法人 日本情報処理開発協会 産業情報化推進センター 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機 械 振 興 会 館 内 Tel (3432)9386

印刷所 株式会社 正 文 社 東京都文京区本郷3丁目12番2号 Tel (3815)7271

